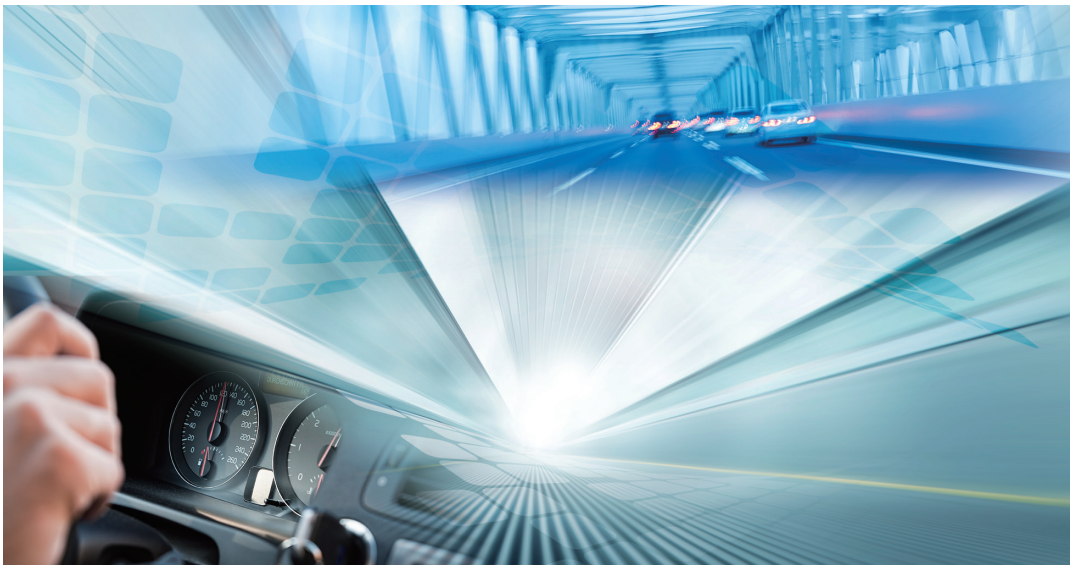
取扱説明書

EX11Z/XF11Z/EX10Z/EX9Z/ X9Z/X9ZA/X8Z

ワイドXGA LED液晶 メモリーナビ

7WZ

ワイドVGA LED液晶 メモリーナビ



最初にクイックセットアップを完了させてください

操作は2～3ページで！

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、本書の「安全のために必ずお読みください」(22～25ページ)を必ずお読みください。

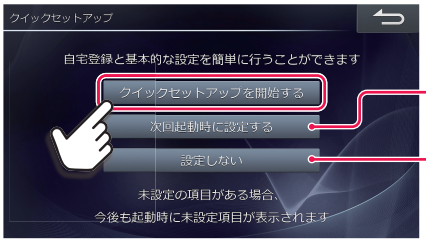
- お使いになる前に本書をよくお読みください。
- お読みになった後も、本書を手元に置いてご使用ください。

クイックセットアップをする(1/2)

本機の初回起動時にクイックセットアップ画面が表示されます。お客様向けクイックセットアップを行うと、本機をより便利に使うことができます。

クイックセットアップを行いましょう！

クイックセットアップを開始する をタッチします



今回はクイックセットアップを行いません。次回起動時に再びクイックセットアップの画面が表示されます。

クイックセットアップを行いません。クイックセットアップの項目を設定するときは、「各種設定」画面から個別に設定してください(115ページ)。

1 自宅を登録する

自宅を登録すると簡単に帰宅ルートを探索できるので便利です。

自宅駐車場に車を停めて、自車位置をタッチするだけで簡単に登録できます。

- 設定を行わない場合は 次へ→ をタッチします。

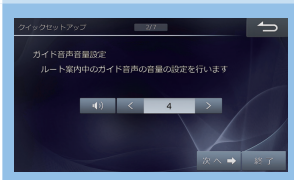


設定する をタッチする　地図から をタッチする　自車位置をタッチして 登録 をタッチする

- 登録が終わったら 次へ→ をタッチしてください。
- 電話番号から 住所から で自宅位置を探索して登録することもできます。

2 ガイド音声の音量を設定する

ルート案内中のガイド音声案内の音量設定を行います。



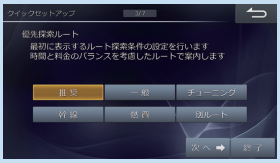
< > をタッチして音量を調整する

- 設定が終わったら 次へ→ をタッチしてください。

3 優先して探索するルート条件を設定する

優先的に探索・表示するルート条件を設定します。

- ルート条件については47ページを参照してください。



優先したいルート条件をタッチして選ぶ

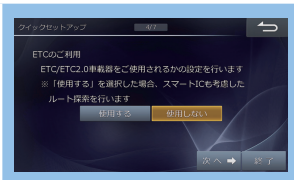
- 設定が終わったら 次へ→ をタッチしてください。

※「有料道路優先」(120ページ)を「する」にした場合、「推奨(有料優先)」と表示されます。

クイックセットアップをする(2/2)

4 ETC/ETC2.0車載器使用を設定する

ETC/ETC2.0車載器を使用するかどうか設定します。

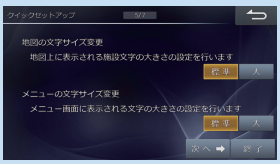


使用する または 使用しない をタッチする

- 設定が終わったら 次へ→ をタッチしてください。
- 「使用する」に設定すると、「スマートIC利用」(120ページ)設定も「する」に設定されます。

5 地図/メニュー画面の文字サイズを変更する

地図画面に表示される地名・施設名や、メニュー画面に表示される文字サイズを設定します。

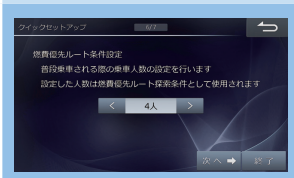


変更するには 大 をタッチする

- 設定が終わったら 次へ→ をタッチしてください。

6 燃費優先ルートの条件を設定する

乗車する人数の設定を行います。設定された人数は「燃費優先」ルート探索条件として使用されます。

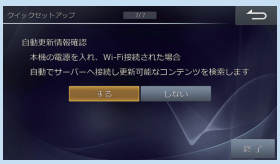


< > をタッチして人数を設定する

- 設定が終わったら 次へ→ をタッチしてください。

7 更新情報の自動確認を設定する

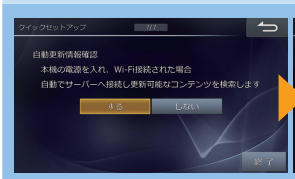
本機の電源を入れた時にWi-Fi接続された場合、自動でサーバーへ接続して本機の更新可能コンテンツの有無を確認します。



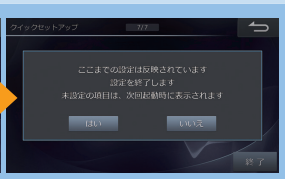
- する に設定した場合、本機起動時にサーバーとのデータ通信が発生します。ただし更新データの自動ダウンロードは行いません。
- 本機データ更新にはお客様登録と認証情報設定が必要です(144ページ)。
- Wi-Fi通信機器の登録が必要です(72 ～ 74ページ)。また、Wi-Fi通信の自動接続の初期値は「する」に設定されています(142ページ)。

8 クイックセットアップを終了する

- 未設定の項目がある場合には、次回起動時に再びクイックセットアップの画面が表示されます。



終了 をタッチする



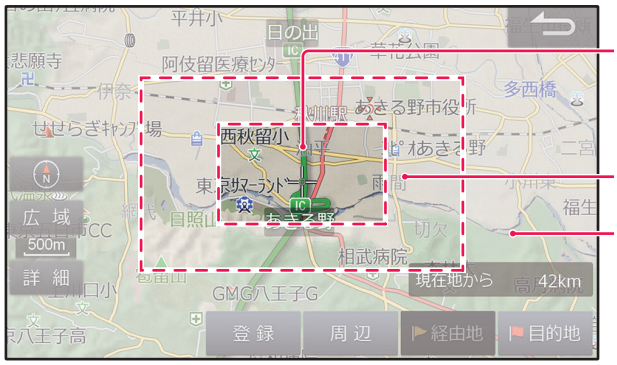
画面メッセージを確認して はい をタッチする

地図の操作について(1/2)

タッチ操作・フリック(はらう)操作・ドラッグ(なぞる)操作、二本の指で画面を操作するピンチイン(とじる)、ピンチアウト(ひろげる)による地図操作ができます。

タッチ操作での地図の動かしかた

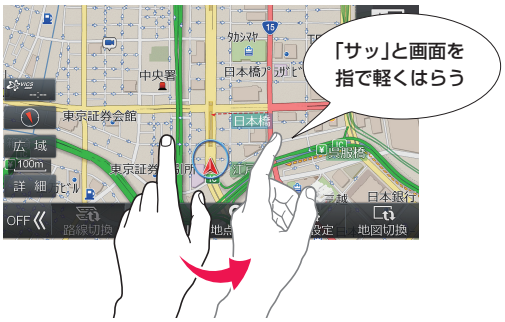
地図画面のタッチスイッチ以外をタッチすると、タッチした位置が画面中央に移動します。また、地図画面にタッチし続けると、その方向に地図が移動します。タッチし続けるエリアによって移動する速さがかわります。



フリック操作・ドラッグ操作での地図の動かしかた

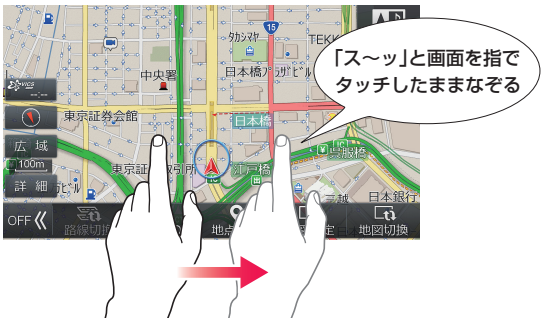
<フリック操作>

動かしたい方向に画面を指で軽くはらうと地図画面が移動します。



<ドラッグ操作>

画面を指でタッチしたままなぞるように動かすと地図画面が指の動きに合わせて移動します。



• はらう速度に応じて移動する長さが変わります。

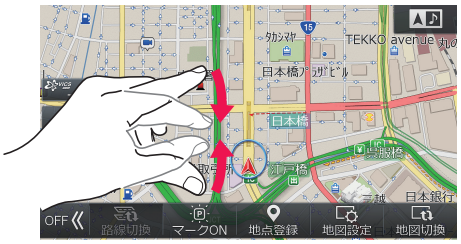
ピンチイン・ピンチアウト操作での地図の動かしかた

地図エリアの縮尺を切りかえたいときに操作してください。

• 右画面に表示される細街路表示地図では、ピンチイン・ピンチアウト操作を行うことはできません。

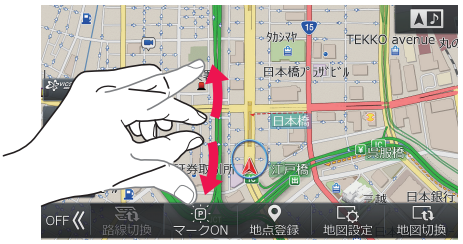
<ピンチイン操作>

画面を2本の指でタッチしたままとじるようにすると地図縮尺が縮小します。



<ピンチアウト操作>

画面を2本の指でタッチしたままひろげると地図縮尺が拡大します。



地図の操作について(2/2)

現在地画面について

電源を入れると、地図に現在の車の位置(自車位置)を主体に見た地図が表示されます(現在地画面)。

時計表示
「時計表示設定(ナビ画面)」(128ページ)が「する」になっている場合、時計表示エリアをタッチすると表示が一時的にOFFになります。再度タッチすると時計表示ONになります。また、エンジンキーをOFF/ONすると一時的にOFFにしていた場合も時計表示ONになります。

地図表示切りかえ
タッチするたびにヘディングアップ→3Dマップ→ノースアップの順に切りかわります。

ナビ・オーディオ操作スイッチ(32ページ)

VICSタイムスタンプ※
高速渋滞情報や駐車場の空き情報が提供された時刻を表示します。タッチすると、ルート上にある高速道路上のJCT(ジャンクション)やIC(インターチェンジ)の混雑状況がわかる高速渋滞情報画面を表示します(13ページ)。



自車位置マーク
車の位置と向いている方向とを示します。自車マークは変更することができます(117ページ)。

[現在地] スイッチを押すと現在地画面を表示します。

※ 大雨や大雪、大津波などの特別警報情報を受信した際には[特別警報]アイコンを表示します。



タッチすると受信した気象警報・災害エリアリスト画面を表示します(「気象警報/災害エリア」151ページ)。また、特別警報情報を受信した際に[特別警報]アイコンを表示しないように設定することができます。

ノースアップ/ヘディングアップ/3Dマップ表示について

常に北方向を上にして表示する地図(ノースアップ)と、進む方向を上に固定した地図(ヘディングアップ)があります。また、立体的な地図(3Dマップ)に切りかえることもできます。



ノースアップ



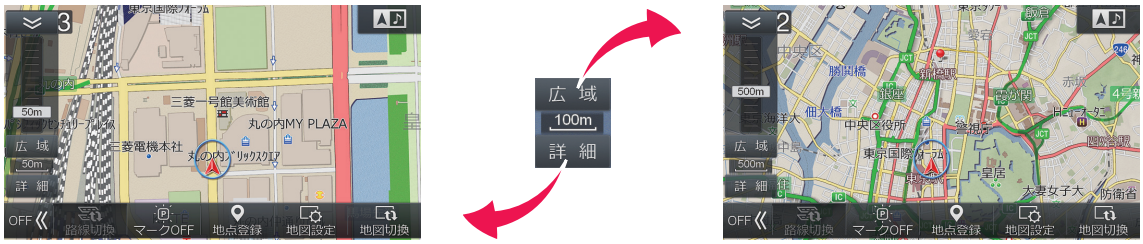
ヘディングアップ



3Dマップ

縮尺の変更(地図スケール切りかえ)について

地図を拡大または縮小して表示します。地図画面に表示される情報は縮尺によって異なります。一方通行などは地図を拡大して詳細地図にすると表示されます。



市街地図が収録されている都市では50m以下のスケールにすると市街地図を表示し、さらに詳細な道路・建物形状・建物名称などが表示されます。

- 広域 または 詳細 をタッチすると13段階で縮尺が切りかわります。広域 または 詳細 をタッチし続けると、無段階で縮尺を切りかえます。
- ピンチイン・ピンチアウト操作でも地図の縮尺を変更することができます(4ページ)。

ナビメニュー画面について

目的地検索や設定・編集などナビに関するすべての操作が、この画面からスタートできます。

バリエーション豊かな目的地検索方法

ナビメニューから現在地の周辺施設・目的地の名称・住所・電話番号など、多彩な方法による目的地検索ができます(44、45ページ)。過去に訪れた場所は履歴から、自宅・販売店・あらかじめ登録した場所は登録地点から、それぞれ目的地を探し出せます。

<さまざまな方法による目的地検索>



<目的地履歴からの目的地検索>



<登録地点からの目的地検索>



ナビメニュー操作画面について

「次に行う操作画面」が画面切りかえを意識することなく表示されますので、直感的に目的地設定を行うことができます。



住所で目的地を探してルート案内する

現在地点からルートを決めます。目的地はさまざまな方法で探し出せますが、ここでは都道府県から住所を絞り込んで目的地を設定する方法について説明します。

1 [MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押してナビメニュー 検索 画面から 住所 にタッチする



- 住所リスト画面が表示されます。
- 住所の絞り込みは、都道府県名→市町村名→大字→丁目・字→番地→戸番の順に行います。

2 地方名タブにタッチし都道府県名にタッチする



3 50音タブにタッチし、市町村名→町名→丁目→番地などを順に選ぶ



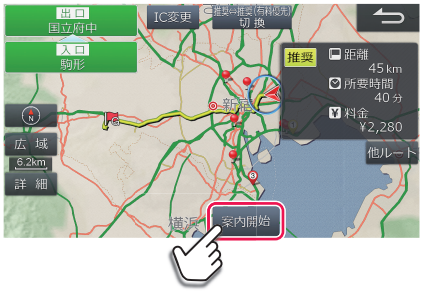
- 検索した住所周辺の地図が画面右側に表示されます。

4 目的地 をタッチする



- 目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

5 走行するか、案内開始 にタッチすると自車位置画面を表示しルート案内を開始する



- ルート探索条件は「クイックセットアップ」(2、3ページ)、「優先探索ルート」(120ページ)で設定したルートとなります。
- 他ルート にタッチして、他の探索条件のルートを選択することができます。他ルートについて詳しくは47ページを参照してください。
- 設定されたルートの詳細は「ルート確認・編集画面」(48ページ)で確認してください。

主な画面の見かた(1/5)

ルート案内画面について

ルートを設定するとルート案内画面に切りかわります。ルート案内中は音声での案内のほか、さまざまな案内画面が地図上に表示されます。



到着予想時刻と目的地までの距離の目安を確認することができます。

方向誘導線
自車位置からの目的地や経由地の方向が直線で表示されます。
(方向誘導線を表示するかどうかを設定できます(「誘導方向表示」116ページ)。)

青色で目的地までの案内ルートを表示します。

ルートの確認・編集画面を表示します(48ページ)。

今いる場所や道路名を確認できます。

• VICS規制マークやその他の地図画面については、「地図画面の見かた」(211ページ)も合わせてご覧ください。

<多彩な補助画面>

交差点・分岐点・高速道路の出入り口など迷いがちなポイントは、リアルな3D拡大図などさまざまな表示でわかりやすく案内します(51 ～ 53ページ)。

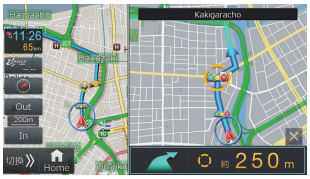

交差点拡大図


リアル3D交差点拡大図


高速分岐案内


高速渋滞モード


方面看板表示


英語表示・案内


ビッグアロー表示


細街路案内


レーン(車線)ガイド表示

主な画面の見かた(2/5)

地図切換画面について

地図画面で 地図切換 をタッチすると地図切換アイコン画面がポップアップ表示されます。地図画面の表示のしかたを1画面・2画面・行程ガイドから選択できます。



 1画面	地図を一画面で表示します。
 2画面	地図画面を左右に分割します。
 行程ガイド	目的地案内中に、走行中のルートの簡易行程図を表示します。行程ガイド画面では、交差点や高速道路のインターチェンジ・SA/PAなどが現在地に近いほうから表示されます。

- 縮尺を変更して詳細スケールと広域スケールの2画面を表示させたり、3D市街地図とノースアップ地図とを組み合わせることなどができます。
- 2画面表示のときに左右の自車位置が若干ずれることがあります。これは左右別々に描画しているためで故障ではありません。
- 2画面表示のとき左右両画面で同時に3Dマップを表示することはできません。
- 高速・有料道路モード地図は左画面にのみ表示されます。

- 行程ガイド画面に表示されるマークについては「行程ガイドマーク一覧」(55ページ)および「行程ガイド施設マーク一覧」(55ページ)を参照してください。
- ▲ ▼ をタッチすると前後の行程を表示します。タッチし続けると連続して行程ガイドをスクロールします。行程ガイドを現在の位置に戻すには **[現在地]** スイッチを押します。
- ジャンクション間の混雑状況を表示することができます(53ページ)。

主な画面の見かた(3/5)

地図設定画面について

地図画面で 地図設定 にタッチすると地図設定画面が表示されます。地図に表示する内容などを設定することができます。また、立体的な地図(3Dマップ)を表示しているときの視点の角度を変えることもできます。



1画面/左画面 / 右画面	地図に表示する内容などを左画面(1画面)と右画面で個別に設定することができます。	• 設定内容については、「各種設定−地図表示　設定画面について」(115ページ)を参照してください。
3D角度調整	立体的な地図(3Dマップ)を表示しているときの視点の角度を変えることができます。	• をタッチするたびに立体的になり、 をタッチするたびに平面に近づきます。

ナビメニューカスタマイズ画面について

ナビメニューカスタマイズ画面ではナビメニュー画面に表示するアイコンを自由に入れかえることができます。よく使うアイコンを1ページ目にまとめて配置するなど、より使いやすい操作画面へのカスタマイズが可能です。

<アイコンの配置変更例: 自宅 と 電話番号 を入れかえる場合>

1 [MENU] / [◭ NAVI] を押して 配置変更 アイコンをタッチする



• ナビメニューカスタマイズ画面を表示します。



2 自宅 → 電話番号 アイコンをタッチする



ページ切りかえスイッチ

• アイコンの位置が入れかわります。
• 移動先が2ページ目の場合は、ページ切りかえスイッチにタッチして移動先のアイコンをタッチしてください。
• 引き続き他のアイコンの配置変更をする場合は、手順2を繰り返してください。

3 アイコン配置が完了したら、完了 をタッチする



• 初期配置 をタッチすると、ナビメニューカスタマイズ前の初期状態に戻ります。

主な画面の見かた(4/5)

設定・調整画面について

設定・調整画面では、本機に関するさまざまな設定操作を行うことができます。詳しくは「6. 設定・調整」(115 ～ 143ページ)を参照してください。



- 設定 にタッチすると設定・調整画面を表示します。

アドバイス

- AVソースメニュー画面(77ページ)からも設定・調整画面を表示することができます。

情報/更新画面について

情報/更新画面ではWi-Fi通信や各種メディアを使用して本機のデータ更新やVICS情報を確認することができます。詳しくは「7. 情報・更新」(144 ～ 154ページ)を参照してください。



- 情報/更新 にタッチすると情報/更新画面を表示します。

ハンズフリー画面について

ハンズフリーフォンの操作画面を表示します。詳しくは「電話をかける」(67ページ)を参照してください。



- ハンズフリー にタッチするとハンズフリーフォンの操作画面を表示します。

アドバイス

- AVソースメニュー画面(77ページ)からもハンズフリー操作画面を表示することができます。

主な画面の見かた(5/5)

リアビジョン/アロマ設定画面について

リアビジョン/アロマ設定画面を表示します。プラズマクラスターの風量やアロマ噴出量の設定、サウンドなどの設定を行うことができます。詳しくは「リアビジョンについて」(166 ～ 171ページ)を参照してください。



- リアビジョン/アロマ にタッチするとリアビジョン/アロマ設定画面を表示します。

アドバイス

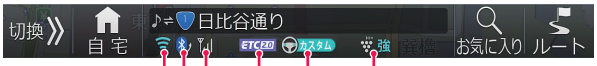
- AVソースメニュー画面(77ページ)からもリアビジョン/アロマ設定画面を表示することができます。
- カーアロマとリアビジョンを接続する場合は、カーアロマに対応したリアビジョンが必要です。

各種インジケーターの表示について

本機の画面に、インジケーターでさまざまな情報が表示されます。



BLUETOOTH機器バッテリーレベル
バッテリー残量をレベル0 ～ 3で表示します。
:(レベル0) ～ :(レベル3)
:充電中(BT AUDIO画面のみ表示)



Wi-Fi電界強度インジケーター
:未接続時。接続試行時は点滅します。
:(レベル1) ～ :(レベル4) 接続時。電界強度をレベル1 ～ 4で表示します。通信中は点滅します。

プラズマクラスターインジケーター
プラズマクラスター対応リアビジョン接続時、設定した風量が表示されます(166ページ)。
切 弱 強 ターボ

カスタムインジケーター
ステアリングリモコンカスタムモード時に点灯します(38ページ)。

BLUETOOTHインジケーター
灰色は未接続、灰色点滅は接続試行時、青色は接続時、青色点滅は通信中です。
:ハンズフリー通話用携帯電話登録時
:BLUETOOTHオーディオ機器登録時
:携帯電話とオーディオ機器、どちらも登録してある場合

ETC/ETC2.0インジケーター
ETC車載器接続時はETCインジケーター、ETC2.0車載器接続時はETC2.0インジケーターが表示されます。使用状態で色が異なります。
ETC:ETC車載器・カード使用可
ETC:ETC車載器・カード使用不可
ETC2.0:ETC2.0車載器・ETCカード使用可
ETC2.0:ETC2.0車載器使用可/ETCカード使用不可
ETC2.0:ETC2.0車載器使用不可

BLUETOOTH電界強度インジケーター
電界強度をレベル0 ～ 3で表示します。
:(レベル0) ～ :(レベル3)
圏外:圏外



進捗バー
SDカードへ録音中(REC)、データダウンロード中、ログアップロード中、データインストール中に進捗バーが表示されます。データダウンロード中は状態に応じて、ダウンロード休止/ダウンロード完了時に表示が変化します。

便利なナビゲーション機能

お気に入り周辺検索機能について

よく使う施設(コンビニやファーストフードなど)を登録しておけば、すぐに「お気に入り」を周辺から検索できます。詳しくは「ルート案内を開始する ― お気に入り周辺検索」(42、43ページ)を参照してください。

1 お気に入り をタッチする



2 行きたい施設アイコンにタッチする



- お気に入り周辺検索アイコン画面はカスタマイズすることができます(43ページ)。

高速渋滞情報画面について

ルート案内中に、VICSの渋滞情報を受信して高速道路上のJCT(ジャンクション)やIC(インターチェンジ)の混雑状況を表示します。現在地画面で 10:00 (VICSスタンプ)にタッチすると高速渋滞情報画面が表示されます。

<高速渋滞情報画面表示例>



- VICSからの交通情報を取得するので、一目で混雑状況がわかります。
  赤:渋滞
  橙:混雑
  緑:順調
  白:不明
- ▲ にタッチすると先の情報を表示し、▼ にタッチすると手前の情報を表示します。
- ⮌ にタッチすると現在地画面に戻ります。

アクティブルートサーチ機能について

予期せぬ渋滞・通行止めなど道路状況の変化や交通情報を考慮して、目的地までの所要時間が走行中のルート案内よりも最短となるルートを探索したときに自動でルート変更を行います。

<アクティブルートサーチ画面例>

ルート短縮内容が表示されます。



- 時間短縮できるルートが見つからない場合は、アクティブルートサーチ機能は働きません。詳しくは「アクティブルートサーチ」、「アクティブルートサーチ案内音声割込み」(120ページ)を参照してください。

ダブルゾーン機能について

ダブルゾーン機能について

本機にリアビジョンを接続すると前席(運転席、助手席)と後部座席で、同じAVソースを楽しんだり、またはそれぞれ独立したAVソースを楽しんだりすることができます。例えば、前席でラジオを聴きながら、後部座席ではDVDを楽しむことができます(「ダブルゾーンを設定する」(167ページ)を参照)。また、別売のリモコンを使用しリア用ダブルゾーンメニューから目的地検索や地図を見るなどのナビゲーション操作や後席個別モードの選択をすることができます(「リアビジョンから本機を操作する」(168ページ)を参照)。

<リア用ダブルゾーンメニューの画面表示例>



- リモコンの[リア専用メニュー]スイッチを押すと、リア用ダブルゾーンメニューを表示します。



- リアビジョン側で、目的地検索や地図を見ることもできます。
- AUX接続(コンポジット接続)したリアビジョンに地図を表示すると地図が見えづらい場合があります。

ダブルゾーンサウンドコントロール機能について

前席と後席それぞれ独立したAVソースを視聴中、個別に音量調整を行った際、前席または後席音量が大きくなりすぎて視聴の妨げとなる音量の最適値を超えた場合にボリューム表示を赤色で表示します。前席と後席それぞれ最適値範囲内で音量調整することをお勧めします。詳しくは「ダブルゾーンサウンドコントロールについて」(171ページ)を参照してください。

青色



- 前席の音量調整をした場合、最適値の範囲内であれば青色で表示します。

赤色



- 最適値を超えると赤色で表示します。

ダブルゾーンコミュニケーション機能について

後部座席では聞こえにくい運転手の声を、ハンズフリーマイクを利用してリアスピーカーから出力することができます。運転中でも、後ろを振り返ることなく会話がしやすくなります。詳しくは「ダブルゾーンコミュニケーションについて」(170ページ)を参照してください。

<本機側の画面表示例>
(ルームカメラ未接続時)



<リアビジョン側の画面表示例>
(DVDソース視聴時)

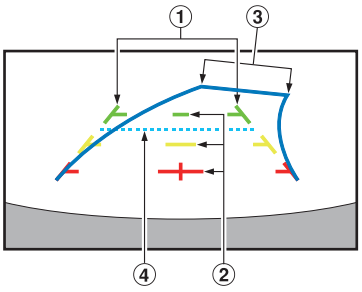


- ルームカメラ接続時は、後部座席の映像が画面に表示されます。
- 取付車両のサイズ、形状、スピーカー位置などによってはダブルゾーンコミュニケーション使用時にハウリングが起き、本機能を使用できない場合があります。

カメラによる駐車機能について

リアカメラのガイド線表示について

ガイド線が色別に表示されます。「リアカメラのガイド線について」(159ページ)もあわせてご覧ください。



・実際の映像とは異なります。

■ 固定ガイド線

① 車幅延長マーク(手前より 赤色 黄色 緑色 のライン)

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたいときの進路の目安を示します。

② 距離目安マーク

クルマの後方(バンパー後端から)の距離を示します。

・それぞれの中心位置で、約0.5m先(赤色)・約1m先(黄色)・約2m先(緑色)を示します。

■ ステアリング連動ガイド線

③ 予測進路ガイド線(青色 のライン)

車両のステアリング操作に連動し、車両の予想進路を表示します。

・ステアリング連動ガイドはステアリング連動対応車種とのCAN接続が必要です。また「車種専用チューニング」(134、206ページ)で対象車種および対象リアカメラを選択した場合のみ表示されます。

■ バックドア開閉ガイド線

④ バックドアガイド線(水色 のライン)

バックドア(トランク)の開け閉めスペースを考慮したガイド線を表示します。

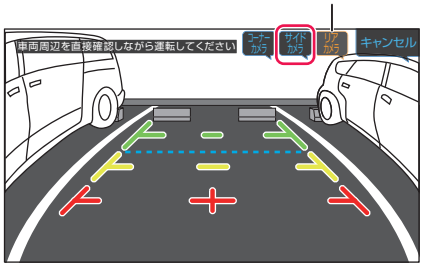
・車種専用チューニング(134、206ページ)で対象車種を選択した場合のみ表示されます。

カメラ映像切りかえについて

複数のカメラを接続している場合、カメラ映像を切りかえることができます。操作方法については「リアカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラの映像を切りかえる」、「フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラの映像を切りかえる」(165ページ)を参照してください。

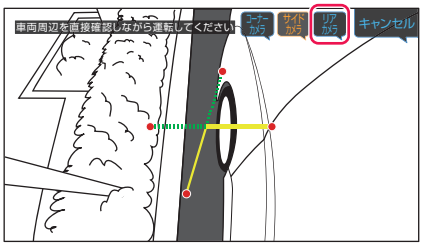
<リアカメラの表示例>

現在表示中のカメラのスイッチはオレンジ色で表示



カメラ画像が切りかわります。

<サイドカメラの表示例>



AVソースの選び方

AVソースメニュー画面について

[MODE] / [♪ AUDIO]スイッチを押すとAVソースメニュー画面が表示されます(77ページ)。

テレビ放送・DVDの映像・高音質の音楽などをお楽しみいただけます。iPodやウォークマン®を接続したり、SDカードやUSBメモリーの音楽や映像を視聴したりすることもできます。
また、ダブルゾーンの各種設定やAVソースの音質調整をすることもできます。

「時計表示設定(映像ソース)」(128ページ)が「する」になっている場合、AVソース画面の時計表示エリアをタッチすると表示が一時的にOFFになります。再度タッチすると時計表示ONになります。また、エンジンキーをOFF/ONすると一時的にOFFにしていた場合も時計表示ONになります。テレビ放送の時計表示が重なって見づらい場合などは、時計表示をOFFにしてください。





テレビ放送を視聴します。遠くにドライブしても自動的に電波を切りかえて受信するので、チャンネル切りかえの手間はいりません(79ページ)。

SDカードに録音した音楽を再生します。SDカードには最大9,999曲が保存できます。また、パソコン等でSDカードに保存した音楽データを再生することもできます(98ページ)。

DVD(88ページ)やCD(95ページ)を再生します。

AM・FM放送を受信します(86ページ)。



音質調整画面を表示します(131ページ)。



ダブルゾーン設定画面が表示されます(167ページ)。
後席(リアビジョン)に出力するAVソースの切りかえや後席スピーカー音量の設定、目的地到着予想時間を表示させる設定などができます。

設定画面を表示します(115ページ)。

スマートフォンやビデオカメラなどに保存した映像・音楽・写真などを再生します(105ページ)。

iPod・iPhone・USBメモリーに保存した音楽を再生します(107、114ページ)。

ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(78ページ)。

道路交通情報を受信することができます(86ページ)。



接続したウォークマン®やドライブレコーダーなどの映像を表示します(106、114ページ)。

BLUETOOTHオーディオ機器の音楽を再生します(112ページ)。

テレビ・HDMIの映像について

地上デジタル放送操作メニューについて

テレビを視聴中に画面をタッチすると現在放送中の番組一覧がリアルタイム表示されます。



現在視聴可能な放送局と番組名の一覧

現在視聴中の番組情報

放送局を自動で記憶する：お出かけスキャン

お出かけ先ではお出かけスキャンを使うと、簡単に放送局を設定できます。

1 切換>> にタッチして操作画面を切りかえる



2 スキャン をタッチする

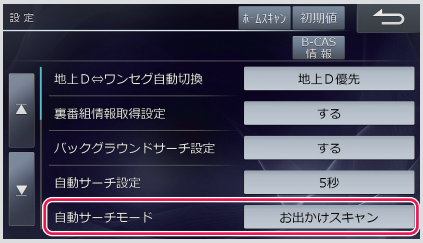


- おでかけスキャンを開始します。視聴中の放送局の中継局や系列局をサーチします。

- お出かけスキャンしたチャンネルはお出かけモードのプリセットスイッチに記憶されます。
- お出かけスキャンを実行すると、お出かけモードにすでに登録されているチャンネルは上書きされます。

<お出かけスキャンを自動的に起動設定することができます>

切換>> にタッチして操作画面を切りかえ、設定▲ → 設定 にタッチして自動サーチモードをお出かけスキャンに設定してください。



HDMI対応機器の映像出力について

旅行先で撮影したビデオカメラの映像や、スマートフォンの動画を本機・リアビジョンで再生することができます。



※ 専用の接続ケーブルが必要(別売)です。

HDMI接続



※ 走行中は本機側には映像表示できません。

HDMI接続



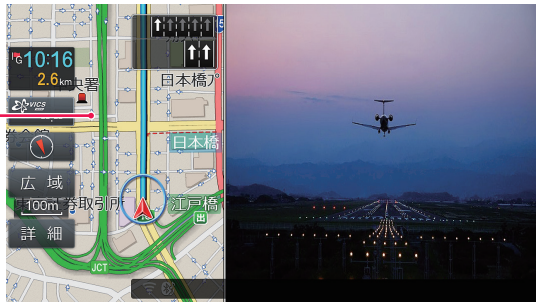
※ HDMI対応のリアビジョンが必要です。

2画面表示Navi+AV

2画面表示Navi+AVについて

ルート案内画面を表示したまま音楽再生画面を表示するなど、ナビゲーションとオーディオ・ビジュアルの2つの画面を同時に表示することができます。

地図画面は、左右どちら側に表示された場合でも、ランドマークなどの地図表示設定の内容は1画面表示の地図と同じです。



(または)をタッチすると2画面Navi+AV画面を表示します。



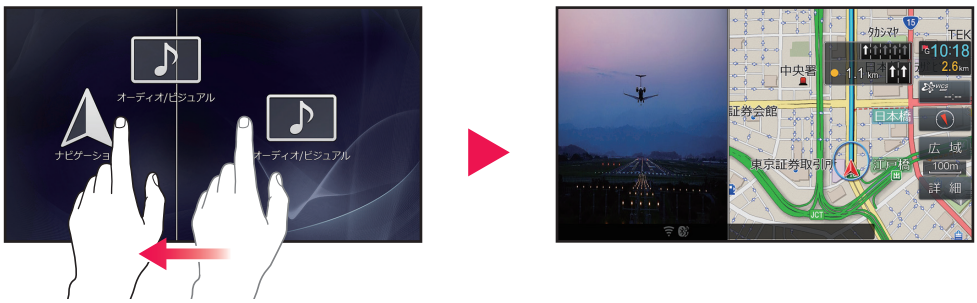
ルート案内画面



オーディオ・ビジュアル画面

画面の位置を入れかえるには(ドラッグ&ドロップで移動)

ナビ画面とAVソース画面を入れかえるには、左右どちらかの画面にタッチしたまま、もう片方の画面までドラッグしてから指を離します。



画面を1画面に戻すには

<地図画面に戻す>

[現在地] スイッチを押す、または地図画面をタッチする。

<オーディオ画面に戻す>

[AV] スイッチを押す、またはオーディオ画面をタッチする。

<映像画面(DVD・テレビなど)に戻す>

[AV] スイッチを押す、または映像画面を2回タッチする。

本書の見かた

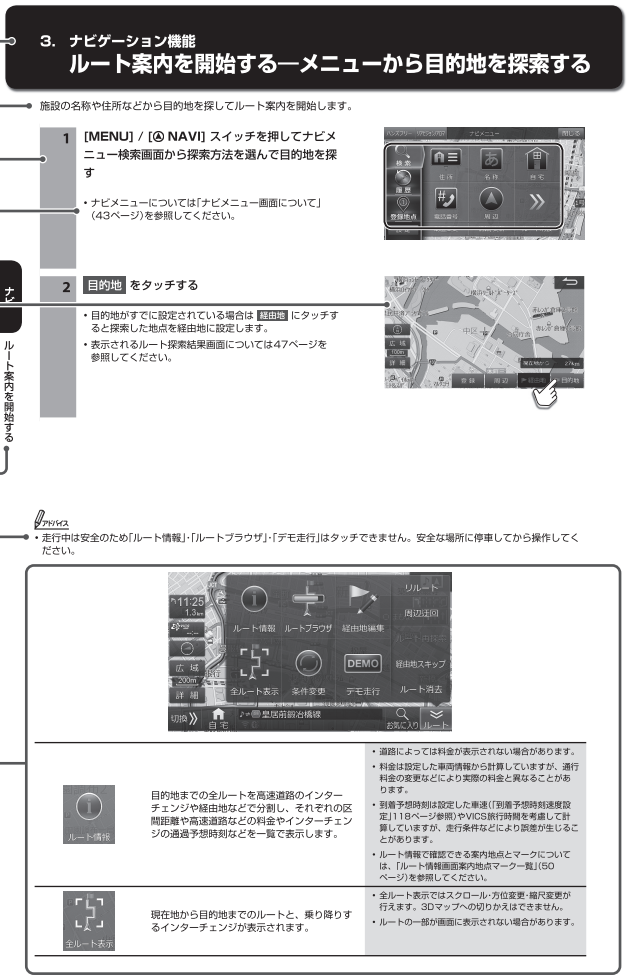
機種により、スイッチ形状が異なります。本説明書はX8Zのイラスト/画面を例に説明しています。

<本書の操作方法説明・スイッチ表記について>

本書は本体スイッチとタッチスイッチを使って操作方法を説明しています。

本体スイッチ	[MENU] [MODE]
画面のタッチスイッチ	案内開始 ▶II

1. **項目・操作タイトル**
   項目・操作目的ごとにタイトルがつけられています。
2. **項目・操作概要**
   項目・操作目的ごとの概要説明をしています。
3. **操作手順**
   操作の手順を示しています。
4. **補足**
   手順や結果に対する補足説明をしています。
5. **操作画面**
   操作を行う前の画面を示しています。操作によっては、操作を行ったあとの状態を示す結果画面があります。
6. **セクション見出し**
   セクションの見出しを示しています。
7. **アドバイス**
   知っておくと便利な情報や、関連する参照先などを示しています。
   注意
   制限事項や注意事項など重要な説明をしています。必ずお読みください。
8. **画面表示項目・番号**
   画面に表示される項目の内容を説明しています。



本書の画面について

車種・機種により、表示画面のデザイン・色調が異なります。本説明書はX8Zの画面を例に説明しています。

• 対応車種については、アルパインホームページを参照してください。

1. 初期設定

クイックセットアップをする(1/2) 2
クイックセットアップをする(2/2) 3

2. はじめに

地図の操作について(1/2) 4
地図の操作について(2/2) 5
ナビメニュー画面について 6
住所で目的地を探してルート案内する 7
主な画面の見かた(1/5) 8
主な画面の見かた(2/5) 9
主な画面の見かた(3/5) 10
主な画面の見かた(4/5) 11
主な画面の見かた(5/5) 12
便利なナビゲーション機能 13
ダブルゾーン機能について 14
カメラによる駐車機能について 15
AVソースの選び方 16
テレビ・HDMIの映像について 17
2画面表示Navi+AV 18
本書の見かた 19
もくじ 20
安全のために必ずお読みください(1/4) 22
安全のために必ずお読みください(2/4) 23
安全のために必ずお読みください(3/4) 24
安全のために必ずお読みください(4/4) 25
各部の名称とはたらき(1/6) 26
各部の名称とはたらき(2/6) 27
各部の名称とはたらき(3/6) 28
各部の名称とはたらき(4/6) 29
各部の名称とはたらき(5/6) 30
各部の名称とはたらき(6/6) 31
ナビ・オーディオ操作モード時のスイッチについて 32
電源ON・OFF/リセット/タッチスイッチ操作について 33
ディスプレイの角度調整 34
オプションキー操作について 35
ボイスタッチについて(1/2) 36
ボイスタッチについて(2/2) 37
ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する 38

3. ナビゲーション機能

ルート案内を開始する―メニューから目的地を探索する 39
ルート案内を開始する―地図で目的地を探索する 40
ルート案内を開始する―目的地周辺の施設を経由地として探索する 41
ルート案内を開始する―お気に入り周辺検索(1/2) 42
ルート案内を開始する―お気に入り周辺検索(2/2) 43
ナビメニュー画面について(1/3) 44
ナビメニュー画面について(2/3) 45
ナビメニュー画面について(3/3) 46
ルート探索結果画面について 47
ルート確認・編集画面について(1/3) 48
ルート確認・編集画面について(2/3) 49
ルート確認・編集画面について(3/3) 50
ルート案内中の画面や音声案内について(1/5) 51
ルート案内中の画面や音声案内について(2/5) 52
ルート案内中の画面や音声案内について(3/5) 53
ルート案内中の画面や音声案内について(4/5) 54
ルート案内中の画面や音声案内について(5/5) 55
地点登録について 56
地点登録画面について(1/3) 57
地点登録画面について(2/3) 58
地点登録画面について(3/3) 59
VICSについて(1/5) 60
VICSについて(2/5) 61
VICSについて(3/5) 62
VICSについて(4/5) 63
VICSについて(5/5) 64

4. 電話・通信機能

BLUETOOTH通信とWi-Fi通信について 65
携帯電話・スマートフォンを接続する 66
電話をかける・受ける 67
通話中画面について 68
電話メニュー画面について(1/2) 69
電話メニュー画面について(2/2) 70
電話帳を読み込むには 71
Wi-Fi通信機器を接続する(1/3) 72
Wi-Fi通信機器を接続する(2/3) 73
Wi-Fi通信機器を接続する(3/3) 74
スマートフォンナビ連携機能 75
「NaviCon」の操作 76

5. オーディオビジュアル機能

AVソースメニュー画面について(1/2) 77
AVソースメニュー画面について(2/2) 78
テレビを見る 79
テレビ画面について 80
テレビ操作画面について(1/2) 81
テレビ操作画面について(2/2) 82
番組表画面について 83
テレビ設定画面について(1/2) 84
テレビ設定画面について(2/2) 85
ラジオを聴く・交通情報を聴く 86
ラジオ操作画面について 87
DVDを見る 88
DVD操作画面について(1/3) 89
DVD操作画面について(2/3) 90
DVD操作画面について(3/3) 91
DVD初期設定画面について(1/2) 92
DVD初期設定画面について(2/2) 93
DVDの機能について 94
CDを聴く 95
CD再生画面について(1/2) 96
CD再生画面について(2/2) 97
SD AUDIOの音楽を聴く 98
SDカードに曲を録音する 99
SD AUDIO再生画面について(1/2) 100
SD AUDIO再生画面について(2/2) 101
SD AUDIO音楽検索画面について 102
SD AUDIO録音曲編集画面について 103
SD AUDIOプレイリスト編集画面について 104
HDMI/MHL対応機器(iPhoneやスマートフォンなど)をつないで使う 105
ウォークマン®をつないで使う 106
iPodやiPhoneの音楽を聴く 107
iPod AUDIO再生画面について(1/2) 108

iPod AUDIO再生画面について(2/2) 109
iPod AUDIOサーチ画面について 110
BLUETOOTHオーディオ機器を接続する 111
BT AUDIO再生画面について(1/2) 112
BT AUDIO再生画面について(2/2) 113
USBメモリー /外部機器をつないで使う 114

6. 設定・調整

各種設定ー地図表示 設定画面について(1/3) 115
各種設定ー地図表示 設定画面について(2/3) 116
各種設定ー地図表示 設定画面について(3/3) 117
各種設定ー案内誘導 設定画面について(1/2) 118
各種設定ー案内誘導 設定画面について(2/2) 119
各種設定ー経路 設定画面について(1/2) 120
各種設定ー経路 設定画面について(2/2) 121
各種設定ーVICS 設定画面について 122
各種設定ー接続機器 設定画面について(1/4) 123
各種設定ー接続機器 設定画面について(2/4) 124
各種設定ー接続機器 設定画面について(3/4) 125
各種設定ー接続機器 設定画面について(4/4) 126
各種設定ーAV 設定画面について 127
各種設定ーその他 設定画面について(1/3) 128
各種設定ーその他 設定画面について(2/3) 129
各種設定ーその他 設定画面について(3/3) 130
音質調整ー基本設定 画面について(1/2) 131
音質調整ー基本設定 画面について(2/2) 132
音質調整ー詳細設定 画面について 133
車種専用チューニング 画面について 134
メディア編集 画面について 135
画質調整 画面について 136
音量調整 画面について 137
電話設定 画面について 138
BLUETOOTH設定 画面について 139
BLUETOOTH機器設定 画面について 140
Wi-Fi設定 画面について(1/2) 141
Wi-Fi設定 画面について(2/2) 142
Wi-Fi機器探索 画面について 143

7. 情報・更新

データ更新について(Wi-Fi)(1/2) 144
データ更新について(Wi-Fi)(2/2) 145
データ更新について(メディア)(1/2) 146
データ更新について(メディア)(2/2) 147
地図更新について 148
Wi-Fi更新 画面について 149
メディア更新 画面について 150
VICS情報画面について(1/2) 151
VICS情報画面について(2/2) 152
車両情報について 153
本機情報の確認 154

8. オプション機器

ETC・ETC2.0について 155
ETC2.0について(1/2) 156
ETC2.0について(2/2) 157
カメラについて(1/8) 158
カメラについて(2/8) 159
カメラについて(3/8) 160
カメラについて(4/8) 161
カメラについて(5/8) 162
カメラについて(6/8) 163
カメラについて(7/8) 164
カメラについて(8/8) 165
リアビジョンについて(1/6) 166
リアビジョンについて(2/6) 167
リアビジョンについて(3/6) 168
リアビジョンについて(4/6) 169
リアビジョンについて(5/6) 170
リアビジョンについて(6/6) 171
その他外部機器 172
リモコン(RUE-RST01)の使い方(1/3) 173
リモコン(RUE-RST01)の使い方(2/3) 174
リモコン(RUE-RST01)の使い方(3/3) 175

9. 付録

文字入力のしかた(1/2) 176
文字入力のしかた(2/2) 177
困ったときは(よくあるご質問)(1/3) 178
困ったときは(よくあるご質問)(2/3) 179
困ったときは(よくあるご質問)(3/3) 180
トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)(1/4) 181
トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)(2/4) 182
トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)(3/4) 183
トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)(4/4) 184
トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(1/5) 185
トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(2/5) 186
トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(3/5) 187
トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(4/5) 188
トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(5/5) 189
AVソースメディアについての注意(1/3) 190
AVソースメディアについての注意(2/3) 191
AVソースメディアについての注意(3/3) 192
本機対応のフォーマットについて(1/2) 193
本機対応のフォーマットについて(2/2) 194
約款・規約、その他(1/7) 195
約款・規約、その他(2/7) 196
約款・規約、その他(3/7) 197
約款・規約、その他(4/7) 198
約款・規約、その他(5/7) 199
約款・規約、その他(6/7) 200
約款・規約、その他(7/7) 201
保証について/規格(1/3) 202
保証について/規格(2/3) 203
保証について/規格(3/3) 204
地図マーク一覧 205
クイックセットアップ(販売店設定)について 206

10. 索引

索引(1/3) 207
索引(2/3) 208
索引(3/3) 209

地図画面の見かた 211

安全のために必ずお読みください(1/4)

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる事故やケガに対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。
禁止	禁止(やってはいけないこと)の内容を示しています。
⚠	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。

取り付け・接続

⚠ 警告

強制

DC12Vマイナスアース車専用です
24V車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因になります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因になります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする
感電・ケガの原因になります。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる
ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。

説明書に従って、取り付け・配線をする
作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります

安全のため、パーキングブレーキ線を必ず接続する
交通事故の原因になります。パーキングブレーキ線の接続により、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

安全のために必ずお読みください(2/4)


強制

取り付け･配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故･火災･ケガ･故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け･配線は、事故･火災･ケガ･故障の原因になります。


禁止

分解･改造をしない
特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故･火災･感電の原因になります。


禁止

視界を妨げる場所、ハンドル･変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない
事故･ケガの原因になります。

取り付け･アース接続には、ハンドル･ブレーキ･タンクなどのボルトやナットを使わない
制動不能･火災の原因になります。

助手席エアバッグの近くに取り付け･配線をしない
エアバッグの動作を妨げ、死亡事故･ケガの原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ･タンク･電気配線などを傷つけない
事故･火災の原因になります。

⚠注意


強制

車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける
ネジが緩み、事故･故障の原因になります。

コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないよう配線する
断線やショートにより、感電･火災の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、確実に固定する
付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故･故障の原因になります。


禁止

コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因になります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない
火災や感電の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない
火災･故障の原因になります。

通風孔･放熱板をふさがない
火災･故障の原因になります。

使用方法

⚠警告


強制

ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る
事故･火災･故障の原因になります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける
交通事故の原因になります。テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らない
交通事故の原因になります。警察や消防署、病院などに連絡をして、状況に応じて場所などの確認を行ってください。

探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、事故や災害を避けるために、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。

カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う
カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。

安全のために必ずお読みください(3/4)


禁止

故障や異常な状態のまま使用しない
音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、必ず販売店(かサービス相談窓口)に相談する。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因になります。

運転中は操作をしたり、画面を見ない
交通事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、必ず安全な場所に停車してください。

カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。

⚠注意


強制

実際の交通規制に従って運転する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

新旧の電池を混ぜない、指定外の電池を使用しない、極性に注意して指示通り入れる
電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。


禁止

車以外には使わない
感電・ケガの原因になります。

メディア挿入口、モニターの開閉時のすきま等の機器内部に、指や異物を入れない
ケガ・故障の原因になります。

落下させる、たたくなどの強い衝撃を与えない
故障・火災の原因になります。

大きな音量で使用しない
車外の音が聞こえないことによる交通事故・故障または聴力障害の原因になります。



カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため注意して使用する
事故の原因になります。

取り扱い上のご注意

使用上のお願い

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない
- 本機側の雑音や誤動作の原因になったり、電話や無線機の正常な送受信ができなくなる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをおすすめします。
  また、リモコンスターター・カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。
- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーを本機に近づけると、キーレスエントリーシステムがキーを認識しなくなる場合があります。
  また、キーを本機やBLUETOOTHオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。

測位状態が安定してから走行する
- GPSを測位してから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

無理な力を加えない
- 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

お手入れは乾いた布を使う
- お手入れは乾いた布か堅く絞った布でふいてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない
- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

可動部分の動作中は操作をしない
- ディスプレイ開閉や角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について
- 可動ディスプレイの裏面が暖かくなりますが、故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる
- 可動ディスプレイが開ききった状態では走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

可動ディスプレイについて
- 濡れたままの手や手袋をつけた手では操作しないでください。正常に動作しない場合があります。

お知らせ

本機は国内で使う
- 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

安全のために必ずお読みください(4/4)

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分もアルパイン株式会社の書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、また電子的･機械的･録音･その他のいかなる手段によっても、コピー･検索システムの記憶･転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影･印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布(シリコンクロスなど)でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。
  液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押したりしないでください。
- ベンジン･アルコール･シンナーは使用しないでください。変色･変質の原因になります。

⚠注意

- **本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。**

⚠ご使用前にお読みください

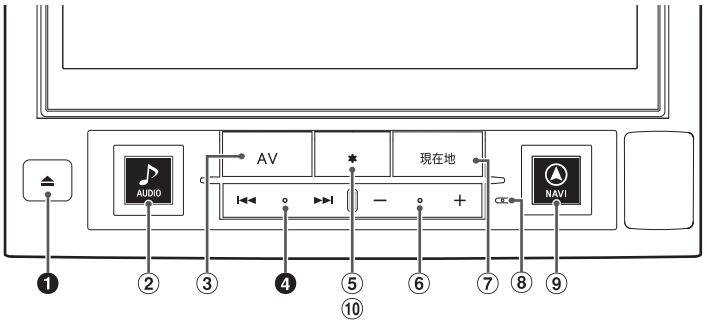
- 本機には、交通規制データが収録されておりますが、運転に際しては、必ず現場の交通規制標識･掲示板等を確認し、もしデータと違うときには、現場の標識･掲示板等に従ってください。
- 運転中の操作は大変危険です。必ず停車中に操作してください。
- 情報の最終更新年月が地域によって格差があるため、ある特定地域での道路の整備状況によっては、未収録や更新されていない場合があります。
  天変地異による規制には対応しておりません。該当する周辺を走行する際には、警察･交通情報センター等へご確認ください。
- 本機を使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害についても、弊社はその責任を一切負いかねます。
- 本機収録の内容に誤字･脱字･位置ずれ等の表記または内容に関する誤りに対して、取り替え･代金の返却はいたしかねます。
- 本機収録の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本機に含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

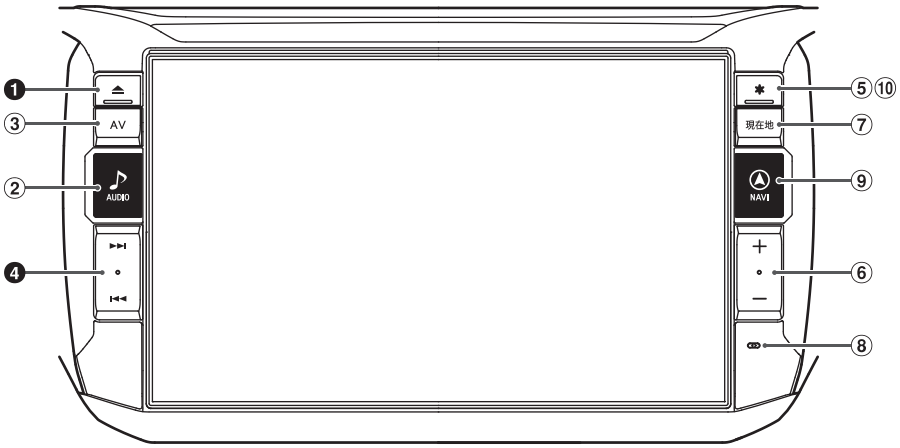
各部の名称とはたらき(1/6)

取り付け車種によりスイッチ形状･配列･名称が異なります。下記イラストはイメージであり実際の製品と異なる場合があります。

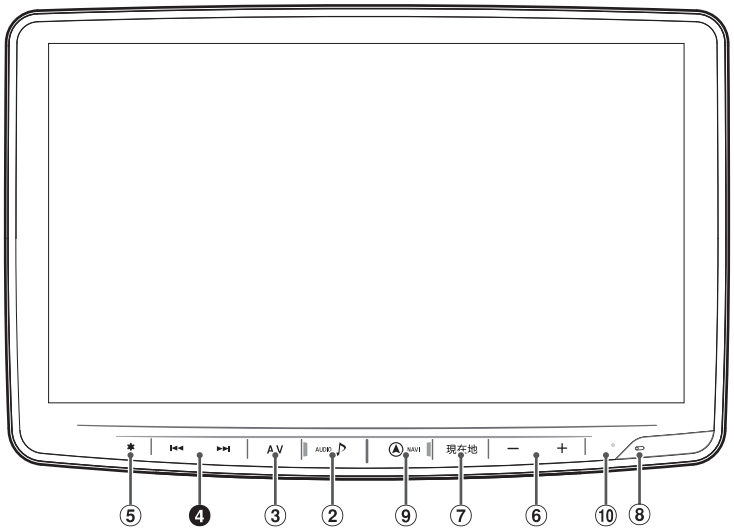
- お車がステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の本体スイッチ操作を割り当てることができます(「ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する」38ページ)。

EX11Zシリーズ本体スイッチ





XF11Zシリーズ本体スイッチ

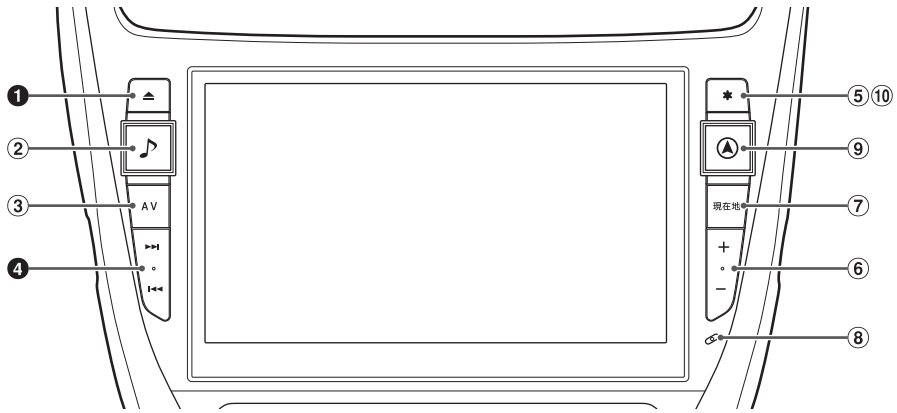


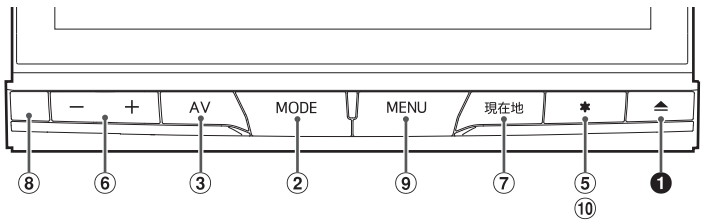
各部の名称とはたらき(2/6)

取り付け車種によりスイッチ形状・配列・名称が異なります。下記イラストはイメージであり実際の製品と異なる場合があります。

- お車がステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の本体スイッチ操作を割り当てることができます(「ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する」38ページ)。

EX10Z/EX9Zシリーズ本体スイッチ





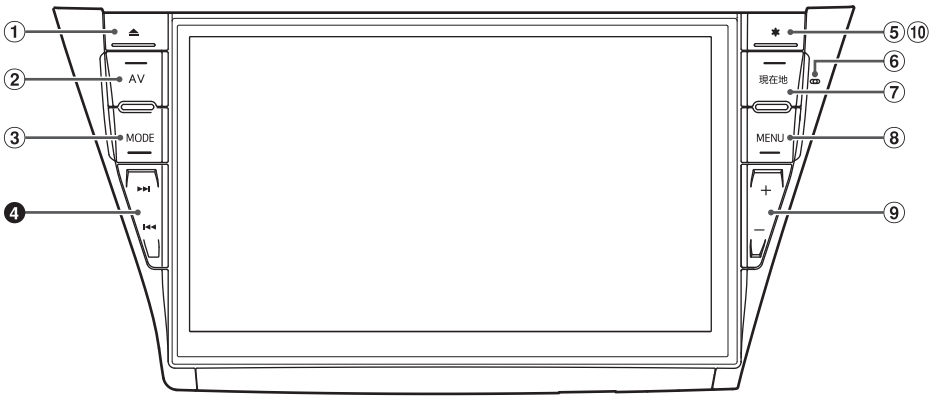
❶	**ディスプレイ開閉スイッチ** ディスプレイを開閉します。 2秒以上押すと角度調整画面を表示します。角度調整画面で UP または DOWN をタッチして、見やすい角度(6段階調整可能)にすることができます。 • モデルによってはこのスイッチがありません。	⑥	**音量調整スイッチ** オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。
②	**AVソースメニュースイッチ** AVソースメニュー画面を表示します。	⑦	**現在地画面表示スイッチ** 現在地画面を表示します。ルート案内中に自車位置画面で押すと音声案内を行います。また、地図画面下部の現在地名/道路名表示を切りかえます。
③	**AV画面呼び出しスイッチ** 現在再生・視聴中の画面に戻ります。 2秒以上押すとオーディオ・ビジュアルソースのONとOFFを切りかえます。	⑧	**ハンズフリーマイク** ハンズフリーマイクが内蔵されています。ハンズフリー通話、またはダブルゾーンコミュニケーションモード時にお使いください。
❹	**選局・選曲スイッチ** 選局・選曲を行います。 2秒以上押すと早送り/早戻しを行います。 • モデルによってはこのスイッチがありません。	⑨	**ナビメニュースイッチ** ナビメニュー画面を表示します。目的地探索時に使用してください。
⑤	**オプションキースイッチ** オプションキー設定で設定された機能を呼び出します(35、130ページ)。 <初期設定値> 1回押し:ボイスタッチワード一覧 長押し:1.ダブルゾーンコミュニケーション、2.画面OFF、3.ミュート	⑩	**セキュリティインジケーター** セキュリティ設定をONにすると、ACC電源OFF時にセキュリティインジケーターとして点滅します。 • モデルによって点滅箇所が異なります。

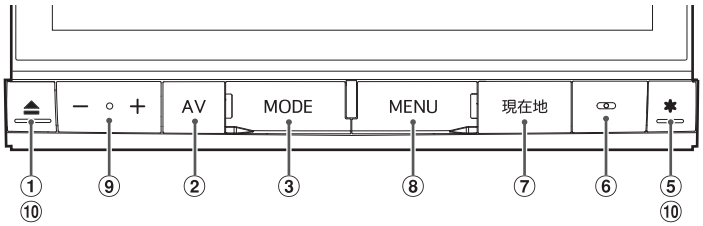
各部の名称とはたらき(3/6)

取り付け車種によりスイッチ形状・配列・名称が異なります。下記イラストはイメージであり実際の製品と異なる場合があります。

- お車がステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の本体スイッチ操作を割り当てることができます(「ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する」38ページ)。

EX9Zシリーズ本体スイッチ





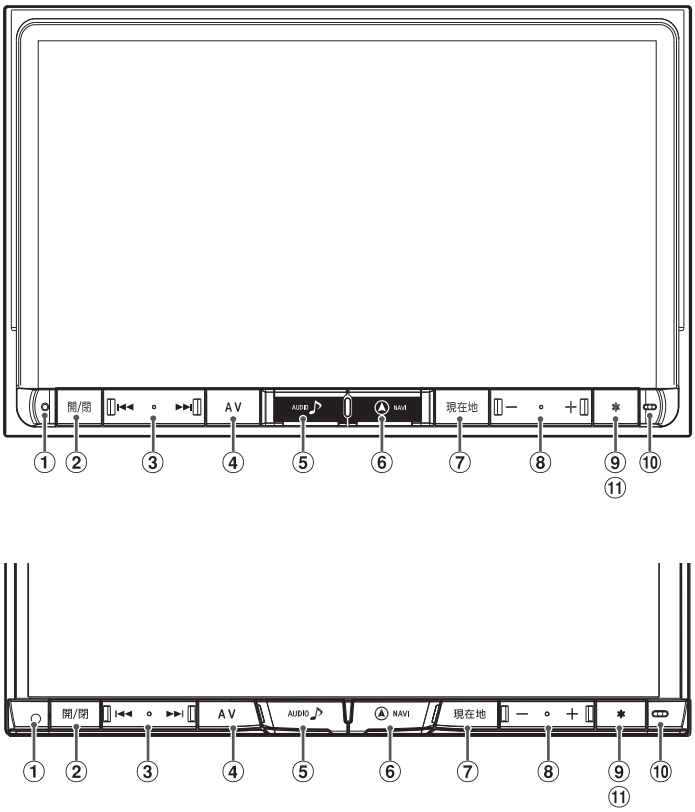
①	**ディスプレイ開閉スイッチ** ディスプレイを開閉します。 2秒以上押すと角度調整画面を表示します。角度調整画面で UP または DOWN をタッチして、見やすい角度(6段階調整可能)にすることができます。	⑥	**ハンズフリーマイク** ハンズフリーマイクが内蔵されています。ハンズフリー通話、またはダブルゾーンコミュニケーションモード時にお使いください。
②	**AV画面呼び出しスイッチ** 現在再生・視聴中の画面に戻ります。 2秒以上押すとオーディオ・ビジュアルソースのONとOFFを切りかえます。	⑦	**現在地画面表示スイッチ** 現在地画面を表示します。ルート案内中に自車位置画面で押すと音声案内を行います。また、地図画面下部の現在地名/道路名表示を切りかえます。
③	**AVソースメニュースイッチ** AVソースメニュー画面を表示します。	⑧	**ナビメニュースイッチ** ナビメニュー画面を表示します。目的地探索時に使用してください。
❹	**選局・選曲スイッチ** 選局・選曲を行います。 2秒以上押すと早送り/早戻しを行います。 • モデルによってはこのスイッチがありません。	⑨	**音量調整スイッチ** オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。
⑤	**オプションキースイッチ** オプションキー設定で設定された機能を呼び出します(35、130ページ)。 <初期設定値> 1回押し:ボイスタッチワード一覧 長押し:1.ダブルゾーンコミュニケーション、2.画面OFF、3.ミュート	⑩	**セキュリティインジケーター** セキュリティ設定をONにすると、ACC電源OFF時にセキュリティインジケーターとして点滅します。 • モデルによって点滅箇所が異なります。

各部の名称とはたらき(4/6)

取り付け車種によりスイッチ形状・配列・名称が異なります。下記イラストはイメージであり実際の製品と異なる場合があります。

- お車がステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の本体スイッチ操作を割り当てることができます(「ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する」38ページ)。

X9Z/X9ZA/X8Zシリーズ本体スイッチ



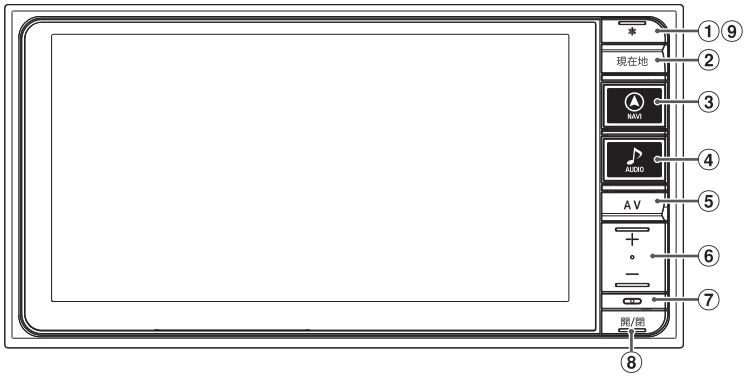
①	リセットスイッチ(33ページ)	⑦	**現在地画面表示スイッチ** 現在地画面を表示します。ルート案内中に自車位置画面で押すと音声案内を行います。また、地図画面下部の現在地名/道路名表示を切りかえます。
②	**ディスプレイ開閉スイッチ** ディスプレイを開閉します。 2秒以上押すと角度調整画面を表示します。角度調整画面で UP または DOWN をタッチして、見やすい角度(6段階調整可能)にすることができます。	⑧	**音量調整スイッチ** オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。
③	**選局・選曲スイッチ** 選局・選曲を行います。 2秒以上押すと早送り/早戻しを行います。	⑨	**オプションキースイッチ** オプションキー設定で設定された機能を呼び出します(35、130ページ)。 <初期設定値> 1回押し:ボイスタッチワード一覧 長押し:1.ダブルゾーンコミュニケーション、2.画面OFF、3.ミュート
④	**AV画面呼び出しスイッチ** 現在再生・視聴中の画面に戻ります。 2秒以上押すとオーディオ・ビジュアルソースのONとOFFを切りかえます。	⑩	**ハンズフリーマイク** ハンズフリーマイクが内蔵されています。ハンズフリー通話、またはダブルゾーンコミュニケーションモード時にお使いください。
⑤	**AVソースメニュースイッチ** AVソースメニュー画面を表示します。	⑪	**セキュリティインジケーター** セキュリティ設定をONにすると、ACC電源OFF時にセキュリティインジケーターとして点滅します。
⑥	**ナビメニュースイッチ** ナビメニュー画面を表示します。目的地探索時に使用してください。		

各部の名称とはたらき(5/6)

取り付け車種によりスイッチ形状・配列・名称が異なります。下記イラストはイメージであり実際の製品と異なる場合があります。

- お車がステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の本体スイッチ操作を割り当てることができます(「ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する」38ページ)。

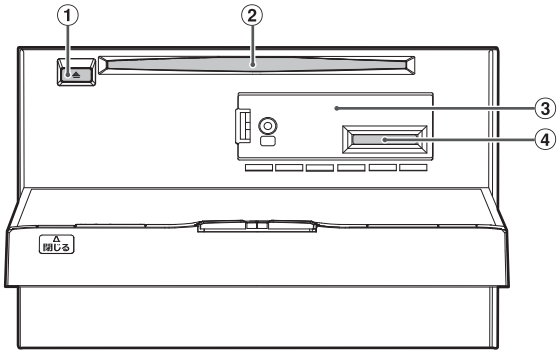
7WZシリーズ本体スイッチ



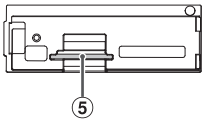
①	**オプションキースイッチ** オプションキー設定で設定された機能を呼び出します(35、130ページ)。 <初期設定値> 1回押し:ボイスタッチワード一覧 長押し:1.ダブルゾーンコミュニケーション、2.画面OFF、3.ミュート	⑥	**音量調整スイッチ** オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。
②	**現在地画面表示スイッチ** 現在地画面を表示します。ルート案内中に自車位置画面で押すと音声案内を行います。また、地図画面下部の現在地名/道路名表示を切りかえます。	⑦	**ハンズフリーマイク** ハンズフリーマイクが内蔵されています。ハンズフリー通話、またはダブルゾーンコミュニケーションモード時にお使いください。
③	**ナビメニュースイッチ** ナビメニュー画面を表示します。目的地探索時に使用してください。	⑧	**ディスプレイ開閉スイッチ** ディスプレイを開閉します。 2秒以上押すと角度調整画面を表示します。角度調整画面で UP または DOWN をタッチして、見やすい角度(6段階調整可能)にすることができます。
④	**AVソースメニュースイッチ** AVソースメニュー画面を表示します。	⑨	**セキュリティインジケーター** セキュリティ設定をONにすると、ACC電源OFF時にセキュリティインジケーターとして点滅します。
⑤	**AV画面呼び出しスイッチ** 現在再生・視聴中の画面に戻ります。 2秒以上押すとオーディオ・ビジュアルソースのONとOFFを切りかえます。		

各部の名称とはたらき(6/6)

ディスプレイオープン時(表示例:X8Z)



<地デジ用B-CASカード保護カバーを外した状態>



①	イジェクトスイッチ ディスクを取り出すことができます。ディスクが取り出せないときは、5秒以上押すとディスクが押し出されます。	④	SDカード挿入口 音楽用/登録地点保存用のSDHC/SDカードを挿入します。
②	DVD/CD挿入口	⑤	B-CASカード挿入口 miniB-CASカードを挿入します。
③	地デジ用B-CASカード保護カバー 外し方は「テレビを見る」(79ページ)を参照。		

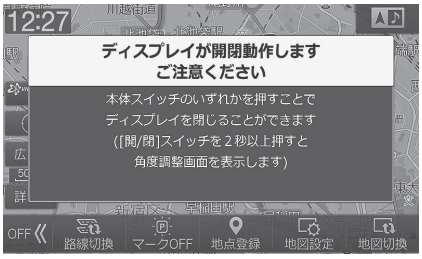
ディスプレイ開閉時の注意 (EX11Z/EX10Z/EX9Z/X9Z/X9ZA/X8Z/7WZシリーズのみ)

ご注意

シフトレバーに手を置いた状態で、ディスプレイ開閉動作をしないでください。
手を挟み込み、ケガの原因となる場合があります。

ディスプレイを開く際に **[開/閉]** / **[⏏]** スイッチを押すと下記のメッセージが表示され、警告音が鳴ってから約2秒後にディスプレイが開きます。

車種によっては手を挟み込むなどのケガの原因となる場合がありますので、ご注意ください。



ナビ・オーディオ操作モード時のスイッチについて

ナビ操作/オーディオ操作スイッチについて

地図画面下部の操作スイッチは、切換スイッチをタッチしてナビ操作モードとオーディオ操作モードを切りかえることができます。



今いる場所または道路名を確認できます。
[現在地] スイッチを押して表示を切りかえます。

ルート
ルート案内中に、ルートの確認やルートの編集を行うことができます。

自宅
自宅へ誘導します。自宅が登録されていない場合は、登録画面が表示されます。

お気に入り周辺検索
施設(コンビニエンスストア・ファーストフード・ファミリーレストラン・ガソリンスタンド・駐車場・その他すべての施設)を検索します。目的地・経由地に設定することができます(42ページ)。目的地が未設定の場合は現在地周辺にある施設を検索します。



タイトル/ソース表示

トラックNo.・ファイルNo.・チャプター No.・受信チャンネル・受信周波数表示を表示します。

AVソース操作スイッチ

ミュート
タッチすると瞬時に音量が下がります。ミュート中は音量表示インジケーターが点滅します。

路線切換
ルート案内中、現在地周辺で並走する道路(一般道・高速道)がある場合、切りかえることができます。



地図切換
地図の表示のしかたを、1画面・2画面・行程ガイドから選択できます。

地図設定
左画面(1画面)と右画面で表示する地図を個別に設定することができます(10ページ)。

地点登録
カーソルのある地点をナビメニューの登録地点として登録します。

マークON・OFF
地図画面に表示されるランドマークをワンタッチで表示・非表示できます。マークが画面いっぱいに表示され、地図が見づらくなる場合などはマークOFFにしてください。



操作モードスイッチが表示OFFになります。
もう一度 ON>> にタッチすると 切換>> に切りかわります。

<ナビ操作モード/オーディオ操作モード切りかえについて>



タッチすると、ナビ操作モードとオーディオ操作モードを切りかえることができます。

電源ON・OFF/リセット/タッチスイッチ操作について

電源ON/OFFのしかた

車のエンジンをACCまたはONにすると、本機の電源も連動してONになります。電源が入るとオープニング画面と安全のためのご注意画面に続いて、モード画面(地図画面やCD画面など)が表示され、スイッチ照明が明るく点灯します。
表示されるモード画面は、前回の電源OFFにしたモード画面を表示します。例えばテレビ画面のときエンジンをOFFにすると、次回はテレビ画面で起動します。
車のエンジンをOFFにすると、本機の電源もOFFになります。

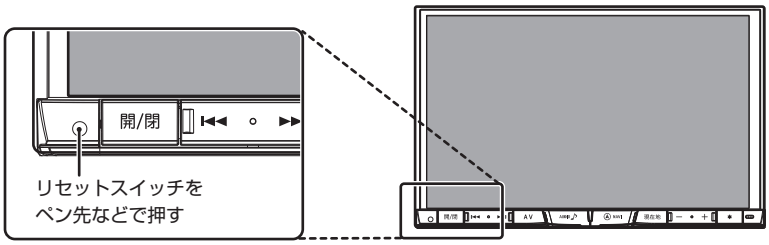
アドバイス

- 車種専用チューニング(134、206ページ)で選択した一部の車種にのみ、オープニング画像に合わせオープニングサウンドが適応されます。またオープニングサウンドは音量調整をすることができます。詳しくは「オープニングサウンド音量」(137ページ)を参照してください。
- 本機をアイドリングストップ機能付き車両で使用すると、アイドリングストップ状態から復帰するとき、瞬間的に本体スイッチが暗くなったり、音声が途切れる場合があります。

リセットするには(X9Z/X9ZA/X8Zシリーズのみ)

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなったままになるなど正常に動作しなくなった場合は、一度エンジンをOFF/ONしてください。それでも正常動作しない場合は本機をリセットしてください。

<表示例:X8Z>



タッチスイッチの操作について



操作するときはタッチスイッチに軽くタッチしてください。



操作できないタッチスイッチはグレーアウトしています。



選択されているスイッチはオレンジ色になります。



前の画面に戻ります。機能によってはタッチした画面で行った操作がキャンセルされる場合があります。

- 画面保護のため、必ず指でタッチしてください。
- ボールペンの先など、先端が硬いものや、とがっているもので操作しないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなったり、故障の原因となったりします。
- 液晶ディスプレイ画面に保護フィルムを貼り付ける場合には、アルパイン製のフィルムをご使用ください。

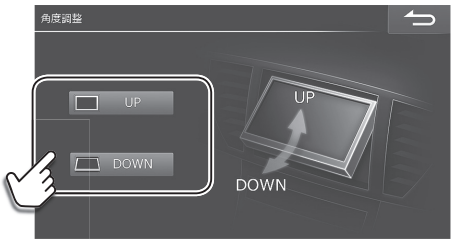
ディスプレイの角度調整

ディスプレイの角度調整のしかた

ディスプレイの角度を6段階で調整できます。見やすい角度でお使いください。

1 **[開/閉] / [⏏] スイッチを2秒以上押す**

2 **角度調整画面で UP または DOWN をタッチして、好みの角度に調整する**

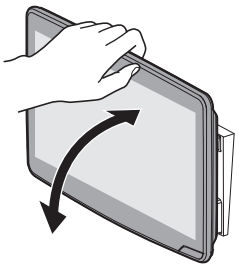


＜XF11Zシリーズのみ＞

ディスプレイの角度調整を手動で行います。

1 **ディスプレイ上部を持ち、手動で角度を調整する**

- ディスプレイ開閉時/角度調整時に画面にタッチしてしまうことでの誤操作を防止することができます（128ページ）。
- 左右方向の調整はできません。



オプションキー操作について

よく使う機能(例えば、ミュートやハンズフリーなど)を [＊] (オプションキー)に登録すると、[＊] (オプションキー)スイッチを押すだけで登録した機能を呼び出すことができます。

オプションキーに機能を登録する

オプションキーに機能を登録します。[＊] スイッチを押すだけで機能を呼び出しできる「**1回押し**」と、[＊] スイッチを1秒以上押して、画面に表示される3つの機能から呼び出す機能を選べる「**長押し**」の2種類に登録ができます。

初期設定値

1回押し　：ボイスタッチワード一覧

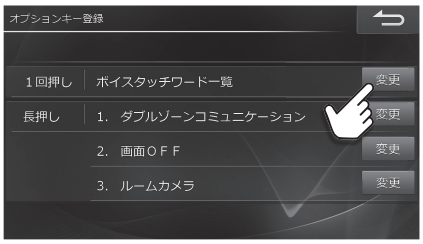
長押し※　：1. ダブルゾーンコミュニケーション、2. 画面OFF、3. ミュート

※ 接続する外部機器によって、初期設定値が異なります。ルームカメラが接続設定されているときは、自動的にオプションキーの長押し機能に登録されます。

• 設定･調整画面からも登録を行うことができます。「オプションキー」(130ページ)を参照してください。

1 **[＊] スイッチを1秒以上押し、画面右下の ＋ にタッチする**

2 **オプションキー登録画面で、変更したい機能の 変更 にタッチする**



3 **リストから希望の機能を選んでタッチする**

登録できる機能:

ダブルゾーンコミュニケーション･VICS割込み情報･ミュート･画面OFF･サイドカメラ(※)･コーナーカメラ(※)･ルームカメラ(※)･フロントカメラ(※)･インターフェースボックス AUX IN(※)･エネルギーモニター(※)･TVをみる･自宅に帰る(地図画面のみ操作可能)･後席個別ON/OFF･ダブルゾーンメニュー･ボイスタッチワード一覧

※ 未接続および接続なしに設定されているときは、選択リストに表示されません。

• 選択した機能が上書き登録されます。

• 「カメラダイレクトキー設定」(124ページ)を「あり」に設定している場合は、フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラは選択リストに表示されません。

「1回押し」登録リスト画面の場合:



登録した機能を呼び出す

<「1回押し」の場合>

1 **[＊] スイッチを押す**

• 登録した機能が呼び出されます。

<「長押し」の場合>

1 **[＊] スイッチを1秒以上押す**

2 **リストから希望の機能を選んでタッチする**

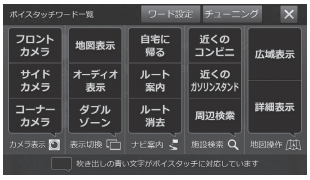
• 選んだ機能が呼び出されます。

ボイスタッチについて(1/2)

本機は限定音声認識機能であるボイスタッチを使用することができます。
ボイスタッチワードを本機が認識すると、定められた操作が自動で実行されます。例えば「フロントカメラ」と発話すると、自動でフロントカメラ映像画面が本機に表示されます。ボイスタッチワードを発話するだけで認識するため、スイッチ操作などを行う必要はありません。

アドバイス

- [＊](オプションキー)を押すと、ボイスタッチワード一覧を見ることができます。オプションキー1回押しの初期設定値には「ボイスタッチワード一覧」が登録されています(35ページ)。



- ボイスタッチワード一覧画面の ワード設定 チューニング にタッチすると、ボイスタッチワードに関する設定画面を表示することができます。設定内容については「ボイスタッチワード設定」「ボイスタッチチューニング」(128ページ)を参照してください。
- ボイスタッチワードはそれぞれON/OFFを選ぶことができます。すべてのワードを一括でON/OFFすることもできます。(「ボイスタッチワード設定」128ページ)。会話の中にボイスタッチワードが出てきて本機が意図せずに動作するような場合は、不要なボイスタッチワードをOFFに設定してください。
- ボイスタッチ機能の認識率が悪い、または誤検出が多い場合は、「ボイスタッチチューニング」(128ページ)で調整することができます。
- ハンズフリー通話中、ダブルゾーンコミュニケーション中、本機データ更新中はボイスタッチを使用することはできません。

<操作例:近くのコンビニを探す>



本機が音声を認識

検索リスト画面表示(37ページ参照)



ボイスタッチワード	本機の動作
フロントカメラ※	フロントカメラ映像画面表示
サイドカメラ※	サイドカメラ映像画面表示
コーナーカメラ※	コーナーカメラ映像画面表示
地図表示	地図画面表示
オーディオ表示	オーディオメイン画面表示
ルート案内	ルート案内中に音声案内を行う
ルート消去	確認画面が表示され、「消去する」と発話するとルートが消去される
自宅に帰る	自宅に帰るルートが検索され、確認画面で「設定する」と発話するとルート設定
広域表示	地図画面表示時、地図を縮小して広域地図を表示
詳細表示	地図画面表示時、地図を拡大して詳細地図を表示
ダブルゾーン	ダブルゾーンメニュー画面表示
周辺検索	現在地画面/オーディオ画面表示時、周辺の施設選択画面表示
近くのコンビニ	現在地画面/オーディオ画面表示時、周辺のコンビニリスト画面表示
近くのガソリンスタンド	現在地画面/オーディオ画面表示時、周辺のガソリンスタンドリスト画面表示
キャンセル	交差点拡大図・ETC・VICSの割り込み画面表示時に割り込み画面解除/前の画面に戻る

※ 未接続および接続なしに設定されているときはカメラ映像画面を表示することはできません。

- リアカメラ接続時、シフトレバーがバックギア(R)に入っているときはフロントカメラ映像を表示することはできません。

ボイスタッチについて(2/2)

ボイスタッチワードを受け付けると、受付音が鳴りVOICE TOUCHアイコンが2秒間表示されます。



カメラ映像表示ではさらにビューの切りかえ、カメラの切りかえを行うことができます。周辺検索では表示されたリストもボイスタッチで操作することができます。

- 「キャンセル」と発話すると、操作を途中でやめることができます。
- ボイスタッチワードスイッチは、画面をタッチするタッチ操作でも操作することができます。ただし走行中の検索リスト画面は、タッチ操作を行うことはできません。

<カメラ映像を表示する>

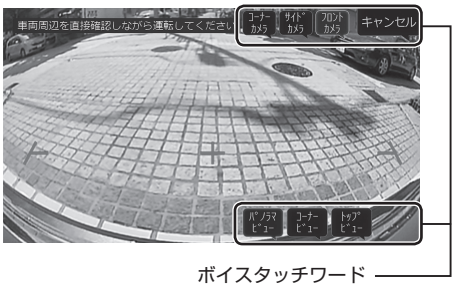
発話するだけでカメラ映像を表示します。カメラ映像表示中に、ビューの切りかえ、カメラの切りかえを行うことができます。

1 装着しているカメラ(「フロントカメラ」「サイドカメラ」「コーナーカメラ」)を発話する

カメラ映像が表示されます。

2 カメラまたは映像パターンを切りかえるには、カメラ映像に表示されているボイスタッチワードを発話する

- マルチビューカメラ接続時に映像パターンを切りかえることができます。表示可能なビューはカメラによって異なります。
- 映像パターン切りかえのボイスタッチワードスイッチは約4秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。映像パターン切りかえ後もスイッチ表示が消えます。
- 映像パターン切りかえのボイスタッチワードが表示されていないときも、ボイスタッチで映像パターンを切りかえることができます。



<周辺施設を検索する>

現在地画面またはオーディオ画面表示中に、近くにある施設を検索することができます。

- コンビニとガソリンスタンド検索時は、手順1は不要です。「近くのコンビニ」「近くのガソリンスタンド」と発話すると、検索することができます。

1 現在地またはオーディオ画面表示中に「周辺検索」と発話する

施設選択画面が表示されます。

- 現在地/オーディオ画面を表示するには、「地図表示」/「オーディオ表示」と発話します。

2 行きたい施設を選んで、画面に表示されているボイスタッチワード(「近くのファミレス」など)を発話する

施設リスト画面が表示されます。



3 1番上に表示されている施設を目的地に設定する場合は「ここにいく」と発話する。真ん中に表示されている施設に行く場合は「真ん中にいく」、一番下に表示されている施設に行く場合は「一番下にいく」と発話する

- ルート案内中はルート周辺の施設リストを表示することができます。「ルート周辺」「現在地周辺」と発話すると、リスト画面が切りかわります。
- 「前のページ」「次のページ」と発話すると、リスト画面が切りかわります。



ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する

お車がステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の操作を割り当てることができます。

たとえば、あらかじめカメラ表示機能を割り当てておくことで、ステアリングリモコン操作でハンドルから手を離すことなくカメラ映像を表示させることができます。

アドバイス

- 機能を割り当てることができるステアリングリモコンのキーは、ボリュームアップ/ダウンキー、MODEキー以外のキーです(MODEキー名称は車種により異なります)。
- 機能割り当て操作は、「ステアリングリモコン」「ステアリングリモコンキー割り当て」(123ページ)を参照してください。

登録できる機能:

AV画面表示・AVソースメニュー画面表示・ナビメニュー画面表示・地図表示/現在地表示/ルート案内・トラックアップ・トラックダウン・AVソース切替・電話に出る・電話を切る・ダブルゾーンコミュニケーション・VICS割込み情報・ミュート・画面OFF・サイドカメラ(※)・コーナーカメラ(※)・ルームカメラ(※)・フロントカメラ(※)・インターフェースボックス AUX IN(※)・ＴＶをみる・自宅に帰る(地図画面のみ操作可能)・後席個別ON/OFF・ダブルゾーンメニュー・ボイスタッチワード一覧

※ 未接続および接続なしに設定されているときは、選択リストに表示されません。

- 「カメラダイレクトキー設定」(124ページ)を「あり」に設定している場合は、フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラは選択リストに表示されません。
- 下記の機能は本機の本体スイッチと同様に動作します。

機能名	本機本体スイッチ
AV画面表示	**【AV】** スイッチ
AVソースメニュー画面表示	**【MODE】【♪ AUDIO】** スイッチ
ナビメニュー画面表示	**【MENU】【▲ NAVI】** スイッチ
地図表示/現在地表示/ルート案内	**【現在地】** スイッチ
トラックダウン	**【◀◀】** スイッチ
トラックアップ	**【▶▶】** スイッチ

1 ステアリングリモコンのMODEキーを1秒以上押す

- ステアリングリモコンカスタムモードになり、カスタムインジケーターが点灯します。



2 機能を割り当てたステアリングリモコンのキーを押す

- ステアリングリモコンカスタムモードでは、長押し操作を行うことはできません。

3 ステアリングリモコンカスタムモードを解除するには、ステアリングリモコンのMODEキーを押す

- クイックセットアップで車種が設定されていない場合、設定された車種にステアリングリモコン設定がない場合、また「ステアリングリモコン」設定(123ページ)を「設定しない」に設定している場合は本機機能を使用することはできません。

ルート案内を開始する―メニューから目的地を探索する

施設の名称や住所などから目的地を探してルート案内を開始します。

1 **[MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押してナビメニュー検索画面から探索方法を選んで目的地を探す**

- ナビメニューについては「ナビメニュー画面について」(44ページ)を参照してください。



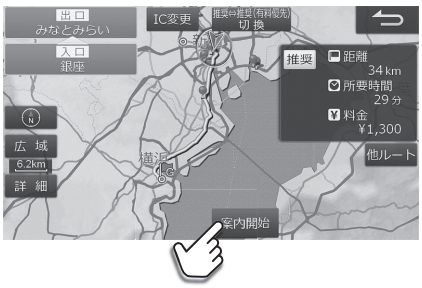
2 **目的地** をタッチする

- 目的地がすでに設定されている場合は **経由地** にタッチすると探索した地点を経由地に設定します。
- 表示されるルート探索結果画面については47ページを参照してください。



3 **案内開始** をタッチする

- ルート探索条件はクイックセットアップ(2、3ページ)、優先探索ルート(120ページ)で設定したルートとなります。
- **他ルート** にタッチして、他の探索条件のルートを選択することができます。他ルートについて詳しくは47ページを参照してください。
- 設定されたルートの詳細は「ルート確認・編集画面」(48ページ)で確認してください。



リルートについて

ルート案内中に道を間違えて別の道に入ったときは、適切なルートを自動的に再探索して案内を続けます。

- 自動でリルートされないときはルート案内画面で **ルート** → **リルート** をタッチしてください。

ルート案内を途中でやめるには

目的地に着く前にルート案内を途中でやめることができます。ナビメニュー画面の **ルート消去** 、またはルート案内画面の **ルート** → **ルート消去** にタッチしてください。

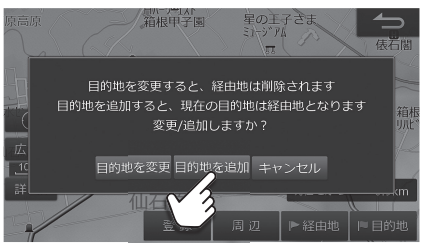
目的地を追加する

すでに設定されている目的地を経由地に変更して、新たに探索した地点を目的地に設定することができます。

1 目的地探索結果画面で **目的地** にタッチする

2 **目的地を追加** にタッチする

- 経由地が5箇所設定されている場合は、**目的地を追加** は表示されません。
- **目的地を変更** にタッチすると、すでに設定されている目的地・経由地をすべて削除して新しい目的地に設定します。



ルート案内を開始する―地図で目的地を探索する

地図上の任意の地点を目的地に設定してルート案内を開始します。

1 地図を動かして目的地にしたい地点を表示し、そこをタッチする

- 地図の動かし方は4ページを参照してください。
- 地図を拡大すると目的地を正確にタッチできます。地図の拡大・縮小については、ピンチイン・ピンチアウト操作（4ページ）、縮尺の変更（地図スケール切りかえ）について（5ページ）を参照してください。



2 目的地 をタッチする



3 案内開始 をタッチする

- ルート探索条件はクイックセットアップ（2、3ページ）、優先探索ルート（120ページ）で設定したルートとなります。
- 他ルート にタッチして、他の探索条件のルートを選択することができます。他ルートについて詳しくは47ページを参照してください。
- 設定されたルートの詳細は「ルート確認・編集画面」（48ページ）で確認してください。



地図上の地点を経由地に設定する

目的地まで自分の好きな道を通って行きたいときは、地図を動かして通りたい地点を経由地として設定してください。経由地は最大5か所まで設定できます。

1 地図を動かして任意の地点をタッチし、経由地 をタッチする

2 未登録 をタッチする

- ルートが自動的に再探索され、案内が開始されます。
- 経由地は「経由地編集」（49ページ）でも設定できます。
- すでにセットされている経由地をタッチすると、新たに指定した経由地が上書きされます。



ルート案内を開始する―目的地周辺の施設を経由地として探索する

目的地探索結果画面から、周辺の施設を経由地に設定することができます。経由地は最大5か所まで設定できます。

1 目的地探索結果画面で 周辺 にタッチする



2 施設を選んでタッチする

- 表示されていないジャンルを選択する場合は その他ジャンル から選択してください。 その他ジャンル をタッチすると周辺の全ての施設を検索することができます。



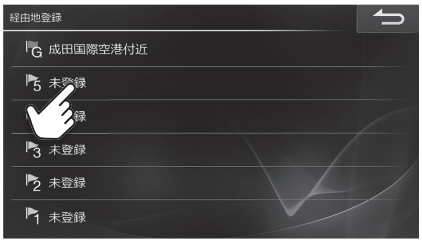
3 経由地 をタッチする

- 選んだ施設が経由地に設定されます。



4 経由地1 ～ 5いずれかの 未登録 をタッチする

- ルートが自動的に再探索され、案内が開始されます。
- 経由地は「経由地編集」(49ページ)でも設定できます。
- すでにセットされている経由地をタッチすると、新たに指定された経由地が上書きされます。



ルート案内を開始する―お気に入り周辺検索(1/2)

現在地・ルート・目的地周辺のよく使う施設(コンビニエンスストア(コンビニ)・ファーストフード・ファミリーレストラン・ガソリンスタンド・駐車場)を簡単に検索することができます。

1 [現在地] スイッチを押して お気に入り をタッチする



2 行きたい施設アイコンをタッチする



- 目的地がすでに設定されている場合は、ルート周辺にある施設を検索します。
- コンビニ全て 駐車場全て にタッチすると全てのコンビニエンスストア・駐車場を検索することができます。
- その他 をタッチすると現在地周辺の全ての施設を検索することができます。
- 画面に表示する施設アイコンはカスタマイズすることができます。配置変更 をタッチするとお気に入り周辺検索カスタマイズ画面が表示され、施設アイコンの配置変更ができます。「お気に入り画面をカスタマイズする」(43ページ)を参照してください。

3 現在地周辺にある施設一覧が表示される。行きたい施設をタッチする



- 現在地から近い順に、最大40件まで表示されます。
- ルート案内中は、ルート周辺・目的地周辺の施設一覧も表示することができます。タブをタッチして表示を切りかえます。
- ルート案内中はルート周辺の施設を最初に表示します。
- コンビニエンスストア、デパート、ガソリンスタンドを検索したときは、施設のリスト画面で 営業時間考慮 をタッチして時刻を入力すると、営業中かどうかを確認することができます。営業していない店舗のアイコンには「閉」と表示されます。
  営業時間を考慮せずに全ての施設を表示する場合は 指定無し をタッチします。
- 駐車場を検索したときは、駐車場のリスト画面で 車両情報考慮 をタッチすると車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。
- 目的地がすでに設定されている場合は、選択した施設を経由地に設定することができます。

<営業が終了している場合の表示例>



4 目的地 → 案内開始 の順にタッチする



- ルート探索条件はクイックセットアップ(2、3ページ)、優先探索ルート(120ページ)で設定したルートとなります。
- 走行すると自動的に案内が開始されます。
- 他ルート をタッチすると6ルート探索結果画面が表示されます。
- 目的地がすでに設定されている場合は、経由地 にタッチすると経由地登録されます。目的地 にタッチすると目的地変更となります。

ルート案内を開始する―お気に入り周辺検索(2/2)

お気に入り画面をカスタマイズする

お気に入り周辺検索画面に表示されるブランドのアイコン位置を入れかえることができます。また、表示させるアイコンをリストから選ぶことができます。

1 **[現在地]** スイッチを押して現在地画面を表示し、お気に入り にタッチする



2 配置変更 にタッチする



3 位置を入れかえたいアイコン2つを続けてタッチする

- アイコンの位置が入れかわります。



4 表示させるブランドを変更する場合は、表示項目変更 にタッチする

5 表示されたリストから、お気に入り周辺検索画面に表示したいブランドを選択する

- すでに選択されているブランドにタッチすると、選択が解除されます。
- 最大8個まで選択できます。選択されたブランドは画面上部に表示されます。



6 選択が終わったら 完了 にタッチし、再度 完了 にタッチする

ナビメニュー画面について(1/3)

ナビメニュー画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押すと表示されます。





	都道府県名から順に住所を選んで目的地を探します。	• 町名・丁目・番地などの選択画面で 数字入力 をタッチすると、番地などを直接入力することができます。
	施設名の先頭から数文字分の読みを入力して目的地を探します。読みは数字や英字もかなで入力してください。 例)「1」→「いち」・「Z」→「ぜっと」	• 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索されます。 • 該当する施設が表示されないときは別の読み方で再度検索してください。登録されている名称は通称とは異なる場合があります。 • 件数が多い場合は、ジャンルや地域を指定したりキーワードを入力したりして絞り込むことができます。 • 検索結果のリスト画面を距離順、または50音順に並べかえることができます。 距離順▼ にタッチしてから 50音順 にタッチすると、リストが50音順表示になります。 50音順▼ にタッチしてから 距離順 にタッチするとリストが距離順表示になります。 • 文字入力のしかたについては176ページを参照してください。
	自宅へ帰るルートを自動的に設定します。	• 自宅が登録されていない場合は自宅登録画面が表示されます。 自宅の位置まで地図をスクロールして 登録 をタッチすると自宅が登録されます。または地点登録画面ー 特別地点 からも登録することができます(57ページ)。
	電話番号を入力して目的地を探します。施設の電話番号のほか、個人の電話番号からも検索できます。	• 電話番号は市外局番から入力してください。 • 入力した電話番号が個人の電話番号と一致したときは個人名入力画面が表示されます。名字をひらがなで入力してください。入力した電話番号が電話帳の名字と一致しない場合は検索できません。 • 電話番号が正確にはわからないときは、市外局番と市内局番のみを入力しておおよその地図を表示し、そこから地図を動かして目的の施設などを探すことができます。
	緯度・経度を入力して目的地を探します。	• 緯度や経度が一桁のときは「01」のように頭に「0」を付けて二桁で入力してください。
	郵便番号で検索すると代表地点の地図が表示されます。	• 郵便番号は7桁で入力してください。 • さらに住所を絞り込みたいときは代表地点の地図上で 住所検索 をタッチすると住所を指定して目的地を検索できます。

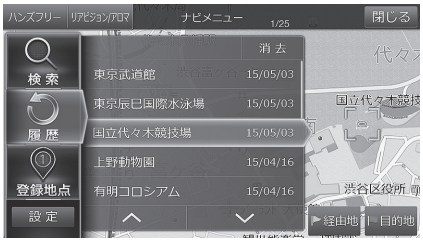
ナビメニュー画面について(2/3)

	現在地周辺・ルート周辺・案内地周辺の施設をジャンルから探します。	• ルート周辺と案内地周辺は目的地を設定していないと選択できません。 • 現在地周辺・ルート周辺検索の場合は現在地から近い順に、案内地周辺検索の場合は案内地から近い順に最大40件まで表示されます。 • 駐車場を検索したときは、駐車場のリスト画面で 車両情報考慮 をタッチすると車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。あらかじめ車種の情報を登録しておいてください(119ページ)。 • ガソリンスタンド、デパート、コンビニエンスストアを検索したときは、施設のリスト画面で 営業時間考慮 をタッチして時刻を入力すると、営業中かどうかを確認することができます。 指定無し をタッチすると、営業時間に関わらず施設を表示します。
	ジャンルと都道府県名を選んで目的地を探します。	• 充電スタンドまたは駐車場を検索したときにVICS情報がある場合、本機内蔵データまたはVICS情報を選択して検索することができます。本機内蔵データから検索する場合は 充電スタンドデータ または 駐車場データ、VICS情報から検索する場合は VICS充電施設情報 または VICS駐車場情報 のいずれかにタッチし検索してください。 VICS情報については「VICS情報画面について」(151ページ)を参照してください。 • 検索結果のリスト画面を50音順、または距離順に並べかえることができます。 50音順▼ にタッチしてから 距離順 にタッチすると、リストが距離順表示になります。 距離順▼ にタッチしてから 50音順 にタッチするとリストが50音順表示になります。
	レジャーガイドなどに掲載されているマップコードを使って目的地を探します。	• マップコードとは日本全国の位置情報を6桁～ 10桁の数字で表したものです。10桁までの標準マップコードに加え、「*」のあとに2桁まで追加することで高度な検索ができます。住所や電話番号では特定できない河川や観光地もマップコードを指定すると目的地として設定できます。 • マップコードは以下のホームページでも調べることができます。 http://www.e-mapcode.com
	観光地などおよその目的地はあってもそこでの施設名を特定していないようなときや、目的地の住所が正確にはわからないようなときは、地名の読みを入力して代表地点の地図を表示し、地図を動かして目的地を探すことができます。	• 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索されます。 • 件数が多い場合は絞り込みできない場合があります。 • 文字入力のしかたについては176ページを参照してください。
	電話操作画面を表示します。	• 詳しくは「電話をかける」(67ページ)を参照してください。
	リアビジョン/アロマ画面を表示し、リアビジョン/アロマに関する設定を行います。	• 詳しくは「リアビジョンについて」(166ページ)を参照してください。
	本機に関するさまざまな設定操作を行うことができます。	• 詳しくは「6. 設定・調整」(115 ～ 143ページ)を参照してください。
	ナビメニュー画面に表示するアイコンを自由に並べかえすることができます。	• 詳しくは「ナビメニューカスタマイズ画面について」(10ページ)を参照してください。
	Wi-Fi通信や各種メディアを使用して本機のデータ更新を行うことができます。 車両および本機に関する各種情報の確認・編集操作や車のメンテナンスに役立つ設定を行うこともできます。	• 地図データ・Gracenoteデータベース・車種専用チューニング/プログラムデータなどのダウンロードもここで行います。詳しくは「7. 情報・更新」(144ページ)を参照してください。
	ルート案内中のルートを消去します。	

ナビメニュー画面について(3/3)

<履歴画面について>

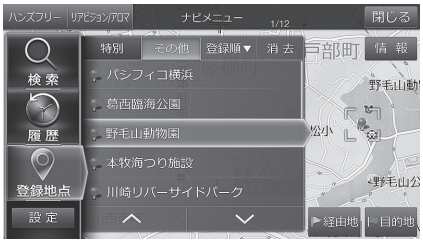
ナビメニュー画面で 履歴 にタッチすると過去に設定した目的地や経由地を再度目的地に設定することができます。
目的地履歴は新しいものから順に最大200件まで記録されます。



- 目的地履歴には施設や地点名称と過去の設定日付が表示されます。
- リストから目的地履歴を選んで 消去 をタッチすると、選択した地点を消去できます。 消去 をタッチし続けるとすべての履歴を消去できます。

<登録地点画面について>

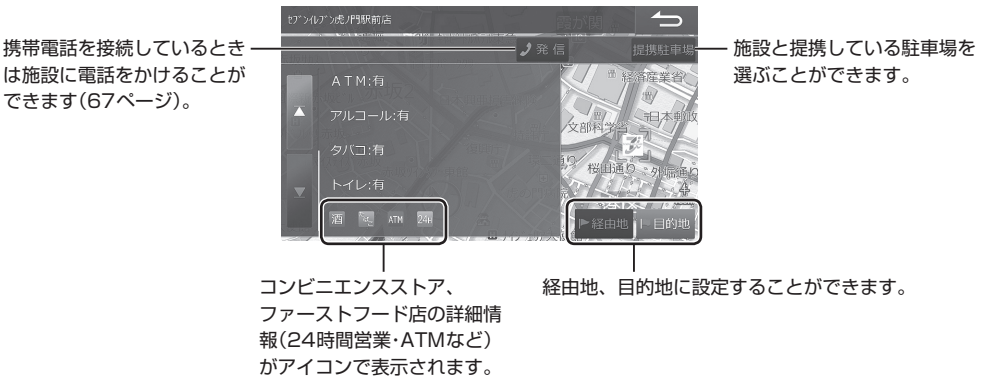
よく行く場所を登録(「地点登録」「特別地点」57ページ)しておくと、簡単にそこまでのルートを探索することができます。また、クイックセットアップで設定された自宅へのルート案内もできます。あらかじめ登録しておいた地点を目的地に設定します。



- 登録地点のリスト画面で その他 を選択すると、登録順・マーク順・距離順に並べかえることができます。 登録順▼ マーク順▼ 距離順▼ のいずれかにタッチしてから希望の表示方法にタッチしてください。

施設の詳細情報画面について

施設のリスト画面で 情報 にタッチすると、その施設に電話をかけたり、提携している駐車場を探したりすることができます。



ルート探索結果画面について

ルート探索結果画面は目的地や経由地を設定すると自動的に表示されます。 他ルート にタッチすると6ルート選択画面が表示されます。





6ルート
希望するルートを選択します。

推奨 2時間41分 209 km ¥5,400	VICS情報、ルート学習情報、目的地への到着時間と料金バランスなどを考慮したルートが探索されます。	• 推奨ルート選択時、推奨⇔推奨(有料優先)切替 にタッチして推奨ルートと有料道路優先推奨ルートを切りかえることができます。 • 推奨ルートの初期設定を有料道路優先にあらかじめ設定することができます(「有料道路優先」120ページ)。
一般 7時間6分 213 km ¥0	できるだけ一般道路を通るルートが探索されます。	• 自車位置が有料道路上にある場合など有料道路を通った方が良いと判断される場合は、有料道路を通るルートを探索することがあります。
チューニング 2時間32分 199 km ¥5,770	推奨ルートをベースとして、有料道路優先(全般)・有料道路優先(近距離)・広い道路優先・渋滞回避優先の各パラメーターをお好みでチューニングしたルートが探索されます。	• パラメーター調整については、「ルートチューニング」(120ページ)を参照してください。
幹線 2時間41分 209 km ¥5,400	できるだけ幹線道路を通るようにルートが探索されます。	
燃費 2時間41分 209 km ¥5,400	燃料消費量を節約するルートが探索されます。	• 燃費優先ルートが選択されている場合は、ルート探索時間が長くなることがあります。
別ルート 3時間30分 275 km ¥6,700	推奨・一般・チューニング・幹線・燃費以外のルートが探索されます。	• 他のルートと同じルートを探索する場合があります。
他ルート	6ルート選択画面が表示されます。	
推奨⇔推奨(有料優先) 切 換	推奨ルートと、有料道路優先推奨ルートを切りかえます。推奨ルート選択時のみ操作可能です。	• 推奨ルートの初期設定を有料道路優先にあらかじめ設定することができます(「有料道路優先」120ページ)。
IC変更	利用するインターチェンジを変更したいときにタッチします。	• 変更したいインターチェンジ名の 変更 にタッチします。▲▼◀▶ にタッチして利用したいインターチェンジ名を表示させ、インターチェンジ名または 登録 → 完了 にタッチします。 • インターチェンジを変更すると入口・出口インターチェンジが経由地として設定されます。 • 経由地削除を行うとインターチェンジの変更も解除されます。
規制考慮	冬期は通行止めになるなど、設定したルートに季節規制のある区間が含まれる場合、通行止めの区間を回避したいときにタッチするとルートが再探索されます。	• 冬期閉鎖区間を考慮してルート探索するかどうかをあらかじめ設定しておくこともできます(121ページ)。
案内開始	ルート案内が開始されます。	• 選択されているルートで 案内開始 をタッチせずに走行してもルート案内を開始します。

ルート確認・編集画面について(1/3)

ルート案内中に、ルートの確認やルートの編集を行うことができます。

ルート確認・編集画面はルート案内画面で ルート をタッチすると表示されます。

アドバイス

- 走行中は安全のため「ルート情報」・「ルートブラウザ」・「デモ走行」はタッチできません。安全な場所に停車してから操作してください。





目的地までの全ルートを高速道路のインターチェンジや経由地などで分割し、それぞれの区間距離や高速道路などの料金やインターチェンジの通過予想時刻などを一覧で表示します。

- 道路によっては料金が表示されない場合があります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した車速(「到着予想時刻速度設定」118ページ参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより誤差が生じることがあります。
- ルート情報で確認できる案内地点とマークについては、「ルート情報画面案内地点マーク一覧」(50ページ)を参照してください。



現在地から目的地までのルートと、乗り降りするインターチェンジが表示されます。

- 全ルート表示ではスクロール・方位変更・縮尺変更が行えます。3Dマップへの切りかえはできません。
- ルートの一部が画面に表示されない場合があります。



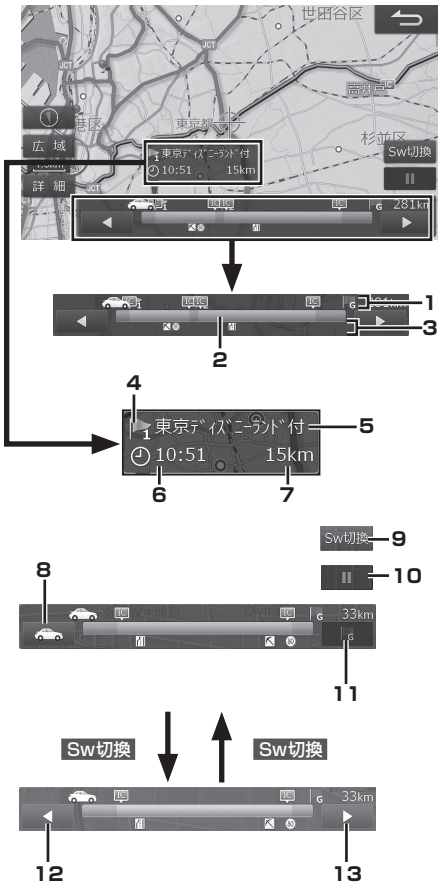
ルート探索後、目的地までのルートのデモを見ることができます。

- 実際に走行を開始するとデモ走行は終了します。
- デモ走行を終了するには **[MODE]** **[♪ AUDIO]** **[MENU]** **[▲ NAVI]** のいずれかのスイッチを押します。
- 方位・縮尺・地図表示方法を変更してデモ走行することができます。
- デモ走行の速度を変更することができます(119ページ)。
- 地図表示が3D表示の場合、ヘディングアップ表示に切りかえてデモ走行を開始します。
- デモ走行中は **[＊]** (オプションキー)操作など、一部の機能は操作できません。

ルート確認・編集画面について(2/3)



ルートブラウザではルートに沿って地図を目的地までスクロールすることができます。



1. **ルート情報表示**

   現在地・経由地・目的地・乗り降りインターチェンジ・フェリー乗り場をマークで表示します。経由地・目的地・フェリー乗り場のマークにタッチすると情報を表示します。

2. **ルート行程表示**

   ルート行程を高速/有料道路は緑色の、一般道路は青色のバーで表示します。バーの任意の場所にタッチすると、タッチした箇所に相当する地点の地図が表示されます。

3. **VICS規制情報表示**

   VICS規制情報を現在地から近い順に3つまでマークで表示します。VICS道路交通情報マークは55ページを参照してください。

4. **案内地点(目的地・経由地)マーク**

   案内地点マークについては50ページを参照してください。

5. **案内地点名称**
6. **案内地点到着予想時刻**
7. **現在地から案内地点までの距離**
8. **現在地方向スキップスイッチ**

   タッチすると現在地方向への案内地点にスキップし、その地点の地図を表示します。

9. スクロール方法切りかえスイッチ
10. **スクロール停止スイッチ**

    タッチするとスクロールが停止します。

11. **目的地方向スキップスイッチ**

    タッチすると目的地方向への案内地点にスキップし、その地点の地図を表示します。

12. ◀

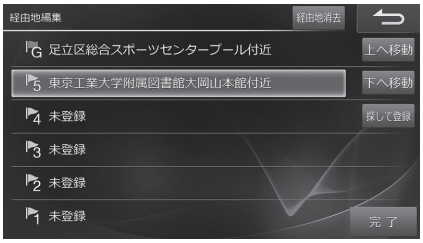
    現在地方向に自動的に地図がスクロールします。タッチするたびにスクロールの速度が変化します。

13. ▶

    目的地方向に自動的に地図がスクロールします。タッチするたびにスクロールの速度が変化します。

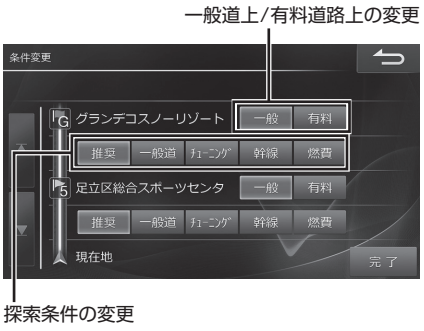


経由地を編集します。



- 未登録 を選択して 探して登録 をタッチすると経由地をナビメニューから検索できます。
- 経由地消去 をタッチすると選択した経由地を消去します。経由地を消去すると自動的にルートの再探索が行われます。探索条件は削除された経由地までの条件が新しい区間に適用されます。
- 上へ移動 または 下へ移動 をタッチすると目的地・経由地の順番を入れかえることができます。
- 経由地が2か所以上設定されている場合に、目的地・経由地を選択すると 探して探索 が 周遊 に変わります。 周遊 をタッチすると経由地を近い順に並べかえることができます。

ルート確認・編集画面について(3/3)

条件変更	探索条件を変更します。経由地を設定している場合は、経由地までの区間ごとに探索条件を変更することができます。 また有料道路が近接している地点を目的地や経由地に設定したとき、誤って一般道路上または有料道路上に設定してしまった場合に地点属性を変更できます。 	• 設定した目的地や経由地の近くに一般道または有料道路がある場合に 一般・有料 をタッチすると、目的地や経由地を一般道路上または有料道路上に切りかえます。 • 推奨・一般道・チューニング・幹線・燃費 をタッチすると、その区間のルート探索条件を変えて再探索します。 • すでに通過した区間は表示されません。 • 走行中は安全のため、条件変更画面はスクロールできません。
リルート	ルート案内中にルートから外れると、その位置から目的地までのルートが自動的に再探索されます。自動で再探索されないときは リルート にタッチすると、ルートを再探索することができます。	
周辺迂回	自車位置から一定の距離を迂回するルートを探索します。前方の道路が工事などで通行できないときなどに利用できます。	• 迂回地点をあらかじめ登録しておくこともできます(57ページ参照)。 • 迂回する距離を設定できます「迂回距離」(121ページ参照)。 • 案内中のルートから外れている場合は、迂回ルートは探索できません。 • 周辺の道路によっては迂回できない場合があります。
ルート再探索	ルートの再計算を行います。	• 走行中は安全のため ルート再探索 をタッチすることはできません。 • 経由地がセットされている場合は、ルートの再探索はできません。
経由地スキップ	案内中の経由地を通過済みにし、次の経由地または目的地へ案内します。	• 経由地までの案内を繰り返す場合には 経由地スキップ をタッチして、経由地をスキップしてください。
ルート消去	現在のルート・目的地・経由地を消去します。	• 目的地に近づくとルート案内を自動的に終了します。近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも目的地への案内を繰り返す場合があります。そのようなときはルートを消去してください。

<ルート情報画面案内地点マーク一覧>

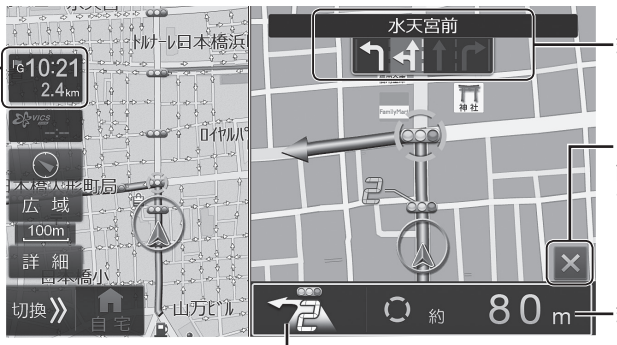
G	目的地
1~5	経由地
	フェリー乗り場
¥	料金所
JCT	JCT
IN	高速道路入口
OUT	高速道路出口
	現在地

ルート案内中の画面や音声案内について(1/5)

目的地までのルート案内中は、さまざまな表示や音声によって目的地までナビゲーションします。

<交差点拡大図表示>

ルート案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づくと、交差点拡大図が表示されます。



到着情報表示(53ページ)

交差点名・交差点のレーン案内

タッチすると案内が消え、ルート案内画面に戻ります(拡大画面内をタッチすることでも案内が消えます)。
※案内の内容を再表示したいときは案内ポイントを通過する前に**[現在地]**スイッチを押してください。

交差点までの距離

交差点右左折の矢印表示
※音声案内設定が信号・交差点案内設定時には、残信号・交差点が表示されます。

- 案内される信号・交差点の数は、お車の走行状態により実際の数とずれが生じる場合があります。
- 「音声案内設定」(118ページ)が信号・交差点案内設定時には、地図データ収録の信号機データをもとに残信号・交差点数を表示・案内します。ただし実際の道路状況と異なる場合や、距離で案内する場合があります。信号機データ収録地域については、アルパインホームページを参照してください。

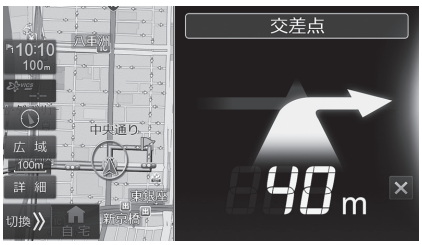
<ビッグアロー表示>

交差点案内図を、矢印で進行方向を表示するビッグアロー表示に設定することができます。案内は、信号・交差点の数か、交差点までの距離で行い、交差点までの距離に応じて、矢印の色が青色→黄色→橙色に変化します。

信号・交差点案内



残距離案内



アドバイス

- 交差点案内方法を、交差点拡大図にするかビッグアロー表示にするか設定できます(「案内図表示」118ページ)。
- ビッグアロー表示時の交差点案内方法を、信号・交差点案内か残距離案内かに設定することができます(「音声案内設定」118ページ)。
- ビッグアロー案内で表示される交差点形状は、実際の道路形状と異なる場合があります。

ルート案内中の画面や音声案内について(2/5)

デフォルメ3D交差点拡大表示



3Dイラスト情報のある交差点が近づくと拡大して表示されます。

- 約700m手前になると音声案内が、約300m手前になると拡大画面が表示されます。
- デフォルメ3D交差点拡大図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」118ページ)。

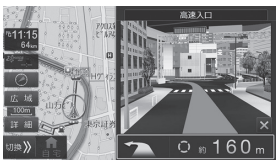
リアル3D交差点拡大表示



リアル3D交差点情報のある交差点が近づくと、よりリアルな拡大図が表示されます。

- 約700m手前になると音声案内が、約300m手前になると拡大画面が表示されます。
- リアル3D交差点拡大図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」118ページ)。

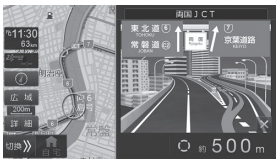
高速入口案内図



情報のある都市高速の入り口が近づくと拡大して表示されます。

- 約700m手前になると音声案内が、約300m手前になると拡大画面が表示されます。
- 高速入口案内図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」118ページ)。

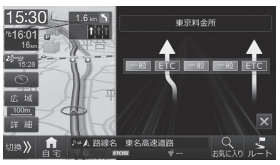
高速分岐案内



有料道路や高速道路を走行中に情報のある分岐点(JCT)が近づくと表示されます。レーンごとに方面が表示されます。

- 約2000m手前になると音声案内が、約1000m手前になると拡大画面が表示されます。

ETCレーン表示



ETCレーン情報のある料金所が近づくと表示されます。ETC・ETC2.0車載器(別売)にETCカードが装着されている場合はETCレーンに矢印が表示されます。

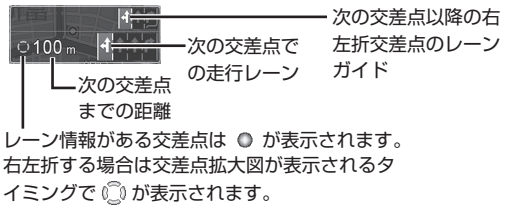
- ETCレーンを表示するかどうかを設定できます(「料金所ゲート案内」119ページ)。

レーンガイド表示



レーン情報のある分岐交差点が近づくと(約10km以内)、交差点までの距離と走行レーンが表示されます。

- レーンガイドを表示するかどうかを設定できます(「レーンガイド表示」118ページ)。
- 一般道路上走行中、次以降の交差点で右左折する場合、走行を推奨する1つのレーンを青く表示します。ただし、右左折する交差点までの距離がある場合などは推奨レーン表示を行いません。



方面看板表示



方面看板情報のある交差点の約700m手前になると方面看板が表示されます。

- 方面看板を表示するかどうかを設定できます(「方面看板表示」118ページ)。

ルート案内中の画面や音声案内について(3/5)

ハイウェイモード表示



高速道路に入ると自動的にハイウェイモードに切りかわります。ハイウェイモードではインターチェンジやサービスエリアの情報が表示されます。

- ハイウェイモードを解除するには 地図切換 をタッチし、地図切換画面で 1画面 または 2画面 を選択してください。
- ハイウェイモードを自動で表示するかどうかを設定できます(「自動ハイウェイモード」117ページ))。
- 高速渋滞 にタッチすると高速渋滞モード画面(53ページ)が表示されます。

フェリー航路表示



フェリーが利用できる場合はフェリーターミナルまでルート案内されます。フェリーを降りるとルート案内が再開されます。

- フェリー航路は－－－(破線)で表示されます。画面にフェリー航路が表示されていてもルート検索の対象外航路の場合があります。
- ルート探索のときにフェリー航路を含まないように設定することもできます(「フェリー使用」121ページ)。

細街路案内表示



細街路を走行すると自動で2画面表示に切りかわり、右画面に25m市街地図を表示して細街路案内を行います。

- 細街路案内表示を解除するには、**[現在地]** スイッチを押してください。
- 細街路案内地図を自動で表示するかどうかを設定できます(「細街路オートスケール」117ページ)。

英語案内表示



地図表示と音声案内を英語で行うことができます。

- 英語案内を行うかどうかを設定できます(「英語設定」129ページ)。

行程ガイド



ルート案内中に高速道路上のジャンクションやインターチェンジの混雑状況を表示できます。

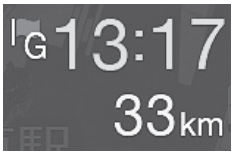
行程ガイド表示中に 高速渋滞 にタッチするとジャンクション混雑状況を表示する高速渋滞モードに切りかわり、それぞれの距離および所要時間を示す数字の色が混雑状況に応じて変化します。

- 数字は、順調の場合は緑色･混雑の場合は橙色･渋滞の場合は赤色･不明の場合は白色、で表示されます。「高速渋滞情報画面について」(13ページ)もあわせて参照してください。
- VICSの渋滞情報を受信していない場合は、高速渋滞モードを表示できません。
- ルートを設定していない場合は走行中の路線上にあるジャンクション名のみを表示します。
- 行程 にタッチすると行程ガイド画面に戻ります。
- ▲ にタッチすると先の情報を表示し、▼ にタッチすると手前の情報を表示します。

高速渋滞モード



到着情報表示



ルート案内中に目的地までの残距離と到着予想時刻が表示されます。

- 経由地やフェリー航路が設定されている場合は、タッチするとそれぞれの残距離と到着予想時刻が表示されます。
- 経由地の場合は が (数字は経由地の数による)に、フェリー航路の場合は が に変わります。

ルート案内中の画面や音声案内について(4/5)

音声案内について

ルート案内中は案内ポイントの音声案内に加えて以下のような音声案内を行うことができます。音声案内を聞き逃したときなどは、任意のタイミングで **[現在地]** スイッチを押すと聞くことができます。

• **[現在地]** スイッチを押すタイミングによって案内の内容が変わります。

料金案内	有料道路や高速道路の出口料金所手前で料金が音声で案内されます。 • 正しい料金が案内されるようにあらかじめ車種の情報を登録してください(「車両情報」119ページ)。 • 高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内はされません。
合流案内・踏み切り・事故多発地点	合流地点・踏み切り・事故多発地点がある場合、音声とアイコンでお知らせします。 合流案内  踏み切り  事故多発地点  • 音声案内はルート案内中のみです。 • 合流地点・踏み切り・事故多発地点を案内するかどうかを設定できます(「合流案内」「踏み切り案内」「事故多発警告案内」118ページ)。
県境	都道府県の県境を越えるときに音声でお知らせします。 • 音声案内はルート案内中のみです。 • 県境を案内するかどうかを設定できます(「県境案内」118ページ)。
案内地点までの残距離	案内地点までの残距離が10km以内になったときに音声でお知らせします。 • 案内地点までの残距離を案内するかどうかを設定できます(「残距離音声案内」118ページ)。
到着予想時刻	目的地や経由地の到着予想時刻を音声でお知らせします。 • 到着予想時刻を案内するかどうかを設定できます(「到着予想時刻音声案内」118ページ)。

音声案内時のAVソース音量について

音声案内が聞こえたときに音楽などのAVソース音量が一時的にいつも小さくなるようにしたいときは、あらかじめ「ナビ音声案内時のAV音量ミュート」を「する」に設定し、音声案内が聞こえたときにAVソースの音量を下げると、次回以降、音声案内が聞こえたときには調整した音量で音楽などが再生されます。

ルート案内中の画面や音声案内について(5/5)

表示マークについて

<VICS道路交通情報マーク一覧>

• 地図画面に表示されるVICS交通情報マークの意味を以下に示します。
• 複数の情報を代表して1つのマークのみ表示することがあります。

	事故		大型通行止め		充電施設(急速/普通/プラグイン/不明): 空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)
	故障車		入口制限		
	路上障害		オフランプ、規制		
	工事		片側交互通行		
	凍結		チェーン規制		充電施設(急速/普通/プラグイン/不明):閉鎖(赤)
	作業		進入禁止		
	通行止め、閉鎖		一般駐車場:空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)		
	対面通行				
	車線規制		一般駐車場:閉鎖(赤)		特別警報
	火災		臨時駐車場:空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)		気象・災害速報
	気象・災害・地震警戒宣言				
	気象		臨時駐車場:閉鎖(赤)		気象・災害注意報
	気象		SA:空(青)/満車(赤)/混雑(橙)/不明(黒)		
	行事等				右折禁止
	徐行		SA:閉鎖(赤)		左折禁止
	入り口閉鎖		速度規制(40km/hの場合)		直進禁止

<行程ガイドマーク一覧>

	現在地		高速道路降り口		パーキングエリア(PA)
	目的地		料金所		ジャンクション(JCT)
	経由地		インターチェンジ(IC)		案内交差点
	高速道路入り口		サービスエリア(SA)		フェリー乗り場

<行程ガイド施設マーク一覧>

	ガソリンスタンド		コーヒー・軽食		身障者施設
	温泉施設		ドラッグ		ベビーベッド
	FAX		ハイウェイ情報ターミナル・インフォメーション		宝くじ
	お風呂		宿泊施設		名産(ショッピングセンター)
	コインシャワー		ポスト		キャッシュコーナー
	コインランドリー		レストラン		トイレ
	コイン洗車		休憩所		公衆電話

• ガソリンスタンドはブランド別のアイコンになります。

地点登録について

あらかじめ地図上に地点を登録しておくと、目的地や経由地の設定が簡単にできます(最大700か所)。登録した地点に近づいたときに音声案内が流れるようにしておくこともできます。

地点登録には現在地を登録する方法・地図上の任意の地点を登録する方法の2つがあります。

アドバイス

- 登録した地点はSDカードまたはUSBメモリーに保存することができます(135ページ)。

地点を登録する

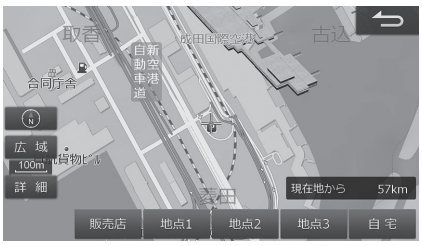
1 地図上の登録したい地点またはナビメニュー画面から検索した地点で 登録 をタッチする



2 地点登録 または 特別地点 をタッチする

- 地点登録 の場合は、指定された地点が登録されます。
- 特別地点 の場合は、販売店 ・ 地点1 ・ 地点2 ・ 地点3 ・ 自宅 のいずれかにタッチすると特別地点として登録されます。





- カメラ表示地点 ・ 現在地 ・ 迂回する地点 については57ページを参照してください。
- 特別地点の自宅登録は通常クイックセットアップで設定しますが、住所が変わって再登録する場合には本操作で上書き登録してください。

地点登録画面について(1/3)

地点登録画面について

地点登録画面はナビメニュー(44ページ)で検索したあと、または地図上の任意の場所をタッチしたあと 登録 をタッチすると表示されます。地点はナビメニューの登録地点・カメラ表示地点・現在地・迂回する地点・特別地点に登録することができます。

- 登録した地点は登録地点編集画面で内容を変更することができます(58ページ)。



地点登録	カーソルのある地点をナビメニューの登録地点として登録します。	• 最大700か所まで登録することができます。 • 現在地画面上のナビ操作スイッチの 地点登録 をタッチしても登録することができます(32ページ)。
カメラ表示地点	カーソルのある地点をカメラ表示地点に登録します。走行中、カメラ表示地点に接近したときにフロントカメラまたはサイドカメラの映像を表示します。	• 最大50か所まで登録することができます。 • 登録地点の半径50m以内の映像が表示されます。 • 名称 をタッチするとカメラ表示地点の名称を変更できます。 • 位置 をタッチするとカメラ映像を表示する地点を変更できます。 •「接近方向設定」では、設定した地点にどの方向から近づくとカメラ映像を表示するかを設定します。 方向設定 で方向を指定したときは、指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。 •「カメラ属性」で、その地点の映像を表示するカメラ(フロントカメラまたはサイドカメラ)を設定します。 • カメラ表示地点の登録は、フロントカメラまたはサイドカメラの接続が設定されているときのみ可能です。
現在地	カーソルのある地点を現在地(自車位置)に登録します。GPS受信状況の変化により画面上の自車マークの位置・方向が実際の車の向きと異なったときに修正します。	• 自車マークの向きは ↶ または ↷ にタッチして修正し、登録 にタッチします。 • ↶: 現在の角度から左回りに微調整した向きになります。 • ↷: 現在の角度から右回りに微調整した向きになります。 • 修正しなくても走行を続ければ、情報が補正され正しい位置・方位になります。
迂回する地点	カーソルのある地点を迂回する地点に登録します。狭くて走りにくい道や普段から渋滞が多い場所などは迂回地点に登録しておくと、ルート探索の際にそのエリアを避けたルートが設定されます。	• 最大10か所まで登録することができます。 • 名称 をタッチすると迂回地点の名称を変更できます。 • 位置 をタッチすると迂回地点を変更できます。 •「範囲」では迂回地点を中心として何m四方の範囲を迂回するかを設定できます。 • 設定した迂回範囲は地図画面上で赤色の四角で表示されます。
特別地点	カーソルのある地点を特別地点に登録します。販売店・地点1・地点2・地点3・自宅の5か所を登録することができます。	• 例えばドライブに行く際に立ち寄る可能性のある候補地などは特別地点として登録しておくと、通常の地点登録よりも簡単に目的地や経由地に設定できます。

地点登録画面について(2/3)

登録地点編集画面について

登録地点編集画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 地点編集 の順にタッチすると表示されます。また各地点を登録したときにも編集することができます。



① **登録地点**	登録地点の消去や並べかえができます。	• リストから登録地点を選んで 消去 をタッチすると、選択した地点を消去できます。 消去 をタッチし続けるとすべての登録地点を消去できます。 • 基本情報･マーク情報･位置情報･詳細情報を編集することができます(59ページ)。
② **特別地点**	特別地点3か所、自宅、販売店の登録や消去ができます。	• リストから特別地点を選んで 消去 をタッチすると、選択した地点を消去できます。 消去 をタッチし続けるとすべての特別地点を消去できます。 • 基本情報･マーク情報･位置情報･詳細情報を編集することができます(59ページ)。
③ **迂回地点**	迂回地点の消去ができます。	• リストから迂回地点を選んで 消去 をタッチすると、選択した地点を消去できます。 消去 をタッチし続けるとすべての迂回地点を消去できます。 • 迂回地点の名称･位置･範囲を編集することができます(57ページ)。
④ **カメラ表示地点**	カメラ表示地点の消去ができます。	• リストからカメラ表示地点を選んで 消去 をタッチすると、選択した地点を消去できます。 消去 をタッチし続けるとすべてのカメラ表示地点を消去できます。 • 本項目は、フロントカメラまたはサイドカメラの接続が設定されているときのみ可能です。 • カメラ表示地点の名称･位置･接近方向･カメラ属性を編集することができます(57ページ)。

地点登録画面について(3/3)

登録地点・特別地点詳細情報画面について

登録地点・特別地点詳細情報画面は、登録地点リスト画面または特別地点リスト画面で 情報 をタッチすると表示されます。

基本情報画面



登録情報の基本情報(名称・読み・電話番号)を確認または変更できます。

マーク情報画面

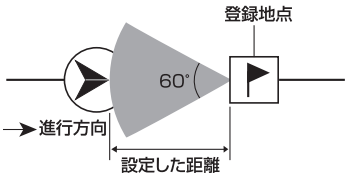


地図上に表示される登録地点マークや、登録地点に近づいたときに接近音を鳴らすかどうかを確認または変更できます。また、接近距離や接近方向も変更できます。

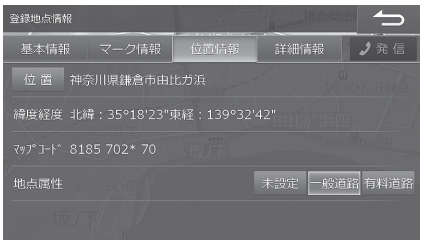
接近方向設定は、カメラ映像表示の接近方向も同時に設定されます。

または をタッチして方向を指定し、完了 にタッチし設定を保存します。

- 方向設定 で方向を指定したときは、指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。



位置情報画面



登録地点の位置に関する情報が表示されます。

位置情報の変更および登録地点への属性設定ができます。

登録地点の位置を変更する

1. 位置 にタッチする
   地点周辺の地図が表示されます。
2. 変更したい地点に十字カーソルをあわせる
3. 地点を変更 にタッチする
   住所・緯度経度・マップコードが変更されます。

- 登録地点の位置を変更すると、地点属性はそれまでの設定を解除して「一般道路」になります。

登録地点に属性(一般道路/有料道路)を設定する

登録地点が一般道路(付近)にあるのか、または有料道路(高速道路)上にあるのかを設定できます。どちらも有り得る場合は「未設定」に設定してください。

1. 「地点属性」の 未設定 一般道路 有料道路 のいずれかにタッチする
   登録地点に属性が設定されます。

- 登録地点の近くに一般道路/有料道路(高速道路)があり、登録地点を目的地または経由地に設定するときに本設定を利用してください。
- 登録地点付近に一般道路/有料道路(高速道路)がない場合は、地点属性は設定できません。

詳細情報画面



登録地点や施設の詳しい情報を確認することができます。

VICSについて(1/5)

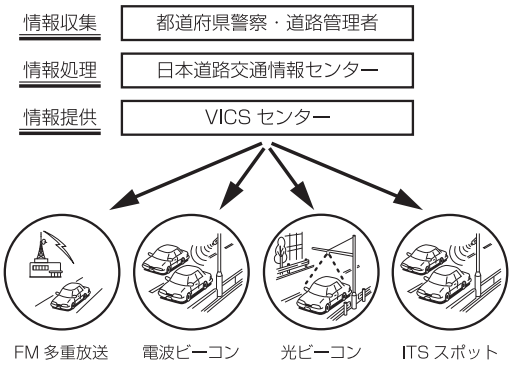
「楽しいドライブなのに突然渋滞。 なんでこんなに混んでいるの？ 空から見下ろしてみたい！」

この要求に答えたのがVICS(ビークル インフォメーション アンド コミュニケーションシステム)です。VICSは渋滞や障害・規制、駐車場などのさまざまな交通情報をリアルタイムに提供します。この情報を利用すれば渋滞を減らすことができ、交通の流れが分散されます。さらにイライラによる精神的なストレス・経済的なロス・排気ガスの削減なども期待できるのです。

VICSによる渋滞・混雑などの情報を地図上に表示するため、あらかじめ「地図」に情報提供用の道路単位(VICSリンク)を設定しています。道路形状や交通情報収集施設の変化にともない、より正確な情報提供表示を行うために毎年情報提供単位が追加・変更されます。

このためにVICSによる地図情報表示は「本製品」発売後およそ3年程度で一部のエリアでVICSの地図情報が表示されなくなる場合があります。より正確な情報を表示するためには最新の「地図」をご使用ください(本製品の道路単位は2017年11月版です)。

●VICS 交通情報システム●



VICS は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
VICS リンクデータの著作権は（一財）デジタル道路地図協会、
（公財）日本交通管理技術協会にあります。

VICS WIDEについて

本機はFM多重放送による新サービス「VICS WIDE」に対応しています。

VICS WIDEは従来のVICS-FM多重放送に加え、道路の交差点間などの一定区間の通過に要する時間(リンク旅行時間)やプローブ情報をもとに、より精度の高いルート案内が可能となります。

また気象・津波情報に火山噴火を加えたすべての特別警報(地震を除く)や大雨が発生しているエリアの情報提供を受けることができます。

- 本機は進行方向別旅行時間表示には対応していません。
- VICS WIDEの情報提供は地域により異なります。VICS WIDEについて詳しくは、一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターのホームページ http://www.vics.or.jp をご覧ください。

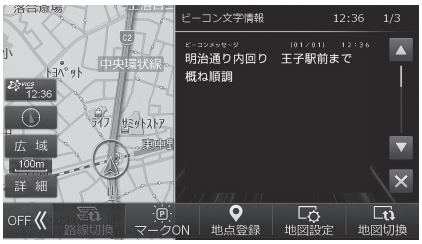
提供されるVICS情報

VICS情報には下記の4種類の情報があります。

<文字情報>

文字情報を表示します。

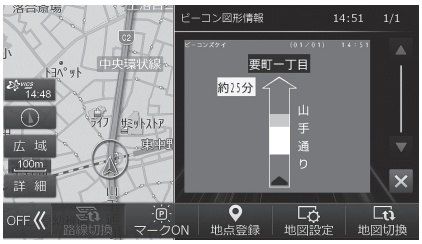
(表示例)



<図形情報>

簡易な道路図形などを表示します。

(表示例)



VICSについて(2/5)

＜地図表示情報＞

地図上に渋滞や規制情報などを表示します。

(表示例)



＜画像・音声情報(ETC2.0のみ)＞

画像を表示したり、音声情報を読み上げます。

(表示例)



• VICS情報については「VICS情報画面について(151ページ)」を参照してください。

情報を提供する媒体

情報を提供する媒体には次のような種類があります。

＜FM多重放送＞

FM放送局から音声のすき間を使って配信されます。FM局を受信していれば利用でき、広域で情報を受けられます。

＜電波ビーコン＞

主に高速道路に設置されています。ビーコンが設置された場所で周辺の情報を受けることができます。

＜光ビーコン＞

一般道路に設置されています。ビーコンが設置された場所で周辺の情報を受けることができます。

＜ITSスポット＞

主に高速道路に設置されています。ITSスポットが設置された場所で情報を受けることができます。

• FM多重放送によるVICS情報を利用するにはVICS情報を放送している放送局を選局してください。放送局の選局については「放送局選択」(152ページ)を参照してください。
• 本機は電波ビーコンには対応していません。
• ITSスポットによるVICS情報を受けるためには、別売のETC2.0車載器(HCE-B110V/HCE-B110)が必要です。HCE-B110Vは、付属の光ビーコンアンテナで光ビーコンによるVICS情報を受けることができます。

表示されるVICS情報

VICS情報は次のように表示されます。

＜VICS情報表示＞

FM多重放送で受信した文字または図形情報を呼び出して見ることができます。

＜VICS割り込み情報表示＞

光ビーコンまたはITSスポットから情報を受信したときや指定された地点で図形・文字・画像情報を自動的に表示します。

• ITSスポットからの情報に音声情報が含まれる場合は表示と共に自動的に読み上げを行います。
• 情報を割り込み表示しないようするには「情報割込み」(122ページ)を参照してください。
• VICS割り込み情報には以下のような種類があります。
緊急情報/緊急メッセージ: 大雨特別警報や地震・災害時の停車・避難等の行動指示(優先して表示します)
安全運転支援: 走行路線の安全運転支援情報(優先して表示します)
注意警戒情報: 工事・規制などの情報
ネットワーク障害／ことわり情報: VICSセンターなどからのお知らせ
長文読み上げ情報: 交通状況や気象情報などの音声情報
多目的情報: 道路交通情報・施設関連情報など
電子標識: 標識などの案内情報
ビーコン図形情報: 走行中経路の交通情報
ビーコン文字情報: 広域の交通情報
• VICS割り込み情報の表示画面は、「割込み時間」(122ページ)で設定した時間を経過するかまたは音声読み上げが終了すると解除されます。
• VICS割り込み情報の表示中に、☒ をタッチすることで表示画面を解除することができます。
• VICS割り込み情報の表示画面が複数ページある場合は ▲ または ▼ にタッチすると前後のページが表示されます。
• 交差点拡大図の表示中などVICS割り込み情報が表示しない場合があります。
• 別売のETC2.0車載器が必要です。

VICSについて(3/5)

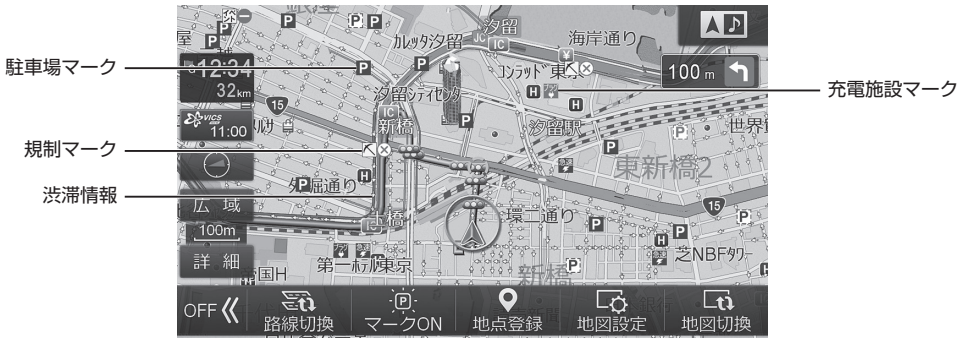
VICS情報の表示例

VICSで提供されるさまざまな交通情報を地図上に表示します。

- 表示されるマークについては「VICS道路交通情報マーク一覧」(55ページ)もあわせて参照してください。
- VICS情報の更新中は情報を表示することができません。また正確に情報を表示しない場合があります。

<渋滞情報や道路交通情報マークの表示例>

渋滞情報や駐車場、規制区間などの情報を地図上に表示します。



- 「地図画面の見かた」(211ページ)のカラー版もあわせてご覧ください。

渋滞情報

渋滞地点や渋滞区間などを地図上に実線の矢印で表示します。

→	赤	渋滞:交通の流れが非常に悪い状態
	橙	混雑:交通の流れがやや悪い状態
	緑	空き道:交通の流れが良い状態

- 渋滞情報を表示しないように設定できます(「渋滞・混雑表示」「空き道表示」115ページ)。
- 渋滞情報は地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

駐車場マーク

VICSで提供された一般駐車場・臨時駐車場のマークを地図上に表示します。

P 一般駐車場 P 臨時駐車場	青	空車:利用可能な状態
	赤	満車:ほぼ満車の状態
	橙	混雑:利用率が高い状態
	黒	不明:駐車場情報がない状態

- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」63ページ)。
- 周辺のVICS提携駐車場を探すこともできます(「駐車場情報」152ページ参照)。
- 駐車場マークを表示しないように設定できます(「VICS駐車場・充電施設表示」116ページ)。
- 駐車場マークは地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

VICSについて(4/5)

充電施設マーク

電気自動車用の充電施設を充電方法(急速・普通・プラグイン)に応じたマークを地図上に表示します。

急速	青	利用可能な状態
中速	赤	混雑している状態
普通	橙	利用率が高い状態
プラグ	黒	充電施設情報がない状態

- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」63ページ)。
- 周辺の充電施設を探すこともできます(「充電施設」152ページ)。
- 充電施設マークを表示しないように設定できます(「VICS駐車場・充電施設表示」116ページ)。
- 充電施設マークは地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

規制マーク

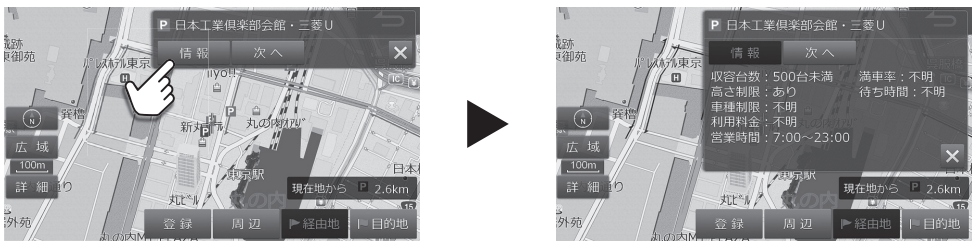
現在規制されているさまざまな規制マークを地図上に表示します。また、規制対象区間は黄色線で道路上に表示されます。

	進入禁止
	入口閉鎖
	事故
	工事

- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」63ページ)。
- 規制マークを表示しないように設定できます(「規制マーク表示」116ページ)。
- 規制マークは縮尺1km以下の地図で表示することができます。ただし、通行止め・入り口閉鎖・オフランプ(出口)閉鎖は関連する事象も含めて、道路が表示されるスケールの地図まで表示します。

(情報画面の表示例)

駐車場や充電施設、規制マークなどにタッチすると詳しい情報が表示されます。 情報 にタッチするとさらに詳しい情報が表示されます。



- 情報が重なっている場合は、次へ にタッチすると近くの情報を表示します。

<緊急情報画面の表示例>

大雨・大雪・津波など気象に関する情報を受信すると緊急情報画面が表示されます。



- 情報 にタッチすると緊急情報の詳細情報が表示されます。詳細情報画面の 完了 または地図にタッチすると対象エリアを確認することができます(「規制や災害エリアの表示例」64ページ)。
- 一覧 にタッチすると今までに受信した気象警報・災害などのリストが表示されます。

<規制や災害エリアの表示例>

規制・事故・災害・異常気象などが発生している対象エリア、または情報に応じたマークを地図上に表示します。対象エリアの表示方法および詳細については「VICS情報画面について」(151ページ)を参照してください。



- 情報によっては対象エリアとマークが表示されない場合があります。
- 今後規制やイベントなどが予定されているエリアも同様に表示することもできます(「予告配信表示」116ページ)。
- 対象エリアを表示しないように設定できます(「気象警報・災害エリア表示」「規制エリア表示」116ページ)。
- 対象エリアは情報に応じて赤紫色/赤色/橙色の境界線で表示されます。(情報によっては正確に表示されない場合があります。)
- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」63ページ)。

音声情報読み上げについて

VICS割り込み情報に音声情報が含まれる場合は、表示と共に自動的に読み上げを行います。

- VICS割り込み情報内容が音声情報のみの場合、「音声のみの情報です」と表示されます。
- 音声情報読み上げ中に画面遷移した場合、読み上げは中断されます。
- 音声情報読み上げ中に 停止 をタッチすると読み上げは中断されます。また 読み上げ をタッチすると最初から情報読み上げを行います(途中からの再生にはなりません)。
- ナビ音声案内中に優先される音声情報が含まれるVICS割り込み情報がある場合、ナビ音声案内は中断されます。
- 自動的に読み上げを行わないように設定することができます(「VICSでの音声読み上げ」122ページ)。
- 別売のETC2.0車載器が必要です。

BLUETOOTH通信とWi-Fi通信について

本機は、無線接続のBLUETOOTH通信とWi-Fi通信を使用できます。それぞれに使用できる機能が異なります。

<BLUETOOTH通信>		
電話(通話)	本機のマイクやスピーカーで通話するハンズフリー通話	66ページ
音楽データ再生	携帯電話・スマートフォンの音楽再生(BLUETOOTHオーディオ)	111ページ
アプリ連携	「NaviCon」および「NaviCon」と連携するアプリを利用しての地点情報の転送	75ページ
<Wi-Fi通信>		
地図データ更新	• 全国地図データ年度更新 • 高速道配信の更新	144ページ
本機プログラムデータ更新	本機のアップデートプログラムデータ	
車種専用チューニングデータ更新	車種専用のオープニング画像、チューニングデータ	
Gracenoteデータベース更新	SDカードに音楽を録音したときにアルバム名やアーティスト名などを表示するGracenoteデータベース	
ログアップロードサービス	ログデータをアルパインサーバーへアップロードします。ログデータは、今後の製品開発や不具合が発生した際のログ解析などの用途で使用させていただきます。	130、144ページ

アドバイス

- NTTドコモ・au・ソフトバンクが提供する携帯電話は本機と接続できますが、携帯電話の機種によっては接続できない場合があります。
- お使いの携帯電話と本機の適合については、下記のホームページでご確認ください。
  https://www.alpine.co.jp/support/inquiry/
- お車を運転中は携帯電話を直接操作しないでください。事故の原因になります。

<本機で使用できるプロファイルについて>

プロファイルは、BLUETOOTH通信の接続手順を機能ごとに標準化したもので、プロファイルが本機と携帯電話で一致していない機能は利用できません。お使いの携帯電話が本機の対応プロファイルと一致しているかどうか確認してください。

- HFP :ハンズフリー通話を行うためのプロファイル
- OPP/PBAP :電話帳のデータなどを送受信するためのプロファイル
- A2DP :音声データを送信するためのプロファイル
- AVRCP :ポータブルオーディオプレーヤーで音楽再生の操作を行うためのプロファイル
- SPP :仮想シリアルポートを用いて2台のデバイスを接続するプロファイル

<本機で使用できるWi-Fi規格について>

本機は下記規格のアクセスポイントと接続することができます。

- 無線LAN規格 :IEEE 802.11b/g/a/n
- 周波数帯域 :2.4/5GHz帯(W56のみ)
- 使用チャネル :1 ～ 13ch(2.4GHz)
  :100 ～ 140ch(5GHz)

<Wi-Fiに関する注意事項>

- 屋外設置のアクセスポイントをご使用される際は「技適マーク」付の屋外対応無線LANアクセスポイントをご使用ください。
- Wi-Fi対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法や表示・動作が正常ではない場合があります。本機との連携時には、Wi-Fiテザリング契約が必要な場合があります。
- Wi-Fi対応機器と本機が近くで接続していても電波の状況によりノイズ等が入る場合があります。

<対応セキュリティ方式および暗号強度>

セキュリティ方式	暗号強度
Open system	—
WEP	低
WPA Personal	中
WPA2 Personal	高

携帯電話・スマートフォンを接続する

BLUETOOTH対応の携帯電話を本機とBLUETOOTH接続することでハンズフリー通話ができます。ハンズフリー電話を使うと、本機から電話をかけたり受けたりすることができ、運転中でも携帯電話を持たないで通話することができます。また本機に携帯電話の電話帳を読み込んで電話をかけることもできます。

初めてお使いになるときは、お使いの携帯電話を以下の手順に従って本機に登録してください。登録した携帯電話は、BLUETOOTH機能がONになっていれば、エンジンをACCまたはONにするだけで本機と自動的に接続されます。

1 **[MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押し、設定 → Bluetooth/Wi-Fi設定 → Bluetooth設定 の順にタッチする**

2 **登録/変更 → 未登録 → 機器登録 の順にタッチする**



- 登録/変更 をタッチした後にBLUETOOTH機器との接続解除のメッセージが表示された場合は はい を選択してください。
- 本機にはBLUETOOTH機器を5台まで登録できますが、2台以上の携帯電話をハンズフリー機器として同時に使うことはできません。複数台を登録したときは、利用する携帯電話を切りかえてお使いください。

3 **ハンズフリー または ハンズフリー+オーディオ にタッチする**

- ハンズフリー電話としてお使いになるときは ハンズフリー 、ハンズフリー電話とBLUETOOTHオーディオどちらにもお使いになる場合は ハンズフリー+オーディオ にタッチします。
- BLUETOOTHオーディオとしてお使いになる場合は オーディオ にタッチします。（111ページ）
- MITM設定 をタッチするとMITM(中間者攻撃)Protection設定を一時的に変更することができます。OFF にすることにより、機器設定ができない機器の登録が可能となる場合があります。

4 **携帯電話のBLUETOOTH機能をオンにし、携帯電話で本機を検索する**

5 **携帯電話にパスキーの入力画面が表示されたら本機と同じパスキーを入力する**

- 携帯電話によってはパスキーの入力が不要な機種もあります。
- パスキーの初期値は”1234”です。

6 **BLUETOOTH接続が開始される**

- BLUETOOTH機器設定画面に戻ります。

- 接続した携帯電話のBLUETOOTH機器リストには「ALPINE」と表示されます。
- 登録した携帯電話が音楽機能つきの場合は、携帯電話の音楽も再生できます。
- i にタッチすると、接続した携帯電話の詳細情報を表示することができます。

電話をかける・受ける

アドバイス

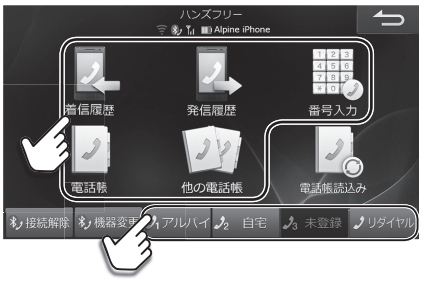
• ハンズフリーで通話するときは窓を閉め、大きめの声ではっきりお話しください。

電話をかける

1 **[MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押し、ハンズフリー をタッチする**

2 **電話をかける方法を選ぶ**

• 走行中は短縮ダイヤルとリダイヤル以外は無効です。
• 短縮ダイヤルとリダイヤル発信のときは手順3は不要です。
• 電話メニューについては69ページを参照してください。



3 **電話をかけたい相手を選び、発信 をタッチする**

• 通話を終了するには 終了 をタッチしてください。地図画面などを表示しているときは、 をタッチして通話中画面に切りかえ、終了 をタッチします。

電話を受ける

1 **電話がかかってきたら 開始 を押す**

• 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。テレビの音声や音楽などはオフになります。着信メッセージ画面の大きさは変更できます(「着信全画面割込み」138ページ)。
• 通話を終了するには 終了 をタッチしてください。地図画面などを表示しているときは、 をタッチして通話中画面に切りかえ、終了 をタッチします。通話を終了すると自動で元のソースに切りかわり、元の画面に戻ります。
• かかってきた電話に出られないときは 応答保留 をタッチしてください。なお、お使いの機器によっては応答保留が動作しない場合があります。
• かかってきた電話を自動的に受けるように設定することができます「自動着信」(138ページ)。
• 本機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておくと、電話がかかってきたときにその名前と電話番号が画面に表示されます(相手が電話番号を通知して発信した場合)。
• 携帯電話で応答時間を設定している場合は携帯電話の設定が優先されます。

着信全画面割込み設定が「する」の場合:



着信全画面割込み設定が「しない」の場合:



通話中画面について

通話中は下記の通話中画面が表示されます。



① 名前	本機の電話帳に登録されている名前が表示されます。	• 相手が電話番号を通知して発信した場合や、電話帳に登録した相手・登録地点・検索した施設に電話をかけた場合に表示されます。 • 画面に名前を表示しないようにすることもできます(「着信・通話画面情報表示」138ページ)。
② 電話番号	相手の電話番号が表示されます。	• 相手が電話番号を通知してこない場合などは何も表示されません。 • 画面に電話番号を表示しないようにすることもできます(「着信・通話画面情報表示」138ページ)。
③ 通話時間	通話時間が表示されます。	
④ 送話音量/受話音量	現在の音量が表示されます。	• ◀ または ▶ をタッチすると音量を調整できます。
	前の画面に戻ります。	
終了	通話を終了します。	
ナビ/携帯	本機のハンズフリー機能で通話するか、携帯電話で通話するかを切りかえます。	• ハンズフリー通話の場合: • 携帯電話での通話の場合: • 着信時に携帯電話で通話になっている場合でも、着信音は携帯電話とナビゲーションの両方で鳴ります。
トーン	トーン発信用の数字入力画面を表示します。	• 音声ガイダンスなどに従って数字を入力する必要があるときなどにタッチしてください。
開 始	通話が開始されます。	• 通話中は無効です。

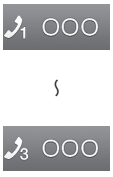
電話メニュー画面について(1/2)

電話メニュー画面は、**[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して ハンズフリー をタッチすると表示されます。



	かかってきた相手に電話をかけます。	• 最大30件まで履歴として残ります。30件を超えた場合は古いものから削除されます。 • 着信履歴を消去したいときは、着信履歴画面で消去したい相手を選び、消去 をタッチします。消去 をタッチしたままにすると着信履歴をすべて消去できます。 • 走行中は使用できません。
	以前かけた相手に電話をかけます。	• 最大30件まで履歴として残ります。30件を超えた場合は古いものから削除されます。 • 発信履歴を消去したいときは、発信履歴画面で消去したい相手を選び、消去 をタッチします。消去 をタッチしたままにすると発信履歴をすべて消去できます。 • 走行中は使用できません。
	相手の電話番号を入力して電話をかけます。電話番号は市外局番から入力してください。	• 走行中は使用できません。
	携帯電話の電話帳を本機に読み込んでおくと、本機の電話帳から電話をかけることができます。	• 電話帳は50音順・メモリー番号順・グループ順に並べかえることができます。 • 取り込んだ電話帳を消去したいときは、電話帳画面で消去したい相手を選び、消去 をタッチします。消去 をタッチしたままにすると取り込んだ電話帳をすべて消去できます。本機の電話帳を消去しても携帯電話からは消去されません。 • i にタッチすると、読み込んだ電話番号の詳細情報を表示することができます。 • 電話帳の読み込みについては71ページを参照してください。 • 走行中は使用できません。
	他の携帯電話から登録した電話帳を呼び出して電話をかけることができます。	• 走行中は使用できません。

電話メニュー画面について(2/2)

	携帯電話の電話帳を本機に読み込みます。	• 電話帳の読み込みについては71ページを参照してください。 • 走行中は使用できません。
	BLUETOOTH接続を解除します。接続を解除すると 再接続 に変わります。再度BLUETOOTH接続を行うときは 再接続 をタッチしてください。	
	BLUETOOTH接続する機器を登録したり、他の機器に切りかえたりします。	• 機器設定 はBLUETOOTH機器が1台も登録されていない場合に表示されます。BLUETOOTH機器を新規登録する場合は 機器設定 にタッチしメッセージが表示されたら はい にタッチして「携帯電話・スマートフォンを接続する」(66ページ)の手順2へ進んでください。
	短縮ダイヤルに登録した相手に電話をかけます。	• **短縮ダイヤルを登録するには:** 本機に読込んだ電話帳から短縮ダイヤルに登録します。 ① **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押し → ハンズフリー → 電話帳 の順にタッチ ② 短縮ダイヤルに登録したい相手を選択してタッチ ③ i → 電話番号 タブの順にタッチ ④ 登録したい電話番号を選択してタッチ→ 短縮登録 をタッチ ⑤ 登録する短縮ダイヤルを選択 • 短縮ダイヤルに登録されている電話番号には電話帳詳細情報画面に 1 / 2 / 3 のアイコンが表示されます。 • 上記手順⑤で登録済みの短縮ダイヤルを選ぶと電話番号が上書きされます。 • **短縮ダイヤルを解除するには:** • 上記登録手順⑤で 登録解除 をタッチ
	直前にかけた相手に電話をかけます。	

電話帳を読み込むには

本機の電話帳は携帯電話の電話帳を読み込んで登録します。本機に電話帳を登録しておくと、電話帳から電話をかけたり短縮ダイヤルを登録したりすることができます。

携帯電話から電話帳を読み込む

1 電話帳を読み込みたい携帯電話を本機と接続する

2 **[MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押し、** ハンズフリー **→** 電話帳読込み **→** 追加 **の順にタッチする**



- 電話帳を読み込む携帯電話がPBAPのプロファイルに対応している場合は、追加 をタッチするかわりに 同期 をタッチすると、本機の電話帳がすべて更新されます。

3 携帯電話から電話帳を転送する

4 読み込みが完了したら 保存 をタッチする

- 本機の電話帳には携帯電話1台につき最大1000件まで登録できます。
- 電話帳1件あたり最大5つまで電話番号を読み込むことができます。
- 携帯電話から「全件送信」を行ったときは携帯電話の電話帳のグループを取り込むことができます(最大100件)。
- 取り込み可能な名称・読み・グループ名称・電話番号は半角または全角30文字までです。携帯電話の電話帳でP(ポーズ)を付けて電話番号を登録している場合はP(ポーズ)の前まで取り込まれます。ハイフンを付けて登録されている電話番号はハイフンを削除して取り込まれます。
- 長い名称や電話番号は一部が表示されない場合があります。
- 携帯電話でシークレット登録されている電話番号は取り込まれません。
- 携帯電話の発信履歴と着信履歴は取り込みできません。

Wi-Fi通信機器を接続する(1/3)

初めてお使いになるときは、Wi-Fi通信機器を「本機から自動探索する」「機器名を入力して登録する」「WPS機能を使用して登録する」のいずれかの方法で本機に登録してください。登録したWi-Fi通信機器の自動接続(142ページ)が「する」に設定されていれば、エンジンをACCまたはONにするだけで本機と自動的に接続されます。

<Wi-Fi通信機器接続後の画面表示例>



Wi-Fi電界強度インジケーター
接続・通信中は点滅表示します。

アドバイス

• Wi-Fi通信機器は最大10件まで登録できますが、2台以上のWi-Fi通信機器を同時に使うことはできません。

本機から自動探索してWi-Fi通信機器を登録する

Wi-Fi設定(機器探索)画面の機器リストから接続するアクセスポイントを選んで登録することができます。

1 **[MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押し、設定 → Bluetooth/Wi-Fi設定 → Wi-Fi設定 → 機器探索 の順にタッチする**

• アクセスポイント(技適マーク)の確認画面が表示されます。

2 **アクセスポイント(技適マーク)の確認画面の 確認 にタッチする**

• Wi-Fi設定(機器探索)画面が表示されます。

3 **登録したい機器名を選んでタッチし、機器登録 にタッチする**



4 **パスワード入力確認画面が表示されたら 確認 にタッチし、入力画面で機器のパスワードを入力し、完了 にタッチする**

• パスワードについては、Wi-Fi通信機器側の取扱説明書をご覧ください。
• 接続する機器によっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。手順5にお進みください。

5 **Wi-Fi通信接続が開始され、Wi-Fi設定画面に戻る**

• 登録したWi-Fi通信機器はWi-Fi設定画面へ追加されます。
• 接続中のWi-Fi通信機器には"接続"と表示されます。
• 登録したWi-Fi通信機器を消去できます。消去したい機器を選んで 消去 にタッチします。確認画面が表示されたら はい にタッチします。

Wi-Fi通信機器を接続する(2/3)

機器名を入力してWi-Fi通信機器を登録する

接続する機器が決まっていれば、本機に機器名(SSID)を入力して登録することができます。

1 **[MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押し、設定 → Bluetooth/Wi-Fi設定 → Wi-Fi設定 → 機器探索 の順にタッチする**

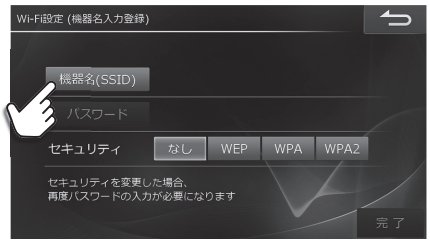
- アクセスポイント(技適マーク)の確認画面が表示されます。

2 **アクセスポイント(技適マーク)の確認画面の 確認 にタッチする**

- Wi-Fi設定(機器探索)画面が表示されます。

3 **機器名 入力登録 → 機器名(SSID) の順にタッチする**

- 同じ機器名(SSID)がすでに登録されている場合は、別の機器名(SSID)への変更をお勧めします。



4 **機器名称を入力して 完了 にタッチする**

5 **セキュリティの種類を なし WEP WPA WPA2 のいずれかにタッチして選ぶ**

- セキュリティを「なし」に設定した場合は、パスワードの入力は行いません。手順7に進んでください。

6 **パスワード にタッチし、入力画面で機器のパスワードを入力して 完了 にタッチする**

- WEPを選択した場合は「16進数(HEX)」(0 ～ 9の数字とa ～ fの英字)、WPA・WPA2の場合は「ASCII」(半角英数字)でそれぞれ入力してください。
- パスワードについては、Wi-Fi通信機器側の取扱説明書をご覧ください。

7 **入力が終了したら 完了 にタッチする**

8 **Wi-Fi通信接続が開始され、Wi-Fi設定画面に戻る**

- 登録したWi-Fi通信機器はWi-Fi設定画面へ追加されます。
- 接続中のWi-Fi通信機器には“接続”と表示されます。
- 登録したWi-Fi通信機器を消去できます。消去したい機器を選んで 消去 にタッチします。確認画面が表示されたら はい にタッチします。

Wi-Fi通信機器を接続する(3/3)

WPS機能を使用してWi-Fi通信機器を登録する

接続する機器にWPS 機能があれば、WPS機能を使用して登録することができます。

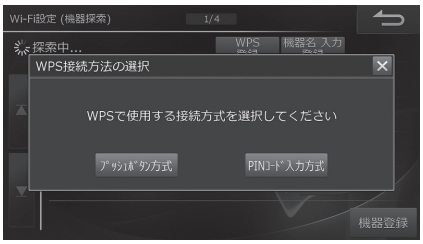
1 **[MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押し、設定 → Bluetooth/Wi-Fi設定 → Wi-Fi設定 → 機器探索 の順にタッチする**

- アクセスポイント(技適マーク)の確認画面が表示されます。

2 **アクセスポイント(技適マーク)の確認画面の 確認 にタッチする**

- Wi-Fi設定(機器探索)画面が表示されます。

3 **WPS登録 → プッシュボタン方式 または PINコード入力方式 にタッチする**



4 **プッシュボタン方式の場合は、2分以内にWi-Fi通信機器側で登録操作を行う。PINボタン方式の場合は、2分以内に本機画面に表示されたPINコードをWi-Fi通信機器に入力する**

- WPS機能については、Wi-Fi通信機器側の取扱説明書をご覧ください。
- WPS使用時のセキュリティはWPAまたはWPA2を選択してください(TKIP/WEPは「OFF」に設定)。

5 **Wi-Fi通信接続が開始され、Wi-Fi設定画面に戻る**

- 登録したWi-Fi通信機器はWi-Fi設定画面へ追加されます。
- 接続中のWi-Fi通信機器には"接続"と表示されます。
- 登録したWi-Fi通信機器を消去できます。消去したい機器を選んで 消去 にタッチします。確認画面が表示されたら はい にタッチします。

スマートフォンナビ連携機能

スマートフォンの「NaviCon」および「NaviCon」と連携するアプリを本機と連動させることができます。「NaviCon」と、連携するアプリで検索した地点をBLUETOOTH通信で本機側へ転送し、本機側で目的地設定・案内することができます。

本機能を使用するには、「NaviCon」およびアルパインオリジナルアプリ「おでかけコンシェル」をApp StoreまたはGoogle Playからスマートフォンにダウンロードしてください。

- NaviCon（iOS版/Android版）は無料で利用することができます。インストール方法は下記を参照してください。
  NaviConサポートサイト: https://navicon.com/

アドバイス

- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、電波状態が悪化する場合があります。
- スマートフォンナビ連携機能を使用するには、スマートフォンを本機に接続・登録する必要があります。接続・登録方法については66ページを参照してください。
- 別売のiPod/iPhone接続ケーブルを使ってiPhoneを接続している状態では、「NaviCon」および「NaviCon」と連携するアプリとの接続ができません。
- 一部機能については走行中の操作はできません。
- 本機はNTTドコモ・au・ソフトバンクのスマートフォンに対応しています。動作確認済みのスマートフォン機種についてはアルパインのホームページ（https://www.alpine.co.jp）を参照してください。
- 「NaviCon」と連携するアプリ（アルパインオリジナルアプリ「おでかけコンシェル」）については、アルパインのホームページ（https://www.alpine.co.jp）を参照してください。
- 「NaviCon」と連携するアプリ（アルパインオリジナルアプリ「おでかけコンシェル」）を利用すると通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。

1 スマートフォンを操作してApp StoreまたはGoogle Playからアプリケーション「NaviCon」および「おでかけコンシェル」をダウンロードする



- アルパインオリジナルアプリについては、アルパインホームページを参照してください。
  https://www.alpine.co.jp

2 本機にスマートフォンをBLUETOOTH接続する

- 66ページを参照して、お使いになるスマートフォンを本機に「ハンズフリー」または「ハンズフリー＋オーディオ」で登録・接続してください。
- 別売のiPod/iPhone接続ケーブルを使ってiPhoneを接続している状態では、BLUETOOTH接続ができません。接続ケーブルを外してからBLUETOOTH接続を行ってください。

3 スマートフォンを操作して「NaviCon」または「おでかけコンシェル」を起動する

- NaviConが起動し、本機との接続が完了するとNaviConの接続インジケーター表示が「ONLINE」になり、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。ナビ画面の状態・使用アプリによっては地図表示がされない場合があります。
- Androidスマートフォンの場合、スマートフォン側での接続先設定が必要になります。NaviConのメニュー→「接続先設定」→本機（初期設定はALPINEと表示）を選択して「完了」をタッチしてください。
- 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

「NaviCon」の操作

NaviConは多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。

- NaviConは、他のスマートフォン検索アプリと連携することができます。また、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報をNaviCon上に取り込むこともできます。連携できるアプリの種類や詳細については https://navicon.com/ を参照してください。
- スマートフォンの連絡先などに登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、取り込んだ地点情報をNaviConで目的地に設定することができます。
- NaviConユーザー間で、地点情報をメール・SMSで共有することができます。

アドバイス

- 「NaviCon」を利用すると通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。
- 安全のため、運転中はスマートフォンの操作をしないでください。

地点情報を利用する

1 スマートフォンを操作して「NaviCon」を起動する

- NaviConが起動し、本機との接続が完了するとNaviConの接続インジケーター表示が「ONLINE」になり、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。ナビ画面の状態・使用アプリによっては地図表示がされない場合があります。

2 NaviConから本機に地点情報を転送する

- 転送された場所が本機に画面表示されます。
- 地点情報の転送方法についてはNaviConの操作方法をご覧ください。
- 有料道路付近の施設に目的地・経由地を設定しても、一般道路に設定される場合があります。目的地・経由地を有料道路に設定する場合は、ルートの条件変更(50ページ)で 一般・有料 を再度選択してください。

3 本機の地図画面上で目的地設定を行い、案内開始 をタッチする

<複数地点が送信された場合>

1 目的地設定画面で地点を選んで目的地を設定する



2 経由地設定画面で経由地を設定する

<すでに目的地が設定されていた場合>

1 目的地に設定 または 経由地に追加 をタッチする

AVソースメニュー画面について(1/2)

AVソースメニュー画面は **[MODE]** / **[♪ AUDIO]** スイッチを押すと表示されます。テレビ放送・DVDの映像・SDカードやBT AUDIOの音楽・ラジオなどを楽しむことができます。



	テレビ放送を視聴することができます(79ページ)。
	DVDの映像(88ページ)やCDの音楽(95ページ)を再生することができます。
	SDカードに保存した音楽を再生することができます(98ページ)。
	AMラジオとFMラジオを聴くことができます(86ページ)。
	**iPod/iPhone接続時:** iPodやiPhoneの音楽を再生することができます(107ページ)。 **USBメモリー接続時:** USBメモリーに保存した音楽を再生できます(114ページ)。
	本機とBLUETOOTH接続したオーディオ機器の音楽を再生することができます(112ページ)。
	ウォークマンやポータブルオーディオプレーヤーなど外部接続機器の音楽や映像などを再生することができます(106・114ページ)。
	HDMI接続端子を持つスマートフォンやビデオカメラなどを本機に接続して、ビデオ・音楽・写真などを再生することができます(105ページ)。
	ハンズフリーフォンの操作画面を表示します(69ページ)。

AVソースメニュー画面について(2/2)

交通情報	道路交通情報を受信することができます(86ページ)。	
AV OFF	ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます。	• **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けることでもオーディオ・ビジュアルソースの音声・映像出力をOFFにできます。
音質調整	音質調整画面を表示します(131ページ)。	
    	後席(リアビジョン)に出力するソースの切りかえ設定を行うことができます(167ページ)。	• 現在の設定がスイッチに表示されます。
リアビジョン/アロマ	リアビジョン/アロマ画面を表示し、リアビジョン/アロマに関する設定を行います(166ページ)。	
設 定	設定・調整画面を表示します(115ページ)。	

<AVソース情報マーク一覧>

AVメイン画面、ナビ地図画面インジケーターに、下記のような情報アイコンが表示されます。

テレビ		チャンネル番号
ラジオ		周波数
DVD	C	チャプター番号
	T	タイトル番号
オーディオ		再生中の曲番号

テレビを見る

テレビを視聴できます。走行中は安全のため映像が消えて音声だけになります。

1 **[MODE] / [♪ AUDIO] スイッチを押し、AVソースメニューの TV をタッチする**



- テレビを初めて使うときは初期設定画面が表示されます。

2 **チャンネルを切りかえるには画面をタッチし、表示されたプリセットスイッチをタッチまたは [I◀◀] / [▶▶I] スイッチを押す**

- **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」78ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

初期設定について

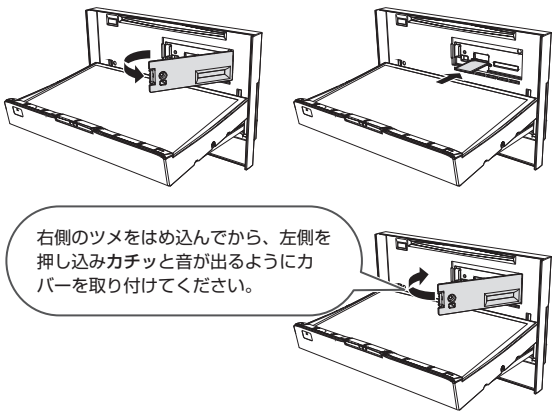
初めてテレビモードにすると初期設定画面が表示されます。画面に従ってお住まいの地域を設定し、最後に ホームスキャン をタッチしてください。

- ホームスキャン をタッチしたあとスキャンが終了するまではしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
- 初期設定(ホームスキャン)は自宅周辺で実行してください。ホームスキャンしたチャンネルは、ホームモードのプリセット番号として記憶されます。
- 引っ越しなどで居住地域が変わったときは、ホームスキャンをやり直してください。

B-CASカードについて

B-CASカードはテレビ放送の視聴に必要なICカードです。付属のB-CASカードの表面を上にして"カチッ"と音がするまで差し込んでください。

- B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みください。
- 付属のB-CASカードは他の製品には使用しないでください。
- B-CASカードにはICチップが組み込まれています。取り扱いには十分注意してください。
  - 折り曲げたり、変形させない。
  - 水をかけたり、濡れた手でさわらない。
  - 炎天下の車内や厳冬期の車内には長時間放置しない。
  - 分解加工は行わない。
- B-CASカード裏面の金色端子部に触れないよう、カードの側面を持ってください。カード端子部に手を触れた場合、手に付着している見えない異物が端子部に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。
- B-CASカードについてのお問い合わせ先はカードの台紙に記載されています。台紙は大切に保管しておいてください。



＜取付上の注意＞

右側のツメをはめ込んでから左側を押し込みカチッと音が出るようにカバーを取り付けてください。

B-CASカードお問い合わせ先:
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター TEL 0570-000-261

テレビ画面について

テレビ視聴中に画面にタッチすると、情報画面が表示されます。テレビ操作を行うには 切換>> をタッチして操作画面に切りかえます。しばらく(約8秒)操作しないと、情報・操作部分の表示が消えます。

■ 映像画面



画面にタッチ

約８秒後に情報・操作表示が消えます

■ 情報画面



番組名表示部分にタッチすると、番組情報画面を表示します

■ 操作画面２



切換 にタッチ

■ 操作画面１



テレビ操作画面について(1/2)

テレビを視聴中に画面をタッチするとテレビ操作画面が表示されます。操作画面は2画面あります。



※ 放送局のロゴマークは表示されない場合があります。

① 受信状態表示	受信電波の強弱がアイコンで表示されます。 テレビ受信状態マーク一覧 表示 / 受信状態: 圏外 / 微弱 / 弱 / 中 / 強	
② チャンネル番号	受信しているチャンネル番号が表示されます。	
③ 状態表示	現在の受信状態をアイコンで表示します。	• SCAN: 受信可能な放送局をスキャンしているときに表示されます。 • ワンセグ: ワンセグ放送を受信しているときに表示されます。 • SEARCH: 自動サーチ中に表示されます(84ページ)。
④ モードインジケーター表示	モード切換 で切りかえた内容がインジケーターに表示されます(82ページ)。	• 主:音声多重放送の主音声/副音声切りかえ • Multi Main:マルチビュー放送のアングル切りかえ • 映像1:映像が複数ある場合の切りかえ • 音声1:音声が複数ある場合の切りかえ • 字幕1:字幕切りかえ
⑤ プリセットスイッチ	プリセットされた放送局と番組名を表示し、タッチすると番組を切りかえます。	• **プリセットスイッチに放送局を記憶するには:** ホームスキャンまたはお出かけスキャンを行うと、プリセットスイッチに放送局が最大12チャンネル記憶されます。 • **プリセットした放送局を呼び出すには:** いずれかのプリセットスイッチをタッチします。 • 受信中の放送局のプリセットスイッチにタッチすると、地上デジタル放送とワンセグ放送が切りかわります。地上デジタル放送の映りが悪いときはワンセグ放送に切りかえてください。
⑥ バックグラウンドサーチインジケーター	バックグラウンドサーチ中はインジケーター(SEARCH)が表示されます。	• バックグラウンドサーチインジケーター表示中は、一時的に受信感度が低くなります。
[|◀◀] / [▶▶|]	プリセット番号順にチャンネルを切りかえます。	• 本体スイッチに [|◀◀] / [▶▶|] スイッチがあるモデルのみ。
∨ / ∧	プリセットされた放送局がスクロールします。	

テレビ操作画面について(2/2)

スキャン	お出かけモードやホームモードでは受信できない地域でテレビを見るときに、その地域で受信できる放送局をプリセットします(お出かけスキャン)。 2秒以上タッチし続けると、視聴中の放送局の中継局や系列局をサーチします。	• お出かけスキャンしたチャンネルはお出かけモードのプリセットスイッチに記憶されます。 • お出かけスキャンを実行するとお出かけモードにすでに登録されているチャンネルは上書きされます。
ホーム ↑↓ お出かけ	ホームモード/お出かけモードを切りかえます。	• ホームモード: お住まいの地域のチャンネルが設定されているモードです。 • お出かけモード: お出かけした際に、その地域のチャンネルを記憶するのに利用します。
番組表	番組表を表示します(83ページ)。	
情報更新	番組名や放送局名を最新の情報に更新します。	• 受信状態によってはプリセットスイッチに放送情報が表示されない場合があります。表示させるには受信状態の良い場所で 情報更新 にタッチしてください。受信できない放送局の番組情報は更新されません。
d	データ放送に切りかえます。	
	データ放送受信画面で をタッチするとデータ放送操作スイッチが表示されます。 	• キーOFF: 操作スイッチを非表示にします。もう一度画面をタッチすると操作スイッチが表示されます。 • 10キー: 10キーを表示します。数字を入力することができます。 • ◀ ▶ ▲ ▼:項目を選択します。 • 青 赤 緑 黄: 画面に従ってタッチすると、スイッチに割り当てられた操作を行うことができます。 • d: データ放送受信画面を終了し、テレビ受信画面に戻ります。 • 決定:項目を決定します。 • 戻る:前の画面に戻ります。 • 移動:操作スイッチの表示場所が変わります。 • ⮌:データ放送操作スイッチ表示を終了します。
サービスリスト	現在視聴可能な放送局と番組名の一覧を表示します。 見たい番組を選んでタッチすると、選んだ番組を視聴できます。	
設 定 ▲	タッチすると モード切換 画面設定 設定 スイッチを表示します。 	• モード切換 では主/副音声の切りかえ・字幕の切りかえ・マルチビュー映像の切りかえ・多言語放送の音声切りかえを行うことができます。選択した内容はインジケーターに表示されます。視聴している番組が音声多重放送かどうかなどについては、番組の詳細情報画面で確認できます。 • 画面設定 では画質の調整を行います。画質調整については136ページを参照してください。 • 設定 ではテレビの設定を行います。設定内容については84ページを参照してください。

番組表画面について

番組表画面はテレビの操作画面で 番組表 をタッチすると表示されます。



① **日付**	番組の日付が表示されます。	
② **アイコン**	放送の種類がアイコンで表示されます。	MV マルチビュー放送 字 字幕放送 多 音声多重放送 映像 複数の映像を持つ放送 音声 複数の音声を持つ放送 HV ハイビジョン放送 SD 標準画質放送 S ステレオ放送
③ **放送開始時間/番組名**	番組の放送開始時間と番組名が表示されます。	
④ **映像**	現在受信中の番組の映像が表示されます。	
⑤ **プリセット番号**	放送局のプリセット番号が表示されます。	
/	前後の時間帯の番組を表示します。	
次の日	次の日の番組表を表示します。続けてタッチすると、本日の番組表に戻ります。	
ワンセグ	ワンセグ放送の番組表に切りかわります。 ワンセグ が 地上D に変わります。地上D をタッチすると地上デジタル放送の番組表に切りかわります。	
情 報	選択している番組の番組名やあらすじなどの番組情報を表示します。音声多重放送かどうかやマルチビュー放送かどうかなども確認できます。	• 操作画面の番組情報表示エリアをタッチしても、番組情報画面を表示します。
/	前後のプリセット番号へ移動します。	

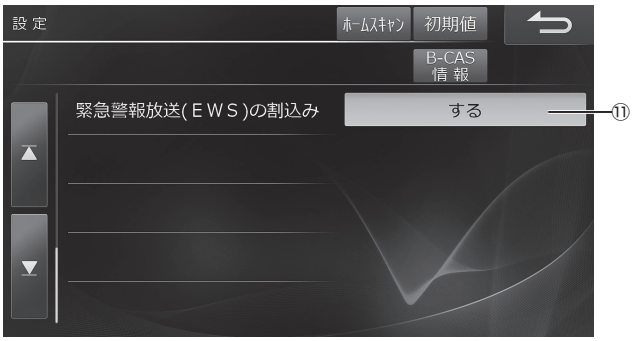
テレビ設定画面について(1/2)

テレビ設定画面はテレビの操作画面で 設定▲ → 設定 をタッチすると表示されます。設定画面は3画面あります。



① 地上D⇔ワンセグ自動切換	受信レベルが低下したときに、地上デジタル放送とワンセグを自動で切りかえるかどうかを設定できます。 初期設定値　：地上D優先	
② 裏番組情報取得設定	視聴中の放送局の受信感度が良いときに、視聴を継続しながらプリセットスイッチに表示する番組情報を取得します。 初期設定値　：する	
③ バックグラウンドサーチ設定	視聴中の放送局の受信感度が低下した際に、視聴を継続しながら受信状態の良い中継局の放送局サーチを行います。 初期設定値　：する	
④ 自動サーチ設定	一定時間放送局を受信できないときに、中継局や同系列局の放送局を自動で選局するまでのおおよその時間を設定できます。 初期設定値　：5秒	• お出かけモードの場合のみ、自動サーチしたチャンネルはお出かけモードで選択中のプリセット番号に記憶されます。
⑤ 自動サーチモード	自動サーチで中継局が受信できなかった場合、視聴局の系列局サーチを行うか、またはお出かけスキャンを実行してその地域で受信できる放送局をお出かけモードに登録するかどうかを設定します。 初期設定値　：お出かけスキャン	• 「自動サーチ設定」が「しない」設定の場合、本設定を行うことはできません。 • 「お出かけスキャン」に設定すると、隣県へ移動したときなどに、視聴中の放送局以外にその地域で受信可能な放送局を登録します。 • お出かけスキャンを実行すると、すでに登録されているチャンネルがある場合は新しく登録した内容に書きかえられます。受信状況により放送局を受信できない場合は、スキャン開始前の状態に戻ります。
⑥ 放送局自動選局	チャンネルのスキャンを行うときに、それまで視聴していた放送局と同じ系列の放送局を自動で受信するかどうかを設定できます。 初期設定値　：する	• お出かけモードのときスキャンが行われると、お出かけモードのプリセットスイッチに上書きされます。ホームモードのときはプリセットスイッチには上書きされません。
⑦ 文字スーパー表示	文字スーパーを表示するかどうかを設定します。表示する場合は言語を選択できます。 初期設定値　：言語1	
⑧ 地域設定	ホームモードで受信する放送局の地域を設定します。	
⑨ 県域設定	ホームモードで受信するデータ放送視聴のための県域を設定します。	
⑩ 郵便番号設定	ホームモードで受信するデータ放送視聴のための郵便番号を設定します。	

テレビ設定画面について(2/2)



⑪ 緊急警報放送(EWS)の割込み	地震や津波などの災害が発生した場合に、緊急警報放送(EWS-Emergency Warning System)を表示するかどうかを設定できます。 初期設定値　：する	• オーディオビジュアルソースがテレビ以外のときは緊急警報放送(EWS)のメッセージは表示されません。
B-CAS 情報	B-CAS ID情報画面が表示されます。B-CASカードの情報を確認したり、B-CASカードが正常に機能しているかテストすることができます。	• B-CASカードのテスト手順は以下の通りです。 1. B-CAS ID 情報画面で テスト をタッチする テスト開始の確認画面が表示されます。 2. 開始 にタッチする B-CASカードのテストが開始されます。 • テストが終了するとテスト完了のメッセージを約4秒間表示し、B-CAS ID情報画面に戻ります。 • B-CASカードのテスト中はカードを抜いたり本機の電源をOFFにしたりしないでください。カードの破損や故障の原因になります。
ﾎｰﾑｽｷｬﾝ	お住まいの地域で受信できる放送局をスキャンしてホームモードに記憶します。	• ホームスキャンは自宅周辺で実行してください。ホームスキャンしたチャンネルは、ホームモードのプリセット番号として記憶されます。 • 引っ越しなどで居住地域が変わったときは、ホームスキャンをやり直してください。
初期値	テレビ放送の設定値をお買い上げ時の状態に戻します。	• 記憶したプリセットチャンネルもリセットされます。

ラジオを聴く・交通情報を聴く

AM放送またはFM放送を受信します。本機はワイドFM(90.1MHz ～ 95.0MHz)に対応しています。AMラジオが入りにくいところでも、FM放送でAMラジオの番組が受信できます。

1 **[MODE] / [♪ AUDIO]** スイッチを押し、AVソースメニューの ラジオ をタッチする



2 プリセットスイッチをタッチする

- 放送局が切りかわります。
- **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」78ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。



交通情報を受信するには

1 **[MODE] / [♪ AUDIO]**スイッチを押し、AVソースメニューの 交通情報 をタッチする



2 1620kHz または 1629kHz をタッチする

- 交通情報を終了するときは **[MODE] / [♪ AUDIO]** スイッチを押し、AVソースメニュー画面から他のソースアイコンを選択してください。



ラジオ操作画面について



① バンド表示	受信中のバンド(FMまたはAM)が表示されます。	
② 放送局名/周波数表示	受信中の放送局名と周波数が表示されます。	
③ プリセットスイッチ	各放送局の番組に切りかえます。	• 手動で放送局を記憶するには: 記憶させたいプリセットスイッチを操作音がするまでタッチし続けます。 • プリセットした放送局を呼び出すには: いずれかのプリセットスイッチをタッチします。
[⏮] / [⏭] (ダウンスイッチ) / (アップスイッチ)	プリセットで登録した放送局を選局します。	• [⏮] / [⏭] は、本体スイッチに [⏮] / [⏭] スイッチがあるモデルのみ。
◀◀ / ▶▶	聴きたい放送局(周波数)を選局します。	• 選局モード設定(次項目)により、選局先が変わります。 • 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
選局モード設定 DX SEEK▲	タッチすると、DX SEEK・SEEK・MANUALのいずれかを選択できます。 初期設定値：DX SEEK	• DX SEEK: 受信可能な放送局を自動的に受信します(自動選局)。 • SEEK: 電波の強い放送局だけを自動的に受信します(自動選局)。 • MANUAL: 手動で周波数を切りかえます。
オートメモリー	受信できる放送局をプリセットスイッチに自動で記憶します。	• 受信感度のよい放送局を周波数の低い順にAMとFM各9局まで自動的に記憶します。 • 受信電波の弱い地域ではオートメモリーでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合はオートメモリー前の状態に戻ります。 • 受信電波の状態により記憶される放送局が異なることがあります。
マニュアル▲	タッチすると、マニュアル・オート・エリアのいずれかを選択できます。	• マニュアル: 手動で選局した放送局を記憶するとき。 • オート: オートメモリーで放送局を記憶するとき。 • エリア: 本機に記憶されている各エリアの放送局を現在位置で判断して自動でプリセットします。
バンド	ラジオバンド(FMまたはAM)を切りかえます。	

DVDを見る

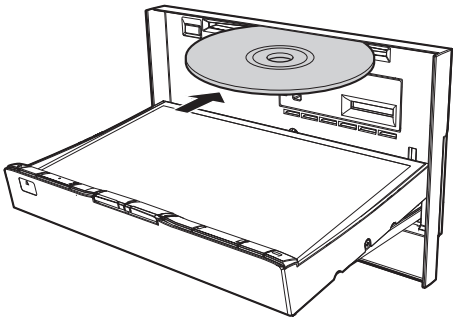
DVDの高画質な映像とデジタルサウンドを再生することができます。

アドバイス

- DVDやソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- 再生できるディスクの種類などについては「AVソースメディアについての注意」(190ページ)を参照してください。
- 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。

ディスクが入っていないときは

1 **[開/閉] / [⏏] スイッチを押してディスプレイを開き、レーベル面を上にしてDVD/CD挿入口にディスクを挿入する**



- ディスクを挿入するとディスプレイが自動的に閉まり、再生が始まります。
- **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声･映像はそのままでオーディオ･ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」78ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。
- **XF11Zシリーズのみ**
  ディスプレイの上部を持って手前に倒し、ディスクを挿入します。ディスク挿入後、ディスプレイの上部を持ってディスプレイを起こし、お好みの角度に調整します。

すでにディスクが入っているときは

1 **[MODE] / [♪ AUDIO]スイッチを押す**

2 AVソースメニューの DVD/CD をタッチする



- **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声･映像はそのままでオーディオ･ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」78ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

<ディスクを取り出すには>

1 **[開/閉] / [⏏] スイッチを押してディスプレイを開き、本体側の [⏏] スイッチを押す**
ディスクが排出されます。ディスクは必ず取り出してください。

2 **本体スイッチのいずれかを押してディスプレイを閉じる**
ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。

- **XF11Zシリーズのみ**
  ディスクを取り出すときはディスプレイの上部を持って手前に倒し、**[⏏]** スイッチを押します。ディスクを取り出したらディスプレイの上部を持ってディスプレイを起こし、お好みの角度に調整します。

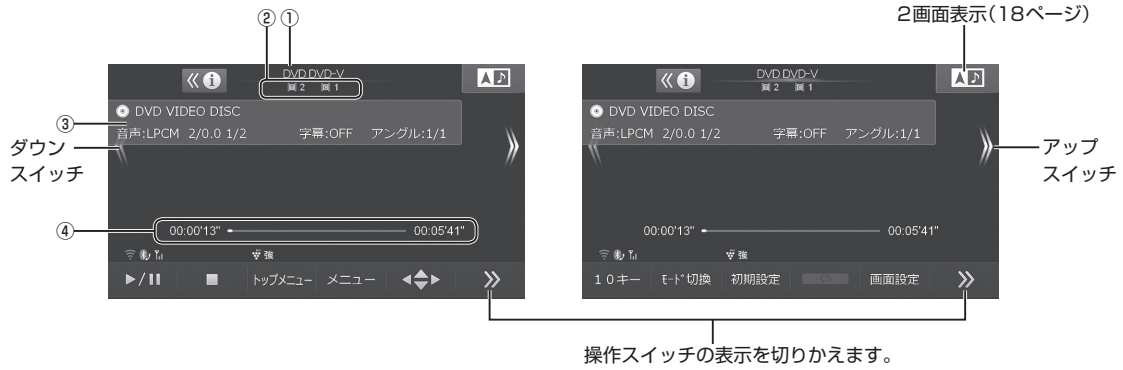
DVD操作画面について(1/3)

再生中に画面をタッチすると操作画面が表示されます。DVDビデオとDVD-VRでは操作できる内容が異なります。それぞれの操作画面は2画面あります。

アドバイス

• ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けない場合があります。画面には ⃠(禁止)マークが表示されます。

<DVDビデオ(DVD-V)>



<DVD-VR>



① **再生ディスク表示**	再生しているディスクの種類が表示されます。	• DVD-V: 市販のDVDビデオディスクまたはビデオモードで記録されたDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWのディスク。 • DVD-VR: DVD-VRモードで記録されたDVD-R/DVD-RWのディスク。
② **シーン番号**	再生しているシーンの番号(チャプター番号など)が表示されます。	• DVD-V: タイトル番号(T)およびチャプター番号(C)。 • DVD-VR: プログラム番号/プレイリスト番号(i)およびチャプター番号(C)。
③ **DVD情報表示**	DVDの再生情報が表示されます。	• ⏮i:DVD情報表示が消えます。 • ⏭i:DVD情報表示を表示できます。
④ **チャプター再生時間表示**	再生中のチャプターの再生経過時間と総再生時間が表示されます。	• 早送りまたは早戻し中は倍速が表示されます。
[I◀◀] / ⏪ **(ダウンスイッチ)**	再生中にタッチすると現在のチャプターと前のチャプターの頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	• **頭出し:** 現在のチャプターの頭出しをします。続けてタッチすると前のチャプターの頭出しをします。 • **早戻し:** 2秒以上タッチすると2倍速で早戻しします。早戻し中にタッチすると、タッチするたびに速度が8倍速→32倍速に切りかわります。 ▶II をタッチする、または32倍速時にダウンスイッチにタッチすると通常再生に戻ります。**[I◀◀]** / ⏪、**[▶▶I]** / ⏩ を2秒以上押しても通常再生に戻ります。 • **[I◀◀]** は、本体スイッチに **[I◀◀]** スイッチがあるモデルのみ。

DVD操作画面について(2/3)

[▶▶|] / ⟫ (アップスイッチ)	再生中にタッチすると次のチャプターの頭出しをします。タッチし続けると早送りします。 一時停止中にタッチするとコマ送り再生をします。タッチし続けるとスロー再生をします。	• **頭出し:** 次のチャプターの頭出しをします。 • **早送り:** 2秒以上タッチすると2倍速で早送りします。早送り中にタッチすると、タッチするたびに速度が8倍速→32倍速に切りかわります。 ▶II をタッチする、または32倍速時にアップスイッチにタッチすると通常再生に戻ります。[I◀◀] / ⟪、[▶▶I] / ⟫ を2秒以上押しても通常再生に戻ります。 • **コマ送り:** タッチするたびに1コマずつコマ送りします。 ▶II をタッチすると通常再生に戻ります。 • **スロー再生:** 2秒以上タッチすると1/8倍速でスロー再生します。さらにタッチすると1/2倍速でスロー再生します。 ▶II をタッチする、または [▶▶I] / ⟫ を2秒以上押すと通常再生に戻ります。 • [▶▶I] は、本体スイッチに [▶▶I] スイッチがあるモデルのみ。
▶/II	再生を一時停止(ポーズ)します。	• 一時停止中に ▶II をタッチすると再生を開始します。
■	再生を停止します。タッチする回数で停止モードが変わります。	• **1回タッチ(PRE STOP):** 停止した位置を記憶(プレイポジションメモリ)しています。 ▶II をタッチすると停止した位置から再生を開始します。 • **2回タッチまたは2秒以上タッチし続ける(STOP):** 停止した位置を記憶しません。 ▶II をタッチすると初めから再生を開始します。
トップメニュー	DVDトップメニュー画面を表示します。	• メニュー操作については ✣ の項目を参照してください。 • 直接メニュー画面をタッチしても操作することができます。
メニュー	DVDメニュー画面を表示します。	• メニュー操作については ✣ の項目を参照してください。 • 直接メニュー画面をタッチしても操作することができます。
◀▲▼▶	キー ON にタッチするとDVDメニュー画面を操作するスイッチを表示します。 	• ◀ ▶:カーソルを左右に移動します。 • ▲ ▼:カーソルを上下に移動します。 • 10キー: 10キーを表示します。数字を入力することができます。 • RETURN:前の画面に戻ります。 • 決定:選択した項目を決定します。 • ⮌:メニュー操作画面を終了します。 • キーOFF:操作画面表示をOFFにします。 キー ON スイッチをタッチするとメニュー操作画面を表示します。 ↑移動 ↓移動 をタッチするとタッチスイッチを画面の上下に移動できます。
10キー	メニュー番号・チャプター番号・タイトル番号・プログラム番号を指定して見たいシーンを探すことができます。	• **メニュー番号のサーチ:** メニュー画面表示中に操作できます。 • **チャプター番号のサーチ:** 再生中・PRE STOP中・一時停止中に操作できます。 • **タイトル番号・プログラム番号のサーチ:** 停止(STOP)中に操作できます。

DVD操作画面について(3/3)

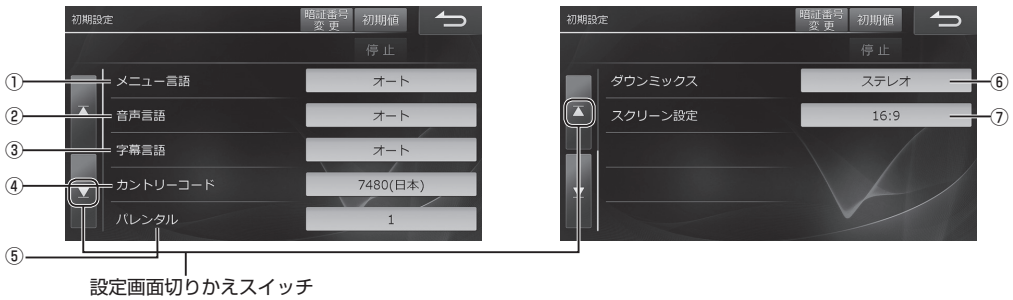
ﾓｰﾄﾞ切換	DVDビデオのモード切換画面が表示されます。再生中に音声・字幕言語・アングルを切りかえることができます。	• 音声: タッチするたびにディスクに収録されている音声を切りかえます。 • 字幕: タッチするたびにディスクに収録されている字幕言語を切りかえます。 • アングル: タッチするたびにディスクに収録されているアングルを切りかえます。 • ディスクによっては切りかえができない場合があります。
◀ プログラム ▶ ◀ プレイリスト ▶	DVD-VRでプログラムまたはプレイリストを選ぶことができます。タッチするたびに前後のプログラムまたはプレイリストに切りかわります。	
音声/字幕	DVD-VRの音声/字幕切換画面が表示されます。再生中に音声や字幕を切りかえることができます。	• 音声: タッチするたびにディスクに収録されている音声を切りかえます。 多重音声が記録されているディスクの場合は、音声に2秒以上タッチするたびに LR→LL→RR→LR・・・の順に切りかわります。 • 字幕:字幕の表示/非表示を切りかえます。 • ディスクによっては切りかえができない場合があります。
サーチ	プレイリスト・プログラムサーチ画面が表示されます。プレイリスト プログラム にタッチするとサーチ画面が切りかわります。	• プレイリスト: 再生したいプレイリストをタッチします。 • プログラム: 再生したいプログラムをタッチします。
初期設定	DVD初期設定画面が表示されます。	• DVD初期設定操作は92ページを参照してください。
	気にいった場面を繰り返し再生することができます(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。	• DVD-V: 🔁 → 🔁 TITLE→OFF→・・・ • DVD-VR: 🔁 → 🔁 PROGRAM / 🔁 PLAYLIST →OFF→・・・ 🔁:チャプターリピート 🔁 TITLE:タイトルリピート 🔁 PROGRAM:プログラムリピート 🔁 PLAYLIST:プレイリストリピート
画面設定	画質調整画面が表示されます。	• 画質調整については136ページを参照してください。

DVD初期設定画面について(1/2)

DVD初期設定画面はDVDの操作画面で 初期設定 をタッチすると表示されます。設定画面は2画面あります。

アドバイス

- 初期設定 が表示されていないときは » をタッチして操作スイッチを切りかえてください。
- DVD初期設定はDVD再生が停止中にのみ行えます。DVDを再生中にDVD初期設定を行う場合は、DVD初期設定画面で 停止 をタッチして再生を停止させてから設定してください。



① メニュー言語	タイトルやメインメニューで表示される言語を設定します。 **初期設定値**：オート	• オート に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。 • その他 を選択した場合は完全操作ガイドの「言語コード一覧」を参照して4桁の言語コードを入力してください。(完全操作ガイドについては裏表紙を参照してください。)
② 音声言語	音声言語を設定します。 **初期設定値**：オート	• オート に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の音声言語で再生されます。 • その他 を選択した場合は完全操作ガイドの「言語コード一覧」を参照して4桁の言語コードを入力してください。(完全操作ガイドについては裏表紙を参照してください。) • DVDソフトによっては、設定した言語ではなくソフトに記録されている言語で再生される場合があります。
③ 字幕言語	字幕言語を設定します。 **初期設定値**：オート	• オート に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。 • その他 を選択した場合は完全操作ガイドの「言語コード一覧」を参照して4桁の言語コードを入力してください。(完全操作ガイドについては裏表紙を参照してください。)
④ カントリーコード	視聴規制(パレンタルロック)をするときの規制レベル(国番号)を設定します。4桁の国番号を入力します。 **初期設定値**：7480(日本)	

DVD初期設定画面について(2/2)

⑤ パレンタル	成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴規制を設定します。4桁の暗証番号を設定し、視聴制限レベルを8段階から選択します。 **初期設定値**：OFF	• DVDソフトによっては視聴制限レベルが記録されていない場合があります。 • 2回目以降は最初に設定した暗証番号を入力します。暗証番号は忘れないように注意してください。暗証番号を忘れてしまった場合はDVDの設定内容を初期化(93ページ)してから再度登録してください。 • 暗証番号を変更することもできます。DVD初期設定画面で 暗証番号変更 をタッチして元の暗証番号を入力後、新しい暗証番号を入力し 完了 をタッチします。 • 視聴制限レベルについては94ページを参照してください。 ※ DVDソフトを再生中にパレンタルレベルの変更メッセージが表示されたら はい をタッチして暗証番号を入力してください。視聴制限した映像が再生されます。
⑥ ダウンミックス	ドルビーデジタル音声のDVDソフトを再生するときに有効です。タッチするたびにサラウンドとステレオの設定が切りかわります。 **初期設定値**：ステレオ	
⑦ スクリーン設定	画面サイズを設定します。画面サイズは16:9(ワイド)・4:3(レターボックス)・4:3(パンスキャン)から選択できます。 **初期設定値**：16:9	• 16:9(ワイド): 通常のワイドサイズで表示されます。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示または左右に伸びた表示になります。 • 4:3(レターボックス): 16:9の映像では上下両端が黒く表示されます。4:3のサイズで収録されたDVD ソフトの場合は画面サイズちょうど(4:3)で表示されます。 • 4:3(パンスキャン): 16:9の映像では左右両端がカットされた映像になります。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズちょうど(4:3)で表示されます。 • DVDソフトによっては画面サイズが変更されない場合があります。通常は16:9(初期設定値)に設定してください。 **注 意** お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮または引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
初期値	DVD初期設定の内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻します。	

DVDの機能について

マルチ音声機能について	DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、テレビの音声多重放送のように、再生する音声言語を切りかえることができます。
サブタイトル(字幕)表示機能について	DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、再生する字幕言語を切りかえたり、字幕を表示しないように設定して映像を再生することができます。またソフトメニューの言語を切りかえることもできます。
マルチアングル機能について	DVDソフトには同じ場面が複数のアングルで記録されているもの(マルチアングル)があり、再生するアングルを切りかえることができます。
マルチストーリー機能について	DVDソフトにはメインストーリー以外にサブストーリーやバージョンの違う映像が記録されているもの(マルチストーリー)があり、お好みのストーリーを選択することができます。操作方法はディスクによって異なります。 マルチストーリーには次のようなものがあります。 メインストーリー /サブストーリー: ディスクの中には番外編のストーリーが含まれていることがあります。例えば主人公が友人と別れる場面があった場合に、サブストーリーでは別れた友人のその後のストーリーを紹介するというように、違うストーリーを再生することができます。 マルチバージョン: 劇場公開版･完全版･ディレクターズカットなど1つの作品で複数のバージョンを再生することができます。 ハイライト･シーン･スキャン: 特定の人物やアニメのキャラクターの登場する場面だけを再生したり、音楽の場面だけを再生したりというように、特定の場面だけを再生することができます。 ブランチング･ストーリー: ロールプレイングゲームのように、例えば登場人物の行動をメニューから選択して物語を展開しながら再生することができます。再生中に撮影のメイキングシーンを見ることもできます。
視聴制限について	DVDソフトには成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は以下の8段階のレベルがあり3種類に分類されます。 レベル1: 子供向けのDVDソフトのみを再生します(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。 レベル2 ～ 7: 子供向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します)。 レベル8: すべてのDVDソフトを再生します。 OFF: 視聴制限しません。すべてのDVDソフトを再生します(初期設定)。 視聴制限はDVD初期設定の「パレンタル」から設定します(初期設定値は「OFF」)。設定の方法については「パレンタル」(93ページ)を参照してください。
ディスクに関する用語について	タイトル: DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切る一番大きな単位です。 チャプター: タイトルの内容を場面や曲ごとに小さく区切った単位です。 プレイリスト: 再生する映像の再生順を記録したリストです。

CDを聴く

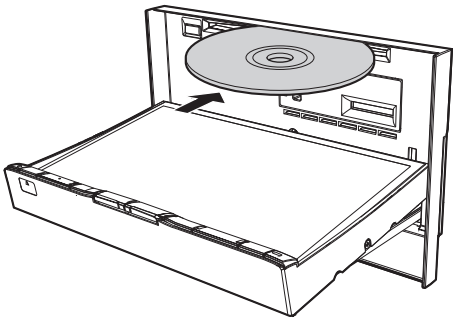
CDやMP3/WMA/AACデータが記録されたディスクを再生することができます。

アドバイス

• 再生できるディスクの種類などについては「AVソースメディアについての注意」(190ページ)を参照してください。

ディスクが入っていないときは

1 **[開/閉] / [⏏] スイッチを押してディスプレイを開き、レーベル面を上にしてDVD/CD挿入口にディスクを挿入する**



• ディスクを挿入するとディスプレイが自動的に閉まり、再生が始まります。

• **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」78ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

• **XF11Zシリーズのみ**
ディスプレイの上部を持って手前に倒し、ディスクを挿入します。ディスク挿入後、ディスプレイの上部を持ってディスプレイを起こし、お好みの角度に調整します。

すでにディスクが入っているときは

1 **[MODE] / [♪ AUDIO] スイッチを押す**

2 AVソースメニューの DVD/CD をタッチする



• **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」78ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

<ディスクを取り出すには>

1 **[開/閉] / [⏏] スイッチを押してディスプレイを開き、本体側の [⏏] スイッチを押す**
ディスクが排出されます。ディスクは必ず取り出してください。

2 **本体スイッチのいずれかを押してディスプレイを閉じる**
ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。

• **XF11Zシリーズのみ**
ディスクを取り出すときはディスプレイの上部を持って手前に倒し、**[⏏]** スイッチを押します。ディスクを取り出したらディスプレイの上部を持ってディスプレイを起こし、お好みの角度に調整します。

Gracenoteについて

CDを再生すると、本機に保存されているGracenoteデータベースからアルバム・曲名・アーティストなどの情報を取得して画面に表示します。本機の発売以降に発売されたCDなど、本機のデータベースにないタイトルデータは、インターネットに接続してGracenoteメディアデータベースからダウンロードすることができます。

• インターネットに本機を接続してタイトルデータを更新する場合は、SDカードに音楽を録音した後、SD AUDIO編集画面で行います(103ページ)。

• 本サービスは弊社都合により将来終了または内容を変更する可能性があります。

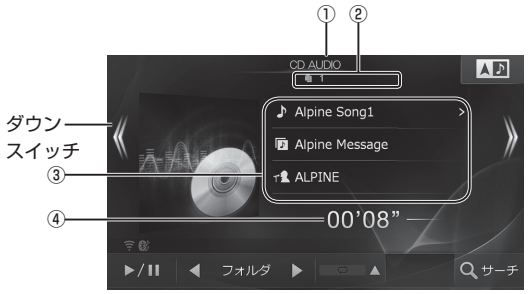
CD再生画面について(1/2)

CDとMP3/WMA/AACでは操作できる内容が異なります。

アドバイス

- SDカードへの録音中はCD操作を行うことはできません。CDからSDカードへの録音については99ページを参照してください。

<MP3/WMA/AAC>



<CD>



① **再生ディスク表示**	MP3/WMA/AACを再生すると「CD AUDIO」または「DVD AUDIO」と表示されます。	
② **曲番号**	再生している曲の番号が表示されます。	
③ **曲情報表示**	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	• タッチすると再生対象となっている曲名・アルバム名・アーティスト名をリスト表示します。リストから聴きたい曲・アルバム・アーティストを選ぶことができます。
④ **再生時間表示**	再生中の曲の再生経過時間が表示されます。	

CD再生画面について(2/2)

[I◀◀] / ⟪ (ダウンスイッチ)	再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	• [I◀◀] は、本体スイッチに [I◀◀] スイッチがあるモデルのみ。
▶/II	再生を一時停止(ポーズ)します。	• 一時停止中に ▶II をタッチすると再生を開始します。
[▶▶I] / ⟫ (アップスイッチ)	次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。	• [▶▶I] は、本体スイッチに [▶▶I] スイッチがあるモデルのみ。
SCAN	再生中のフォルダー内全曲のイントロ部分、またはフォルダーごとの最初の曲のイントロ部分を約10秒間ずつ順に再生します。タッチするたびにスキャン再生の種類が変わります。	• CD:SCAN→OFF→・・・ • MP3/WMA/AAC: SCAN→SCAN FOLDER→OFF→・・・ SCAN: フォルダー内の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。 SCAN FOLDER: 全フォルダーの最初の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
⤨	ディスク内の曲またはフォルダー内の曲を順不同で再生します(ミックス再生)。タッチするたびにミックス再生の種類が変わります。	• CD: ⤨ →OFF→・・・ • MP3/WMA/AAC: ⤨ FOLDER→ ⤨ →OFF→・・・ ⤨ FOLDER: フォルダー内の曲のみを順不同に再生します。 ⤨:ディスク内の曲を順不同に再生します。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
⟲	再生中の曲またはフォルダー内の曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。	• CD: ⟲ →OFF→・・・ • MP3/WMA/AAC: ⟲ → ⟲ FOLDER→OFF→・・・ ⟲:1曲のみを繰り返し再生します。 ⟲ FOLDER: フォルダー内の曲のみを繰り返し再生します。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
◀ フォルダ ▶	MP3/WMA/AACでは聴きたいフォルダーを選ぶことができます。タッチするたびに前後のフォルダーに切りかわります。	
サーチ	MP3/WMA/AACでは聴きたい曲を探すことができます。リスト画面でフォルダー名と曲名をタッチします。	
●	CDの曲をSDカードに録音することができます。	• 録音については99ページを参照してください。 • 録音中は ■ スイッチになります。 ■ をタッチし、確認メッセージが表示されたら はい をタッチすると録音を停止します。 • 録音中に③曲名表示部(96ページ)をタッチしてリストを表示すると、曲名にアイコンが表示されます。 ▶: 再生中の曲 ●: 録音中の曲 NG: 録音に失敗した曲

SD AUDIOの音楽を聴く

SDカードへの楽曲データ録音(記録)方法によって、SDカードの操作方法が異なります。

<本機でCD再生しながらSDカードに楽曲データを録音したSDカードの操作方法>

操作方法: SD AUDIO操作ページ(本章)を参照してください。

データ形式:

- 録音形式:AAC
- 録音書き込み速度:約8倍速(使用するSDカードによっては書き込み速度が遅くなる場合があります。)
- サンプリングレート:44.1MHz
- ビットレート:96/128/192kbps(初期設定は128kbps)
- 録音可能曲数:最大9,999曲(アルバム数/アーティスト数はそれぞれ最大999)

• 録音方法については99ページを参照してください。

<パソコン等を使用してSDカードに楽曲データを保存したSDカードの操作方法>

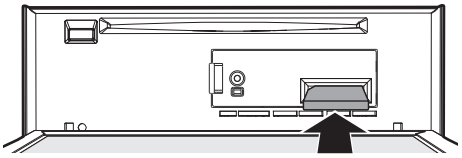
操作方法:CDディスクに記録されたMP3/WMA/AAC同様の操作となります。96ページを参照してください。

データ形式:「AVソースメディアについての注意」(190ページ)を参照してください。

SDカードにある音楽データを再生するには

1 SDカードを本機に挿入し、**[開/閉]** / **[⏏]** スイッチを押してディスプレイを閉じる

• "カチッ"と音がするまで差し込んでください。



2 **[MODE]** / **[♪ AUDIO]**スイッチを押し、SD をタッチすると再生が始まります。

• 再生できるSDカードおよびファイルの種類などについては191ページを参照してください。

• **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」78ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

• 録音用SDカードはライトプロテクトされていると再生することができません。

• **[開/閉]** / **[⏏]** スイッチを押してディスプレイを開くと、SDカードの再生が中断されます。

• SDカードを取り出すときは、データ保護のために必ず「SDメモリーカードへのアクセスを中断しました」のメッセージが表示されてから、SDカードを押して引き抜いてください。

• **XF11Zシリーズのみ**
SDカードを挿入する/取り出すときは、ディスプレイの上部を持って手前に倒します。ディスプレイの上部を持ってディスプレイを起こし、お好みの角度に調整します。

• データ保護のため、再生中にSDカードを取り出さないでください。ディスプレイを倒してもSDカードの再生は中断しないため、別のAVソースに切りかえてからSDカードを取り出してください。

SDカードに曲を録音する

SDカードには最大9,999曲録音することができます。SDカードの容量や録音モードによって録音曲数は異なります。

SDカードに曲を録音するには、本機添付のSDカード※1またはお客様自身で準備したSDカード※2を録音用SDカードとして初期化する必要があります。初期化するにはあらかじめ録音用SDカードを初期化する方法と録音操作開始時に初期化する2通りの方法があります。あらかじめ録音用SDカードを初期化する場合は、「メディア編集画面」(135ページ)のSD初期化の説明を参照してください。(録音用SDカードの初期化は、地点登録用の初期化とは別のフォーマットになります。)

※1 本機添付のSDカードは「クイックセットアップ(販売店設定)」(206ページ)でお客様の車を設定するまでは初期化しないでください。

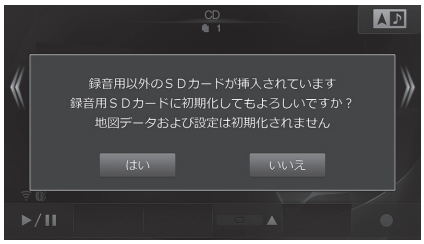
※2 録音用のSDカードは4GB ～ 32GBのSDHCカードが使用可能です。

SDカードに曲を録音する

1 CD再生画面で ● をタッチする

- 再生中の曲から録音が開始されます。
- SDカードが初期化済みでない場合はメッセージが表示されます。手順2に進み、SDカードを初期化すると録音が開始されます。

2 初期化を確認するメッセージが表示されたら
はい をタッチする
再度確認メッセージ(“本当に初期化しますか？”)
が表示されるので、もう一度 はい にタッチする



- 録音開始後はSDカード内の録音済の曲が再生されます。録音が終了するとCDモードになります。
- CDの途中で録音を中断した場合、アルバムの曲順通りに録音できない場合があります。その際は該当するアルバムを消去して、もう一度録音を行ってください。
- 録音中はCD操作を行うことはできません。
- 録音用初期化や録音開始までに時間がかかる場合があります。
- 残容量100MB以下のSDカードには録音できません。

録音の注意事項

- 本機の故障・誤動作・不具合により録音できなかったデータおよび消失したデータについては補償できません。
- 著作権法上、お客様が録音したものは個人として楽しむほかは権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
- エンジンがACC ONの状態で録音しているときにエンジンをかけると、録音したデータが消失する場合があります。
- ノンストップCD(曲と曲の間に無音部分がないCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され不自然な音切れが発生することがあります。録音するディスクに依存します。
- MP3/WMA/AACは録音できません。
- 録音用に初期化したSDカードは本機以外に挿入しないでください。データが破損する可能性があります。
  なお、PC等に録音用SDカードを挿入するとフォーマットを促す場合がありますが、録音データが失われますのでキャンセルしてください。
- 録音中や初期化中は絶対にSDカードを取り出さないでください。取り出すときは録音を停止するか、または初期化終了を確認してください。SDカード内のデータが破損する可能性があります。
- 録音中に以下の操作をすると録音を停止します。
  - ■ をタッチする(再生されている曲の頭からCDモードで再生します)
  - ディスプレイを開く(再生されている曲の頭からCDモードで再生します)
  - エンジンをACC ONからOFF(LOCK)にする(エンジンをかけると再生していた曲の続きからCDモードで再生します)

SD AUDIO再生画面について(1/2)



① **曲番号**	再生している曲の番号が表示されます。	
② **曲情報表示**	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	• タッチすると、再生対象となっている曲名・アルバム名・アーティスト名をリスト表示します。リストから聴きたい曲・アルバム・アーティストを選ぶことができます。
③ **再生時間表示**	再生中の曲の再生経過時間が表示されます。	
④ **ダイレクトアップ / ダウンスイッチ**	別のジャンルやアーティストなどの曲に切りかえて再生します。	• 画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで決定したモードになります。 **ダイレクトアップ/ ダウンスイッチの種類:** ◀ ジャンル ▶、◀ アーティスト ▶、 ◀ アルバム ▶、◀ プレイリスト ▶
[I◀◀] / (ダウンスイッチ)	再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	• **[I◀◀]** は、本体スイッチに **[I◀◀]** スイッチがあるモデルのみ。
▶/❚❚	再生を一時停止(ポーズ)します。	• 一時停止中に ▶❚❚ をタッチすると再生を開始します。
[▶▶I] / (アップスイッチ)	次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。	• **[▶▶I]** は、本体スイッチに **[▶▶I]** スイッチがあるモデルのみ。

SD AUDIO再生画面について(2/2)

	SCAN	再生対象となっている曲リストの曲のイントロ部分だけを聴いて(約10秒間)聴きたい曲を探すことができます(スキャン再生)。	• もう一度 SCAN をタッチすると通常再生に戻ります。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
		SDカード内の曲を順不同に再生することができます(ミックス再生)。	• もう一度 (ミックス)をタッチすると通常再生に戻ります。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。 ※ 例えば、サーチでアルバムを選択してからミックスモードにすると、アルバム内のミックス再生を行います。SD内全曲ミックス再生を行うには、サーチ画面の「曲」選択で何か曲を選んでから、ミックス再生を行ってください。
		再生中の曲または再生リスト内の曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。	• → LIST→OFF→・・・ :1曲のみを繰り返し再生します。 LIST: 再生リスト内の曲のみを繰り返し再生します。 • リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
		SDカードに録音させている曲の名称や演奏順などが編集できます。	• 詳しくは103、104ページを参照してください。
		アルバムやアーティストごとにリスト表示させて聴きたい曲を選ぶことができます。	• 詳しくは102ページを参照してください。

SD AUDIO音楽検索画面について

SD AUDIO再生画面で サーチ をタッチすると、曲やアーティストの検索画面が表示されます。



	録音されているアルバムのジャンルのリストが表示されます。 選んだジャンルの曲が繰り返し再生されます。	
	アーティストのリストが表示されます。 選んだアーティストの曲が繰り返し再生されます。	
	アルバムのリストが表示されます。 選んだアルバムの1曲目から繰り返し再生されます。	
	録音されている曲名リストが表示されます。 選んだ曲が再生されます。	
	プレイリストのリストが表示されます。 選んだプレイリストの曲が繰り返し再生されます。	• プレイリストに曲を追加するには104ページを参照してください。

<ダイレクトサーチ機能>

リスト表示された曲などが多いときは、画面上部に表示されるスライダーバーの 1 ～ 100 のいずれかをタッチするとその近辺がリスト表示されるので、聞きたい曲が選びやすくなります。

例:リストされている曲が80曲あるとき、50 を選択すると40曲目前後のリストが表示されます。



SD AUDIO録音曲編集画面について

SD AUDIO再生画面から 編集 → 録音曲編集 の順にタッチすると録音曲編集画面が表示されます。編集したい曲が収録されているアルバムを再生してから操作を行います。



消 去	SDカードに録音されている曲やアルバムを消去します。	• 曲を選択して 消去 をタッチすると選んだ曲を削除します。 消去 をタッチし続けると、再生中の曲が含まれているアルバムを削除します。 • プレイリストに登録されているSDカードの曲を消去すると、プレイリストからも曲が消去されます。 • 走行中は安全のため編集を行うことはできません。
演奏順UP / 演奏順DN	SDカードに収録されているアルバムの中の曲順を変更します。	• 走行中は安全のため編集を行うことはできません。
名称変更	SDカードに収録されている曲のアルバム名・アーティスト名・曲名・ジャンルを編集します。	• 走行中は安全のため編集を行うことはできません。
再取得	SDカードへの録音終了時に、自動的に付与されなかった曲のタイトルデータをインターネット上のGracenoteメディアデータベースからダウンロードすることができます。 Wi-Fi通信機器が接続されていれば、本機側の操作でダウンロードすることができます。	• お使いの携帯電話やスマートフォンと本機の適合については下記のホームページでご確認ください。 https://www.alpine.co.jp/support/inquiry/ • 本機とWi-Fi通信機器をWi-Fi接続(72ページ)して、再取得画面で 通信 をタッチすると、自動的にGracenoteメディアデータベースにアクセスします。 • 走行中は安全のため編集を行うことはできません。

SD AUDIOプレイリスト編集画面について

SD AUDIO再生画面から 編集 → プレイリスト編集 の順にタッチするとプレイリスト編集画面が表示されます。

アドバイス

• プレイリスト再生中はプレイリストの編集はできません。



名称変更	登録されているプレイリスト名を変更します。	• 走行中は安全のため編集を行うことはできません。
編 集	プレイリスト内の曲の消去や演奏順の変更を行うことができます。	• 消去: 選択した曲を消去します。タッチし続けるとリスト内の曲をすべて消去します。 • 演奏順UP / 演奏順DN: プレイリストの曲順を変更します。 • プレイリストから曲を消去しても、SDカードの音楽データは消去されません。 • 走行中は安全のため編集を行うことはできません。
曲を追加	再生中の曲をプレイリストへ登録します。	• 1つのプレイリストに登録できる曲数は最大999曲です。 • 同じ曲を違うプレイリストに登録することもできます。また1つのプレイリストに何度も同じ曲を登録することができます。 • 走行中は安全のため編集を行うことはできません。

HDMI/MHL対応機器(iPhoneやスマートフォンなど)をつないで使う

iPhoneやスマートフォンまたはビデオカメラなどを本機とHDMI接続し、ビデオ・音楽・写真などを再生することができます。お使いになるiPhoneやスマートフォン・ビデオカメラによりHDMI/MHL接続ケーブルが異なります。お使いになる機種に合う別売HDMI/MHL接続ケーブルセットをご用意ください。詳しくは取付説明書を参照してください。

アドバイス

• 本機で対応しているHDMI規格については「AVソースメディアについての注意」(191ページ)を参照してください。

1 HDMI/MHL接続ケーブルで本機とHDMI/MHL機器を接続する

• 接続方法について詳細は取付説明書をご覧ください。
• 運転中はHDMI/MHL機器を接続しないでください。事故やケガの原因となります。
• HDMI/MHL機器を接続しても映像・音楽・写真などが再生できないときやHDMI/MHL機器を認識しない場合は、一度HDMI/MHL機器を外して再接続してください。
• HDMI/MHL機器に映像・音声出力設定がある場合は、本機に接続する際に「オン」にしてください。オンにしないと、映像・音声を本機に出力することができません。
• 本機はHDCP規格(著作権保護)に対応しているため、リアビジョンでHDMIコンテンツを視聴するにはHDMI入力対応リアビジョンとのHDMI接続が必要です。HDMI入力非対応リアビジョンの場合は音声のみの出力となります。
• 本機とBLUETOOTH接続している機器をHDMI/MHL接続すると、音声が出力されない場合があります。

2 [MODE] / [♪ AUDIO] スイッチを押し、HDMI をタッチする



3 HDMI/MHL機器でビデオ映像や写真の再生操作をする

• 運転中はHDMI/MHL機器を操作しないでください。事故やケガの原因になります。
• HDMI/MHL機器を使用しているときにエンジンをOFFにしてもHDMI/MHL機器の電源は切れません。HDMI/MHL本体の電源をOFFにしてください。
• お使いになる機種やコンテンツにより画像の表示品位が変わる場合があります。その場合には画面サイズの設定(136ページ)をしてください。
• 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。



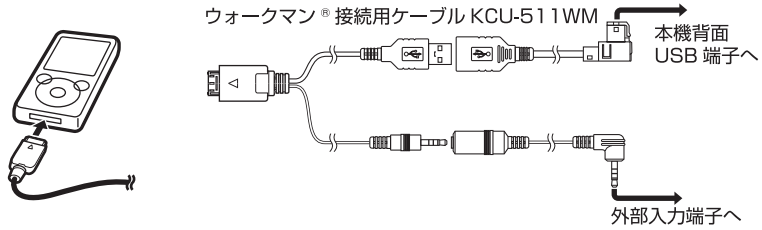
ウォークマン®をつないで使う

ウォークマン®を本機に接続して音楽やビデオを再生することができます。別売のウォークマン®接続ケーブル(KCU-511WM)をご用意ください。

アドバイス

• 本機で対応しているウォークマン®については「AVソースメディアについての注意」(192ページ)を参照してください。

1 ウォークマン®接続ケーブルで本機とウォークマン®を接続する



• 取付説明書もあわせてご覧ください。
• 運転中はウォークマン®の接続や取り外し、操作はしないでください。事故やケガの原因になります。
• 運転中はウォークマン®のイヤホンを使用しないでください。事故やケガの原因になります。
• 本機にウォークマン®を接続する前に、ウォークマン®のイコライザー機能を「オフ」に設定することをおすすめします。
• ウォークマン®の機種がビデオ出力対応の場合は、ウォークマン®本体のホームメニュー「各種設定」から下記の設定を行ってください。(接続するウォークマン®の機種により操作方法が異なる場合があります。)設定を行わないと、歌詞やジャケット写真またはビデオ映像を本機へ映し出すことができません。
  - 「ビデオ設定」→「画面オフ設定」→ [常時画面オン]
  - 「ビデオ設定」→「テレビ出力(ビデオ)」→ [オン]
  - 「ビデオ設定」→「テレビ出力サイズ」→ [16:9]
  - 「音楽設定」→「テレビ出力(ミュージック)」→ [オン]
• ウォークマン®の機種がビデオ出力非対応の場合には、音声のみでご使用ください。
• 本機の「ソース別音量調整」設定(133ページ)のウォークマン®を+14ステップに設定してください。
• ウォークマン®接続用ケーブルKCU-511WMでウォークマン®のバッテリーを充電できます。
• ウォークマン®接続用ケーブルKCU-511WMのUSBケーブルはUSBメモリー接続に使用できます。

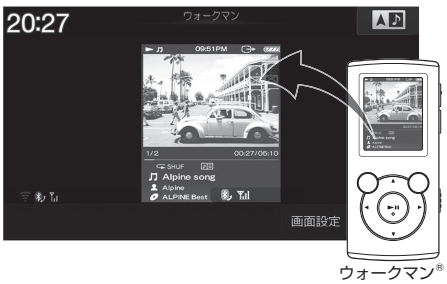
2 外部機器接続選択画面で接続機器にウォークマン®を選ぶ

[MENU] / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 各種設定 → 接続機器 タブ → 外部接続機器選択 の順にタッチし、ウォークマン(R) を選択して 完了 をタッチしてください。

3 [MODE] / [♪ AUDIO] スイッチを押し、ウォークマン® をタッチする



4 ウォークマン®で音楽や映像の再生操作をする



• 運転中はウォークマン®を操作しないでください。事故やケガの原因になります。
• ウォークマン®を聴いているときにエンジンをOFFにしてもウォークマン®の電源は切れません。ウォークマン®本体の電源をOFFにしてください。
• 音楽再生画面・音楽サーチ画面・ビデオ再生画面以外は本機で表示できません。
• **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」78ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。
• 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。

iPodやiPhoneの音楽を聴く

iPod/iPhoneを本機に接続して音楽を再生することができます。

アドバイス

- ビデオ再生を楽しむ場合には、Lightningコネクター搭載のiPod/iPhoneをHDMI接続する必要があります。音楽を再生するAVソースはHDMIとなります。詳しくは「HDMI/MHL対応機器(iPhoneやスマートフォンなど)をつないで使う」(105ページ)を参照してください。
- 機種によってはBLUETOOTHで接続できます。音楽を再生するAVソースはBT AUDIOとなります。詳しくは「BLUETOOTHオーディオ機器を接続する(111ページ)を参照してください。
- iPod/iPhoneなどは、車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
- 本機で対応しているiPod・iPhoneについては「AVソースメディアについての注意」(192ページ)を参照してください。

1 iPod/iPhone接続ケーブルで本機とiPod/iPhoneを接続する

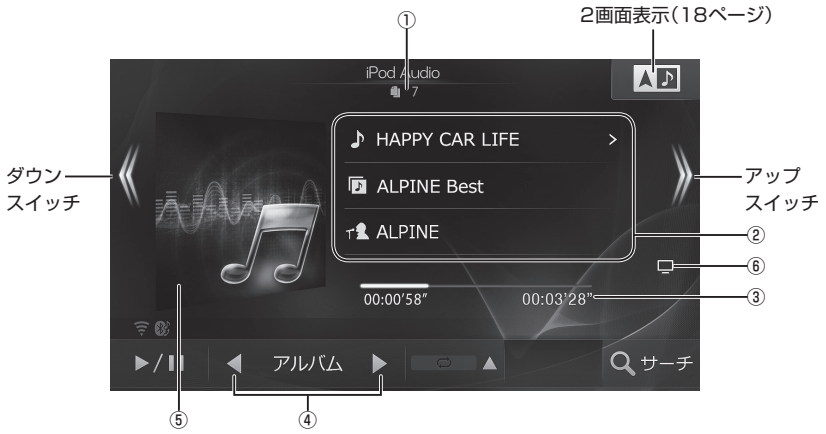
- iPod /iPhoneの種類に応じて別売の30ピン接続ケーブルKCU-462iまたはLightning - USB変換ケーブルKCU-470i/KCU-471iが必要です。
  - KCU-462iを使用しLightningコネクタ搭載iPod/iPhoneを接続する場合はLightning - 30ピンアダプター(アップル製)が必要です。
  - KCU-471iを使用する場合は、別途USBケーブルが必要です。
- 外部機器を同時に接続することはできません。
- 取付説明書もあわせてご覧ください。
- 運転中はiPod/iPhoneの接続や取り外し、操作はしないでください。事故やケガの原因になります。
- 運転中はiPod/iPhoneのイヤホンを使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- iPod/iPhoneを接続しても音が出ないときや、iPod/iPhoneを認識できない場合は、一度iPod/iPhone を外して再接続するか、iPod/iPhoneのリセットを行ってください。
- 本機にiPod/iPhoneを接続する前に、iPod/iPhoneのイコライザー(EQ)機能を「オフ」に設定することをおすすめします。
- USBメモリー・iPod/iPhone・ウォークマン®を同時に接続することはできません。
- iPod/iPhoneの機種によっては、本機と接続中はiPhoneのiPod機能とiPodは操作ができなくなります。
- iPod touchやiPhoneのインターネット機能や電話機能等は本機から操作することはできませんが、iPod touchやiPhone本体を操作して使用することができます。
- iPod/iPhone接続用ケーブルKCU-462i/KCU-470iのUSBケーブルはUSBメモリー接続にも使用できます。
- 「iPod自動ソース切換」(127ページ)を「する」に設定すると、iPod接続時に自動的にソースをiPodへ切りかえることができます。

2 [MODE] / [♪ AUDIO] スイッチを押し、iPod をタッチする

- **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」78ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。



iPod AUDIO再生画面について(1/2)



① **曲番号**	再生している曲の番号が表示されます。	
② **曲情報表示**	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	• Podcast再生時は、エピソード名・番組名・放送日が表示されます。 • タッチすると再生対象となっている曲名・アルバム名・アーティスト名をリスト表示します。リストから聴きたい曲・アルバム・アーティストを選ぶことができます。
③ **再生時間表示**	再生中の曲の再生経過時間(左側)と総演奏時間(右側)が表示されます。	
④ **ダイレクトアップ/ダウンスイッチ**	別のジャンルやアーティストなどの曲に切りかえて再生します。	• 画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで決定したモードになります。 **ダイレクトアップ/ダウンスイッチの種類:** ◀ ジャンル ▶、◀ アーティスト ▶、◀ アルバム ▶、◀ プレイリスト ▶、◀ Podcast ▶、◀ 作曲者 ▶
⑤ **アートワーク/イメージ表示**	iPodに登録しているアルバムのジャケット画像などが表示されます。	• アートワークデータを取得する間(最大3秒間)は操作を行うことができません。 • 1つの曲に複数のアートワークが設定されていても、取得できるアートワークは1つになります。カラーとモノクロのアートワークがある場合はカラーが、サイズの大きさに違いがある場合は大きなサイズのアートワークが優先して取得されます。 • 「アートワーク自動取得」(127ページ)を「する」に設定してある場合、曲が変わるたびにアートワークデータの取得が行われ、その間は操作を行うことはできません。
⑥ ビデオアイコン表示	ビデオファイルを再生している場合は、ビデオアイコンが表示されます。	• 映像は出力しません。映像を楽しむ場合には、本機とiPod・iPhoneをHDMI接続してください(105ページ)。
[I◀◀] / ⟪ (ダウンスイッチ)	再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	• **[I◀◀]** は、本体スイッチに **[I◀◀]** スイッチがあるモデルのみ。
▶/❚❚	再生を一時停止(ポーズ)します。	• 一時停止中に ▶❚❚ をタッチすると再生を開始します。

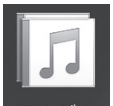
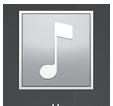
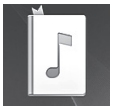
iPod AUDIO再生画面について(2/2)

[▶▶I] /  (アップスイッチ)	次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。	• 曲の終わりまで早送りすると通常再生に戻ります。 • [▶▶I] は、本体スイッチに [▶▶I] スイッチがあるモデルのみ。
	iPod/iPhone内のすべてのファイルを順不同に再生します(シャッフルオール再生)。	• もう一度  をタッチすると通常再生に戻ります。 • iPod/iPhone内すべてのファイルの再生が終わっても、シャッフル再生を解除するまではシャッフル再生を続けます。
 	曲・アルバムを順不同に再生することができます(シャッフル再生)。タッチするたびにシャッフル再生の種類が変わります。	• SONGS→ ALBUMS→OFF→・・・ SONGS: サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のすべての曲を順不同に再生します。 ALBUMS: サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番どおりに再生します。
	再生中の曲のみを繰り返し再生することができます(リピート再生)。	• もう一度  (リピート)をタッチすると通常再生に戻ります。
	アルバムやアーティストごとにリスト表示させて聴きたい曲を選ぶことができます。	• 詳しくは110ページを参照してください。

iPod AUDIOサーチ画面について

iPod AUDIO再生画面で サーチ をタッチすると、曲やアーティストの検索画面が表示されます。



	プレイリストのリストが表示されます。 選んだプレイリストの曲が繰り返し再生されます。	• 本機は音楽データとビデオデータが混在しているプレイリストの再生には対応していません。再生すると不具合が生じる場合がありますので、自動的に音楽データとビデオデータが混在してしまう「トップ25」や「購入したもの」「最近再生した曲」などのプレイリストを選ぶときは注意してください。また、不具合が生じた場合にはiPodを取り外してリセットをしてください。
	アーティストのリストが表示されます。 選んだアーティストのアルバムが繰り返し再生されます。	
	アルバムのリストが表示されます。 選んだアルバムの1曲目から繰り返し再生されます。	
	登録されている曲名リストが表示されます。	
	登録されているアルバムのジャンルのリストが表示されます。 選んだジャンルのアルバムが繰り返し再生されます。	
	Podcastのリストが表示されます。	
	オーディオブックのリストが表示されます。	
	作曲者のリストが表示されます。 選んだ作曲者の曲が繰り返し再生されます。	

<ダイレクトサーチ機能>

リスト表示された曲が多いときは、画面上部に表示されるスライダーバーの 1 ～ 100 のいずれかをタッチするとその近辺がリスト表示されるので、聞きたい曲が選びやすくなります。

例:リストされている曲が80曲あるとき、50 を選択すると40曲目前後のリストが表示されます。



BLUETOOTHオーディオ機器を接続する

携帯電話・スマートフォンなどのBLUETOOTHオーディオ機器(BT AUDIO)と本機をBLUETOOTHで接続すると、本機で曲を再生することができます。初めてお使いになるときは、お使いのBLUETOOTHオーディオ機器を以下の手順に従って本機に登録してください。

アドバイス

- 本機にBLUETOOTHオーディオ機器をBLUETOOTH接続する前に、BLUETOOTHオーディオ機器のEQ機能を「オフ」に設定することをおすすめします。

1 **[MENU] / [NAVI] スイッチを押し、設定 → Bluetooth/Wi-Fi設定 → Bluetooth設定 の順にタッチする**

2 **登録/変更 → 未登録 → 機器登録 の順にタッチする**



- 登録/変更 をタッチした後にBLUETOOTH機器との接続解除のメッセージが出てきた場合は はい を選択してください。
- 本機にはBLUETOOTH機器を5台まで登録できますが、BT AUDIO機器として2台以上を同時に使うことはできません。

3 **オーディオ または ハンズフリー+オーディオ にタッチする**

- BLUETOOTHオーディオとしてお使いになるときは オーディオ 、BLUETOOTHオーディオとハンズフリー電話どちらにもお使いになる場合は ハンズフリー+オーディオ にタッチします。
- ハンズフリー電話としてお使いになる場合は ハンズフリー にタッチします。(66ページ)
- MITM設定 をタッチするとMITM(中間者攻撃)Protection設定を一時的に変更することができます。OFF にすることにより、機器設定ができない機器の登録が可能となる場合があります。

4 **接続する機器のBLUETOOTH機能をオンにし、接続する機器で本機を検索する**

5 **接続する機器にパスキーの入力画面が表示されたら本機と同じパスキーを入力する**

- BLUETOOTH機器によってはパスキーの入力が不要な機種もあります。
- パスキーの初期値は"1234"です。

6 **BLUETOOTH接続が開始される**

- BLUETOOTH機器設定画面に戻ります。

7 **[MODE] / [♪ AUDIO] スイッチを押し、BT AUDIO をタッチする**

- BLUETOOTH機器によっては自動的に再生を開始します。自動的に再生を開始しない場合はBLUETOOTH機器または本機から操作してください。
- **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」78ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合にご使用ください。

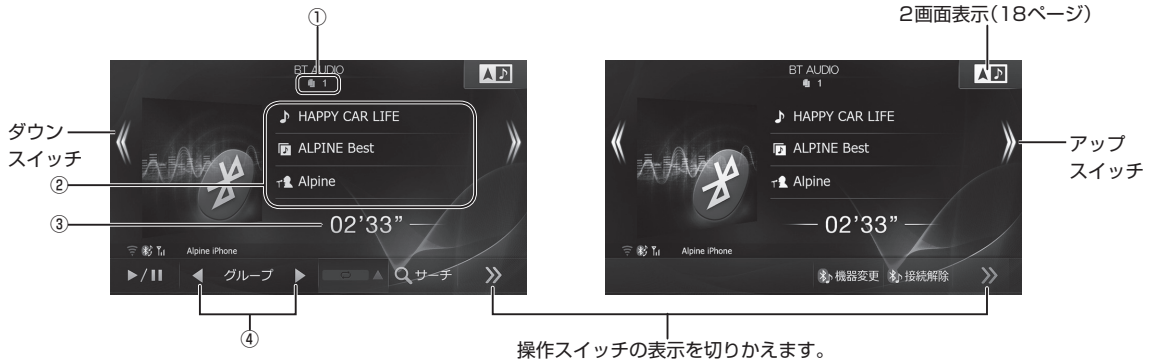
- 接続したBLUETOOTH機器のリストに、本機は「ALPINE」と表示されます。
- i にタッチすると、接続した携帯電話の詳細情報を表示することができます。

BT AUDIO再生画面について(1/2)

BT AUDIO再生画面は、BLUETOOTHオーディオ機器を接続して **[MODE]** / **[♪ AUDIO]** スイッチを押し、BT AUDIO をタッチすると表示されます。

アドバイス

- お使いの携帯電話のAVRCP(BLUETOOTH接続して音楽再生するためのプロファイル)のバージョンによって、再生画面に表示される内容や操作が異なります。
- 下記の画面は、AVRCPバージョン1.4に対応したBT AUDIO機器を接続したときの表示例です。
- BT AUDIO使用中にハンズフリー機能・Wi-Fi通信機能・電話帳転送機能を使用すると、一時的にBT AUDIO機能が停止したり、音切れやAVプロファイルが切断されたりする場合があります。
- ハンズフリーとBT AUDIOをBLUETOOTH接続している携帯電話では、BT AUDIO使用中に、「NaviCon」および「NaviCon」と連携するアプリから、本機に転送する機能は使えません。



① **曲番号**	再生している曲の番号が表示されます。	
② **曲情報表示**	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	• 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。 • 曲名表示部分にタッチすると、再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。
③ **再生時間表示**	再生中の曲の再生経過時間が表示されます。	
④ **グループアップ / ダウンスイッチ**	別のグループの曲に切りかえます。	• 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
[⏮] / (ダウンスイッチ)	再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	• **頭出し:** 現在の曲の頭出しをします。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。 • **[⏮]** は、本体スイッチに **[⏮]** スイッチがあるモデルのみ。
▶/⏸	再生を一時停止(ポーズ)します。	• 一時停止中に ▶⏸ をタッチすると再生を開始します。
[⏭] / (アップスイッチ)	次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。	• **[⏭]** は、本体スイッチに **[⏭]** スイッチがあるモデルのみ。

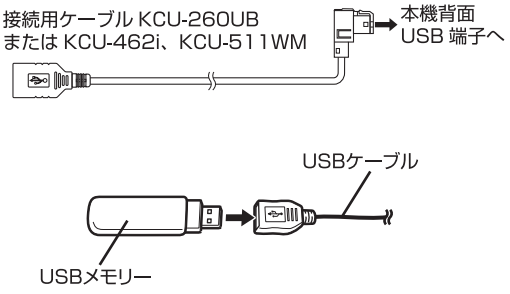
BT AUDIO再生画面について(2/2)

	SCAN	曲のイントロ部分を約10秒間ずつ順に再生します。タッチするたびにスキャン再生の種類が変わります。	• SCAN GROUP: グループ内の曲のイントロ部分が再生されます。 • SCAN ALL: 全曲のイントロ部分が再生されます。 • 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
		曲を順不同で再生します(ミックス再生)。タッチするたびにミックス再生の種類が変わります。	• GROUP: グループ内の曲を順不同に再生します。 • ALL: 全曲を順不同に再生します。 • 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。 • 接続するBLUETOOTH機器によってGROUP再生の範囲が異なります。
		曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。	• : 1曲のみを繰り返し再生します。 • GROUP: グループ内の曲のみを繰り返し再生します。 • ALL: 全曲を繰り返し再生します。 • 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。 • 接続するBLUETOOTH機器によってGROUP再生の範囲が異なります。
		再生対象となっている曲名をプレイリスト・アルバム・アーティストごとにリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。	• 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
	 	接続するBT AUDIO機器を登録したり他の機器に切りかえます。	• 機器設定 はBLUETOOTH機器が1台も登録されていない場合に表示されます。BLUETOOTH機器を新規登録する場合は、機器設定 にタッチしメッセージが表示されたら はい にタッチして「BLUETOOTHオーディオ機器を接続する」(111ページ)の手順2へ進んでください。
	 	登録しているBT AUDIO機器と接続、または接続解除します。	

USBメモリー /外部機器をつないで使う

USBメモリーにある音楽データを再生するには

1 USBメモリーを接続する



- iPod/iPhone接続用ケーブルKCU-462iを購入された場合は、KCU-462iのUSBケーブルを使用できます。iPod接続ケーブルは外してご使用ください。
- ウォークマン®接続用ケーブルKCU-511WMを購入された場合は、KCU-511WMのUSBケーブルを使用できます。ウォークマン®接続ケーブルは外してご使用ください。
- iPod/iPhoneやウォークマン®を使用しないときはUSB専用ケーブルKCU-260UBをご使用ください。
- 取付説明書もあわせてご覧ください。
- 運転中はUSBメモリーの接続や取り外しはしないでください。事故やケガの原因になります。
- USBメモリーを接続しても音が出ないときやUSBメモリーを認識しない場合は、一度USBメモリーを外して再接続してください。
- USBメモリー・iPod/iPhone・ウォークマン®を同時に接続することはできません。

2 [MODE] / [♪ AUDIO] スイッチを押し、USB をタッチすると再生が始まります

- 音楽ファイルの操作方法はCDディスクに記録されたMP3/WMA/AACと同様になります。詳しくは96ページを参照してください。
- 再生できるUSBメモリーおよびファイルの種類などについては「AVソースメディアについての注意」(191ページ)を参照してください。

接続した外部機器(ドライブレコーダーやゲームなど)の映像を見るには

接続方法については、取付説明書をご覧ください。

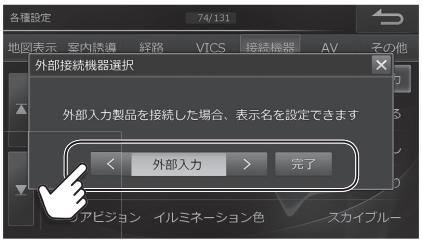
1 [MODE] / [♪ AUDIO] スイッチを押し、外部入力 をタッチする

- 著作権保護(コピーガード)の信号が記録されている映像はリアビジョンに表示できません。

<外部接続機器を設定する>

ドライブレコーダーやゲームなどを本機に接続したら、外部接続機器を設定してください。設定した表示名がソース名称として表示されます(初期設定は「外部入力」)。

1 外部接続機器選択画面は [MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押し、設定 → 各種設定 → 接続機器 タブ→ 外部接続機器選択 の順にタッチする



- 接続した機器に合わせて 外部入力 / ドライブレコーダー / ゲーム / ウォークマン(R) / なし から選択してください。
- 選んだ表示名が外部入力モードのソース名として表示されます。
- 接続する外部機器によっては、音声がハウリングする場合があります。
- 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。
- ドライブレコーダー DVR-C01W接続時には、前の車が発進したのに自車が発進していない場合、「前方車両の発進を検知しました」と本機画面に表示されます。

各種設定―地図表示 設定画面について(1/3)

各種設定―地図表示設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 各種設定 → 地図表示 タブの順にタッチすると表示されます。



• ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

ランドマーク表示	コンビニエンスストア(コンビニ)・ガソリンスタンドなど、お好みの施設のランドマークを地図上に表示します。 **初期設定値**：する • ランドマークは200mスケール図以下の詳細な地図で表示されます。
ランドマーク表示ジャンル	「ランドマーク表示」を「する」設定時に、表示するブランド名をジャンルごとに選択できます。 **初期設定値**：ガソリンスタンド・コンビニのみ 全てする • 最大20種類のジャンルを設定することができます。 • 1つのジャンルに設定できるブランド名は最大5つです。6つ以上設定するときは、全てする に設定してください。
ランドマーク表示サイズ変更	表示するランドマークの大きさを変更します。 **初期設定値**：標準
軌跡表示	走行した軌跡を地図上に「点(白色)」として表示するかどうかを設定します。 **初期設定値**：しない • 表示可能な距離(100km)を超えると古い軌跡から消えていきます。
軌跡情報を消去	地図上の軌跡をすべて消去します。
渋滞・混雑表示	VICS渋滞情報をもとに、渋滞・混雑している道路を矢印で表示します(渋滞:赤実線矢印、混雑:橙実線矢印)。 **初期設定値**：する • 渋滞・混雑表示は縮尺1km以下の地図で表示されます。 • 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。
空き道表示	VICS渋滞情報をもとに、空いている道路を緑実線矢印で表示します。 **初期設定値**：しない • 空き道表示は縮尺1km以下の地図で表示されます。 • 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

各種設定―地図表示 設定画面について(2/3)

渋滞推測 (渋滞・混雑)表示	渋滞統計・渋滞学習情報をもとに、渋滞・混雑が予想される箇所を地図に破線で表示します(渋滞:赤破線矢印、混雑:橙破線矢印)。 **初期設定値**:する • 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。 • 渋滞推測線(渋滞・混雑)は縮尺1km以下の地図で表示されます。 **渋滞推測機能について** - 本機能はJARTIC/VICSセンターから提供された現状情報をもとに、NTTデータが独自に作成した渋滞予測データを利用しています。 - 渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。
渋滞推測 (空き道)表示	渋滞統計・渋滞学習情報をもとに、渋滞が発生しないと予想される箇所を緑破線矢印で表示するかどうかを設定します。 **初期設定値**:しない • 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞推測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。 • 渋滞推測線(空き道)は縮尺1km以下の地図で表示されます。
気象警報・災害エリア表示	VICS情報で受信した大雨特別警報や土砂災害警戒情報などに関するエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。 **初期設定値**:する
VICS駐車場・充電施設表示	VICSが提供する駐車場を地図上に表示するかどうかを設定します。 **初期設定値**:しない • 駐車場マークは縮尺1km以下の地図で表示されます。
規制エリア表示	規制・事故・災害・異常気象などが発生しているエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。 **初期設定値**:する
予告配信表示	規制やイベントなどが予定されているエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。 **初期設定値**:しない
規制マーク表示	規制マーク(工事・通行止めなど)を案内画面に表示します。 **初期設定値**:する • 規制マークは縮尺1km以下の地図で表示することができます。ただし、通行止め・入り口閉鎖・オフランプ(出口)閉鎖は関連する事象も含めて、道路が表示されるスケールの地図まで表示します。
VICS提供道路	VICS情報を提供する道路を全道路・高速道・一般道から選択することができます。 **初期設定値**:全道路
路上駐車場マーク表示	市街詳細地図に路上駐車場のマークⓅを表示します。 **初期設定値**:する
渋滞線明滅表示	渋滞している区間の渋滞線(赤実線矢印)・混雑線(橙実線矢印)を点滅表示します。 **初期設定値**:する
地図色切換	昼画面と夜画面を切りかえることができます。昼・夜それぞれの地図表示色は4種類(標準(昼)・標準(夜)・道路強調(昼)・道路強調(夜))から選択することができます。 **初期設定値**:昼→標準(昼)、夜→標準(夜)
地図色昼/夜切換	スモールランプの点灯・消灯に連動して、昼画面/夜画面を切りかえるかどうかを設定します。 **初期設定値**:する
行政界色分け	市街地図で行政界(大字)の色を分けて表示します。 **初期設定値**:する
誘導方向表示	ルート案内中に目的地の方向を直線の誘導線で表示するかどうかを設定します。 **初期設定値**:しない

各種設定―地図表示 設定画面について(3/3)

ビル立体表示	3Dマップでビルを立体的に表示します。 **初期設定値**：する
3Dランドマーク表示	主要施設のリアルな立体的アイコンを地図上に表示させることができます。 **初期設定値**：する • 3Dランドマークは縮尺200m以下の地図で表示されます。
冬期規制アイコン表示	冬に通行止めとなる箇所にアイコンを表示します。 **初期設定値**：する • 冬期規制アイコンは縮尺1km以下の地図で表示されます。 • する に設定すると、冬期(11月～ 3月)の間、冬期規制アイコンが表示されます。道路によっては4月～ 10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合がありますのでご注意ください。
細街路オートスケール	目的地案内中に細街路を走行すると、自動的に2画面表示に切りかわります。右画面には25mスケール市街地図が表示され、細街路の案内を行います。 **初期設定値**：する • 市街地図が収録されていない地域では50mスケール地図が表示されます。 • 音声案内は行われません。
走行連動地図切換	走行中の市街詳細地図を見やすく簡略化して表示します。 **初期設定値**：する
高速・有料モード地図	高速・有料道路走行中に、高速・有料道路を見やすく強調した地図を表示します。 **初期設定値**：する
自動ハイウェイモード	高速・有料道路を走行するときに行程ガイド(ハイウェイモード)が自動的に表示されます。 **初期設定値**：する
スクロール方面表示	地図画面をスクロールしたときに、スクロールする方面の地名を画面の上下左右に表示します。 **初期設定値**：する • スクロール方面表示は1kmスケール以下の地図で表示されます。 • 英語表示に設定している場合はスクロール方面表示は行われません。
地図の文字サイズ変更	地図上に表示される文字サイズをお好みに合わせて設定することができます。 **初期設定値**：標準
自車マーク	自車マークの表示をマーク1・マーク2・マーク3の中からお好みに合わせて変更することができます。 **初期設定値**：マーク1 • マーク3のイラストは「車種専用チューニングをする」(206ページ)、「燃費優先ルート」(129ページ)で設定した車種に連動します。

各種設定―案内誘導 設定画面について(1/2)

各種設定―案内誘導設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 各種設定 → 案内誘導 タブの順にタッチすると表示されます。



• ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

音声案内設定	交差点案内を、信号・交差点で行うか、交差点までの距離で行うかを設定します。 **初期設定値**：信号・交差点 • 「信号・交差点」設定時も、距離で案内する場合があります。
県境案内	都道府県境を越えるときに音声で案内します。 **初期設定値**：する
合流案内	一般道路や高速道路のインターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)・SA/PA出口など、合流が近づいたときに警告するかどうかをそれぞれ設定することができます。 **初期設定値**：「一般道・する」「SA・PA・する」「IC・する」「JCT・する」
踏み切り案内	踏み切りに近づいたときに警告します。 **初期設定値**：する
事故多発警告案内	交通事故が多発している区間に近づいたときに警告するかどうかを設定します。 **初期設定値**：しない
残距離音声案内	案内地点までの距離が残り10kmになると音声で案内します。 **初期設定値**：する
到着予想時刻音声案内	目的地や経由地への到着予想時刻を音声案内します。 **初期設定値**：する
到着予想時刻速度設定	目的地や経由地への到着時間予想のための条件(速度)を設定します。 **初期設定値**：「一般道・30km/h」「有料道・60km/h」「高速道・80km/h」
案内図表示	交差点に近づいた時に表示する案内図を、交差点拡大図にするかビッグアローにするかどうかを設定できます。 **初期設定値**：交差点拡大図 • 「車種専用チューニング」(134ページ)または「クイックセットアップ(販売店設定)」(206ページ)で選択した車種によっては、「ビッグアロー」が初期設定になります。
詳細案内図表示	3Dイラスト情報のある交差点の詳細案内図を表示します。 **初期設定値**：する
方面看板表示	交差点の手前で方面看板を表示します。 **初期設定値**：する
レーンガイド表示	ルート案内中に右左折専用などのレーン情報を表示します。 **初期設定値**：する

各種設定―案内誘導 設定画面について(2/2)

ナビ案内画面割込み	オーディオ・ビジュアルモードにナビの案内映像を割り込み表示します。 **初期設定値**：する
ナビ音声案内時のAV音量ミュート	ナビ音声案内時、自動的にオーディオ音量を下げて音声案内を聞こえやすくします。 **初期設定値**：しない • 音声案内が聞こえたときに音楽などのAVソース音量が一時的にいつも小さくなるようにしたいときは、する に設定し、音声案内が聞こえたときにAVソースの音量を下げてください。次回以降、調整した音量で音楽などが再生されます。
料金所ゲート案内	インターチェンジの入口や出口でETCの情報を案内します。 **初期設定値**：しない
車両情報	軽自動車や普通車などの車種を設定しておくと、高速道路の通行料金を車種に合わせて表示することができます。さらに車のサイズもあわせて登録しておくと、駐車場を探す際に立体駐車場など条件に合わないところを避けることができます。 **初期設定値**：「車両種別・普通」「駐車場条件・長さ450cm、幅160cm、高さ150cm」 • 車両寸法は車検証を参照してください。
デモ走行速度設定	デモ走行の速度を変更することができます。 **初期設定値**：標準

各種設定―経路 設定画面について(1/2)

各種設定―経路設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 各種設定 → 経路 タブの順にタッチすると表示されます。



• ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

優先探索ルート	優先的に探索・表示するルート条件を選択することができます。探索条件は「推奨」「一般」「チューニング」「幹線」「燃費」「別ルート」の6ルートです。 **初期設定値**：推奨 • 「有料道路優先」(次項目)を「する」に設定すると、「推奨」は「推奨(有料優先)」と表示されます。
有料道路優先	推奨ルート設定時、有料道路を優先して案内するかどうか設定します。 **初期設定値**：しない • しない に設定すると、目的地までの距離が短いときは、一般道路を優先したルートで案内します。
ルートチューニング	推奨ルートをベースとして、有料道路優先(全般)/有料道路優先(近距離)/広い道路優先/渋滞回避優先の各パラメーターを調整することにより、より好みの条件のルートを検索することができます。 **初期設定値**：5 • 設定する項目にタッチし ◀ または ▶ をタッチして調整します。
アクティブルートサーチ	ルート案内中に、距離・時間・VICSの渋滞情報・スマートIC規制などあらゆる道路情報を常時演算し、時間短縮できるルートを発見した場合にリアルタイムに新しいルートを探索します。 **初期設定値**：する • 時間短縮できるルートが見つからない場合はアクティブルートサーチ機能は働きません。 • 「短縮時間」(120ページ)で設定した時間よりも到着予想時刻が短縮できる場合のみ、アクティブルートサーチ案内が行われます。
割込み時間	割込み画面の表示時間を設定できます。 **初期設定値**：10秒
短縮時間	アクティブルートサーチで通知する短縮時間の目安を設定します。5分刻みで時間を選択し、完了 をタッチすると設定されます。 **初期設定値**：15分以上 • ここで設定した時間を短縮できない場合はアクティブルートサーチ案内は行われません。
アクティブルートサーチ案内音声割込み	アクティブルートサーチが行われた際に音声案内を割り込みします。 **初期設定値**：する
スマートIC利用	ルート探索時にスマートインターチェンジを利用するかどうかを設定します。 **初期設定値**：しない • スマートICを利用するにはETC車載器またはETC2.0車載器が必要です。 • スマートICには、営業時間・営業期間・対象車種・出入り方向などに制約があります。また社会実験として期間限定で開設されているスマートICもあります。ご利用の際はご注意ください。

各種設定―経路 設定画面について(2/2)

時間曜日規制考慮	時間や曜日によって規制される区間を避けたルートを探索します。 **初期設定値**：する
フェリー使用	フェリー航路を利用したルートを探索することができます。 **初期設定値**：しない
迂回エリア考慮	あらかじめ登録しておいた迂回地点を避けてルートを探索します。 **初期設定値**：する
迂回距離	一般道と有料道路・高速道路に分けて設定できます。 **初期設定値**：「一般道5km」「有料・高速20km」 • 「迂回エリア考慮」(121ページ)を する に設定した場合のみ、迂回距離を設定できます。
冬期閉鎖区間考慮	冬に通行止めとなる区間を避けてルートを探索することができます。 **初期設定値**：する • 冬期(11月～3月)の期間に考慮されます。4月～10月は通常ルートとなります。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。 • しない に設定すると、冬期閉鎖区間が発見された時点でメッセージが表示され、避けるかどうかを選択できます(「規制考慮」47ページ参照)。
ルート学習	よく通る道が優先してルート探索されるように、走行記録を記憶します。 **初期設定値**：する • ナビが探索した推奨ルートまたは一般道優先ルートを走行中に、ルートからの離脱と復帰をそれぞれ同じ地点で2回繰り返すと、次回のルート探索を行う際に、そのルートが推奨ルートまたは一般道優先ルートとして探索されます。 • 案内対象外道路はルート学習に反映されません。離脱・復帰地点が同じでも、途中のルートが案内対象外道路になると学習結果は無効になります。 • ルート学習中に目的地や経由地を変更したり別のルートの選択や周辺迂回を行った場合は、ルート学習は中止されます。 • 最大200ルートまで学習することができます。
ルート学習結果を消去	ナビが記憶した学習ルートをすべて消去します。

各種設定—VICS 設定画面について

各種設定—VICS設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 各種設定 → VICS タブの順にタッチすると表示されます。



• ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

渋滞学習	渋滞や混雑する地点を季節別・曜日別・時間帯別に記憶して、それらを避けてルート案内されるように設定します。 **初期設定値**：する
渋滞学習結果を消去	ナビが記憶した渋滞学習結果をすべて消去します。
情報保持時間	受信したVICS情報の保存時間を120分、60分または30分に設定します。ここで設定した時間が経過すると情報は自動的に消去されます。 **初期設定値**：60分
情報割込み	ビーコンによる図形・文字情報を画面に割り込ませて表示します。 **初期設定値**：する • 緊急情報や安全運転支援に関わる情報は、しない に設定しても割り込みを行います。
割込み時間	ビーコンの情報割込み画面の表示時間を5 ～ 20秒まで、5秒刻みで設定します。 **初期設定値**：10秒 •「情報割込み」を する に設定した場合のみ本項目を設定できます。
オーディオモード画面への割込み	ビーコンによる図形・文字情報を、サウンド・映像モード画面に割り込ませて表示することができます。 **初期設定値**：する •「情報割込み」を する に設定した場合のみ本項目を設定できます。
特別警報アイコン表示	大雨・大雪・大津波などの特別警報情報を受信した際、VICSスタンプに特別警報アイコンを表示するか設定します。 **初期設定値**：する
プローブ	ナビ側からITSスポットへプローブ情報（走行履歴情報や車両挙動情報など）を送信します。 **初期設定値**：する • ETC2.0車載器が接続されていない場合は設定できません。 • プローブ情報についてはETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。
VICSでの音声読み上げ	ビーコンによる音声情報を読み上げます。 **初期設定値**：する •「英語設定」（129ページ）を する に設定していても日本語で読み上げます。 • 音声読み上げはETC2.0車載器の接続が必要です。
ブラウザでの音声読み上げ	ITSスポットから受信した信号をWebサイトに画面表示した場合に、Webサイトの音声情報を自動で読み上げることができます。 **初期設定値**：する •「英語設定」（129ページ）を する に設定していても日本語で読み上げます。 • 音声自動読み上げはETC2.0車載器の接続が必要です。

各種設定―接続機器 設定画面について(1/4)

各種設定―接続機器設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 各種設定 → 接続機器 タブの順にタッチすると表示されます。



• ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

外部接続機器選択	ビデオやゲームなど、外部機器を接続する場合に設定します。設定した表示名がソース名称としてAVソースメニュー画面やソース別音量調整画面に表示されます。 **初期設定値**：外部入力
後席個別TV・DVD・HDMIリアビジョン連動設定	リアビジョンのモニター開閉・電源OFF/ON・休憩モードに連動して後席個別TV・DVD・HDMIのOFF/ONを切りかえることができます。 **初期設定値**：する • リアビジョンがリアビジョン連動設定に対応していない場合は本設定を行うことはできません。
リアビジョン　プラズマクラスター設定	接続するリアビジョンにプラズマクラスター機能がある場合は、あり に設定してください。 **初期設定値**：あり • リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。
リアビジョン　イルミネーション設定	接続するリアビジョンにイルミネーション切りかえ機能がある場合は、あり に設定してください。「リアビジョン　イルミネーション色」(次項目)で色を設定することができます。 **初期設定値**：あり • リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。
リアビジョン　イルミネーション色	リアビジョンのイルミネーション色をホワイト・ブルー・グリーン・アンバー・レッド・パープル・スカイブルーの中から選択できます。OFFにすることもできます。
ダブルゾーンサウンドコントロール	前席/後席それぞれの音量が最適値を超えた場合、本機画面にメッセージ表示してお知らせします。 **初期設定値**：ON • 「車種専用チューニング」(134ページ)を行っていない場合は、本設定を行うことはできません。
ステアリングリモコン	車種専用チューニング後、ステアリングリモコン設定のみ変更したい場合は本設定を行ってください。 **初期設定値**：設定しない • 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合は本設定を行うことはできません。
ステアリングリモコンキー割り当て	ステアリングリモコンに本機の操作を割り当てます。 する に設定した場合は続けて機能割り当て操作を行います。 **初期設定値**：しない • リストから割り当てたい機能にタッチし、続けて割り当てるステアリングリモコンのキーを押します。確認画面が表示されたら はい にタッチします。 • 割り当てた機能を解除するには 設定一覧 にタッチし、リストから解除する機能にタッチします。確認画面が表示されたら はい にタッチします。 • 機能を割り当てることができるステアリングリモコンのキーは、ボリュームアップ/ダウンキー、MODEキー以外のキーです(MODEキー名称は車種により異なります)。

各種設定―接続機器 設定画面について(2/4)

カメラダイレクトキー設定	別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)を接続した場合は、あり にタッチしてください。 **初期設定値**：なし
エネルギーモニター接続	エネルギーモニター BOXを接続した場合は、あり に設定してください。 **初期設定値**：なし • エネルギーモニター BOXを、別売のインターフェースボックスに接続する場合は、なし に設定してください(124ページ)。
フロントカメラ接続	フロントカメラを接続した場合は、あり に設定してください。 **初期設定値**：なし • HCE-C2500FDシリーズ接続時は自動的に あり に設定されます。
フロントカメラガイド調整	フロントカメラのガイドの調整を行うことができます。 HCE-C2500FDシリーズ接続時は パノラマ トップ を先に選択し、固定ガイド調整 にタッチしてください。コーナービューはガイド調整できません。 画面に表示される ▲ ▼ で調整したいガイドを選び、↑ ↓ ← → をタッチして位置を調整します。OFF または ON をタッチすると選択したガイド線を消去または表示することができます。最後に セット をタッチしてください。 •「フロントカメラ接続」が なし に設定している場合は、設定できません。 • ガイド調整中、初期値 にタッチすると調整値が初期化され、工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化するには、確認メッセージが表示されたら はい にタッチしてください。 • 調整中 クリア をタッチすると調整前の設定に戻ります。 • 走行中は調整を行うことはできません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。 • ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整することができます。
フロントカメラ速度連動表示	走行速度が約8km/h以下になったとき、フロントカメラの映像を自動的に表示するように設定ができます。 **初期設定値**：しない •「フロントカメラ接続」が なし に設定している場合は、設定できません。
フロントカメラ地点連動表示	あらかじめ登録した地点に近づいたとき、フロントカメラの映像を自動的に表示するように設定ができます。 **初期設定値**：しない •「フロントカメラ接続」が なし に設定している場合は、設定できません。 • カメラ表示地点の登録については57ページを参照してください。
リアカメラ接続	リアカメラを接続する場合は、あり に設定してください。 **初期設定値**：なし • HCE-C2000RDシリーズ接続時は自動的に あり に設定されます。
インターフェースボックス接続	別売のインターフェースボックス(IFB-N100)を接続した場合は、あり に設定してください。 **初期設定値**：なし
サイドカメラ接続	別売のインターフェースボックスにサイドカメラを接続した場合は、あり に設定してください。 **初期設定値**：なし •「インターフェースボックス接続」が なし に設定している場合は、設定できません。
サイドカメラガイド調整	サイドカメラのガイドの調整を行うことができます。調整方法は126ページの「サイドカメラガイド調整」を参照してください。 **•「インターフェースボックス接続」と「サイドカメラ接続」が なし に設定している場合は、設定できません。**
サイドカメラ地点連動表示	設定内容は「サイドカメラ地点連動表示」(126ページ)を参照してください。 •「インターフェースボックス接続」と「サイドカメラ接続」が なし に設定している場合は、設定できません。

各種設定―接続機器 設定画面について(3/4)

コーナーカメラ接続	別売のインターフェースボックスにコーナーカメラを接続した場合は、あり に設定してください。 初期設定値：なし •「インターフェースボックス接続」を なし に設定している場合は、設定できません。
コーナーカメラガイド調整	コーナーカメラのガイドの調整を行うことができます。調整方法は「コーナーカメラガイド調整」(126ページ)を参照してください。 •「コーナーカメラ接続」を なし に設定している場合は、設定できません。
コーナーカメラソナー連動設定	設定内容は「コーナーカメラソナー連動設定」(126ページ)を参照してください。
ルームカメラ接続	別売のインターフェースボックスにルームカメラを接続した場合は、あり に設定してください。 初期設定値：なし •「インターフェースボックス接続」が なし に設定している場合は、設定できません。
汎用カメラ接続	ルームカメラ・サイドカメラ・リアカメラ・コーナーカメラを接続する場合に、接続するカメラの種類を設定します。 初期設定値：なし •「インターフェースボックス接続」(124ページ)が あり に設定している場合は、設定できません。 •「リアカメラ接続」(124ページ)が あり に設定している場合は、リアカメラ には設定ができません。
リアカメラガイド調整	リアカメラの固定ガイド、ステアリング連動ガイドの調整を行うことができます。 ステアリング連動ガイドはステアリング連動リアカメラの接続およびステアリング連動対応車種とのCAN接続が必要となり、「車種専用チューニング」(134、206ページ)で対象車種およびステアリング連動リアカメラを選択した場合のみ表示されます。 ■ 固定ガイドを調整する HCE-C2000RDシリーズ接続時は パノラマ トップ バック を先に選択し、固定ガイド調整 にタッチしてください。コーナービューはガイド調整できません。 画面に表示される ▲ ▼ で調整したいガイドを選び、↑ ↓ ← → にタッチして位置を調整します。 OFF または ON にタッチすると選択したガイド線を消去または表示することができます。 最後に セット にタッチすると調整位置が記録されます。 ■ ステアリング連動ガイドを調整する HCE-C2000RDシリーズ接続時は バック を先に選択し ステアリングガイド調整 にタッチしてください。 ステアリングガイド調整 にタッチし確認メッセージの 確認 にタッチしてください。 カメラ映像画面にタッチし表示される ↑ ↓ ← → にタッチして位置を調整します。 固定ガイドOFF または 固定ガイドON にタッチすると固定ガイド線を消去または表示することができます。 最後に セット にタッチすると調整位置が記録されます。 • 固定ガイド線およびステアリングガイド線は車種専用で設定されるため「車種専用チューニング」(134、206ページ)を設定した後は、「リアカメラガイド調整」は行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。 • 固定ガイド線とステアリング連動ガイド線は連動して調整されます。 • 固定ガイド調整はガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整することができます。 • 固定ガイドまたはステアリングガイドを調整中、初期値 にタッチすると調整値が初期化されます。固定ガイドの場合は調整前の設定に戻り、ステアリングガイドの場合は車種専用チューニング時の状態に戻ります。 初期化するには、確認メッセージが表示されたら はい にタッチしてください。 • 調整中 クリア にタッチすると、調整前の設定に戻ります。 • 走行中は調整できません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。 • ステアリング連動対応のリアカメラについてはアルパインホームページをご覧ください。

各種設定―接続機器 設定画面について(4/4)

パノラミックビュー設定

する に設定すると、一部純正カメラを接続した場合のカメラガイド表示を最適化します。

初期設定値：しない

- 設定が必要な純正カメラが接続されている場合は工場出荷時に する に設定されているため、通常は操作の必要はありません。
- 設定が不要な車種の場合は、しない に設定されています。 する に設定すると、クイックセットアップなどで設定したカメラガイド線がずれて表示されますのでご注意ください。
- 「全設定項目初期化」「全情報初期化」を行うと、本項目は しない に変更されます。
- 「リアカメラ接続」を なし に設定している場合は、設定できません。
- する に設定すると、リアカメラガイド線表示が自動でOFFになります。再度リアカメラガイド線を表示するには、「カメラ画像の調整」−「ガイド表示のON/OFF」(164ページ)を参照してください。

サイドカメラガイド調整

サイドカメラのガイドの調整を行うことができます。

画面に表示される ▲ ▼ で調整したいガイドを選び、↑ ↓ ← → にタッチして位置を調整します。最後に セット にタッチすると調整位置が記録されます。

- ガイド調整中、初期値 にタッチすると調整値が初期化され、車種専用チューニング設定前の状態に戻りますのでご注意ください。初期化するには、確認メッセージが表示されたら はい にタッチしてください。
- 調整中 クリア をタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整できません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。
- ガイド線は車種専用で設定されるため、「車種専用チューニング」(134、206ページ)を設定した後は、「サイドカメラガイド調整」は行わないでください。車の状態により、ガイドの微調整が必要な場合は調整を行ってください。
- ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整することができます。

サイドカメラ地点連動表示

あらかじめ登録した地点に近づいたとき、サイドカメラの映像を自動的に表示するように設定ができます。

初期設定値：しない

- カメラ表示地点の登録については57ページを参照してください。

コーナーカメラガイド調整

コーナーカメラのガイドの調整を行うことができます。

画面に表示される ▲ ▼ で調整したいガイドを選び、↑ ↓ ← → にタッチして位置を調整します。最後に セット にタッチすると調整位置が記録されます。

- ガイド調整中、初期値 にタッチすると調整値が初期化され、車種専用チューニング設定前の状態に戻りますのでご注意ください。初期化するには、確認メッセージが表示されたら はい にタッチしてください。
- 調整中 クリア をタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整できません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。
- ガイド線は車種専用で設定されるため、「車種専用チューニング」(134、206ページ)を設定した後は、「コーナーカメラガイド調整」は行わないでください。車の状態により、ガイドの微調整が必要な場合は調整を行ってください。
- ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整することができます。

コーナーカメラソナー連動設定

左前方のクリアランスソナーが反応したとき、自動でコーナーカメラ映像を表示することができます。レベル1→レベル2→レベル3の順で、ソナーが反応する障害物までの距離が遠くなります。OFFにすることもできます。

初期設定値：OFF

- 「コーナーカメラ接続」を なし に設定している場合は、設定できません。
- 本設定は、コーナーカメラソナー連動対応車種で車種専用チューニングを行うと操作することができます。

各種設定—AV 設定画面について

各種設定—AV設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 各種設定 → AV タブの順にタッチすると表示されます。



• ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

録音ビットレート	SDカードへ録音時の音質を96k/128k/192kの中から選択します。 **初期設定値**：128k • 録音ビットレートの数字が大きくなるほど音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。
アートワーク自動取得	iPodのファイルにアートワークデータがある場合は再生時に自動的に取得します。 **初期設定値**：する • iPod classicとiPod nano 3rd generation接続時は、アートワーク取得時に正常に動作しませんので、しない に設定してください。
iPod自動ソース切換	本機能を する に設定すると、iPod接続時に自動的にソースをiPodへ切りかえることができます。 **初期設定値**：しない

各種設定―その他 設定画面について(1/3)

各種設定―その他設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 各種設定 → その他 タブの順にタッチすると表示されます。



• ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

ディスプレイ誤操作防止	ディスプレイが傾いているときは操作規制を行い、ディスプレイ開閉時の意図しないタッチ操作を防止します。 **初期設定値**：する • 本設定はXF11Zのみ設定できます。 •「する」設定時は、リモコン(RUE-RST01)のジョイスティック操作にも操作規制を行います。
時計表示設定(映像ソース)	テレビやDVDなどの本機の映像ソース画面に時計を表示するかどうか設定できます。 **初期設定値**：する
時計表示設定(ナビ画面)	ナビの地図画面に時計を表示するかどうか設定できます。 **初期設定値**：する
時計表示	時刻の表示形式を12時間制または24時間制に設定します。 **初期設定値**：24H
ボイスタッチワード設定	ボイスタッチワードを使用するかどうか設定することができます。 する に設定したワードを発声すると、音声で本機を操作することが可能になります。ボイスタッチ機能を使用しないワードは しない に設定してください。一括で切りかえる場合には 全てする または 全てしない にタッチします。 **初期設定値**：する • テスト にタッチすると、選んだワードを発話して認識するかどうか確認することができます。
ボイスタッチチューニング	ボイスタッチワードの認識率を設定することができます。ワード全体の認識率を設定する方法と、それぞれのワードを個別に調整する方法があります。 **初期設定値**：推奨 • 推奨 には各ワードのメーカー推奨値が設定されています。 • テスト にタッチすると、ワードを発話して認識するかどうか確認することができます。 **■ 各ワード個別調整** ワードごとに認識率を調整することができます。初期設定値には各ワードの推奨値が設定されています。 • ボイスタッチワード全体を設定すると、すべてのワードの個別調整の設定値に反映されます。「認識率:低　誤検出:少」に設定すると各ワード個別調整値は「MIN(0)」に、「推奨」に設定すると各ワードの推奨値に、「認識率:高　誤検出:多」に設定すると「MAX(10)」に変更されます。
メニューの文字サイズ変更	メニュー画面の文字表示サイズを変更します。 大 に設定すると、AVソースメニュー画面・ナビメニュー画面で文字を大きく表示します。 **初期設定値**：標準

各種設定―その他 設定画面について(2/3)

英語設定	ナビメニュー画面や地図スクロール画面などのメニューの一部、および地図上の表示言語とナビ音声案内を英語に設定します。 **初期設定値**：しない • する に設定してもVICS音声読み上げは日本語になります。 • 英語案内の場合、「音声案内設定」(118ページ)を 信号・交差点 に設定しても、距離で案内を行います。
アートワークアニメーション表示	iPod/iPhoneのアートワークをアニメーション表示します。 **初期設定値**：する
メニューアニメーション表示	ナビメニュー画面とAVソースメニュー画面をアニメーション表示します。 **初期設定値**：する
距離補正	本機はGPSからの位置情報と車速パルス信号による計算上の走行距離とを比較し、それらの情報を蓄積・学習することで自車位置を補正しています。地図上の自車位置が実際の位置と大きくずれてしまう場合は、まず距離補正値を初期化して数十キロ程度走行してください。それでもずれてしまう場合には手動で距離補正を行ってください。 • 通常は距離補正を行う必要はありません。 • 走行距離はタイヤ1回転ごとに発生させる車速パルスの数にタイヤの円周を乗じて計算します。このためタイヤを交換したときは自車位置がずれる場合があります。 **■ 自動距離補正設定** 距離補正を自動で行います。 **初期設定値**：ON(自動) **■ 自動距離補正値** 自動距離補正を開始する値を設定します。 **初期設定値**：-1.2% **■ 手動距離補正値** 自車位置が実際の位置と合うように計算上の走行距離を微調整します。 • はじめは0.5 ～ 1%程度の調整で様子を見ることをおすすめします。極端な補正は誤動作の原因になる場合があります。 **■ 学習結果** 距離補正の学習状況です。 **■ 初期化** 自車位置が大きくずれる場合やタイヤを交換したときは距離補正値を初期化してください。
モニター自動CLOSE	エンジンをOFFにするとモニターが自動的に閉じます。 **初期設定値**：する • XF11Zに本設定はありません。
イルミネーション連動設定	ヘッドライト点灯に連動してディスプレイと照光スイッチの明るさを切りかえ、画面を見やすくすることができます。 **初期設定値**：する
夜用明るさ調整	「イルミネーション連動設定」を する に設定すると夜用の画面の明るさを調整することができます。 **初期設定値**　：0
夜用照光明るさ調整	「イルミネーション連動設定」を する に設定すると夜用の本体スイッチの明るさを調整することができます。 **初期設定値**：標準
燃費優先ルート	**■ 車種タイプ選択** • 「自車マーク」(117ページ)を マーク3 に設定したとき画面に表示する車のイラストの車種を選択します。 **■ 乗車人数選択** 普段乗車される際の乗車人数の設定を行います。設定された人数は燃費優先ルート探索条件として使用されます。 **初期設定値**：4人 • 乗車人数選択範囲は1人～ 10人です。

各種設定―その他 設定画面について(3/3)

オプションキー	ダブルゾーンコミュニケーション・VICS割込み情報・ミュート・画面OFF・サイドカメラ・コーナーカメラ・フロントカメラ・インターフェースボックスAUX IN・エネルギーモニター・TVをみる・自宅に帰る(地図画面のみ操作可能)・後席個別ON/OFF・ダブルゾーンメニュー・ボイスタッチワード一覧、のいずれかの機能を割り当てることができます。 **初期設定値**：1回押し…ボイスタッチワード一覧 **長押し**※…1. ダブルゾーンコミュニケーション、2. 画面OFF、3. ミュート ※「汎用カメラ接続」が「ルームカメラ」に設定されている、または「インターフェースボックス接続」−「ルームカメラ接続」が あり の場合は、自動で [＊] (オプションキー)の「長押し 3.」にルームカメラが登録されます。 • 「カメラダイレクトキー設定」(124ページ)を あり に設定している場合は、フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラは登録できません。 • [＊] (オプションキー)でフロントカメラを表示させた場合、「フロントカメラ速度連動表示」「フロントカメラ地点連動表示」(124ページ)設定が する になっていてもフロントカメラの映像は解除されません。 • フロントカメラとリアカメラを接続した場合は、シフトレバーをバックギア(R)に入れるとフロントカメラの [＊] (オプションキー)操作は無効となります。
自車位置修正	地図上の自車マークの位置と向きが実際とは異なっている場合は手動で修正することができます。自車位置修正 をタッチしたら自車マークが実際の位置にくるまで地図をスクロールし、 または をタッチして向きを調整します。登録 をタッチすると自車位置がセットされます。 • 自車位置修正については「現在地」(57ページ)を参照してください。
画面カラー変更	ナビメニュー画面やAVソースメニュー画面などのタッチスイッチ・背景の色を変更します。 **初期設定値**：ホワイト
セキュリティ設定	セキュリティコードを設定します。バッテリーを外して再度使用を開始したときやリセットスイッチを押したときに、設定したセキュリティコードを入力しないと本機を使用することができなくなります。 する にタッチした後セキュリティコードを入力し、完了 をタッチします。 **初期設定値**：しない • セキュリティ設定を解除するにはセキュリティコードが必要です。セキュリティコードを忘れてしまった場合には、裏表紙を参照してお客様登録したうえで、アルパインインフォメーションセンターにご相談ください。
セキュリティインジケータ設定	「セキュリティ設定」(前項目)と「セキュリティインジケータ設定」が する に設定されている状態で、車のエンジンをACC OFFにした時にセキュリティインジケータ用の照光スイッチが点滅します。 **初期設定値**：しない
クイックセットアップ状態初期化	既に設定した設定値を保持した状態で、セットアップ状態を初期化することができます。 • リセット後に再起動します。
全設定項目初期化	本機で設定したすべての項目の設定値を初期化します。DVD/CDディスク・音楽用SDカード・USBメモリーを取り出してから操作を行ってください。 • 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。
全情報初期化	登録地点や設定項目の設定値などすべての情報を初期化し、工場出荷時の状態にします。DVD/CDディスク・音楽用SDカード・USBメモリーを取り出してから操作を行ってください。 • 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。
ログアップロード	ログデータをアルパインサーバーへアップロードすることができます。 ログデータは、今後の製品開発や不具合が発生した際のログ解析などの用途で使用させていただきます。ログ解析することで不具合の早期解決を行い、いち早くお客様へお知らせすることができます。 個人情報確認画面の内容を確認して 同意する にタッチし、ログデータをアップロードする場合は はい にタッチしてください。アップロード完了後は 確認 にタッチしてください。 • Wi-Fi通信機器が登録されていない場合は、ログデータのアップロードはできません。個人情報確認画面の 機器設定 にタッチし、はい にタッチするとWi-Fi通信機器を登録することができます。「Wi-Fi通信機器を接続する」(72ページ)を参照してください。 • アップロード中に本体キーを操作したり、お車のエンジンをACC OFFにしたりした場合は、アップロードが中止します。

音質調整―基本設定 画面について(1/2)

音質調整画面―基本設定画面は **[MODE]** / **[♪ AUDIO]** スイッチを押して 音質調整 → 基本設定 タブの順にタッチすると表示されます。

アドバイス

• ダブルゾーンコミュニケーション操作中(170ページ)は、音質調整操作はできません。



① サブウーファーレベル	「サブウーファー設定」(133ページ)でサブウーファーを ON に設定した場合のみ、出力レベルを調整することができます。 **設定値** ：0 ～ 15(初期設定値は「0」)	• 本設定は詳細設定1画面・詳細設定2画面からも操作することができます。
	車種専用チューニング(134ページ)で設定した後に、使用する条件によって車室内の音響を変更することができます。 登録されている車種名をリストから選択する方法と、その他車種 では車内装備にあわせて、車種・ドライバーズシートの位置・フロントスピーカーのサイズ・ツィーターの有無・リアスピーカーの設置位置・サブウーファーの有無・シートの材質を順に選択して設定する方法があります。	• 車種専用サウンドの設定はMedia Xpander・Parametric EQ・T.CORR・X-OVER・サブウーファー設定の項目に反映され、Bass Max EQの設定が解除されます。 • ディフィートがONのときは操作できません。また、リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別TV・DVD・HDMIがONのときも操作できません。 • 「車種専用チューニング中です」と表示されているときは電源をOFFにしないでください。 • 車種専用設定中はハンズフリー機能が使用できない場合があります。 • メーカーと車種を選択して設定する場合は、メーカー名→車種の順に選んでください。 • 車のシートに皮製の生地が使われている場合は レザー を、クロス地の場合は モケット を、皮とクロスの両方を使用している場合は ハーフレザー を選択してください。 • スピーカーのサイズとシートタイプは必ず選択してください。 • フロントスピーカーのサイズ・ツィーターの有無・シートタイプについてご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

音質調整―基本設定 画面について(2/2)



映画などの音声を聞き取りやすくしたり、CDの音楽をメリハリのある音で再生するなど、音声や楽器の音をメディアごとに際立たせて再生することができます(Media Xpander)。

初期設定値：OFF

メディア	レベル			
	OFF	1	2	3
DVD	OFF	MOVIE	MOVIE	DVD MUSIC
CD	OFF			
COMPRESS MEDIA※	OFF			
FM	OFF			
AM	OFF	–	–	–
外部入力/ドライブレコーダー/ゲーム/ウォークマン®	OFF	圧縮オーディオ	MUSIC	MOVIE
HDMI※	OFF			
TV※	OFF			
BT AUDIO※	OFF			

- MP3・WMA・AAC・iPod・SD・USBは「COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。
- DVDビデオとDVD-VRは「DVD」に割り当てられます。
- MXレベルは1→2→3の順で効果が大きくなります。
- ディフィートがONのときは操作を受けつけません。
- CD録音中に視聴している音はSDカードに録音したAACであるため、COMPRESS MEDIAに割り当てられます。

※ COMPRESS MEDIA・HDMI・TV・BT AUDIOは、いずれかの設定を変えると同じMXレベルに設定変更されます。



あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、お好みの音質に設定できます。

初期設定値：FLAT

設定値　：FLAT・POPS・ROCK・NEWS・JAZZ・ELECTRICAL DANCE・HIP HOP・EASY LISTENING・COUNTRY・CLASSICAL

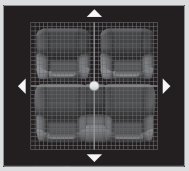
- ディフィートがONのときは操作できません。
- Bass Max EQ で各音響特性を選択すると選択したEQカーブがParametric EQへ反映されます。
- 右側画面に表示されているEQカーブはイメージです。



前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

BALANCE：L15 ～ R15(初期設定値は「O」)
FADER　：R15 ～ F15(初期設定値は「O」)

- 微調整するときは、▲フロント ▼リア ◀レフト ライト▶ をタッチしてください。
- 初期設定値に戻すには センター をタッチします。
- 調整画面右のバランスポイントエリアにタッチしても調整できます。
(バランスポイントエリア)



- 本設定は詳細設定1画面・詳細設定2画面からも操作することができます。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別TV・DVD・HDMIがONのときは操作できません。



ONに設定すると、MXをOFFに、EQを初期設定状態に戻します。OFFにすると、設定した値に戻ります(初期設定値は「OFF」)。

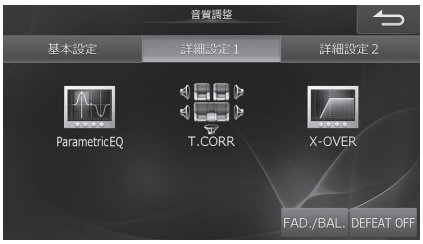
DEFEAT ON 表示 ：ディフィートがONのとき。
DEFEAT OFF 表示：ディフィートがOFFのとき。

- ディフィートをONに設定すると 車種専用サウンド Media Xpander Bass Max EQ Parametric EQ はトーンダウンしてタッチできなくなります。
- 本設定は詳細設定1画面・詳細設定2画面からも操作することができます。

音質調整―詳細設定 画面について

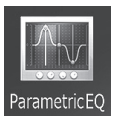
音質調整画面―詳細設定1・2画面は **[MODE]** / **[♪ AUDIO]** スイッチを押して 音質調整 → 詳細設定1、または 詳細設定2 タブの順にタッチすると表示されます。

<詳細設定1画面>



<詳細設定2画面>





Parametric EQ(パラメトリックEQ)は、中心周波数・Q(帯域幅)・レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正や音創りを行うことができます。

チャンネル：タッチするたびに1～9までのチャンネルに切りかわります。

- ディフィートがONのときは操作できません。
- 隣り合うチャンネルの周波数を超えて設定することはできません。
- Parametric EQ設定時は、Bass Max EQの設定は解除されます。
- 設定したいチャンネルのエリアにタッチしても調整できます。
- プリセット1 プリセット2 プリセット3 のいずれかにタッチし続けると調整した設定値を記憶し、タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。
- フラット をタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。



T.CORR(タイムコレクション)は音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。 補正時間 または 補正距離 にタッチするたびに補正モードが切りかわります。

補正時間　：時間補正値で調整します(単位はms)。

補正距離　：リスニングポジションと各スピーカーまでの距離で調整します(単位はcm)。

- 1ch・9.9msまで、5ch合計20msまで調整することができます。
- サブウーファーを OFF に設定している場合は、タイムコレクションの設定画面に表示されません。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別TV・DVD・HDMIがONのときは操作できません。
- プリセット1 プリセット2 プリセット3 のいずれかにタッチし続けると調整した設定値を記憶し、タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。
- フラット をタッチすると、設定した内容を「0」の状態にすることができます。



X-OVER(クロスオーバー)は、HPF(ハイパスフィルター)とLPF(ローパスフィルター)を設定し、カットオフ周波数(クロスオーバーポイント)を20Hz～200Hzから選び、スロープ値を0・6・12・18・24 dB/octから選ぶことでお好みの音響空間を再現することができます。

チャンネル　：タッチするたびに、フロントHPF→リアHPF→サブウーファー LPF→フロントHPFの順にチャンネルが切りかわります。

- サブウーファーがOFFモードのときは、サブウーファーのX-OVERは設定できません。
- 接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別TV・DVD・HDMIがONのときは操作できません。
- プリセット1 プリセット2 プリセット3 のいずれかにタッチし続けると調整した設定値を記憶し、タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。
- フラット をタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。



サブウーファーのON/OFFを設定します。

初期設定値：OFF

- ON に設定した場合は、PHASEでお好みの位相を設定することができます(初期設定値は「0°」)。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別TV・DVD・HDMIがONのときは操作できません。



ソースごとに基準となる音量レベルを調整します(初期設定値はいずれも「0ステップ」)。

- CD録音中に視聴している音は「圧縮AUDIO」で調整します。
- ウォークマン®は14ステップに設定してください。

車種専用チューニング 画面について

車種別設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 車種専用チューニング の順にタッチすると表示されます。





アルパインホームページからダウンロードした車種データを設定できます。Wi-Fi通信でのダウンロードも可能です（144ページ）。

車種データ設定は下記の内容を登録します（2017年10月時点データ）。

- オープニング画面/オープニングサウンド※
- 車種専用サウンド（音響空間の設定）
- 画面背景デザイン
- 車種イラスト
- リアカメラ接続・ガイド線・コーション位置設定
- 汎用カメラ接続設定
- サイドカメラガイド線設定
- コーナーカメラガイド線・ソナー連動設定
- バックドアガイド線設定
- インターフェースボックス・サイドカメラ/コーナーカメラ接続
- 案内図表示（交差点拡大図またはビッグアロー）
- 自動距離補正値設定
- 車両情報（車種/サイズ）
- ステアリングリモコン設定
- アロマアイコンデザイン
- エンジンタイプ設定
- 燃費ルート探索パラメータ
- メニュー画面デザイン
- ダブルゾーンサウンドコントロール設定（前後席の推奨Vol値）

- 車種データのダウンロードを行う前に、アルパインホームページでお客様登録が必要です。
- SDカードまたはUSBメモリーを使用する場合は、ZIPファイルを解凍したデータをSDカードまたはUSBメモリーに保存し、本機にセットします。
- SDカードを使用する場合は、本機での初期化が必要です。「地点保存用SDカード初期化」を行ってから更新データを保存してください（135 ページ）。
- 車種を選択または車種データを読み込むとカメラ設定画面が表示されます。続けて設定を行ってください。
- 車種データ更新後に車種設定画面が表示された場合は 終了 をタッチしてください。

※ 一部の車種にのみオープニングサウンドが適応されます。



アルパインホームページからダウンロードした車種データに含まれる、オープニング画像データを設定できます。Wi-Fi通信でのダウンロードも可能です（144ページ）。

初期設定値：デフォルト画像（ALPINE）

1. 設定したいオープニング画像を選択し、完了 をタッチします。
2. 確認メッセージが表示されたら はい をタッチします。

- 車種専用チューニングを行っていない場合はオープニング画像を変更できません。
- オープニング画像に設定できるデータはアルパインが提供する画像データのみです。
- 追加可能なデータは1点です。すでにデータが読込まれている場合は古いデータは削除されます。
- リセット後に再起動し、プログラムアップデートを行い、再度リセットと再起動を行います。
- 一部の車種にのみオープニングサウンドが適応されます。



アルパインホームページからダウンロードした車種データに含まれる、アイコンデザイン・背景色データを設定できます。Wi-Fi通信でのダウンロードも可能です（144ページ）。

初期設定値：ホワイト

1. 設定したいメニューデザインを選択し、完了 をタッチします。
2. 確認メッセージが表示されたら はい をタッチします。

- メニューデザインを変更できない車種があります。
- 追加可能なデータは1点です。すでにデータが読込まれている場合は古いデータは削除されます。

メディア編集 画面について

メディア編集画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → メディア編集 の順にタッチすると表示されます。



	本機で設定した登録地点をSDカードまたはUSBメモリーにコピーして保存することができます。	• 登録地点保存用のフォルダーがSDカードやUSBメモリー内に自動的に作成されます。 - フォルダー名:NAVDATDRフォルダー - POIXフォルダー - 地点ファイル拡張子:.poix • 作成したファイルの削除とファイル名の変更はパソコンから行うことができます。ただし拡張子.poixを変更するとファイルが認識されなくなりますので、拡張子の変更は行わないでください。なおファイル名に使用できる文字は半角英数字のみになります。 • 録音用SDカードに地点を保存することはできません。 • メディア内に同一登録地点が存在する場合は上書き保存されます。 • 登録地点をメディアへコピーしている途中で他の画面に移動した場合、コピー処理はキャンセルされます。 • 本機で登録した登録地点はアルパインナビゲーションNVE-N555シリーズやNVA-HD55シリーズで使用することはできません。
	SDカードまたはUSBメモリーに保存した地点を本機の地図メモリーにコピーすることができます。	• 本機の登録地点の最大数(700か所)を超えた場合は、地点のコピーは行われません。 • 本機とメディアに同一地点のデータが存在した場合は、その地点のデータはコピーされません。
SD初期化	SDカード挿入口に挿入されているSDカードを初期化して、本機で使用できるようにします。 録音用SDカードを作成する場合や、何らかの原因によりSDカードが正常に動作しなくなった場合または本機でSDカードを認識しない場合は、本機でSDカードの初期化を行ってください。 録音用SDカード初期化 : SDカードを初期化し、録音用SDカードを作成します。 地点保存用SDカード初期化 : SDカードを初期化し、地点保存等に使用するSDカードを作成します。	• 初期化中は、エンジンを切ったり、SDカードを取り出したりすることは絶対にしないでください。SDカード内のデータが破損する場合があります。 • 本機添付のSDカードには車種専用データが格納されています。「クイックセットアップ(販売店設定)」(206ページ)でお客様の車を設定するまでは、本機添付のSDカードは初期化しないでください。
ﾒﾃﾞｨｱ情報	SDカードまたはUSBメモリーの残容量を確認することができます。	

画質調整 画面について

画質調整画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 画質調整 の順にタッチすると表示されます。
画質調整は、全ての画面(映像ソース画面・カメラ画像以外)・映像ソース画面・カメラ(接続設定がされているカメラ画像)・インターフェースボックス(本機に接続されている場合のみ)によって調整できる項目が変わります。本項ではDVDの映像ソース画面を例に説明しています。

• AVソースのDVD・テレビ・外部入力・HDMIは、それぞれで画質を調整し、設定値を記憶することができます。



① 画面サイズ	表示する映像をワイド、シネマ、ノーマルの3つのサイズに変えることができます。 **ワイド**　：16:9の映像を見るときに選択します。 **シネマ**　：映像を上下方向に拡大して表示したいときに選択します。画面の上下が少しカットされます。 **ノーマル**　：4:3の映像を見るときに選択します。画面の左右が黒く表示されます。	• 映像ソース画面のみで調整ができます。
② プリセット	映像ソース画面の調整内容を記憶したり呼び出したりすることができます。 プリセット1 または プリセット2 をタッチし続けると内容を保存できます。	• 映像ソース画面のみで調整ができます。
ライブコントラスト	画面の明るすぎる部分や暗すぎる部分の明るさを自動的に調整し、自然な明るさに補正します。 **設定値**　：OFF/弱/強(初期設定値は「弱」)	• 映像ソース画面とカメラ画面のみで調整ができます。
VISUAL EQ	**設定値**　：フラット(OFF)/ナイトモード/ソフト/シャープネス/ハイコントラスト フラット(OFF)：工場出荷時設定 **ナイトモード**：暗いシーンが中心の映画に最適 **ソフト**　：CGやアニメーションの映画に最適 **シャープネス**：映像がくっきりしていない古い映画に最適 ﾊｲｺﾝﾄﾗｽﾄ：最新の映画に最適	• 映像ソース画面のみで調整ができます。 • お好みで映像の明るさや色の濃さなどを調整した場合は「カスタム」と表示されます。
明るさ	**設定値**　：−15 〜+15(初期設定値は「0」) 最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。	• 全ての画面・映像ソース画面・カメラ画面で調整ができます。
色の濃さ	**設定値**　：−15 〜+15(初期設定値は「0」) 最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。	• 映像ソース画面とカメラ画面で調整ができます。
コントラスト	**設定値**　：−15 〜+15(初期設定値は「0」) 最大値時は「HIGH」、最小値時は「LOW」と表示します。	• 全ての画面・映像ソース画面・カメラ画面で調整ができます。
シャープネス	**設定値**　：−5 〜+5(初期設定値は「0」) 最大値時は「HARD」、最小値時は「SOFT」と表示します。	• 映像ソース画面のみで調整ができます。

• カメラの画質調整については164ページを参照してください。

音量調整 画面について

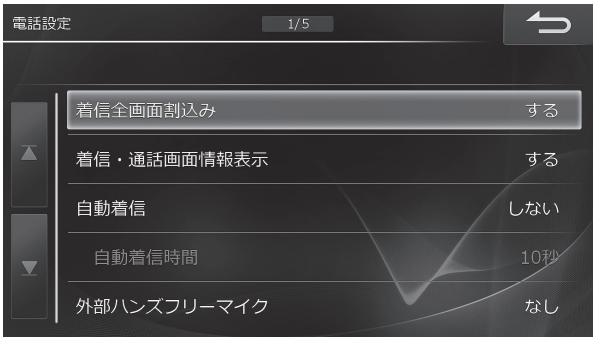
音量調整画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 音量調整 の順にタッチすると表示されます。



前席操作音	本機スイッチを押した時の操作音の音量を7段階で調整します。操作音は前席スピーカーから出力されます。 **初期設定値：4**
後席操作音	リモコン操作する時の操作音の音量を5段階で調整します。操作音は後席スピーカーから出力されます。 **初期設定値：3**
ガイド音声	ナビゲーション案内音声の音量を7段階で設定します。音声をOFFにすることもできます。 **初期設定値：4**
音声読み上げ	VICS・ブラウザ音声読み上げの音量を7段階で設定します。発話する音声読み上げをOFFにすることもできます(122ページ)。 **初期設定値：4**
着信音量	電話着信音の音量を11段階で設定できます。 **初期設定値：4**
受話音量	受話音量を11段階で設定できます。 **初期設定値：4**
送話音量	送話音量を11段階で設定できます。 **初期設定値：6**
オープニングサウンド音量	オープニングサウンドの音量を7段階で設定できます。音量をOFFにすることもできます。 **初期設定値：4** • 車種専用チューニング(134、206ページ)で選択したオープニングサウンド適応車種のみ音量設定をすることができます。

電話設定 画面について

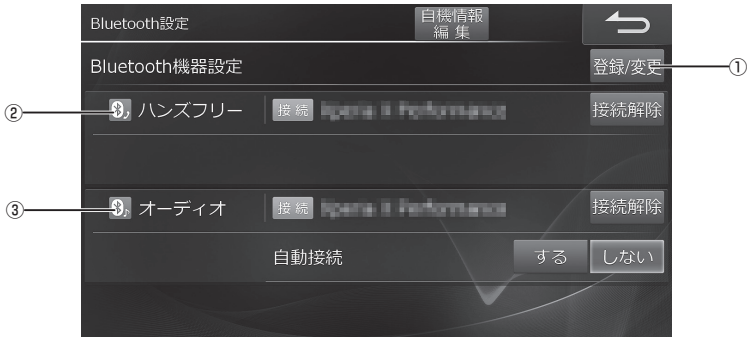
電話設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → 電話設定 の順にタッチすると表示されます。



着信全画面割込み	電話がかかってきたときに、着信全画面を自動で表示するかどうか設定します。 **初期設定値**：する	• する に設定していても、カメラ画面表示中は着信メッセージ表示となります。
着信・通話画面情報表示	着信時または通話時に、相手の電話番号や名前などを画面に表示するかどうか設定します。 **初期設定値**：する	
自動着信	電話がかかってきたときに、自動的に電話を受けるかどうか設定します。 **初期設定値**：しない	
自動着信時間	自動着信設定時に何秒経過したら電話を受けるのかを5秒～ 20秒の範囲で5秒刻みに設定することができます。 **初期設定値**：10秒	• 「自動着信」(前項目)を する に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。
外部ハンズフリーマイク	通常、本設定は本機では使用しません。 X9Z/7WZお買い上げのお客様：付属の外部ハンズフリーマイクが接続されている場合、あり に設定してください。 **初期設定値**：なし	• 外部ハンズフリーマイクが接続されていない場合、あり に設定するとハンズフリー時に送話できません。こちらの声が相手に聞こえなくなりますのでご注意ください。

BLUETOOTH設定 画面について

BLUETOOTH設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → Bluetooth/Wi-Fi設定 → Bluetooth設定 の順にタッチすると表示されます。



• BLUETOOTH機器の登録方法については「携帯電話・スマートフォンを接続する」(66ページ)を参照してください。

① **登録/変更**	BLUETOOTH機器設定画面を表示します。	• 設定変更する場合はBLUETOOTH接続を解除する必要があります。
② **ハンズフリー**	接続している携帯電話の名称と接続状況、通信接続先を表示します。再接続 / 接続解除 をタッチすると接続状態が切りかわります。	
③ **オーディオ**	接続しているBT AUDIO機器の名称と接続状況を表示します。BT AUDIOソース時に 再接続 / 接続解除 をタッチすると接続状態が切りかわります。 また、自動接続をするかどうかを設定します。 **初期設定値**：しない	• 「自動接続」を する に設定した場合、AVソースにBT AUDIOを選択すると自動的にBT AUDIO機器に接続します。前回接続したBLUETOOTH機器の場合のみ接続することができます。
自機情報 編 集	自機名称とパスキーを設定します。 **自機名称初期設定値**：ALPINE **パスキー初期設定値**：1234	• 自機名称の最大入力文字数は英数記号合計32文字です。

BLUETOOTH機器設定 画面について

BLUETOOTH機器設定画面は Bluetooth設定 画面で 登録/変更 をタッチすると表示されます。



① **詳細情報**	登録BLUETOOTH機器の詳細情報(機器名称・機器アドレス・機器種別・利用可能プロファイル)を表示します。	• 詳細情報画面で 暗証番号設定 をタッチすると暗証番号を登録して電話帳などにロックをかけることができます。4桁～ 8桁の数字を登録してください。 • 暗証番号消去 をタッチすると暗証番号入力後に消去します。 • 機器情報取得 をタッチすると機器名称・機器種別・利用可能プロファイルを再取得します。 • 暗証番号を忘れた場合は登録したBLUETOOTH機器を消去して再度登録してください。
消 去	登録したBLUETOOTH機器を消去します。	
接続機器 変 更	本機から接続機器を変更します。登録している機器をリストから選択し 接続機器変更 をタッチします。接続するサービス(ハンズフリー・オーディオ・ハンズフリー+オーディオ)から選択し変更します。	
機器登録	本機に接続するBLUETOOTH機器を登録します。接続する機器のBLUETOOTHバージョンにより接続方法が異なります。本機の画面に表示される案内に従って接続設定をしてください。	• 未登録を選択しているときは 機器登録 のみ選択できます。

Wi-Fi設定 画面について(1/2)

Wi-Fi設定画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 設定 → Bluetooth/Wi-Fi 設定 → Wi-Fi 設定 の順にタッチすると表示されます。



• Wi-Fi通信機器の登録方法については「Wi-Fi通信機器を接続する」(72ページ)を参照してください。

① **接続状態**	登録している接続機器名称および接続状況がアイコンで表示されます。	• 接続/未接続:接続状況を表示します(接続/未接続)。 • 2.4G/5G:接続周波数帯域を表示します(2.4G/5G)。 • / :セキュリティの有無を表示します。 :セキュリティ有 :セキュリティ無し • :接続しているWi-Fi通信機器の電界強度レベルを表示します。 • 1/2:Wi-Fi通信機器の接続優先順位を表示します。エンジンをACCまたはONにした場合、登録されている優先順位に従って自動で接続されます。 優先順位変更 にタッチすると、優先順位を変更することができます(142ページ)。 • Wi-Fi通信機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法や表示・動作が正常ではない場合があります。また、本機と接続する際には、Wi-Fiテザリング契約が必要な場合があります。 • 電波の状況によりノイズ等が入る場合があります。
② **詳細情報**	登録Wi-Fi通信機器の詳細情報(SSID・MACアドレス・通信モード・通信レート・周波数・セキュリティ方式・暗号化方式・認証方式・電界強度・接続状態・チャネル・チャネルボンディング)を表示します。	
自機情報	Wi-Fiネットワーク自機情報(MACアドレス・IPアドレス)を表示します。	• 情報がない場合は“−”と表示されます。
消 去	登録済みのWi-Fi通信機器を消去します。	• 再度登録する場合は、「Wi-Fi通信機器を接続する」(72ページ)を参照してください。

Wi-Fi設定 画面について(2/2)

優先順位変更	優先順位変更 をタッチして自動で接続される際の優先順位を変更することができます。リスト画面上の ▲上へ ▼下へ で優先順位を移動してください。 完了 をタッチすると自動接続時の優先順位変更が完了します。	
接続 / 切 断	選択しているWi-Fi通信機器の接続状態が切りかわります。	• 接続できるWi-Fi通信機器は1台です。別のWi-Fi通信機器を接続中の場合は切断されます。 • ACC電源をOFF、またはWi-Fi通信障害が発生すると、Wi-Fi通信は切断されます。 • 通信中にレーダー波を検出した場合は、DFS機能(※)により自動的にチャネルを変更しますので、通信が一時的に中断される場合または、接続も切断される可能性があります。必要に応じて本機側で再接続の操作を行ってください。 • 接続試行中は、本スイッチの操作はできません。接続試行が終了するまでお待ちください。 ※ DFS(ディーエフエス，Dynamic Frequency Selection):無線LANの通信が気象レーダー等に影響を与えないよう、無線LANアクセスポイント側が使用周波数帯を変更する機能。
詳細設定	Wi-Fi通信機器の設定条件を変更することができます。 **自動接続** Wi-Fi接続を自動で行うかどうか設定できます。 **初期設定値**：する **自動更新情報確認** 本機の電源を入れた時に自動でサーバーへ接続し、更新可能コンテンツの有無を確認します。 **初期設定値**：する **利用周波数帯域** 機器検索・自動接続の際に、表示・接続する周波数を指定できます。 **初期設定値**：自動 **ダウンロード自動再開** ダウンロード途中の更新データがある場合、Wi-Fi接続した時に自動的にダウンロードを再開するかどうか設定できます。 **初期設定値**：する	
機器探索	登録可能なWi-Fi通信機器の探索をおこないます。「Wi-Fi通信機器を接続する」(72ページ)を参照してください。	

Wi-Fi機器探索 画面について

Wi-Fi機器探索画面は Wi-Fi 設定 画面で 機器探索 → 確認 をタッチすると表示されます。



• Wi-Fi通信機器の登録方法については「Wi-Fi通信機器を接続する」(72ページ)を参照してください。

① **Wi-Fi通信機器探索インジケータ**	Wi-Fi通信機器探索状態を示します。	
② **機器探索結果リスト**	現在登録可能なWi-Fi通信機器名称および接続状況がアイコンで表示されます。画面上の機器リストにタッチしてWi-Fi通信機器を登録できます。「Wi-Fi通信機器を接続する」(72ページ)を参照してください。	• 登録済:登録状態を表示します。登録済みのWi-Fi通信機器は 登録済 と表示されます。 • 2.4G / 5G :接続周波数帯域を表示します(2.4G/5G)。 • / :セキュリティの有無を表示します。 :セキュリティ有 :セキュリティ無し • / / :接続しているWi-Fi通信機器の電界強度レベルを表示します。 • 機器探索結果リストには最大20件まで表示されます。
WPS 登録	WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を使用してWi-Fi通信機器を接続します。接続方法はプッシュボタン方式とPINコード方式があります。「WPS機能を使用してWi-Fi通信機器を登録する」(74ページ)を参照してください。	• WPS使用時のセキュリティは、WPAまたはWPA2を選択してください(TKIP/WEPはOFFに設定)。
機器名 入力 登録	接続するWi-Fi通信機器名(SSID(Service Set Identifier))を直接入力してWi-Fi通信機器を接続します。「機器名を入力してWi-Fi通信機器を登録する」(73ページ)を参照してください。	
機器登録	Wi-Fi通信機器を登録します。リストに表示されたWi-Fi通信機器から、登録したい機器を選んでタッチし、機器登録 にタッチします。「本機から自動探索してWi-Fi通信機器を登録する」(72ページ)を参照してください。	

データ更新について(Wi-Fi)(1/2)

自宅のWi-Fi通信機器やテザリング対応のスマートフォンを使用して本機のデータ更新を行うことができます。次のデータを一度に、または個別に更新することができます。

地図データ	• 全国地図データ年度更新(※) • 高速道配信
本機プログラムデータ	本機のアップデートプログラムデータ
車種専用チューニングデータ	車種専用のオープニング画像、チューニングデータ
Gracenoteデータベース	SDカードに音楽を録音したときにアルバム名やアーティスト名などを表示するGracenoteデータベース

※ 全国地図データ年度更新のデータサイズが大きい場合、Wi-Fi経由での地図データダウンロードサービスを行わない場合もございます。あらかじめご了承ください。Wi-Fi経由でのダウンロードサービスを行わない年度データが発生した場合、弊社ホームページおよびメールマガジンなどで、ご連絡いたします。

■データをダウンロードするために必要なこと

データをダウンロードするためには「E-Mail」と「パスワード」が必要です。あらかじめ、アルパインホームページで「お客様登録」を行い、本機の認証情報の設定を行ってください(「認証情報設定」149ページ)。

アルパインホームページアドレス　https://www.alpine.co.jp

• スマートフォン・携帯電話を使用し「認証情報設定」(149ページ)のQRコードを読み取り、お客様登録することもできます。

アドバイス

• Wi-Fi通信機器の接続方法については「Wi-Fi通信機器を接続する」(72ページ)を参照してください。

• Wi-Fi通信中にハンズフリー通話・電話帳の読み込み・BLUETOOTHオーディオ再生を行うと、BT AUDIOの音切れや、ダウンロードの速度低下、Wi-Fi通信の一時的な遮断や音切れ、ダウンロードの速度低下などの影響が出る場合があります。

• 各種メディア(CD/DVDディスク・SDカード・USBメモリー)を使用してデータ更新を行うこともできます。詳しくは「データ更新について(メディア)」(146ページ)を参照してください。

• 本製品のWi-Fi接続に関して、IPv6は動作保障しておりません。

1 **[MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押して、情報/更新 → Wi-Fi更新 → データ更新 → リスト更新 の順にタッチする**

• ダウンロード可能リスト画面が表示されます。

• 必要な更新データだけをダウンロードしたい場合は ダウンロード、すべての更新データをダウンロードしたい場合は 一括ダウンロード で、それぞれダウンロードしてください。

• 「全国地図年度更新データ」と「高速道配信データ」がある場合は、「高速道配信データ」はリスト画面に表示されません。ダウンロード可能な「高速道配信データ」がある場合には、「全国地図年度更新データ」をインストールした後に リスト更新 にタッチすると、リスト表示されます。

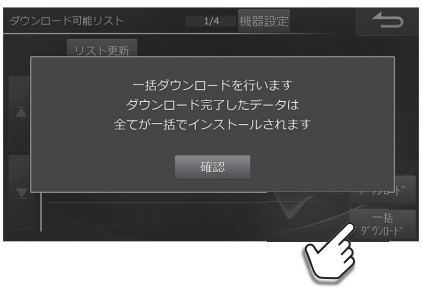
2 **<一部の更新データだけをダウンロードする場合>**

ダウンロードしたい更新データを選択して ダウンロード をタッチする



<すべての更新データをダウンロードする場合>

一括ダウンロード をタッチし、表示されたメッセージを確認して 確認 にタッチする



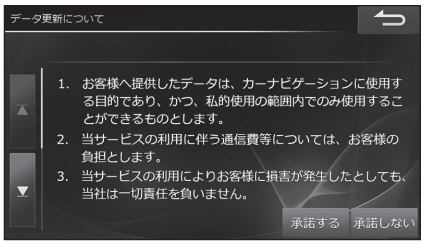
• ダウンロード完了したデータは全て一括でインストールされます。個別でインストールしたい場合には ダウンロード を選択してください。

• i (詳細情報)にタッチすると更新データの情報を見ることができます。「高速道配信データ」の場合は、さらに詳細な情報を見ることができます。情報画面で 詳細情報 にタッチします。

• 「全国地図年度更新データ」と「高速道配信データ」がある場合は、「全国地図年度更新データ」の後に「高速道配信データ」がダウンロードできます。

データ更新について(Wi-Fi)(2/2)

3 データ更新についての利用規約を読み、承諾する場合は 承諾する をタッチする

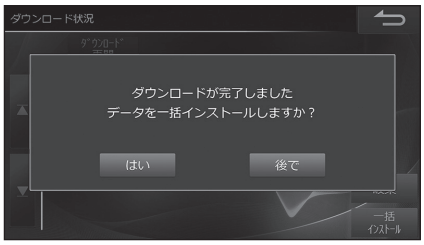


- 承諾しない にタッチするとダウンロード可能リスト画面に戻ります。

4 ログアップロードについての説明を読み、ログデータをアップロードする場合は、アップロードする にタッチする

- データダウンロードが開始され、ダウンロードが完了するとログデータのアップロードが開始されます。
- アップロードしない にタッチしてもデータのダウンロードは開始されます。
- データダウンロード中に 休止 をタッチするとダウンロードを休止できます。次回Wi-Fi通信機器を接続したときに自動でダウンロードを再開できます。「Wi-Fi設定　画面について(2/2)」の「詳細設定」(142ページ)を参照してください。
- ログアップロード中に 中止 にタッチすると、途中までのログデータだけがアップロードされます。
- ログアップロードはその他設定画面からも行うことができます。「ログアップロード」(130ページ)を参照してください。

5 ダウンロードまたはログアップロードが完了すると、ダウンロードデータのインストールを促すメッセージ画面が表示されます。 はい にタッチする



- 更新データがインストールされます。
- データのインストール中は、電源をOFFにしないでください。
- 車種専用チューニングデータをインストールすると、インストール前の設定値を全て削除し上書きされますのでご注意ください。
- 後で にタッチするとダウンロード状況画面に 一括インストール スイッチが表示されます。タッチするとインストールを開始できます。 破棄 にタッチすると、ダウンロードしたデータを破棄します。
- ダウンロードしたデータを個別にインストールすることはできません。

6 すべてのインストールが終わると、本機が自動で再起動し、通常画面に戻ります

- 「本機プログラム」、「地図データ」更新の場合は、再起動後に続けてプログラムのアップデートが行われます。電源をOFFにしないでください。

データ更新について(メディア)(1/2)

各種メディア(CD/DVDディスク・SDカード・USBメモリー)を使用して本機のデータ更新を行うことができます。次のデータを一度に、または個別に更新することができます。

地図データ	• 全国地図データ年度更新(※) • 高速道配信
本機プログラムデータ	本機のアップデートプログラムデータ
車種専用チューニングデータ	車種専用のオープニング画像、チューニングデータ
Gracenoteデータベース	SDカードに音楽を録音したときにアルバム名やアーティスト名などを表示するGracenoteデータベース

※ Wi-Fi通信による更新か、地図更新データディスク(DVD-ROM)での更新となります。

■ データをダウンロードするために必要なこと

データをダウンロードするためには「E-Mail」と「パスワード」が必要です。あらかじめ、アルパインホームページで「お客様登録」を行ってください。

アルパインホームページアドレス　https://www.alpine.co.jp

• スマートフォン・携帯電話を使用して「認証情報設定」(149ページ)のQRコードを読み取り、お客様登録することもできます。

アドバイス

• パソコンでデータをダウンロードする際に、個別にダウンロードすると上書きされるデータがあります。必要なデータはまとめてダウンロードしてください。
• Wi-Fi通信を使用してデータ更新を行うこともできます。詳しくは「データ更新について(Wi-Fi)」(144ページ)を参照してください。
• Wi-Fi通信と同時にデータ更新はできません。もし、Wi-Fi通信でダウンロードした更新データがインストールされずに残っている場合は、ダウンロードしたデータを破棄してから行ってください。

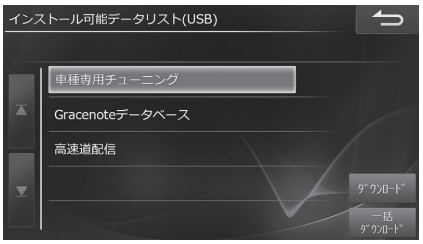
1 パソコンでアルパインホームページのユーザーズルームにログインし、お使いの機種の「製品サービス」を選ぶ

2 更新データを選択してダウンロードし、いずれかのメディアに保存する

• SDカードは、お客様ご自身で用意したものをご使用ください。製品に添付されているSDカードは、データ更新には使用しないでください。
• 古い更新データがメディアに保存されている場合は、古い更新データを全て削除してから新しい更新データを保存してください。
• メディアのルートフォルダに300以上ファイルが格納されていると、更新できない場合がありますので、不要なファイルは全て削除してからデータをダウンロードするようにしてください。

3 ディスクまたはSDカードを本機に挿入、またはUSBメモリーを接続する

• 確認メッセージが表示されたら はい にタッチしてください。インストール可能データリスト画面が表示されます。
• 複数のメディアに更新データがある場合、1つのメディアのデータだけ更新を行うことができます。USBメモリー→SDカード→ディスクの順に優先度が高くなります。
• メディア内のデータ確認メッセージが表示されている間は、メディアを取り外さないでください。
• メディアを接続または挿入しても更新データが自動的に表示されない場合には、**[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押し、情報/更新 → メディア更新 → Discで更新 (または SDで更新 USBで更新)の順にタッチしてください。



データ更新について(メディア)(2/2)

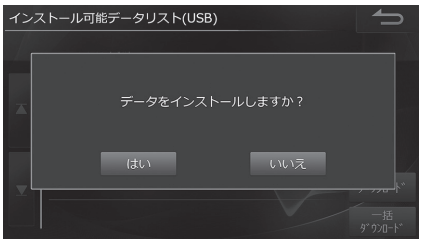
4 **<一部の更新データだけをインストールする場合>**

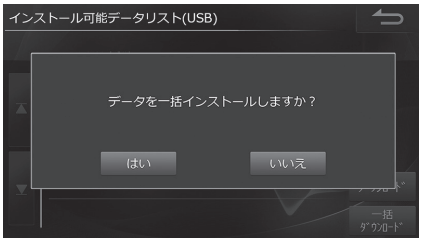
インストールしたい更新データを選択して **インストール** をタッチし、表示されたメッセージを確認して **はい** にタッチする

<すべての更新データをインストールする場合>

一括インストール をタッチし、表示されたメッセージを確認して **はい** にタッチする

- **いいえ** にタッチすると、インストール可能データリスト画面に戻ります。
- データのインストール中は、メディアの取り外しや電源をOFFにしないでください。





5 すべてのインストールが終わると、本機が自動で再起動し、通常画面に戻ります

- 再起動後、「本機プログラム」、「地図データ」更新の場合は、続けて本機のアップデートを行います。メディアの取り外しや電源をOFFにしないでください。
- 電源OFFなどでインストールが中断した場合は、手順3からもう一度作業を行ってください。

地図更新について

地図更新には、全国地図データ年度更新と、最新の高速道データだけを更新する高速道配信があります。年度更新と年度更新の間の期間中は、複数回の高速道配信が行われます。

全国の地図データ年度更新サービスは、2019年度版/2020年度版/2021年度の3回の更新を無償で行うことができます。2022年度以降の地図データ更新は有償の「地図更新データ」が必要になります。

■地図更新するために必要なこと

地図更新するためには「E-Mail」と「パスワード」が必要です。あらかじめ、アルパインホームページで「お客様登録」を行ってください。

アルパインホームページアドレス　https://www.alpine.co.jp

• スマートフォン・携帯電話を使用し「認証情報設定」(149ページ)のQRコードを読み取り、お客様登録することもできます。

• 地図更新の方法について
  - Wi-Fi通信によるデータ更新は、1年分の年度更新データと高速道配信データを更新することができます。「データ更新について(Wi-Fi)」(144ページ)を参照してください。
  - SDカード、USBメモリーによるデータ更新は高速道配信データを更新することができます。「データ更新について(メディア)」(146ページ)を参照してください。
  - 地図更新用データディスク(DVD-ROM)によるデータ更新は、Wi-Fi通信環境が使用できないお客様や一度に2年分以上まとめてデータ更新をする場合など、お客様に地図更新用データディスク(DVD-ROM)を送付し年度更新を行う方法です。更新方法については地図更新用データディスクに添付されている取扱説明書をご覧ください。
• 地図更新や高速道配信スケジュールは変更する場合があります。詳しくは、アルパインホームページをご覧ください。

Wi-Fi更新 画面について

Wi-Fi更新画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 情報/更新 → Wi-Fi 更新 タブの順にタッチすると表示されます。



	登録済みのWi-Fi通信機器を通じてデータを更新することができます。詳しくは「データ更新について(Wi-Fi)」(144ページ)を参照してください。	• Wi-Fi通信機器と接続する必要があります。詳しくは「Wi-Fi通信機器を接続する」(72ページ)を参照してください。 • Wi-Fi通信機器をBLUETOOTH接続している状態でデータ更新を行うと、通信が中断する場合があります。データ更新を行う際は、BLUETOOTH接続を切断してください。
	Wi-Fiデータ更新での履歴が表示されます。データ更新中の場合、進捗状況を確認することができます。	• 更新履歴は最大10件記憶されています。10件を超えると古い履歴から削除されます。
	データ更新に必要な認証情報の設定・変更をします。認証情報を設定するには、アルパインホームページで「お客様登録」を行い、お客様のメールアドレスとパスワードを登録する必要があります。必ず登録を行ってください。認証情報の設定・変更をする際は、あらかじめWi-Fi通信機器を本機にWi-Fi接続してください(72ページ)。	1. 認証情報入力画面で E-Mail と パスワード にタッチして、メールアドレスとパスワードをそれぞれ入力する • E-Mailは「お客様登録したメールアドレス」、パスワードは「その際にお客様が設定したパスワード」になります。 • 認証情報入力画面にアルパインホームページアドレスとQRコードが表示されます。QRコードではスマートフォンからアルパインホームページへアクセスすることができます。お客様登録がお済みでない場合には、ここから登録することが可能です。 2. 完了 にタッチする データのダウンロードが可能となります。 • GPS時刻情報が必要なため、GPSを受信していない場合は本設定を行うことはできません。

メディア更新 画面について

メディア更新画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 情報/更新 → メディア 更新 タブの順にタッチすると表示されます。



	最新の更新データを格納したディスク(CD/DVD)を使用して更新を行います。	
	最新の更新データを格納したSDカードを使用して更新を行います。	• 全国地図データ年度更新はできません。
	最新の更新データを格納したUSBメモリーを使用して更新を行います。	• 全国地図データ年度更新はできません。

VICS情報画面について(1/2)

VICS情報画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 情報/更新 → VICS情報 タブの順にタッチすると表示されます。



	大雨・大雪・津波など異常気象や災害に関する情報のリストを表示します。	• 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。 • 気象警報・災害エリアリストは、特別警報アイコンが表示されたVICSタイムスタンプにタッチしても表示されます(5ページ)。 • リスト表示画面で 特別警報 全情報 にタッチすると、特別警報リストと全情報リストを切りかえることができます。 • リストを選択して 情報 にタッチすると詳細情報を見ることができます。 • リストを選択して 完了 または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」64ページ)。 • リストには警報や注意報の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS道路交通情報マーク一覧」(55ページ)を参照してください。
	規制・事故・災害・異常気象などが発生しているエリアのリストを表示します。	• 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。 • リストを選択して 情報 にタッチすると詳細情報を見ることができます。 • リストを選択して 完了 または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」64ページ)。 • リストには規制の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS道路交通情報マーク一覧」(55ページ)を参照してください。
	別売のETC2.0車載器で、割り込みされたVICS割り込み情報を呼び出して見ることができます。	• 別売のETC2.0車載器が接続されていれば、自動で割り込まれるように初期設定されています(「情報割込み」122ページ)。自動割り込みを解除することもできます。
	道路状況を文字または簡易図形として表示します。	• 番号にタッチすると情報を確認することができます。 • 文字 図形 にタッチすると文字情報・図形情報を切りかえることができます。

VICS情報画面について(2/2)



VICSと提携している駐車場(一般駐車場/臨時駐車場)リストを、高速道路ではサービスエリア(SA)//パーキングエリア(PA)のリストを表示します。

- 走行中は安全のため駐車場リストは2行のみ表示されます。
- リスト表示画面で 一般/臨時 SA・PA にタッチすると、駐車場リストとSA/PAリストを切りかえることができます。
- リストを選択して 情報 にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- 地図上の駐車場マークをタッチしても情報を表示することができます。 情報 にタッチすると詳細情報を表示します。 次へ にタッチすると近くの駐車場を選択できます(63ページ)。
- リストには利用状況に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」(62ページ)および「VICS道路交通情報マーク一覧」(55ページ)を参照してください。



電気自動車用の充電施設のリストを表示します。

- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- リストを選択して 情報 にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- 地図上の充電施設マークをタッチしても情報を表示することができます。 情報 にタッチすると詳細情報を表示します。 次へ にタッチすると近くの充電施設を選択できます(63ページ)。
- リストには充電施設の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」(62ページ)および「VICS道路交通情報マーク一覧」(55ページ)を参照してください。



規制やイベントなどが予定されているエリアのリストを表示します。

- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- リストを選択して 情報 にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- リストを選択して 完了 または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」64ページ)。
- リストには規制の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」および「VICS道路交通情報マーク一覧」(55ページ)を参照してください。



VICS情報を受信するための放送局を設定します。受信する地域は自動選択で設定されますが、特定の地域を選択することもできます。

初期設定値：自動選択

- 特定の地域を指定する場合は エリア選択 にタッチし、都道府県を指定してください。
- 放送局の周波数を指定する場合は 周波数選択 にタッチし ▼ または ▲ で周波数を指定してください。

車両情報について

車両情報の確認画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 情報/更新 → 車両情報 タブの順にタッチすると表示されます。



	衛星情報画面が表示されます。	• 衛星(GPS・みちびき等)の受信情報を表示します。
	GPSアンテナや周辺機器の接続状況、車速パルスなどの信号のON/OFF、距離補正学習やヨーレート学習の学習結果を表示することができます。	• リアカメラは、HCE-C2000RDシリーズを接続したときは 接続 と表示されます。 • フロントカメラは、HCE-C2500FDシリーズを接続したときは 接続 と表示されます。 • システム保存 をタッチするとシステム設定を保存します。電源OFF時に保存される情報ですので、通常はこの機能を使用する必要はありません。 はい をタッチすると再起動します。
	車速・GPSアンテナからの情報をもとに、エンジンオイル・タイヤなど車両に関する各種交換・点検時期を画面表示することができます。お知らせするメンテナンス時期は、事前に年月日または走行距離をもとに設定した項目をお知らせするものです。	• お知らせ設定 : する に設定するとお知らせ表示します(初期設定値:しない)。 • お知らせ日 : 各種交換・点検日をお知らせする日付を設定します。 • お知らせ開始日 : 「お知らせ日」で設定した日付の何日前からお知らせメッセージを表示するのかを設定します。 当日 3日前 7日前 から選んでください(初期設定値:7日前)。 • お知らせ開始距離 : 何キロ走行するとお知らせするかを設定します。 + − をタッチするたびに500km単位で入力できます。 • 日付リセット をタッチすると、お知らせ日をリセットします。 • 走行距離リセット をタッチすると、走行した距離(お知らせまでの残距離)がリセットされます。 お知らせ表示例(オイルフィルターの場合) - お知らせ開始3日前: "オイルフィルター交換日が近づきました" • メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じることがあります。

本機情報の確認

本機情報の確認画面は **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 情報/更新 → その他 タブの順にタッチすると表示されます。



	使用中のプログラムのバージョンやデータベースの情報を見ることができます。	
	録音用SDカードの総曲数と空き容量およびタイトルデータ(Gracenoteデータベース情報)を確認できます。	• 本機内のGracenoteデータベースはアルパインホームページからダウンロードして更新することができます。「データ更新について(Wi-Fi)」(144ページ)、「データ更新について(メディア)」(146ページ)を参照してください。
	最新のデータ更新の履歴が表示されます。データ更新中は進捗状況を確認することができます。	• 最後に更新した履歴が路線別更新の場合は 高速道更新情報 をタッチして高速道更新情報画面を表示することができます。高速道差分配信画面上で 情報 にタッチすれば詳細情報を確認することができます。 • 全国地図データ年度更新(148ページ)を行うと、高速道更新情報は消去されます。
	本機に関するお問い合わせ先を表示できます。携帯電話を接続している場合は、お問い合わせ先に電話をかけることができます。	• QRコードのリンク先アドレスは下記の通りです。 http://www.net-de-torisetsu.jp/18001/guide/main • 電話でお問い合わせの場合は、アルパイン インフォメーションセンターの電話受付時間にご注意ください。 • 電話番号、電話受付時間などは変更になる場合があります。

ETC・ETC2.0について

ETC・ETC2.0画面は別売のETC車載器(HCE-B053)またはETC2.0車載器(HCE-B110V/HCE-B110)を接続し、**[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 情報/更新 → ETC タブ(ETC2.0車載器接続時は ETC2.0 タブ)の順にタッチすると表示されます。

アドバイス

- ETC2.0車載器とETC車載器は同時に接続することはできません。

＜ETC車載器接続の場合＞



＜ETC2.0車載器接続の場合＞



	ETCを利用した日時や料金をリスト表示したり、利用したインターチェンジ(IC)名などの詳細情報を確認することができます。 i : 料金の詳細情報が表示されます。	• ETCカードを挿入していないときは利用できません。 • 取得できるETCカードの料金履歴は最大で100件です。100件を超えると古い順に消去されます。 • 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。
	ETC車載器またはETC2.0車載器に登録されているユーザー情報を確認します。車載器管理番号などのユーザー登録情報が表示されます。	

ETCについて

ETC(Electronic Toll Collection System: 有料道路自動料金収受システム) とは、自動車に装備した車載器と料金所に設置したアンテナとの間で無線通信により料金支払いに必要な情報がやりとりされ、ノンストップで自動的に通行料金をお支払いいただけるシステムです。

本機では別売のETC 車載器またはETC2.0車載器を接続してETCカードを挿入することにより、料金所の手前でETC 専用レーンの案内を表示するなど、ナビゲーション機能に連動してETC 情報を提供します(52ページ)。

- ETC車載器またはETC2.0車載器の取扱説明書も参照してください。

ETC2.0について

ETC2.0とは、高度道路交通システム(ITS)で採用されている双方向無線通信技術のひとつDSRC(Dedicated Short Range Communication)を使用したシステムです。5.8GHz帯を使用し、数十mでの狭い範囲で双方向通信を行い、通信範囲内では最大4Mbpsの通信が可能となっています。すでにETCでも利用されており、さまざまなETC2.0サービス(旧 ITSスポットサービス)を提供することができます。

本機では別売のETC2.0車載器を接続することにより、ITSスポット(ETC2.0の路側アンテナ)で、ナビゲーション機能と連動し道路交通情報(VICS情報)などを提供します。

- VICSについては「VICSについて」(60ページ)を参照してください。
- ETC2.0車載器の取扱説明書も参照してください。
- ETC2.0サービスで提供される情報によっては対応できない場合があります。
- ETC2.0サービスについては、国土交通省のホームページをご覧ください。
  http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/etc2/index.html

ETC2.0について(1/2)

別売のETC2.0車載器(HCE-B110V/HCE-B110)を本機に接続することにより、道路交通情報や安全運転支援情報を音声や画像で案内したり、渋滞・規制情報を考慮したルート探索(「VICSについて」60 ～ 64ページ)ができます。

さらに、ETC機能と連動して、本機から料金案内や料金履歴表示することもできます。

ETC2.0画面は別売のETC2.0車載器を接続し、**[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して 情報/更新 → ETC2.0 タブの順にタッチすると表示されます。



ETC2.0車載器を本機に接続してできること

ETCゲート通過案内	ETCゲートを通過する際に利用料金の表示・音声案内を行います(52ページ)。
安全運転支援 <交通状況(渋滞)の表示例>  	落下物や渋滞末尾情報などの注意喚起 走行ルート上に渋滞や落下物などがある場合、簡易図形と音声で注意喚起を行います。
道路交通情報提供	広範囲の道路の渋滞情報や、簡易図形と音声での道路交通状況の提供を行います(60ページ)。
その他の情報提供	ITSスポットで、道の駅・有料道路のサービスエリア・パーキングエリアなどのホームページを表示して地域観光情報や施設情報にアクセスすることができます。 詳しくは「ETC2.0のブラウザ機能を使う」(157ページ)を参照してください。

ETC2.0について(2/2)

ETC2.0のブラウザ機能を使う

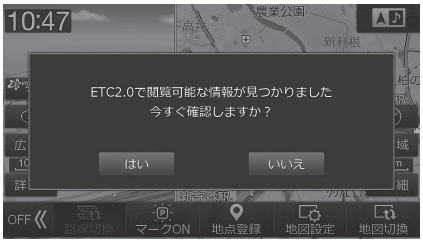
道の駅や有料道路のサービスエリア・パーキングエリアなどに設置されているITSスポットで周辺地域の観光情報や施設情報を閲覧することができます。ETC2.0のブラウザ機能が利用できるITSスポットでは、エリア内に入ると案内メッセージが表示されます。

アドバイス

- 走行中は安全のため「ブラウザ機能」はタッチできません。ITSスポットに完全に停車してから操作してください。
- カーナビゲーション以外の機器による閲覧を前提としたページは正しく表示できない場合があります。
- 電波状況によっては、ITSスポットからの電波を受信できない場合や、情報が表示されない場合があります。また、ブラウザ機能(インターネット接続)の通信速度が低下する場合があります。
- Wi-Fi接続中/接続試行中は操作できません。接続中のWi-Fi通信機器を切断(142ページ)または、接続試行が終了するまでお待ちください。

1 **地図画面上に、ETC2.0での情報閲覧を確認するメッセージが表示されたら、[はい] をタッチする。または [MENU] / [▲ NAVI] スイッチを押し、[情報/更新] → [ETC2.0] → [ブラウザ] の順にタッチする**

- ITSスポットから離れると、接続は自動的に切断されます。





情報画面
画面内のボタンやリンクをドラッグ(なぞり)・タッチすることで、様々な情報を閲覧することができます。

◀ 前へ	前のページに戻ります。
次へ ▶	次のページに進みます。
✕ 中止	通信・画像の表示を中止します。ブラウザでの音声読み上げ中にタッチすると音声読み上げを停止します。
再表示	現在開いているページを再表示します。
Home	HOME画面に戻ります。
タイトル表示 / 全画面	画面表示方法を切りかえます。 [全画面] にタッチすると全画面表示を行い、[タイトル表示] にタッチするとページタイトルを表示します。

カメラについて(1/8)

本機は別売のフロントカメラ、リアカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラまたはルームカメラを接続できます。別売のインターフェースボックス(IFB-N100)を接続した場合は、サイドカメラ、コーナーカメラ、ルームカメラを最大3台接続することができます。

フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラを装着した場合、本機のオプションキー、ボイスタッチ(36ページ)または別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)で簡単にカメラ映像に切りかえられます。
ルームカメラを装着した場合、本機のオプションキーでルームカメラ映像に切りかえることができます。

• ステアリングリモコンにカメラ映像呼び出し機能を割り当てることができます(38ページ)。

<リアカメラ>

バックギアにシフトすると本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド(車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク)を映すことができます。

<フロントカメラ>

見通しの悪い道路などで車両前方の状況を確認することができます。

<サイドカメラ>

車のミラーなどに装着したサイドカメラの映像を、本機に表示することができます。

<コーナーカメラ>

右ハンドル車の場合は車両の左前方に装着し、特に狭い道路で、右左折時に死角となる車両前方の状況を確認することができます。

<ルームカメラ>

車室内にルームカメラを装着すると、後部座席の様子を運転席から確認することができます。ダブルゾーンコミュニケーションでは、後部座席の映像を見ながら会話できます(170ページ)。

カメラ接続時の注意

⚠警告

● 警告
- 運転者は走行中に本機のカメラ映像を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。
- リアカメラ・フロントカメラ・サイドカメラ・コーナーカメラをご使用の際は、事故防止のため、カメラ画像だけでなく、必ず目視やルームミラー / ドアミラーにより、周囲の安全を直接確認をしながら運転してください。
- リアカメラ・フロントカメラ・サイドカメラ・コーナーカメラはドライバーの視界を補助するためのものであり、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。

● 注意
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため、注意が必要です。
- 乗車人数や積載量により車両が傾き、画面のリアカメラガイドの示す位置と実際の路面上の距離や障害物との距離が変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

• タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。
• 本機起動直後は下記の表示・操作を行うことができません。
  - シフトレバーをバックギア(R)に入れたときのリアカメラガイド表示
  - シフトレバーをバックギア(R)に入れたときのリアカメラ映像パターン切りかえ
  - フロントカメラの速度連動表示
  - フロントカメラ/サイドカメラの地点連動表示
  - コーナーカメラのソナー連動表示
• 接続しているカメラ側の取扱説明書も合わせてご覧ください。
• 以下のような状況では使用しないでください。
  - 凍結したりすべりやすい路面または雪道。
  - ドアが完全に閉まっていないとき。
  - タイヤチェーンや応急タイヤを使用しているとき。
  - 坂道など平坦でない道。

カメラについて(2/8)

リアカメラの映像

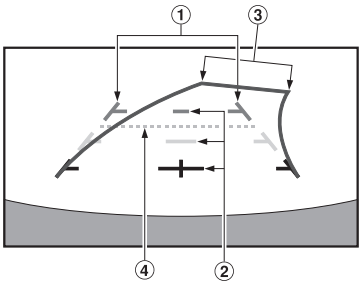
本機にリアカメラを接続した場合は「リアカメラ接続」を あり に設定してください(124ページ)。また、RCAケーブル(PIN接続コード)で接続を行う場合は「汎用カメラ接続」を リアカメラ に設定してください(125ページ)。

後方の映像はシフトレバーをバックギア(R)に入れると自動的に映し出されます。解除するにはシフトレバーをバックギア(R)以外に入れる、または ⮌ にタッチするか、**[開/閉] [⏏] [+] [−] [I◀◀] [▶▶I]** 以外の本体スイッチを押してください。シフトレバーがバックギア(R)の状態であれば本機画面に表示される リアカメラ にタッチすると、再度リアカメラ映像が表示されます。

- HCE-C2000RDシリーズ接続時には自動的に「リアカメラ接続」が あり に設定されます。
- 「汎用カメラ接続」を リアカメラ に設定するとサイドカメラ、コーナーカメラ、ルームカメラは使用できません。

リアカメラのガイド線について

<ガイド線の見かた>



■ 固定ガイド線

① 車幅延長マーク(手前より赤色、黄色、緑色のライン)

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたいときの進路の目安を示します。

② 距離目安マーク

クルマの後方(バンパー後端から)の距離を示します。

- それぞれの中心位置で、約0.5m先(赤色)・約1m先(黄色)・約2m先(緑色)を示します。

■ ステアリング連動ガイド線

③ 予測進路ガイド線(青色のライン)

車両のステアリング操作に連動し、車両の予想進路を表示します。

- ステアリング連動ガイドはステアリング連動対応車種とのCAN接続が必要です。また「車種専用チューニング」(134、206ページ)で対象車種および対象リアカメラを選択した場合のみ表示されます。

■ バックドア開閉ガイド線

④ バックドアガイド線(水色のライン)

バックドア(トランク)の開け閉めスペースを考慮したガイド線を表示します。

- 車種専用チューニング(134、206ページ)で対象車種を選択した場合のみ表示されます。

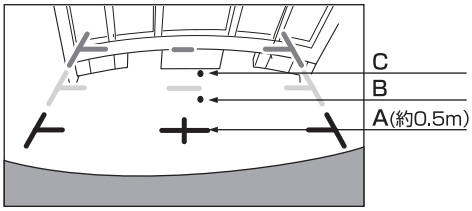
- ナビゲーション起動時は、ガイド線が表示されるまでに時間がかかります。
- 車や路面の状況により映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

カメラについて(3/8)

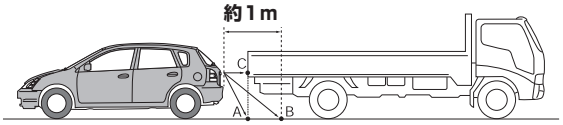
<距離目安マーク>

距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

<画面>



<A,B,Cの位置>

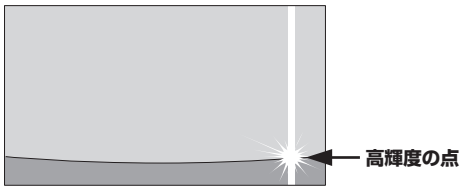


画面では距離目安マークにより約1m先(Bの位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退するとぶつかります。画面ではA・B・Cの順に近く見えますが実際の距離はAとCは同じ距離で、B はAやCより遠い距離にあります。

- 車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。
- 次のようなときは画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ(夜間など)。
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや湿度が高いとき(雨天時など)。
  - カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
  - CCDカメラ接続時は高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映るとCCDカメラ特有のスミヤ現象※が発生することがあります。

※ スミヤ現象とは高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映ると右図のようにその点の上下(縦方向)に尾を引く現象です。

<画面の状況>

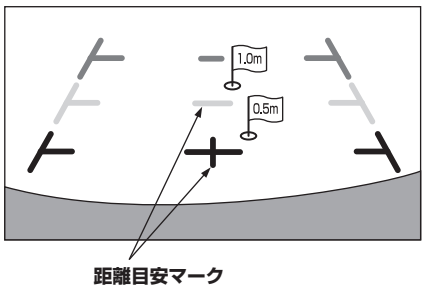


画面と実際の路面との誤差

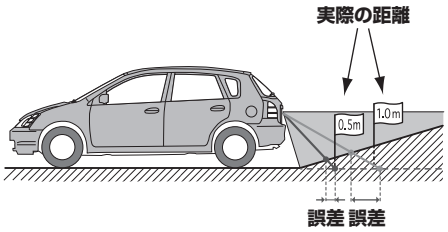
以下の状態のときは画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)。

<急な上り坂が後方にあるとき(例)>

<画面>



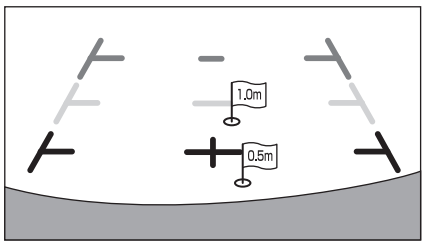
<車の状況>



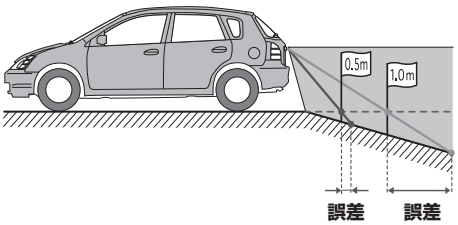
距離目安マークは平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため上り坂が後方にあるときには、**実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。**例えば上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。
同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

<急な下り坂が後方にあるとき(例)>

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、**実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。**
そのため下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。
同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

カメラについて(4/8)

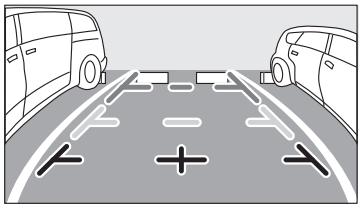
HCE-C2000RDシリーズの映像パターンを切りかえる

マルチビューリアカメラ(HCE-C2000RD)接続時は、本機から映像パターンの切りかえ操作を行うことができます。

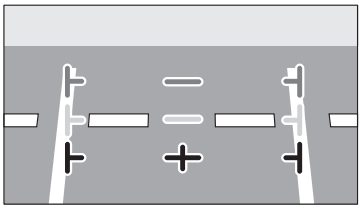
カメラ映像表示中に パノラマビュー コーナービュー トップビュー バックビュー のいずれかをタッチすると映像パターンが切りかわります。

- 映像パターン切りかえのスイッチは約4秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。映像パターン切りかえ後もスイッチ表示が消えます。
- マルチビューリアカメラ接続時は、映像パターンによってガイド線の表示のしかたが異なります。

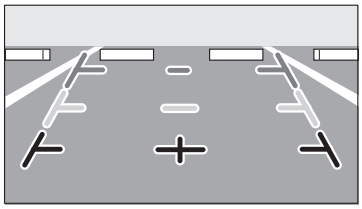
<パノラマビュー表示例>



<トップビュー表示例>



<バックビュー表示例>



- 映像パターンが「コーナー」に設定されている場合は、ガイド線は表示されません。
- ステアリング連動ガイド線はバックビューのみ表示されます。
- ガイド線の調整は「リアカメラガイド調整」(125ページ)を参照してください。
- 「車種専用チューニング」(134、206ページ)を設定した後は、「リアカメラガイド調整」は行わないでください。お車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合は調整を行ってください。
- 映像パターンについて詳しくは、HCE-C2000RDシリーズの取扱説明書を参照してください。

フロントカメラの映像

フロントカメラの映像は、[＊](オプションキー)、別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)またはボイスタッチ(36ページ)を操作して表示します。また、速度や指定した地点に連動して表示ができます。

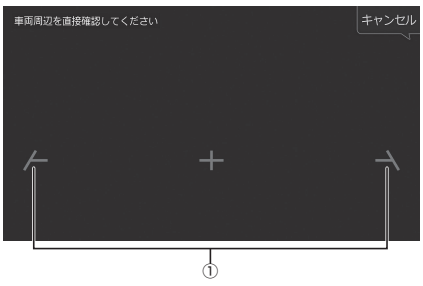
フロントカメラを接続した場合は「フロントカメラ接続」(124ページ)を あり に設定してください。

- [＊](オプションキー)を使用する場合は、オプションキーにフロントカメラを登録してください(35ページ)。
- フロントカメラとリアカメラを接続した場合は、シフトレバーをバックギア(R)に入れるとフロントカメラの [＊](オプションキー)操作/ボイスタッチ操作は無効となります。
- ⮌ をタッチすると元の画面に戻ります。または [開/閉] [⏏] [＋] [－] [⏮] [⏭] 以外の本体スイッチを押すとフロントカメラ画像が解除されます。
- HCE-C2500FDシリーズ接続時には自動的に「フロントカメラ接続」が あり に設定されます。

フロントカメラのガイド線について

フロントカメラガイド線の表示は、初期設定ではOFFに設定されています。

<ガイド線の見かた>



① **車幅マーク**

車幅の目安を示します。

- 中心位置で約0.5m先を示します。

- 車や路面の状況で写る範囲が異なることがあります。
- カメラに写る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは写りません。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

<車の速度と連動して表示する>

車が減速し停止前(8km/hくらい)になると、自動的にフロントカメラの映像が本機に表示されます(「フロントカメラ速度連動表示」(124ページ)が する に設定されている場合)。

<地点を登録してカメラ映像を表示する>

あらかじめフロントカメラの映像を表示したい地点を登録しておくと、その地点では自動的にフロントカメラの映像が本機に表示されます(「フロントカメラ地点連動表示」(124ページ)が する に設定されている場合)。

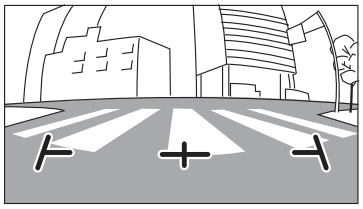
HCE-C2500FDシリーズの映像パターンを切りかえる

マルチビューフロントカメラ(HCE-C2500FD)接続時は、本機から映像パターンの切りかえ操作を行うことができます。

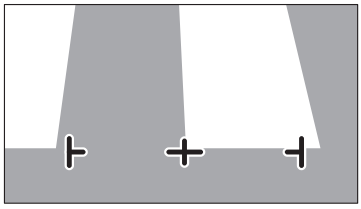
カメラ映像表示中に パノラマビュー コーナービュー トップビュー のいずれかをタッチすると映像パターンが切りかわります。

- 映像パターン切りかえのスイッチは約4秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。映像パターン切りかえ後もスイッチ表示が消えます。
- マルチビューフロント接続時は、映像パターンによってガイド線の表示のしかたが異なります。

<パノラマビュー表示例>



<トップビュー表示例>



- 映像パターンが「コーナー」に設定されている場合はガイド線は表示されません。
- ガイド線の調整は「フロントカメラガイド調整」(124ページ)を参照してください。
- 映像パターンについて詳しくはHCE-C2500FDシリーズの取扱説明書を参照してください。

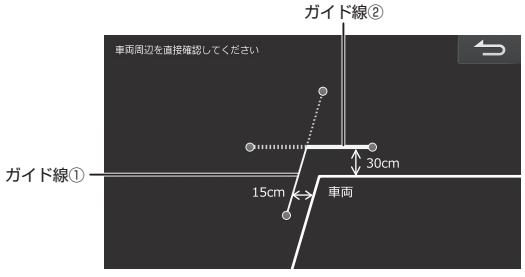
サイドカメラの映像

サイドカメラの映像は、[＊](オプションキー)、別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)を操作、またはボイスタッチを使用して表示します。また、指定した地点に連動して表示ができます。

- [＊](オプションキー)を使用する場合は、オプションキーにサイドカメラを登録してください(35ページ)。
- 別売のインターフェースボックス(IFB-N100)にサイドカメラを接続できます。「サイドカメラ接続」(124ページ)を あり に設定してください。
- 別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)を接続した場合は、ダイレクトキーを操作してサイドカメラの映像を表示します。「カメラダイレクトキー設定」(124ページ)を あり に設定してください。
  - 「カメラダイレクトキー設定」を あり に設定した場合は、[＊](オプションキー)にサイドカメラを登録できません。
  - 別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- ⮌ をタッチすると元の画面に戻ります。または **[開/閉]** **[⏏]** **[+]** **[−]** **[|◀◀]** **[▶▶|]** 以外の本体スイッチを押すとサイドカメラ画像は解除されます。

サイドカメラガイド線について

<ガイド線の見かた>



ガイド線①:車両側方から約15cmの距離を示します。

ガイド線②:車両前方から約30cmの距離を示します。

- 車や路面の状況で写る範囲が異なることがあります。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。

- ガイド線の調整は「サイドカメラガイド調整」(126ページ)を参照してください。
- 「車種専用チューニング」(134、206ページ)を設定した後はサイドカメラガイド調整を行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。

<地点を登録してカメラ映像を表示する>

あらかじめサイドカメラの映像を表示したい地点を登録しておくと、その地点では自動的にサイドカメラの映像が本機に表示されます(「サイドカメラ地点連動表示」(126ページ)が する に設定されている場合)。

カメラについて(6/8)

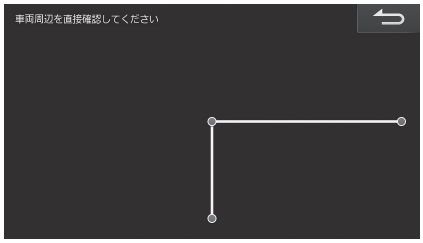
コーナーカメラの映像

コーナーカメラの映像は、**[＊]**(オプションキー)、別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)を操作、またはボイスタッチを使用して表示します。また、一部車種ではクリアランスソナーの警告に連動して表示ができます。

- **[＊]**(オプションキー)を使用する場合は、オプションキーにコーナーカメラを登録してください(35ページ)。
- 別売のインターフェースボックス(IFB-N100)にコーナーカメラを接続できます。「コーナーカメラ接続」(125ページ)を あり に設定してください。
- 別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)を接続した場合は、ダイレクトキーを操作してコーナーカメラの映像を表示します。「カメラダイレクトキー設定」(124ページ)を あり に設定してください。
  - 「カメラダイレクトキー設定」を あり に設定した場合は、**[＊]**(オプションキー)にコーナーカメラを登録できません。
  - 別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- ⮌ をタッチすると元の画面に戻ります。または **[開/閉]** **[⏏]** **[+]** **[−]** **[|◀◀]** **[▶▶|]** 以外の本体スイッチを押すとコーナーカメラ画像は解除されます。

コーナーカメラガイド線について

<ガイド線表示例>



- 車両とガイド線の距離はコーナーカメラの取扱説明書を参照してください。
- 車や路面の状況で写る範囲が異なることがあります。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。

- ガイド線の調整は「コーナーカメラガイド調整」(125ページ)を参照してください。
- 「車種専用チューニング」(134、206ページ)を設定した後はコーナーカメラガイド調整を行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。

<クリアランスソナーの反応に連動してカメラ映像を表示する>

一部車種では左前方のクリアランスソナーが反応したとき、自動でコーナーカメラ映像を表示することができます。(「コーナーカメラソナー連動設定」(125ページ)のレベルがOFF以外に設定されている場合)。

- クリアランスソナー対応車種とのCAN接続が必要です。また、「車種専用チューニング」(134、206ページ)で対応車種と対応コーナーカメラを選択した場合のみ使用することができます。
- コーナーカメラのソナー連動表示は、フロントカメラ/サイドカメラ地点連動表示、フロントカメラ速度連動表示より優先して表示されます。

カメラについて(7/8)

ルームカメラの映像

ルームカメラの映像は、[＊](オプションキー)を使用して表示します。また、ダブルゾーンコミュニケーション中にルームカメラの映像を本機に写すことができます。

- ルームカメラ接続時は「汎用カメラ接続」(125ページ)を ルームカメラ に設定してください。
- 別売のインターフェースボックス(IFB-N100)にルームカメラを接続できます。「ルームカメラ接続」(125ページ)を あり に設定してください。
- [＊](オプションキー)にルームカメラを登録してください(35ページ)。
- ⮌ (戻る)をタッチすると元の画面に戻ります。

カメラ画像の調整

<カメラ画質を調整する>

カメラ映像表示中に画面をタッチし、画質調整 をタッチすると画質調整画面が表示されます。各項目の 設定 をタッチして調整します。

- 別売のインターフェースボックス(IFB-N100)にカメラを接続した場合は、カメラの画質調整はできません。

ライブコントラスト	映像の表示輝度をOFF・弱・強の中から選択します。周囲の明るさに応じて画像の明暗を自動的に調整します。 **初期設定値**：弱
明るさ	映像の明るさを－15(MIN)～＋15(MAX)の間で調整します。 **初期設定値**：0
色の濃さ	映像の色の濃さを－15(MIN)～＋15(MAX)の間で調整します。 **初期設定値**：0
コントラスト	映像コントラストを－15(LOW)～＋15(HIGH)の間で調整します。 **初期設定値**：0

<ガイド表示のON/OFF>

カメラ映像表示中に画面をタッチして 画質調整 にタッチすると、ガイド線のON/OFF設定を行うことができます。

固定ガイド線(リアカメラ・フロントカメラ・サイドカメラ・コーナーカメラ)

固定ガイドOFF にタッチすると全ての固定ガイドが消えます。再度表示させたい場合は、固定ガイドON にタッチします。

ステアリング連動ガイド線(リアカメラ)

ステアリングガイドOFF にタッチするとステアリング連動ガイドが消えます。再度表示させたい場合は、ステアリングガイドON にタッチします。

- ルームカメラではガイド表示ON ／ OFF設定はできません。

<コーション(画面に表示される注意文)表示位置の調整>

カメラ映像表示中に画面をタッチし、画質調整 をタッチすると画質調整画面が表示されます。 コーション↑ または コーション↓ をタッチすると表示位置が変わります。

カメラについて(8/8)

カメラダイレクトキーについて

フロントカメラ・サイドカメラ・コーナーカメラを本機に接続している場合、別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)を使用すると、本機から操作することなく、カメラダイレクトキーをワンタッチ操作するだけでカメラ画面を表示することができます。

- 操作方法についてはカメラダイレクトキーの取扱説明書を参照してください。
- リアカメラ映像は、シフトレバーがバックギア(R)の状態であればカメラダイレクトキーで表示/非表示を切りかえることができます。
- ルームカメラの操作はできません。
- カメラダイレクトキー接続時はカメラダイレクトキー設定を「あり」に設定してください。

アドバイス

- カメラダイレクトキー設定を「あり」にすると、オプションキー(35ページ)とステアリングリモコンキー(123ページ)への「フロントカメラ」「サイドカメラ」「コーナーカメラ」割り当ては無効となります。

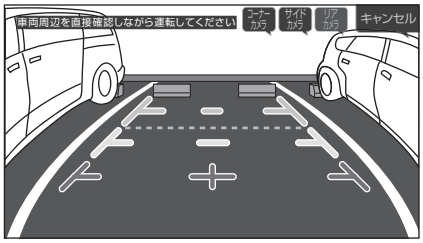
リアカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラの映像を切りかえる

リアカメラ映像表示中にサイドカメラ/コーナーカメラの映像に切りかえて周囲を確認できます。

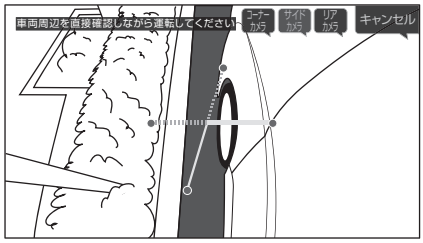
1 車をバックしているときに、リアカメラ サイドカメラ コーナーカメラ のいずれかにタッチする

- 選んだカメラの映像に切りかわります。

<リアカメラの映像表示例>



<サイドカメラの映像表示例>



フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラの映像を切りかえる

フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラのいずれかのカメラを複数接続している場合、カメラ間の映像を切りかえます。

- インターフェースボックス接続時には、フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラを3台まで接続することができます。

1 画面に表示されている フロントカメラ サイドカメラ コーナーカメラ のいずれかにタッチする

- 選んだカメラの映像に切りかわります。

リアビジョンについて(1/6)

リアビジョンを設定する

リアビジョン設定画面は **[MODE]** / **[♪ AUDIO]** スイッチ、または **[MENU]** / **[▲ NAVI]** スイッチを押して リアビジョン/アロマ をタッチすると表示されます。



① アロマ設定	カーアロマの噴出量設定を強/中/弱/OFFから選ぶことができます。	• カーアロマ接続時のみ設定することができます。 • カーアロマとリアビジョンを接続する場合は、カーアロマに対応したリアビジョンが必要です。 • 開閉カバー付きカーアロマを接続している場合、カバーが閉じていると操作できません。
プラズマクラスター 強	リアビジョンのプラズマクラスター機能を操作できます。タッチするたびに「弱」→「強」→「ターボ(※)」→「切」に風量設定が切りかわります。 ※ ターボ付きリアビジョンのみ	• 「リアビジョン　プラズマクラスター設定」(123ページ)を「あり」に設定してください。 • 設定した風量はインジケーターに表示されます。 • リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。
イルミネーション	イルミネーション切りかえ機能付きリアビジョンのイルミネーション色を、ホワイト・ブルー・グリーン・アンバー・レッド・パープル・スカイブルーから選ぶことができます。 OFFにすることもできます。	• 「リアビジョン　イルミネーション設定」(123ページ)を「あり」に設定してください。 • 「リアビジョン　イルミネーション色」(123ページ)でも設定ができます。 • リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。
サウンド スピーカー設定 前席のみ 前後座席 後席のみ	出力するスピーカーを選ぶことができます。 前席のみ: フロントスピーカーのみ音声を出力します。後席でお子さんが寝ているとき等に使用してください。 後席のみ: リアスピーカー /サブウーファーのみ音声を出力します。後席モニターで視聴中のソースを前席では聞かないときに使用してください。 前後座席: 設定されているすべてのスピーカーから出力されます。	• 前席のみ または 後席のみ を選択中は、下記の音質調整操作を行うことはできません。 - 車種専用サウンド - T.CORR - X-OVER - サブウーファー設定 - FAD./BAL. また、設定した音質調整は無効になります。 • 後席のみ に設定した場合でも、ナビ音声案内・電話・操作音は前席スピーカーから出力されます。
前席優先 後席優先	T.CORR(タイムコレクション)(133ページ)のリスニングポジションを切りかえることができます。 前席優先: 運転席に最適な数値に設定されます。 後席優先: 後席に最適な数値に設定されます。	• 「車種専用チューニング」(134、206ページ)で、車種を設定していない場合は設定ができません。また、選択した車種に、T.CORR(タイムコレクション)データがない場合も設定ができません。 • 「スピーカー設定」を 前後座席 に設定している場合にだけ、本設定を行うことができます。

リアビジョンについて(2/6)

ダブルゾーンを設定する

ダブルゾーン設定画面は **[MODE]** / **[♪ AUDIO]** スイッチを押して ダブルゾーン をタッチすると表示されます。

後席(リアビジョン)に出力するAVソースの切りかえ、ナビルート案内時のリアビジョン画面への行程情報表示設定、後席スピーカー音量の設定ができます。



- 著作権保護(コピーガード)の信号が記録されている映像はリアビジョンに表示できません。
- 別売のカメラおよびインターフェースボックス(IFB-N100)の映像は、リアビジョンには表示できません。

① AVソース切りかえ T V DVD HDMI 前と同じ表示 AVソースのみ	後席(リアビジョン)に表示する映像を設定できます。 「後席個別」 TV DVD HDMI : 前席(本機)のAVソースに関わらず、後席(リアビジョン)にTV、DVD、HDMI映像が表示されます。音声は後席スピーカーから出力されます。 「後席表示設定」 前と同じ表示 : 前席(本機)と同じ映像が後席(リアビジョン)に表示されます。 「後席表示設定」 AVソースのみ : 前席(本機)と同じAVソース画面がリアビジョンでのリモコン操作向けに簡易表示されます。	• 「後席個別」モード時は、サブウーファーから音声は出力されません。 • 「後席個別」モードに切りかえたとき、「後席スピーカー音量」が21以上に設定されている場合は、20に変更されます。 • AVソース画面は、リアビジョン専用に調整されて表示されます。
行程情報表示	ルート案内時、後席(リアビジョン)に到着予想時間・現在地名称を簡易表示できます。 初期設定値:する	
後席スピーカー音量	後席スピーカーの音量レベルを調整できます。 **設定値** :0～35(初期設定値は10)	• 「①AVソース切りかえ」で 前と同じ表示 AVソースのみ を選んだときは、後席スピーカー音量は調整できません。 • ナビの案内音声・通話音は後席スピーカーからは出力されません。 • 後席スピーカーから出力されるオーディオ音声にはMedia Xpander・Parametric EQの効果は反映されません。

リアビジョンについて(3/6)

リアビジョンから本機を操作する

別売リモコン(RUE-RST01)の[リア専用メニュー]スイッチを押すと、リアビジョンにダブルゾーンメニュー画面が表示されます。

リモコンでダブルゾーンメニュー画面を操作すると、後席(リアビジョン)から本機の操作ができます。リモコン操作については「リモコン(RUE-RST01)の使い方」(173ページ)および、リアビジョンの取扱説明書を参照してください。



	ナビメニュー画面が表示されます。
	後席個別TVモードになり、後席側でTV放送(79ページ)を見ることができます。
	後席個別DVDモードになり、後席側でDVDの映像(88ページ)やCDの音楽(95ページ)を再生することができます。
	後席個別HDMIモードになり、後席側でHDMIの映像(105ページ)を見ることができます。
	後席表示設定を「AVソースのみ」に設定します。
	ルート案内時、到着予想時刻・現在地名称が表示されます。
	現在地の地図画面が表示されます(5ページ)。

リアビジョンからAVソースを選ぶ

後席(リアビジョン)から別売のリモコンを使ってAVソースを選ぶことができます。リモコンの操作方法については「リモコン(RUE-RST01)の使い方」(173ページ)を参照してください。

1 リモコンの ≪♪AUDIO≫ を押す

2 ジョイスティックを上下に押して項目を選択し、≪決定≫ を押す

- 後席個別モード時にAVソースを変えると、後席個別モードは解除されます。
- 後席専用画面が表示されます。

<リアビジョン側の画面表示例>
(BT AUDIOを選択した状態)



リアビジョンについて(4/6)

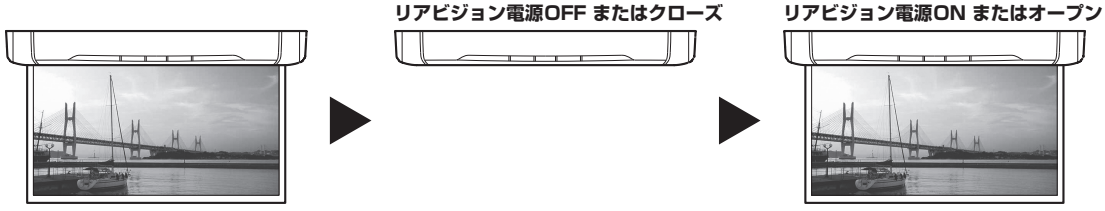
後席個別TV・DVD・HDMI　リアビジョン連動設定について

ダブルゾーンメニューの後席個別設定を「TV」、「DVD」、「HDMI」に設定した場合、リアビジョンのモニター開閉や電源OFF/ONに連動して、リアビジョン側で再生されている映像の再生が中断/再開します。

また、リアビジョン側の休憩モードにも連動して、映像の再生を中断/再開します(リアビジョン連動設定に対応したリアビジョンが必要です)。

<リアビジョンのモニター開閉／電源OFF/ON時の動作イメージ>

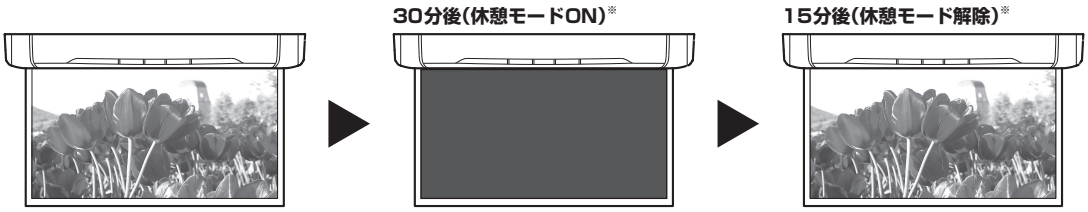
「後席個別TV・DVD・HDMI　リアビジョン連動設定」を「する」にしている状態



※ DVDが中断したところから再生再開します。

<リアビジョン休憩モードに連動した後席個別TV・DVD・HDMIの動作イメージ>

リアビジョン側の「休憩モード」を「ON」にして、休憩までの時間＝「30分」、休憩時間＝「15分」にそれぞれ設定した場合



※ 15分間、DVD再生中断します。

※ DVDが中断したところから再生再開します。

- 後席個別TV・DVD・HDMI連動を使用する場合は、「後席個別TV・DVD・HDMIリアビジョン連動設定」(123ページ)を「する」に設定してください。
- 休憩モードについては、リアビジョン側の取扱説明書をご覧ください。
- 休憩モード中にエンジンをOFF/ONした場合は、休憩モードは解除(DVD再生が再開)されます。
- リアビジョンモニターの電源を素早くOFF/ONしたり、天井取付け型リアビジョン(連動対応)を素早く開閉したりした場合は、「後席個別」モードが連動しない場合があります。
- エンジンをOFF(ACC電源OFF)時にリアビジョンモニターの電源をOFFした場合は、次にエンジンをONにしたときに後席個別モードでの音が数秒程度出る場合があります。

リアビジョンについて(5/6)

ダブルゾーンコミュニケーションについて

後部座席では聞こえにくい運転手の声を、ハンズフリーマイクを利用してリアスピーカーから出力することができます。運転中でも、後ろを振り返ることなく会話がしやすくなります。

本機にルームカメラ(別売)を接続すると、後部座席の映像を映すことができます。

また、アルパイン製ドライブレコーダー(別売)をリアビジョン(別売)と接続すると、後席の搭乗者はリアビジョン側に表示される前席側(運転席もしくは助手席)の車室内映像を見ながら会話することができます。

<本機側の画面表示例(ルームカメラ未接続時)>



<リアビジョン側の画面表示例(DVDソース視聴時)>



- アルパイン製ドライブレコーダーの映像をリアビジョンに映すには、リアビジョンリンクに対応したリアビジョンおよびリアビジョン側での設定が必要です。詳しくはリアビジョン側の取扱説明書をご覧ください。

1 [＊]スイッチを1秒以上押し、表示されたリストの ダブルゾーンコミュニケーション にタッチする

- ルームカメラ接続時は後部座席の映像が表示されます。ルームカメラを接続していない場合は、(マイクアイコン)が画面に表示されます。にタッチすると、ダブルゾーンコミュニケーション画面が表示されます。
- ダブルゾーンコミュニケーション を [＊](オプションキー)に設定してください。設定については「オプションキーに機器を登録する」(35ページ)を参照してください。
- ステアリングリモコンにダブルゾーンコミュニケーション機能を割り当てることができます(38ページ)。
- 別売のインターフェースボックス(IFB-N100)およびルームカメラ(別売)を接続して「インターフェースボックス接続」(124ページ)、「ルームカメラ接続」(125ページ)を設定をした場合には、ルームカメラの車室内映像が表示されます。

2 ハンズフリーマイクに向かって発話する。ダブルゾーンコミュニケーションを終了する場合は、[＊]スイッチを押す、または 終了 にタッチする

ダブルゾーンコミュニケーション発話が終了します。

- 室内の状況により、送話音量･AV音量ミュートをそれぞれ調整してください。
- ルームカメラ接続時、送話音量･AV音量ミュート調整スイッチを表示するには画面にタッチします。約6秒間操作しないと送話音量･AV音量ミュート調整スイッチは消えます。
- 車種によっては、スピーカーの位置が後席から遠いため、前席の発話音声が聴き取りにくい場合があります。
- ダブルゾーンコミュニケーション中は、音質調整を行うことはできません。
- 取付車両のサイズ、形状、スピーカー位置などによってはダブルゾーンコミュニケーション使用時にハウリングが起き、本機能を使用できない場合があります。

<ルームカメラ(別売)を接続時の表示例>



<ダブルゾーンコミュニケーション画面以外の表示例>



リアビジョンについて(6/6)

ダブルゾーンサウンドコントロールについて

後席(リアビジョン)のソースが「後席個別」モードのときに、前席(本機)または後席(リアビジョン)の視聴の妨げとならない音量の目安を表示します。

前席(本機)の音量が大きいときは、本機の音量調整スイッチ **[−]** で、後席(リアビジョン)の音量が大きいときは、別売のリモコン(RUE-RST01)でリアビジョンの音量を下げてください。

- ダブルゾーン設定画面の「後席スピーカー音量」(167ページ)でも後席(リアビジョン)の音量調整をすることができます。
- 「ダブルゾーンサウンドコントロール」(123ページ)を「ON」に設定してください。

<前席側(本機)の画面表示例>

(前席音量をVol. 16にしたとき)

青色



(前席音量をVol. 21にしたとき)

赤色



- 音量が適正値を超えると、インジケーターが赤色に変化します。

- 車種専用チューニング設定が未設定の場合には、本機能を使用することはできません。

その他外部機器

エネルギーモニターについて

別売のエネルギーモニター BOX(EDP－Z50)を本機に接続すると、ハイブリッドシステムのエネルギー・動作状況、車両の駆動状況などを確認することができます。詳しくはエネルギーモニター BOXの取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

- 対応車種についてはエネルギーモニター BOXの取扱説明書も参照してください。
- エネルギーモニター BOXとフロントカメラを同時に接続する場合は別売のインターフェースボックスが必要です。エネルギーモニター BOXはインターフェースボックスに接続します。
- エネルギーモニター BOXを本機に接続したら、「エネルギーモニター接続」(124ページ)を「あり」に設定してください(初期設定は「なし」)。「あり」にすると、フロントカメラ接続設定は「なし」に設定されます。
- エネルギーモニター BOXを別売のインターフェースボックスに接続する場合は、「エネルギーモニター接続」(124ページ)を「なし」に設定してください。

インターフェースボックスについて

別売のインターフェースボックス(IFB-N100)を本機に接続すると、サイドカメラ・コーナーカメラ・ルームカメラ・外部機器を最大3台同時に接続することができます。詳しくはインターフェースボックスの取扱説明書をご覧ください。

インターフェースボックスに接続した外部機器映像を呼び出す場合は、**[＊]**(オプションキー)に「インターフェースボックスAUX IN」を登録してください。

アドバイス

- インターフェースボックスを本機に接続したら、「インターフェースボックス接続」(124ページ)を「あり」に設定してください(初期設定は「なし」)。「あり」にするとインターフェースボックスに接続するカメラの設定が可能となりますので、サイドカメラ・コーナーカメラ・ルームカメラから選択のうえ設定してください。
- ステアリングリモコンにインターフェースボックスを割り当てることができます(38ページ)。
- 対応車種および本機への取り付けについては、インターフェースボックスの取扱・取付説明書をご覧ください。
- 別売のエネルギーモニター BOXをインターフェースボックスに接続する場合は、「エネルギーモニター接続」(124ページ)を「なし」に設定してください。

リモコン(RUE-RST01)の使い方(1/3)

ダブルゾーン設定でリアビジョンに映し出される本機の地図画面やAVソースを別売のリモコンRUE-RST01で、リアビジョン側から走行中でも操作することができます。

- 本機を直接リモコン操作することはできません。
- リアビジョンに映し出される映像によりスライドスイッチを切りかえてください。
- 後席個別モードまたは後席表示設定で設定したリアビジョン映像によりリモコンの操作は異なります。
- HDMIソースの再生操作はHDMI機器側で行ってください。
- リモコンの操作音は後席スピーカーから出力されます。ただし、ダブルゾーン設定を「前と同じ表示」に設定したときと音量調整操作の操作音は、前席スピーカーから出力されます。



■ スライドスイッチ

【NAVI】	ダブルゾーンメニュー /地図操作などを行う時に切りかえてください。
【DVD】	DVDソース再生中にDVD操作を行う時に切りかえてください。
【MONITOR】	リアビジョンのモニターの設定を行うときに切りかえてください。

■ 基本操作

⏻(電源)	リアビジョンの電源をON/OFFします。
AV	[地図画面表示時]:AVソース画面を表示します。 長押しするとAVソースをOFFにします。AVソース OFFの状態で長押しすると、AVソースがONに戻ります。
現在地	<後席表示設定「前と同じ表示」>:現在地画面を表示します。 現在地画面では音声案内を出力し(ルート案内中のみ)、路線名/現在地名の表示切りかえを行います。 長押しすると路線名/現在地名の表示切りかえのみを行います。 <後席個別モード>:行程情報表示のON/OFFを切りかえます。
入力切替	リアビジョンの入力を切りかえます。
♪ AUDIO	AVソース選択画面を表示します。 [地図画面表示時]:AVソースメニュー画面を表示します。 [AVソース画面時]:AVソースを選ぶ画面を表示します。
戻る	一つ前の画面に戻ります。 [地図画面表示時]:長押しすると自宅地点を表示します。
NAVI	<後席表示設定「前と同じ表示」>:ナビメニュー画面を表示します。
ジョイスティック(上/下/左/右)	画面に表示される項目を選びます。
◀/▲/▼/▶	[地図画面表示時]:地図の移動を行います。押し続けると高速でスクロールします。
決定	選択した項目を決定します。 [地図画面表示時]:スクロールした地図の地点を決定します。
トップメニュー	[DVD再生時]:DVDトップメニュー画面を表示します。
DVDメニュー	[DVD再生時]:DVDメニュー画面を表示します。
テレビ	ソースをテレビに切りかえます。
DVD	ソースをDVD/CDに切りかえます。
HDMI	ソースをHDMIに切りかえます。
リア専用メニュー	ダブルゾーンメニュー画面を表示します。

リモコン(RUE-RST01)の使い方(2/3)



音量 へ/∨	音量を調整します。 後席個別モード時は、TV・DVD・HDMIの音量(後席スピーカー)調整になります。
🎤	ダブルゾーンコミュニケーションモードに切りかわります。
消音	音量をミュートします。再度押すと元の音量に戻ります。
チャンネル へ/▶▶▌ (AV操作のみ)	[DVD再生時]:映像の頭出しをします。押し続けると早送りをします。 [テレビ・ラジオ]:プリセットが1つずつアップします。押し続けると連続して変化します。 [テレビ・ラジオ以外のオーディオ]: 曲の頭出しをします。押し続けると早送りをします。
チャンネル ∨/▌◀◀ (AV操作のみ)	[DVD再生時]:映像の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。 [テレビ・ラジオ]:プリセットが1つずつダウンします。押し続けると連続して変化します。 [テレビ・ラジオ以外のオーディオ]: 曲の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。
▶/▌▌ (AV操作のみ)	[DVD再生時/テレビ・ラジオ以外]:一時停止/再生をします。 [テレビ]:ホームモード/お出かけモードを切りかえます。押し続けるとお出かけスキャンを実行します。お出かけスキャン実行中に押すと、お出かけスキャンを中止します。 [ラジオ]:バンドを切りかえます。押し続けるとオートメモリーを行います。
1 ～ 9(※1)	数字の1 ～ 9を入力します。 [テレビ]:プリセット1 ～ 9の放送局を受信します。 [ラジオ]:プリセット1 ～ 9の放送局を受信します。長押しするとプリセットスイッチに放送局を記憶します。
0(※1)	数字の0を入力します。 [テレビ]:プリセット11の放送局を受信します。
削除(※1)	入力した文字を1つ削除します。 [テレビ]:プリセット10の放送局を受信します。
完了(※1)	数字入力を完了します。 [テレビ]:プリセット12の放送局を受信します。
設定	設定画面を表示します。 スライドスイッチ【NAVI】:本機の設定画面を表示します。 スライドスイッチ【DVD】/【MONITOR】:リアビジョン側の設定画面を表示します。
(プラズマクラスター)	プラズマクラスターのモードを切りかえます。 • プラズマクラスター付リアビジョンのみ
(ルームランプ)	リアビジョンのルームランプを一定時間点灯させます。 • ルームランプ付リアビジョンのみ
エアコン	リアエアコン操作画面を表示します。 • 対象のリアビジョンとエアコン・コントロールユニットを取り付けた場合のみ

※1 テレビ:プリセットした放送局受信中は、ワンセグ/地上デジタル放送を切りかえます。

リモコン(RUE-RST01)の使い方(3/3)



■ 地図画面専用操作:スライドスイッチ【NAVI】

1	地図の方位(ノースアップ/3Dマップ/ヘディングアップ)を切りかえます。
2(※2)	現在地画面の、ナビ操作/オーディオ操作スイッチの表示(切換>> → OFF<< → ON>> →)を切りかえます。
3(※2)	ナビ操作スイッチの 自宅 または 路線切換、オーディオ操作スイッチの ミュート と同じ操作です。それぞれ自宅誘導、ルート案内中の一般道/高速道切りかえ、ミュートON/OFFを行います。
4(※2)	現在地画面のナビ操作スイッチ/オーディオ操作スイッチを切りかえます。または地図画面のランドマークの表示/非表示を切りかえます。
5(※2)	ナビ操作スイッチの お気に入り または 地点登録、オーディオ操作スイッチの ⏮ と同じ操作です。それぞれお気に入り周辺検索画面表示、地点登録画面表示、曲/映像/放送局等の頭出し・長押しで早戻しを行います。
6(※2)	ナビ操作スイッチの ルート または 地図設定、オーディオ操作スイッチの ⏭ と同じ操作です。それぞれルート画面表示、地図の表示設定、曲/映像/放送局等の頭出し・長押しで早送りを行います。
7(※2)	ナビ操作スイッチの 地図切換 と同じ操作です。地図切換画面表示を行います。
0(電話番号)	ナビメニューの「電話番号から探す」画面を表示します。
削除(周辺)	お気に入り周辺検索画面を表示します。
完了(名称)	ナビメニューの「名称で探す」画面を表示します。

※2 現在地画面に表示されているナビ操作スイッチ/オーディオ操作スイッチ(32ページ)の左から順に、リモコンの2・3・4・5・6・7が割り当てられています。

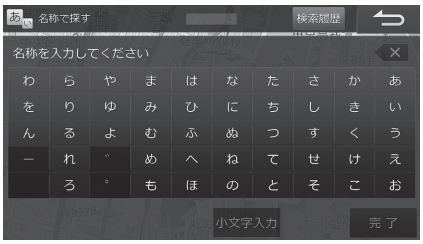
文字入力のしかた(1/2)

文字の入力は登録操作や場所の検索などで必要になります。使用する機能によって表示される画面や手順が多少異なりますが基本的な入力方法は以下のとおりです。

＜登録地点の名称を入力するとき＞



＜50音入力で施設などを検索するとき＞



文字を入力する

ここでは登録地点の名称を入力する操作を例に説明します。

1 入力したい文字の種類をタッチする

- 選択できる文字種は かな カナ 英数 記号1 記号2 です。英数字や記号の場合は 半角 を選択できます。
- 拗音(ょ)や促音(っ)などを入力するときは 小文字 をタッチします。
- グレーアウトしているスイッチは操作できません。

2 入力したい文字や記号をタッチする

- 間違って入力した場合は × をタッチして入力しなおします。× をタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。× をタッチし続けると入力したすべての文字が削除されます。
- カーソルは、◀ ▶ をタッチして移動します。

3 漢字に変換する場合は 変換 をタッチし目的の漢字を表示させる

- 漢字変換しない場合は手順4へ進んでください。
- 変換前の状態に戻すには × をタッチします。
- 別の漢字に変換するには、もう一度 変換 をタッチします。
- 1つ前の漢字に戻すには 前変換 をタッチします。
- 文節区切りを変更するには ◀ ▶ をタッチします(「文節区切りを変更する」177ページ)。

4 確定 をタッチする

- 漢字が確定されます。
- 確定したあとで修正する場合は × をタッチして文字を削除し入力しなおします。× をタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。× をタッチし続けると入力したすべての文字が削除されます。

5 完了 をタッチする

- 文字入力を終了し元の画面に戻ります。

文字入力のしかた(2/2)

文節区切りを変更する

変換後(確定前)に ◀ ▶ をタッチすると変換対象とする文節の区切りを変更できます。

1 ◀ ▶ をタッチして区切り位置を変更する

- ◀ ▶ をタッチするたびに文節の長さが1文字ずつ増減します。
- 以降の操作は176ページ「文字を入力する」の手順3に戻ります。

検索履歴を使用する

以前入力した文字列を利用して入力することができます。

1 検索履歴 をタッチする

- 以前入力した文字列がリスト表示されます。

2 リストから希望の名称をタッチする

3 完了 をタッチする

- 選んだ文字列が入力されている状態で文字入力画面に戻ります。
- 20 件を超えた場合は古いものから順に削除されます。
- 選択した検索履歴を消去するには 消去 をタッチします。すべての検索履歴を消去するには 消去 をタッチし続けます。

数字を入力する

1 入力したい数字をタッチする

- 間違って入力した場合は ✕ をタッチして入力しなおします。✕ をタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ数字が削除されます。✕ をタッチし続けると入力したすべての数字が削除されます。
- 無効な数字や入力可能文字数以上を入力しようとするとエラーメッセージが表示されます。

2 完了 をタッチする

- 数字入力を終了します。

困ったときは(よくあるご質問)(1/3)

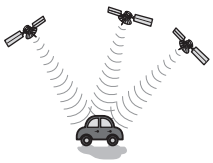
Q 自車位置って何?

A 現在、自分の車がいる場所のことです。どの画面からでも現在地(自車位置画面)を表示できます。

Q どうして自車位置(現在地)がわかるの?

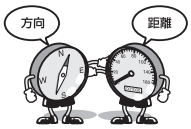
A 自車位置は「GPS信号とジャイロ/車速センサー」を組み合せたシステムで割り出します。

● GPS(グローバル・ポジショニング・システム)とは
高度21,000kmの宇宙空間に浮かぶ3個以上のGPS衛星の電波を受信して、自車位置を割り出すシステムです。
4個以上の衛星を受信すると3次元側位(高度/経度/緯度)となり、3個の場合は2次元(経度/緯度)となります。この情報は、米国国防総省によって管理されており、意図的に精度をかえる場合があります。

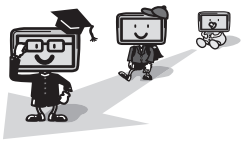


● 高い精度で使い続けるために次のような利用をおすすめします。
- ナビ画面でGPS信号が受信できていることを確認してから走行する
- 良好な信号が受信できるようにアンテナをきれいにする
- アンテナや車速信号の接続に異常がないか定期的に確認する
- やさしくていねいに扱う

● ジャイロ・車速センサーとは
ジャイロセンサーとは航空機や船舶などの移動体の方向変化を計測するためのもので、カーナビゲーション用に使用する場合は車速センサーと共に用います。ジャイロセンサーで方向を、車速センサーで走行距離を検出して自車位置を算出します。



● 使い始めの自車位置精度について
ジャイロ・車速センサーはその車の走行情報を蓄積しなければ本来の性能を発揮できません。今までの情報がないシステムの取り付け直後や今までの情報が生かせないタイヤ交換直後などは、自車位置が正しく表示されないことがあります。そのまま走行を続けると、センサーの情報から算出した位置とGPSの位置の誤差量を学習して次第に精度が上がっていきます。



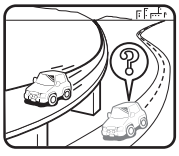
このシステムの場合、GPS信号を受信できない場合でも測位が続けられますし、ジャイロセンサーだけの走行で表われる「ずれの積み上げ」も発生しないメリットがあります。

Q どうして自車位置がずれるの?

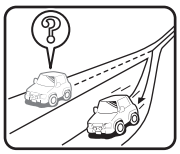
A 記憶されている車速信号情報は車やタイヤの種類で異なります。別の車に付けかえる/タイヤを履きかえる/タイヤローテーションを行うと、車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じます。このような場合は距離補正値を一度初期化して、再度、自動距離補正を行う必要があります(「距離補正」129ページ)。

- GPS衛星は米国の国防総省により管理されており衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは自車位置マークがずれることがあります。多少の「ずれ」は本機性能の限界も考えられます。またGPSが受信できない場合や次のようなときにも自車位置がずれることがあります。

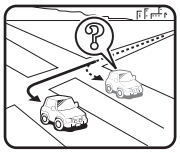
高速道路を走行している場合、その側道に自車位置マークがのるときがあります。またその逆もあります。



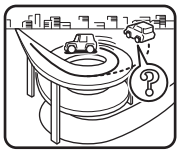
角度の小さなY字路や平行路を走行しているとき他方の道路に自車位置マークがのる場合があります。



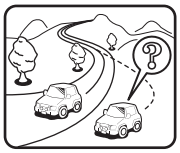
碁盤目状の道路を走行している場合、隣りの道路に自車位置マークがのるときがあります。



螺旋状の道路やヘアピンの道路などを走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



勾配の急な山岳等を走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



雪道や舗装していない道路などの滑り易い道路を走行しているとき、自車位置マークがずれることがあります。また、タイヤチェーン等を装着して走行している場合でも、自車位置マークがずれることがあります。



以下の場合は故障ではありません。そのまましばらく走行を続けると自動的に修正します。
- 直線または緩やかなカーブを長い距離走行した直後。
- 立体駐車場などで切り返しや旋回をした場合。
- 混雑や渋滞で低速発進や停止を繰り返した場合。

ただし、高速道路と一般道路が重なっているときなどでは自動的に修正できない場合があります。このようなときは、自車位置を修正してください(「自車位置修正」130ページ)。また、経路誘導中の場合は路線切換(「路線切換」32ページ)を行ってください。

Q 画面上に表示された「十字カーソル」を消すには?

A 地図をスクロールしたときの「十字カーソル」を消すには、[現在地] スイッチを押して現在地画面に戻してください。

Q 止まっているのに、どうして自車位置が勝手に動き回るの?

A 車速の接続が正しいか確認してください。接続が正しいときは、スピードセンサーコード(車速信号線)にノイズが乗っている可能性があります。ナビのACCやバッテリーコードにノイズサプレッサーを入れたり、スピードセンサーコードを車両配線から離してください。

Q 正しい案内がされなくなった

A 以下の事項を確認してください。

● タイヤを交換していませんか?
タイヤ交換後、記憶されている車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまう場合がありますが、走行すると自動で補正されます。それでもずれが生じる場合には、距離補正値を初期化してください(「距離補正」129ページ参照)。

● スピードセンサーコード(車速信号線)は外れていませんか?
「車両情報」(153ページ)で確認し、お買い上げの販売店へご相談ください。

● GPSアンテナを確認する。
「車両情報」(153ページ)で確認し、お買い上げの販売店へご相談ください。

Q 音声案内が遅れるのは?

A 自車位置と現在地に誤差が生じるためです。
本機は距離係数などを学習し、自動補正を行いますので、走行するたびに自車位置精度が向上していきます。どうしても案内が遅れる場合には手動補正する必要があります(「距離補正」129ページ)。

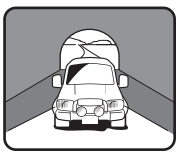
困ったときは(よくあるご質問)(2/3)

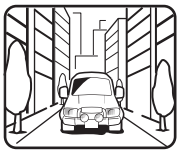
Q VICS渋滞情報の一部がいつのまにか表示されなくなった

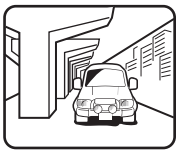
A 道路交通情報をナビゲーションなどに的確に表示できるよう、VICSリンク(主要交差点毎に道路を区切った単位)というデータ方式を採用しています。このため、道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況に変化をきたす場合は、VICSリンクの追加や変更を行っています。この結果、新しいVICSリンクにより情報の提供が行われると、ごく一部の地域ですが、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。
ただし情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。そのため、地図ソフトの発売時期から3年間程度経過すると、地図画面上で渋滞情報(赤・橙・緑色の矢印等)などを表示できない場所が徐々に出てきます。この現象はVICS地図表示でのみ発生します。VICSリンクは随時更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめします(本製品の道路単位は2017年11月版です)。

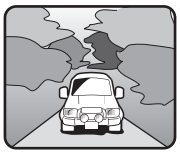
Q どうしてGPSが受信できないの?

A GPSアンテナ近くで携帯電話などを使用したり、次のような場所ではGPSが受信できないことがあります。


トンネルの中


高層ビル等の間


高架道路の下


樹木の間

- ルーフキャリアなどの使用時には、GPS衛星の電波がさえぎられて自車位置を測位できなくなることがあります。このようなときは、アンテナとルーフキャリアを離して設置してください。
- ナビ本体のアースの接続は確実でしょうか?
  お買い上げの販売店へご相談ください。

Q ナビゲーションを高い精度で使うには?

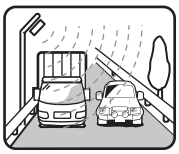
A 使いはじめなどは、受信感度の良い状態で100km以上走行することをおすすめします。

Q VICSサービスの提供区域なのに受信されない

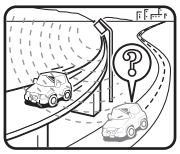
A VICSサービスの提供区域は、全都道府県の区域でおおむねNHK-FM放送を受信することができる範囲です。ただしサービスの提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用できない場合があります。

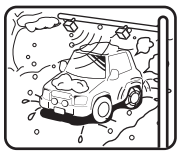
Q どうしてFM多重放送やVICS情報が受信できないの?

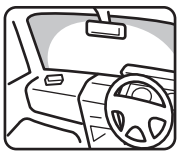
A FM多重放送は、FM放送の音声のすき間にVICS情報を盛り込みます。利用する場合は、情報を提供している放送局に周波数を合わせる必要があります。また、情報を取り込んでから表示するので、受信状態になるとすぐに表示されるわけではありません。受信しにくいときは、受信エリアの確認をしてください。
さらにVICSには、狭い範囲を対象にした「光ビーコン」「電波ビーコン」「ITSスポット」があります。(本機は電波ビーコンには対応していません。)
この情報は次のようなとき受信できないことがあります。


大型車と並走


アンテナの上に物を置く


高速高架道路の下


雪などの悪天候


アンテナ受光部の汚れ
フロントガラスの汚れ

- 高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路のITSスポットから情報を受信してしまう場合があります。

Q VICSの渋滞情報ってなに?

A VICS渋滞情報は、地図上に渋滞地点や渋滞区間を「矢印」で提供します。方向は矢印で、混み具合は色(渋滞は赤)で表します(「渋滞情報や道路交通情報マークの表示例」62ページ)。

Q ルートを外れたらどうするの?

A ルートの外れには「測位誤差」によるもの「運転ミス」によるものの二つがあります。ルートを走行中に自車位置が近接する道路に移動してしまうのが「測位誤差」によるものです。
この場合はそのまま走行を続けると自車位置は「本来の道路」に戻ってきます。
案内している交差点で曲がれなかったときなどの間違いによるルートの外れは、リルート機能によって「新たなルート」を自動的に探し出してくれます(「リルートについて」39ページ)。

Q ルートを消すにはどうするの?

A ルートは目的地周辺で案内を終了しますが、目的地情報は残ります。また、目的地への接近が少ないといつまでも目的地への案内を続けます。
これらを消す場合は、ナビメニュー画面でルートを消去してください(「ルート消去」50ページ)。

Q ルートは記憶できないの?

A ルートを記憶させることはできません。

Q ルート探索対象道路は?

A ルート探索対象道路は道幅が5.5m(一部3.0m)より広い道路となります。

Q ルート探索のコツってなに?

A いろいろな使い方がありますが、下記は周遊コース設定のコツの一例です。
2泊3日の旅行で出発地に戻ってくる場合は以下の操作を行います。
1) 出発地(自車位置)を目的地に設定します(当然コースは表われません)。
2) 立ち寄る地点(経由地)をすべて設定します(39～41ページ)。
3) 自車位置から2泊3日のコースを確認します。
各経由地を宿泊地にしておくと、それぞれの日の走行距離を知ることができます。

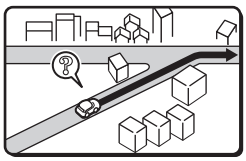
困ったときは(よくあるご質問)(3/3)

Q こんなルートは故障なの?

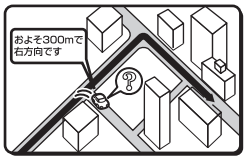
A ルート探索やルート案内において、次のような場合がありますが故障ではありません。

- 冬期の閉鎖・歩行者天国・時間規制などで通行できない場合
- 新道の開通などにより通行できない場合
- 実際に通行できない道を表示する場合
- 再探索してもルートがかわらない場合
- ルートが渋滞している場合
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は目的地から離れた所までしかルート表示しない場合
- 高速優先であっても、高架下の一般道路の案内を行う場合または逆の場合
- Uターンするルートを表示する場合

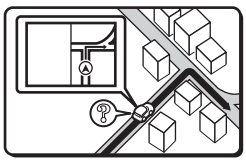
交差点で、案内されない場合があります。
また、交差点名称が案内されない場合もあります。



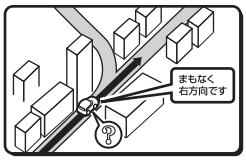
手前の交差点等で曲がったときなど音声案内される場合があります(案内ルートを外れた場合)。



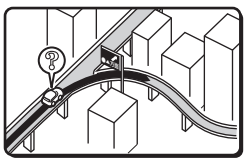
交差点拡大図が実際の道路形状と異なる場合があります。



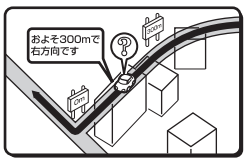
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。



高速/有料道路で方面案内が表示/案内されない場合があります。



案内距離が実際の道路状況と異なる場合があります。



Q 思い通りのルートを引くには?

A ナビが自動で設定したルート以外の道を通って目的地まで行きたい場合は、利用するインターチェンジ(IC)を変更したり、通りたいルート上に経由地を追加すると、その地点を通るルートに変更することができます。経由地は最大で5箇所まで指定できます(39 ～ 41ページ)。

Q 時計(現在の時刻)がずれたら?

A 本機の時計表示はGPS情報から時間を算出していますので、時計表示がずれることはありません。ただし長い期間GPSが受信されない状態が続いた場合は時計がずれることがあります。GPSが受信されると正常な時間表示に戻ります。GPSを受信していてもずれている場合は本機を点検に出してください。

Q バッテリーを外してもメモリーは消えないの?

A 地点情報、設定(サウンド調整やDVD初期設定は除く)、ルート学習・渋滞学習、電話帳などは消えません。

Q どうして夜画面がちらつくの?

A 電圧が低いときは画面がちらつくことがあります。

Q 駐車場マークを消すにはどうするの?

A 駐車場マークには、ランドマークとVICS情報マークがあります。地域によっては駐車場マークが画面いっぱいに表示され、地図が見づらくなる場合があります。115、116ページを参照して駐車場マークを消してください。

トラブルシューティング(故障かな？と思ったら)(1/4)

操作のミスや勘違いを故障と間違えていませんか？ ⇨ 下の表または「完全操作ガイド」(裏表紙)をご覧ください。 ⇨ お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口(裏表紙)までご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度エンジンキーをOFF/ONしてください。それでも正常動作しない場合は以下の表または「完全操作ガイド」(裏表紙)を参照して処置を行ってください。

<ナビゲーション関係>

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
	正しく接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続されているか確認する。また、コードなどが極端に折れ曲がっていないか確認する	
	内部のマイコンがノイズなどの原因で誤動作してしまった	一度エンジンをOFF/ONし、本機をリセットする	
画面がふらつく	電圧が低い	車両のバッテリーや充電系を点検する	
走行しても地図が動かない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	5ページ
自車位置を正しく測定できない	ACCが「OFF」になってから自車位置が変わった フェリーボートによる移動 駐車場のターンテーブルによる回転 レッカー車による移動等	GPS信号受信状態(測位状態)でしばらく走行する	
自車位置マークが表示されない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	5ページ
GPS信号が受信できない	GPS情報を利用できない状態である	周囲に障害物がない所へ移動する	
	GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている	電話の使用をやめる	
	GPSを利用したレーダー探知機を使っている	本機のGPSアンテナと離して使用してください	
自車位置の誤差が大きい	衛星の配置が悪い	衛星の電波が受信しやすい場所へ移動する	
	2次元測位をしている		
	車速(スピードセンサーコード)が正しく接続されていない	取付説明書を参照して接続を確認してください	
データが保存できない	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にしてから保存する	
タッチスイッチがグレーになり操作できない	操作できないタッチスイッチをタッチした	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。また、状況・設定などにより、操作できないスイッチがある場合があります	
音声案内が出力されない	音声案内の音量が小さく(音声OFFに)なっている	音量を大きくする	137ページ
案内音量が大きすぎる/小さすぎる	案内音量が調整されていない	音量を調整する	137ページ
画面が見にくい	画面のコントラストや明るさ調整が不適正である	コントラストや明るさを調整する	136ページ
VICSまたはブラウザ読み上げ音声が出力されない	音声読み上げの設定が「しない」になっている	VICSまたはブラウザでの音声読み上げ設定を「する」にする	122ページ
VICSまたはブラウザ読み上げ音量が大きすぎる/小さすぎる	音声読み上げ音量が調整されていない	音量を調整する	137ページ
VICSで受信した文字・図形などの情報を表示できない	VICSの情報として送出されていない	地区等により送出される情報は異なる	
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
	放送局の周波数が合っていない	受信可能な放送局に周波数を合わせる	152ページ
	データの取り込みが完全ではない	更新データを受信するまで待つ	
VICS情報(渋滞、規制、駐車場)の地図表示ができない	「VICS設定」でこれらの表示条件が表示しない設定になっている	「する」に設定する	116、122ページ
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	

トラブルシューティング(故障かな？と思ったら)(2/4)

症状	原因	対処	参照ページ
VICS渋滞が考慮探索されない	「アクティブルートサーチ」が「しない」の設定になっている	「する」に設定する	120ページ
VICS情報の表示が乱れる	電波や光の情報がうまく受信されない	情報を受信次第表示が更新されます	
VICSの時間が時刻と違う	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています VICS情報を長時間受信していない場合は古い時間が表示されます	情報を受信次第更新されます	
有料道路に目的地/経由地を設定できない	付近の一般道路に目的地/経由地が設定されている	目的地/経由地の属性を「有料」に変更する	50ページ
NaviConがOnlineにならない	iPod/iPhoneのBLUETOOTH接続が「ハンズフリー」で設定されていない	「ハンズフリー」または「ハンズフリー+オーディオ」でBLUETOOTH接続を行う	66、140ページ
	iPod/iPhoneが本機のUSB端子に接続されている	iPod/iPhoneを別売の接続ケーブルから外す	
	Androidスマートフォン側の接続先設定がされていない	Androidスマートフォンで、NaviConの接続先設定を行う	75ページ
メンテナンス機能でお知らせ設定(距離)をしても残距離が減らない	走行距離を計測するための車速パルス(スピードセンサーコード)が正しく接続されていない。	取付説明書を参照してスピードセンサーコードが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する	

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げの販売店に問い合わせてください。

<システム/オーディオ・ビジュアル関係>

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
操作していないのに本機が勝手に動作する	会話やオーディオの音声に反応してボイスタッチ機能が動作している	不要なボイスタッチワードをOFFに設定する	36、128ページ
		「ボイスタッチチューニング」で認識率の調整を行う	128ページ
セキュリティコードを忘れてしまい、セキュリティを解除できない	—	お客様登録したうえでアルパインインフォメーションセンターにご相談ください	裏表紙
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	電波が弱い	他の場所に車を移動して再確認する	
	バッテリー電圧が低下している	バッテリー電圧/バッテリー液量/バッテリー液比重および配線を確認する(負荷状態で11ボルトを下回ると誤動作の原因となります)	
映像が出ないまたは動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする	
映像に斑点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する	
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります	故障ではありませんので、そのままご使用ください	
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるもの	故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください	
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるもの	故障ではありません。しばらくすると安定します	
音が出ない	音量の調整不良	音量スイッチを押して確認する	26～30ページ
片側のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが外れている	スピーカーコードの接続を確認する	
	音量の調整不良	左右音量調整をして確認する	132ページ

トラブルシューティング(故障かな？と思ったら)(3/4)

症状	原因	対処	参照ページ
サブウーファーから音が出ない	サブウーファーの設定がONになっていない	「サブウーファー設定」をONにする	133ページ
	後席個別DVDモード、後席個別TVモード、または後席個別HDMIモードになっている	後席個別モード時はサブウーファーからは音が出ませんが、故障ではありません	167ページ
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送やディスクに含まれていない	放送やディスクを変更して確認する	
CD/DVDが入らない	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている	すでに入っているCD/DVDを取り出してから再生したいCD/DVDを入れる	88、95ページ
CD/DVDの再生ができない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	CD/DVDに大きなキズやソリがある	他のCD/DVDを入れる	
	CD/DVDがひどく汚れている	クリーニングする	
ディスクの再生が始まらない/音が飛ぶ/音が歪む/早送りや早戻しができない	車内温度が50℃以上である	車内温度を常温まで下げてから再生する	
	ディスクに傷が付いている	他のディスクを再生してみる	
	ディスクがひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応のディスクでない		
	結露している	しばらく放置してから使用する	
映像も音も出ない	オーディオ・ビジュアルモードがOFFになっている	AV OFFモードを解除する	78ページ
	接続コードの接続が不完全	各接続コードの接続を確認する	
DVD初期設定において、暗証番号を入力してもエラーになる/暗証番号を忘れてしまった	DVDの暗証番号が違う	DVD初期設定の内容を初期値に戻して設定した暗証番号を消去する	93ページ
CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWが再生できない	クローズセッション(ファイナライズ)処理を行っていない	クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度、試してみる	
MP3/WMA/AACが再生されない	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA/AACについて」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う	193ページ
SDカードが入らない	すでに別のSDカードが入っている	SDカードを取り出してから入れなおす	98ページ
	SDカードの入れ方が間違っている	正しい向きで入れなおす	98ページ
SDカードの再生が始まらない/音が飛ぶ/音が歪む/早送り・早戻しができない	SDカードが壊れている	他のSDカードを再生してみる	
	SDカードの端子部がひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応の音楽データではない		
SDカードを取り出した後、ディスプレイが閉じない	破損しているSDカードを挿入した	SDカードを取り出し後、しばらく待ってから **[開/閉]** / **[⏏]** スイッチを押してディスプレイを閉じる	
放送局が受信できない/雑音が入る(ラジオ)	アンテナが接続されていない(ラジオ)	アンテナが確実に接続されているか確認する(ラジオ)	
	放送局の周波数(チャンネル)が合っていない	周波数(チャンネル)を正しく合わせる	87ページ
	周りに障害物などがあり、受信状態が良くない	見通しが良いところに移動する	
自動的に放送局が選べない(ラジオ)	電波の弱い地域にいる	手動で受信する	87ページ
テレビ放送が受信できない	テレビ放送用のアンテナが接続されていない	添付のテレビ放送用のアンテナを接続する	
	B-CASカードが正しく挿入されていない	B-CASカードを挿入する	
	放送が行われていない	他のチャンネルを選ぶ	
映像にブロックノイズが出る(テレビ)	電波状態が悪い	場所を移動する	
	アンテナが外れている	アンテナの接続を確認する	
映像に字幕が出ない(テレビ)	字幕が設定されていない	字幕を設定する	84ページ
	字幕情報のない番組を視聴している	字幕情報のある番組を視聴する	
映像がモザイク状になる(テレビ)	電波状態が悪い	他の場所に車を移動する	

トラブルシューティング(故障かな？と思ったら)(4/4)

症状	原因	対処	参照ページ
iPodが再生しない/iPodの音が出ない	iPodが認識されていない	iPodをリセットする iPodのリセットについては、iPod側のユーザーズガイドを参照してください	
ウォークマン® の音が小さい	ウォークマン®の「ソース別音量調整」が14ステップになっていない	ウォークマン®の音量レベルを14ステップにする	133ページ
[開/閉] / **[⏏]** スイッチを押してもディスプレイが開かない	音楽用/登録地点保存用SDカードへのアクセスが終了していない	アクセス終了後にもう一度 [開/閉] / **[⏏]** スイッチを押す。5分以上経ってもアクセスが終了しない場合は、一度エンジンキーをOFF/ONする。または**[開/閉]** / **[⏏]** スイッチを10秒以上押す	
映像または音が出ない(HDMI)	本機対応以外の規格で出力設定されている	HDMI機器の出力設定を確認し、本機対応の規格に設定する	191ページ
	HDMI機器から映像/音声が出力されていない	HDMI機器側で出力設定を行う	
		一度HDMI機器のOFF/ONを行う	
		HDMI機器が画面OFFになっている場合は、HDMI機器を操作して画面を表示する	
	HDMI機器がBLUETOOTHオーディオ機器として、本機またはそれ以外の製品に接続されている	BLUETOOTHオーディオ接続を解除する	139ページ
ハンズフリー通話中にエコー(残響音)やハウリングが起こる	本機側の受話音量が大きすぎる	受話音量を小さくする	68ページ
ハンズフリー通話中、こちらの声が相手側に聞こえない	外部ハンズフリーマイク未接続時に、本記設定項目で「外部ハンズフリーマイク」を「あり」にしている	「外部ハンズフリーマイク」設定を「なし」に設定する	138ページ
ハンズフリー通話中、相手側の音声が聞き取りにくい	自分と相手側が同時に発声している	お互いに一呼吸おいて交互に通話してください	
	受話音量が小さい	受話音量を大きくする	68ページ
携帯電話・スマートフォンが充電できない	正しく接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続されているか確認する。また、アルパインホームページでお使いの機種情報を参照してください	
SGS-C1000Dをカメラ接続中、リアカメラのガイド線が2重に表示される	リアカメラと本機の両方からリアカメラガイド線が出力されている	リアカメラ表映像示中に画質調整画面で「固定ガイドOFF」に設定してください。	164ページ
リアカメラのガイド線が消せない	—		
リアビジョンに映像が出ない	リアビジョンが正しく接続されていない	取扱説明書を参照して、正しく接続されているか確認する。また、エンジンをACC OFF/ONする リアビジョン製品に添付されているリモコンでリアビジョン側の映像出力を切りかえる。切りかえ方法については、リアビジョン側の取扱説明書を参照してください	
別売のインターフェースボックス(IFB-N100)に接続した外部機器・サイドカメラ・コーナーカメラ・ルームカメラの画面切り替えができない	インターフェースボックス(IFB-N100)専用リモート出力コード(TOUCH POSITION OUT)が正しく接続されていない	取付説明書を参照してインターフェースボックス(IFB-N100)専用リモート出力コード(TOUCH POSITION OUT)が正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する	
Wi-Fi通信がつながりにくい	AP(アクセスポイント)側の設定が5GHz帯になっている	アクセスポイント側の設定を2.4GHz帯に変更してください	
	Bluetooth接続をしている	Bluetooth接続を解除してください	70ページ

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(1/5)

<表示メッセージ(システム)>

メッセージ	原因	対処	参照ページ
データの読込みに失敗しました メディアを確認してください	SDカード/USBメモリーの地図更新データまたはGracenoteタイトルデータ読み込みに異常が発生した	一度SDカード/USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う。それでも直らないときは、再度データ取得を行ってください	
車種専用チューニング中は操作できません チューニング完了後に再度操作を行ってください	車種専用チューニング中に音質調整、リアビジョン/アロマ、ダブルゾーン にタッチした	車種専用チューニングが完了後に操作してください	
車種専用データが破損しています 再度ダウンロードしてください	ダウンロードしたコンテンツデータ、もしくはメディア(SDカード/USBメモリー)へ保存したコンテンツデータが破損している	一度SDカード/USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う。それでも直らないときは、車種データファイルを再度ダウンロードし、車種専用チューニング操作を行ってください	
車種専用チューニングに失敗しました	車種専用チューニング中にSDカード/USBメモリーを取り外した	再度チューニング操作を行う	134、206ページ
車種データの読込みに失敗しました	車種データが破損している	車種データファイルを再度ダウンロードし、車種専用チューニング操作を行う	134ページ
プログラムアップデートに失敗しました 再起動を行います	BLUETOOTHファームウェアのアップデートに失敗した	一度SDカード/USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う	
Bluetooth機能は使用できません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	BLUETOOTHファームウェアが正常に動作しない	お問い合わせ窓口にご相談ください	裏表紙
この地図差分更新データは使用できません ディスクを確認してください	使用できない地図差分更新データが格納されている ※SDカード、USBメモリーの場合も同様	データを削除して、地図差分更新データを再度ダウンロードしてください 一度SDカード/USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う。それでも直らないときは、再度データ取得を行ってください	
データの読み込みができないため操作できません	なんらかの原因で本機の地図データにアクセスエラーが発生した	お問い合わせ窓口にご相談ください	裏表紙
データの読み込みができません サービスセンターへお問い合せください	アクセスエラー後に復帰しない。本機の地図データが破損している	お問い合わせ窓口にご相談ください	裏表紙
携帯電話を確認してください	携帯電話が正しく接続されていない	携帯電話の接続と、「BLUETOOTH設定」を確認してください	66、139ページ
DVDドライブにアクセスできません システムをリセットします	なんらかの原因でDVDメカにアクセスエラーが発生した	自動的に再起動します	
DVDドライブにアクセスできません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	なんらかの原因でDVDメカにアクセスできなくなった	お問い合わせ窓口にご相談ください	裏表紙
異常が発生しました [開/閉]スイッチを押してください	ディスプレイのメカに異常が発生した	**[開/閉]** / **[⏏]** スイッチを押してください	
ETCカードか車載器を確認してください	ETCカードやETC車載器のシステムエラーが発生した	ETCカードを抜き差ししてください	
セットアップされていません	接続されているETC車載器のセットアップが未完了の場合に表示される	販売店にてセットアップを行ってください	
カードかETC2.0車載器を確認してください	ETCカードやETC2.0車載器のシステムエラーが発生した	ETCカードを抜き差ししてください	
ETC2.0車載器がセットアップされていません	接続されているETC2.0車載器のセットアップが未完了の場合に表示される	販売店にてセットアップを行ってください	

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(2/5)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
走行中は安全のため操作できません	走行中にメニュー操作を行った	車を安全な場所に移動し、必ず停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。停車している状態でも変わらない場合は、取付説明書を参照して、スピードセンサーコードが正しく接続されているか確認する	
ETC2.0の接続ができませんでした	ETC2.0でのインターネット接続が可能なエリアではない	ETC2.0でのインターネット接続が可能なエリアに移動する	
メモリ不足のため致命的なエラーが発生しました エンジンをOFF/ONしてください	ブラウザ機能でページ閲覧操作中にメモリが不足した	一度エンジンをOFF/ONする	
Wi-Fi接続中/接続試行中は操作できません Wi-Fi設定からWi-Fiを切断するか接続試行が終了するまでお待ちください	Wi-Fi接続/接続試行をしている状態でETC2.0のブラウザ機能の情報閲覧を行った	接続中のWi-Fi通信機器を「切断」するか、接続試行が終了するまで待ってから、再度、ETC2.0のブラウザ機能の情報閲覧を行ってください	142ページ
アップデートに失敗しました メディアを抜かずにエンジンをOFF/ONしてください アップデートが再開します	メディア(CD/DVD/SDカード・USBメモリー)でのプログラムアップデート中にエラーが発生した	メディアを抜かずに、エンジンをACC OFF/ONする	
オープニング画像が破損しています オープニング画像設定画面から書き換えをしてください	ダウンロードしたオープニング画像データ、もしくはメディア(SDカード/USBメモリー)へ保存したオープニング画像データが破損している	オープニング画像データを再度ダウンロードし、オープニング画像設定画面から書きかえをしてください	134ページ
ログアップロードを使用できません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	ログデーターアップロード時のログファイル読み込み、書き込みエラー	お問い合わせ窓口にご相談ください	
ディスプレイがはずれたため再起動しました ディスプレイ固定用ネジがしっかりしまっているか確認してください ※XF11Zのみ	ディスプレイがはずれた、または取りはずされた	XF11Z専用取付説明書を参照してディスプレイの取り付けを確認し、確認 にタッチする	
自宅が登録されていません	自宅が登録されていない状態でボイスタッチワード「自宅に帰る」を発話した	自宅を登録してから発話する	56ページ
ボイスタッチワード設定が しない に設定されています	ボイスタッチワード「しない」設定にしているワードを発話した、またはボイスタッチワードが「全てしない」に設定されている	「ボイスタッチワード設定」で使用するボイスタッチワードを する に設定する	128ページ
フロントカメラの接続設定を確認してください	フロントカメラの接続が設定されていない状態でボイスタッチワード「フロントカメラ」を発話した	フロントカメラを接続し、「フロントカメラ接続」を あり に設定する	124ページ
サイドカメラの接続設定を確認してください	サイドカメラの接続が設定されていない状態でボイスタッチワード「サイドカメラ」を発話した	サイドカメラを接続し、「汎用カメラ接続」を「サイドカメラ」に設定する インターフェースボックス接続時は「インターフェースボックス接続」「サイドカメラ接続」を あり に設定する	124、125ページ
コーナーカメラの接続設定を確認してください	コーナーカメラの接続が設定されていない状態でボイスタッチワード「コーナーカメラ」を発話した	コーナーカメラを接続し、「汎用カメラ接続」を「コーナーカメラ」に設定する インターフェースボックス接続時は「インターフェースボックス接続」「コーナーカメラ接続」を あり に設定する	125ページ

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(3/5)

<表示メッセージ(ナビゲーション関係)>

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ルート計算できませんでした 目的地を幹線道路付近にセットしてください	目的地を指示したとき、周辺に道路がなくルート探索ができない	付近の主要道路にカーソルを合わせ、再度目的地を指示する	
これより広域の地図では VICS情報を表示できません	10m ～ 1kmスケールの地図を表示中に2kmスケールの地図にした	地図スケールを1km以下の詳細な地図に切りかえる	5ページ
情報受信中につき しばらくお待ちください	FM多重放送やVICS情報を受信していない	しばらくしてもメッセージを表示する場合は選局し直してください	
情報がありません	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していない	他の放送局を選局する	
ETCゲートを通行できません	通信エラーまたはETC車載器/ETC2.0車載器のエラー	料金所の係員の指示に従ってください	
切り換える道路がありません	路線切換操作を行ったときに、近くに切りかえられる有料道路または一般道路が存在しない	他の場所で路線切換操作を行う	32ページ

<表示メッセージ(オーディオ・ビジュアル関係)>

メッセージ	原因	対処	参照ページ
読込み異常が発生しました	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または「AVソースメディアについての注意」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う	190ページ
録音用SDカードが作成できませんでした SDメモリーカードを確認してください	SDカードフォーマット中に、SDカードが抜かれた	再度フォーマット操作(録音用SDカード初期化)を行う	135ページ
ライトプロテクトされています SDメモリーカードを確認してください	SDカードの書き込み禁止スイッチがLock側になっている	書き込み禁止スイッチを解除する	
携帯電話を確認してください	携帯電話・スマートフォンが正しく接続されていない	携帯電話の接続と、「BLUETOOTH設定」を確認してください	66、139ページ
登録されているWi-Fi機器がみつかりません 安全な場所に停車してWi-Fi機器をご確認ください	Wi-Fi通信設定が正しく設定されていない	Wi-Fi通信機器設定を確認してください	141ページ
		Wi-Fi通信機器接続を切断し、再度接続する	142ページ
		AP(アクセスポイント)の11h Management Frame bitを1に、Data Rate設定を8以下にそれぞれ設定してください。設定方法については、Wi-Fi通信機器の取扱説明書をご覧ください	
エラーにより通信できません 安全な場所に停車してWi-Fi機器をご確認ください	登録したWi-Fi通信機器との接続が切断された、または登録したWi-Fi通信機器との接続はされているがWi-Fi通信機器とサーバー間でデータが取得できていない	Wi-Fi通信機器接続を切断し、再度接続する	142ページ
USBの接続を確認してください	接続エラー	一度本機からUSBメモリーを外し、再接続する	114ページ
iPodとの通信ができません 接続を確認してください	通信エラー	一度本機からiPod/iPhoneを外し、再接続する	107ページ

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(4/5)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ディスクを確認してください	ディスクが汚れている、または裏返しになっている	汚れている場合はクリーニングを行う。裏返しになっている場合は正しい向きで挿入する	88、95ページ
	再生可能なディスクではない	別のディスクを試す	
B-CASカードが正しく挿入されていません またはB-CASカードの端子部が汚れている可能性があります 乾いた布で軽く拭いてください	B-CASカードが奥までしっかり入っていない／前後逆向きに入っている／表裏逆向きに入っている／金色端子部が汚れている	添付のB-CASカードを正しく挿入する。または金色端子部を乾いた布で軽く拭く。それでも直らないときは、B-CASカードのテストを行ってください テストに成功した場合アルパインインフォメーションセンターへお問い合わせください テストに失敗した場合B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください	79、85ページ
このB-CASカードは使用できません	B-CASカードが故障している、または交換の必要がある	添付のB-CASカードを正しく挿入する それでも直らないときは、B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください	79ページ
B-CASカードの交換が必要です			
B-CASカードに必要な情報がありません	B-CASカードが故障している、または使用できないB-CASカードが挿入されている	添付のB-CASカードを正しく挿入する それでも直らないときは、B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください	79ページ
B-CASカードのセキュリティ情報にエラーを検出しました			
このB-CASカードでは視聴できません	B-CASカードが対応していない受信方式のチャンネルを選局した	受信可能なチャンネルを選ぶ	
有料放送のため視聴できません	有料放送を受信している	本機では有料放送には対応していないため、受信可能なチャンネルを選ぶ	
データを取得できません	データ放送において閲覧対象のコンテンツが取得できない	再選局を行う	
双方向サービスには対応していません	データ放送受信時に双方向サービス対応のコンテンツ操作を行っている	双方向サービスには対応していないため、双方向サービスではないデータ放送コンテンツを選ぶ	
受信できません	存在しないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
ワンセグ放送がありません	ワンセグ放送を行っていないチャンネルでワンセグ放送を受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
ワンセグ放送のみ受信可能です	受信状態が悪く地上デジタル放送は視聴できない状態であるが、ワンセグ放送であれば視聴可能であるチャンネルを視聴した	ワンセグ放送を視聴する 地上デジタル放送が視聴可能な場所へ移動する	
未対応のサービスです	本機で対応できないサービスを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
放送チャンネルではありません	放送用のチャンネルではないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
このチャンネルは放送を休止しています	定常サービス／臨時サービスにおいて、CHは存在しているが、番組が放送されていないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
TVのスキャンで受信できませんでした	ホームスキャン／お出かけスキャン完了後に、受信可能な放送局が全く無かった場合に表示される	テレビ放送が受信可能な場所へ移動して、再度スキャンを実施する	
	情報更新完了後に一つも番組情報を取得できなかった	テレビ放送が受信可能な場所へ移動して、再度情報更新を実施する	

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(5/5)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
TVの自動サーチを中止します	TVの自動サーチ中にGPS衛星情報が受信できなくなり、自車位置を測定できない	GPS衛星の電波が受信しやすい場所へ移動する	
情報が取得できなかった番組があります	情報更新完了後に一部番組情報を取得できなかった放送局があった	テレビ放送が安定して視聴可能な場所へ移動し、再度情報更新を実施する	82ページ
チューナーの異常高温を検出しましたTV の表示ができません車内の温度が下がるまでお待ちください	車内温度が高すぎる	車内温度を常温まで下げる	
TVのアンテナ接続に不具合があります接続をもう一度確認してください	テレビのアンテナがショートしている	テレビのアンテナの接続方法を確認してください	
HDMI外部機器との通信ができません機器との接続確認または映像の出力操作を行ってください	HDMI機器が正しく接続されていない	一度本機からHDMI機器を外し、再接続する／ HDMI機器側の出力設定を行う	
HDMI外部機器の電源ラインに異常が発生しました接続をもう一度確認してください	接続エラー	一度本機からHDMI機器を外し、再接続する	
非対応データのため再生できません	対応フォーマット以外の映像･音声データになっている	「HDMIについてのご注意」を参照し、本機対応のデータを再生する	191ページ
HDMIモニターとの通信ができません。モニターとの接続確認またはエンジンをOFF/ONしてください	接続エラー	エンジン(ACC)をOFF/ONする。またはHDMI対応モニター側のHDMI接続ケーブルを確認する	
接続HDMIモニター数がオーバーしています接続を確認してください	HDMI対応モニターが6台以上接続されている	HDMI対応モニターの接続数を5台以内にする	105、202ページ
HDMI外部機器との電源ラインに異常が発生しました接続をもう一度確認してください	接続エラー	エンジンをACC OFF/ONする	
異常高温を検出しました車内の温度が下がるまでお待ちください	車内温度が高すぎる	車内温度を常温まで下げる	

操作中の画面にはいろいろなメッセージが表示されます。メッセージには現在の状態を知らせたり次の操作をガイドしたりするもののほか、上記のようなエラーメッセージを表示する場合があります。上記のエラーメッセージが表示された場合は「対処」の内容をよくお読みになり、その指示に従ってください。

AVソースメディアについての注意(1/3)

ディスクについてのご注意

<本機で再生できるディスクについて>

本機では次のディスクが再生できます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ	DVD VIDEO	音声 + 映像(動画)	12cm
音楽CD※	COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	音声	12cm

※ ディスクレーベル面に上記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。
※ 8cmディスクはアダプターを使用しても再生できません。

本機は下記フォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応のフォーマットについて」(193ページ)を参照してください。

	CD-R/CD-RW	DVD-R/DVD-RW	DVD+R/DVD+RW
CDフォーマット	○	—	—
MP3フォーマット("mp3")	○	○	○
WMAフォーマット("wma")	○	○	○
AACフォーマット("m4a")	○	○	○
DVDビデオフォーマット	—	○	○
DVD-VRフォーマット	—	○	—
MPEG4 AVCフォーマット	—	—	—

• ファイナライズ処理されていないディスクは再生されません。

<再生できないディスク>

DVD-RAM・CD-ROM(MP3/WMA/AACファイルを除く)・ビデオCD・フォトCDなど。

<DualDiscについて>

本機はDualDiscには対応しておりません。ディスクの出し入れの際、ディスクに傷がついたり故障の原因になる場合もありますので使用しないでください。

<DVDディスク映像規格について>

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL/SECAM)用のディスクは再生することができません。

<DVDリージョン番号(再生可能な地域番号)について>

本機のリージョン番号は2です。
DVDビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号 2 を含んでいないまたは、 ALL が表示されていないディスクは再生できません。
なお、リージョン番号の設定を変更することはできません。



<DVDディスクに表示されているマークについて>

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。

マーク	意味
②)))	再生できる言語の数を表します。
2	字幕に表示できる言語の数を表します。
3	アングルの数を表します。
16:9 LB / 4:3	選択可能な画像の縦横の比率を表します。 • 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
ALL / 2	再生可能な地域番号を表します。 • 「ALL」は全世界向け、数字は地域番号を表します(「2」は日本向け)。

<コンパクトディスク(CD/CD-R/CD-RW)のご使用について>

CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証はいたしかねます。
また本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-ReWritable)、MP3/WMA/AACファイル形式のCD-R/CD-RWの再生が可能です。

次のようなディスクは再生できないことがあります。
指紋やキズが付いている/車内や製品内に長時間放置した/データ書き込み状態が不安定/データ書き込みに失敗し再録音した場合など。
MP3/WMA/AACファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。

<CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ>

• CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行っているかどうか確認してください。行われていない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度お試しください。
• 同じディスクに音楽データ(CD-DA)とMP3/WMA/AACデータが混在する場合は、音楽データ(CD-DA)のファーストセッションのみが再生されます。
• マルチセッションに対応しております。"Track at once"で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

<DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクのご使用について>

• 本機は、DVD-VideoモードまたはDVD-VRモード(DVD-R/DVD-RWディスクのみ)で記録されたディスクに対応しております。
• ファイナライズ処理(再生専用DVDプレーヤーで再生可能にするための処理)がされていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
• ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては再生できない場合があります。
• 本機には違法コピー検出機能を有しております。違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されないPCソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります。
• 録画に使用したDVDレコーダやDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクの特性、傷、汚れ、またはDVDプレーヤーのピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
• DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。
• DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクのレーベル面や記録面にシール・シート・テープなどを貼らないでください。
• DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクは通常のDVDに比べ高温多湿環境や直射日光に弱く、一部のディスクや長時間車室内に放置したディスクは再生できない場合があります。
• ディスク本体の再生可能な温度範囲は、次のとおりです。
DVD-R/DVD-RW: −25 ～+70℃
DVD+R/DVD+RW: +5 ～+55℃

AVソースメディアについての注意(2/3)

<取り扱い上のご注意(ディスク)>

- 故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。
  盤面にさわらない/直射日光下に置かない/ラベルを貼らない/ホコリやごみが付いたら拭きとる/バリが無いことを確認する/市販のアクセサリーを使わない。
  特にCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWは以下の点について十分に注意してください。
  車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。
- 特殊な形状のディスクは使わない
  必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。
- ディスクのお手入れ
  柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。
- 新品のバリに注意
  ディスクの側面やセンターホール面にバリ(突起)があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

<レンズクリーナーについて>

- レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」(別売)を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用すると、レンズの破損や故障の原因となります。
- DVDメカニズムのピックアップレンズは長期間のご使用の間に汚れが付着し、読み取り精度が劣化する場合があります。レンズクリーナーによる定期的なクリーニングをおすすめします。

HDMIについてのご注意

本機で対応しているHDMI規格は次の通りです。下記以外の動作保証および性能保証はいたしかねます。

- **映像規格**
  入力解像度:720p/480p/480i/VGA
  出力解像度:480p/720p
- **入力音声規格**
  サンプリング:32kHz/44.1kHz/48kHz
- **出力音声規格**
  サンプリング:44.1kHz

SDカードについてのご注意

<再生できるSDカードについて>

- 本機はSDカード・SDHCカードの両方に対応しています。SDカード規格(2GBまで)・SDHCカード規格(32GBまで)に準拠したカードをご使用ください。
- SanDisk製、Panasonic製、東芝製、TDK製のSDカードのご利用を推奨します。
- 高速タイプのSDカード(2GBまで)は、そのままではご使用になれません。SDカードをパソコンで初期化してください。
- 対応ファイルシステム
  FAT 16/32
- 再生可能フォーマット一覧
  本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応のフォーマットについて」(193ページ)を参照してください。
  - MP3フォーマット("mp3")
  - WMAフォーマット("wma")
  - AACフォーマット("m4a")

<取り扱い上のご注意(SDカード)>

- 大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- SDカードの動作保証はしておりません。ご使用の際には、SDカードの使用条件内でのご利用をお願いいたします。
- SDカードは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- SDカードで作成した地点登録ファイルは個人として利用するなどのほか、権利者に無断で使用できません。
- 故障や動作不良をおこさないために次の点を守ってお使いください。また、SDカードの取扱説明書もよくお読みください。
  端子部には手や金属で触れない/強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない/分解したり、改造したりしない/水にぬらさない
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  - 特に以下の点について十分に注意してください。
    車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、SDカードが劣化し再生不能となる場合があります。
- miniSDカード/microSDカードを本機で使用する際は、必ずカードに付属されている専用のアダプターを使用してください。またminiSDカード/microSDカードを取り出す時はアダプターごと取り出し、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

<誤消去防止スイッチについて>

誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集・消去ができなくなります。

<結露にご注意>

寒い車内を急に暖めると、本体内部に露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどSDカードを取り出しておくと正常に動作します。

USBメモリーについてのご注意

<再生できるUSBメモリーについて>

- 本機はUSB Mass Storage Class 対応のUSBメモリーを操作できます。
- USBメモリーは、USBメモリー規格に準拠したメモリをご使用ください。
- 対応USB規格
  USB 1.1/2.0
- 対応ファイルシステム
  FAT 16/32
- 供給電圧
  5V
- 再生可能フォーマット一覧
  本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応のフォーマットについて」(193ページ)を参照してください。
  - MP3フォーマット("mp3")
  - WMAフォーマット("wma")
  - AACフォーマット("m4a")

<再生できないUSBメモリー>

- ハブ付USBメモリーは再生できません。またUSBハブも接続対象外です。

<取り扱い上のご注意>

- USBメモリーの動作保証はしておりません。ご使用の際にはUSBメモリーの使用条件内でのご利用をお願いします。USBメモリーの取扱説明書もよくお読みください。
- また以下のような場所での使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  - 特に以下の点について十分に注意してください。
    車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、USBメモリーが劣化し再生不能となる場合があります。
- USBメモリーは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- USBメモリーは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- USBメモリー規格に準拠したUSBメモリーを使用しても、USBメモリーの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- USBメモリーの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- コピープロテクト(著作権保護)されたファイルは再生できません。
- 複数のパーティションを持つUSBメモリーはサポート対象外です。
- セキュリティ機能を持つUSBメモリーはサポート対象外です。
- 大切なデータはパソコン等を用いてバックアップを取っておくことをおすすめします。

AVソースメディアについての注意(3/3)

iPod/iPhoneについてのご注意

<再生できるiPod/iPhoneについて>

- 本製品は下記の製品のミュージック再生に対応しています。
  Made for
  - iPhone 6
  - iPhone 6 Plus
  - iPhone 5s
  - iPhone 5c
  - iPhone 5
  - iPhone 4s
  - iPhone 4
  - iPhone 3GS
  - iPhone 3G
  - iPod touch (1st through 5th generation)
  - iPod Classic
  - iPod nano (3rd through 7th generation)
- ご使用のiPod 製品名を確認するには、アップルのホームページをご覧ください。
- 最新の接続確認情報は、アルパインホームページをご覧ください。

<取り扱い上のご注意>

- iPod/iPhoneの機能については、iPod/iPhoneユーザーズガイドを参照してください。
- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときにiPod/iPhone を車内に放置すると、iPod/iPhone 故障の原因になります。
- 本製品を使用中にiPod/iPhoneのデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

ウォークマン®についてのご注意

<再生できるウォークマン®について>

- 本機で対応しているウォークマン®は次のとおりです。下記以外の動作保証および性能保証はいたしかねます。
  NW-S310®/A40/A30/ZX100/A20/S10/S10K/ZX2/S15/S15K/S14/S14K/A17/A16/ZX1/F880/S780/S780K/E080/E080K/F800/F800K/F800BT/S770/S770K/S770BT/E060/E060K/Z1000/A860/A850/A840/S760/S760K/S760BT/S750/S750K/S740/S740K/S640/S640K/E050/E050Kシリーズ
  ご使用のウォークマン®の製品名を確認するには、ソニーのホームページをご覧ください。
- 対応ウォークマン®についてはアルパインのホームページをご覧ください。
- 最新の接続確認情報は、アルパインホームページをご覧ください。

※ ウォークマン®本体のボリューム操作で音量レベルが変化します。音量レベルが大きすぎる/小さすぎるときはウォークマン®本体の音量を調整してください。

本機対応のフォーマットについて(1/2)

MP3/WMA/AACについて

MP3	正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。 MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます(サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合)。 このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。
WMA	正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約半分)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。
AAC	AACとは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2およびMPEG4で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。本機ではiTunes®AACファイル(著作権保護されていない)のみ対応しています。

ファイルの規格について

対応規格	MP3: MPEG-1 Audio Layer Ⅲ、 MPEG-2 Audio Layer Ⅲ、MPEG-2.5 WMA: Ver.7.x/8.x/9.x
対応サンプリング周波数	MP3: 8kHz ～ 48kHz WMA: 8kHz ～ 48kHz AAC: 8kHz ～ 48kHz
対応ビットレート	MP3: 8kbps ～ 320kbps WMA: 8kbps ～ 320kbps AAC: 16kbps ～ 320kbps
最大対応サイズ	512MB

- VBRに対応しています。
- フリーフォーマットには対応していません。
- MPEG1・2・2.5でそれぞれビットレートが異なります。
- 低ビットレートのMP3/WMA/AACファイル再生時は十分な音質が得られない場合があります。

ID3タグ/WMAタグについて

ID3タグは、ID3 Tag v1.0・v1.1・v2.2・v2.3・v2.4に対応しています。WMAタグはVer.1.xに対応しています。
タグ情報が付与されているMP3/WMA/AACファイルでは、タイトル名(曲名)・アーティスト名・アルバム名の情報を表示できます。

MP3/WMA/AACを作成するには

MP3/WMA/AACファイルを用意し、メディアに書き込みます。

本機で認識できるフォルダー数の上限	ディスク:256個 SDカード・USBメモリー: 1024個
本機で認識できるフォルダー階層の上限	8階層 フォルダーを階層表示することはできません。 再生できる曲が含まれているフォルダーのみがサーチの対象になります。
本機で再生可能なファイル数の上限	ディスク:999個※ SDカード・USBメモリー: 15000個※ ※ 対応拡張子のファイルであれば本機対応のフォーマットでなくてもカウントされます。

- 収録ファイル数が多いと動作開始まで時間がかかります。そのような場合にはファイル数を減らしてください。
- ダウンロードした音楽ファイルの圧縮フォーマット(.m4a)によっては本機で再生できない場合があります。その場合はパソコン等を使用して、本機対応のフォーマット(AAC/MP3/WMA)への変換をお試しください。

使用できるディスクのフォーマットについて

ISO9660レベル1およびレベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。
ISO9660規格では、フォルダーのディレクトリ階層(最大8階層)やフォルダー/ファイル名の文字数、フォルダー/ファイル名で使用できる文字(A ～ Z、0 ～ 9、_(アンダスコア)、日本語・シフトJIS(ただしシフトJISには非対応文字も存在します))などの制限があります。
またJolietなどのISO9660準拠であれば再生は可能です。ただしファイル名/フォルダー名などは正しく表示されない場合があります。

日本語を含むフォルダー名/ファイル名を使用することもできますが、この場合はJoliet形式(Microsoft社が提唱しているCD-Rの論理フォーマット)で書き込まないと認識できない場合があります。

ファイル名について

本機で再生可能なMP3ファイルの拡張子は“mp3”です。WMAファイルの拡張子は“wma”です(WMAはVer.7.x・8.x・9.xに対応)。AACファイルの拡張子は“m4a”です。ファイル名の最大文字数は255文字(拡張子含む)です。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しております。“Track at once”で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

- 音楽データ(CD-DA)とMP3/WMA/AACデータが混在するディスクでは、ファーストセッションがCDDAの場合はCD-DAのみ再生します。

MP3/WMA/AACの再生について

MP3/WMA/AACファイルが収録されているメディアを挿入すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMA/AACファイルを再生します。ファイルをチェックしている間は、音は出ません。

- DRM(デジタル著作権管理Digital Rights Management)で著作権保護されたファイルは、本機では再生できません。
- 作成したライティングソフトや変換ソフトによっては再生できない場合があります。
- AACファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機ではVer. 11.0.1までのiTunesを使用してエンコードされたAACファイルのみの再生に対応しています。

本機対応のフォーマットについて(2/2)

MP3/WMA/AACの再生時間表示について

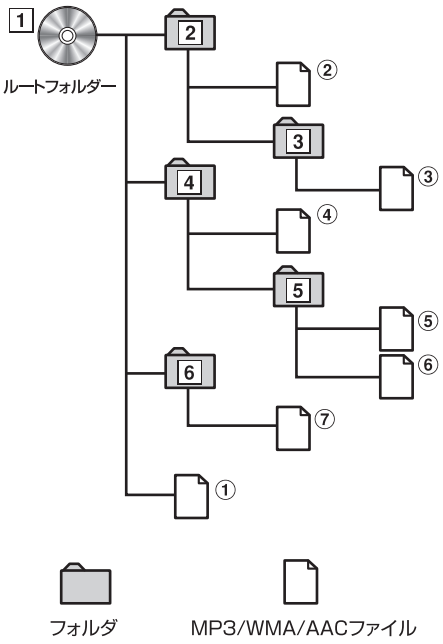
MP3/WMA/AACファイルの書き込み状況により、再生時間が一致しないことがあります。
VBR の早送り/早戻し動作をすると再生時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA/AACファイル、フォルダーの演奏順について(ディスク)

<演奏される順番>

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダー・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです(実際に表示される番号ではありません)。



約款・規約、その他(1/7)

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

(約款の適用)

第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

(契約の単位)

第6条　当センターは、VICSデスクランブラー 1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK－FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

(料金の支払い義務)

第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

(当センターの保守管理責任)

第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

■ 別表

視聴料金　300円(税抜き) ただし、車載機購入価格に含まれております。

マイクロソフトからの使用許諾契約書

下記の使用許諾契約書をよくお読みのうえ、本ナビゲーションを正しくお使いください。

<使用許諾契約書>

本ナビゲーションには、アルパイン株式会社(以下「ALPINE」)のソフトウエアに加え、Microsoft社(以下「MS」)製Microsoft® Windows® AutomotiveがOSを使用したソフトウエア(以下「本ソフトウエア」)が含まれています。本ソフトウエアはコンピューターソフトウエアMicrosoft® Windows® Automotive並びに、それに関連した媒体、印刷物、「オンライン」、電子文書を含むこともあります。本ソフトウエアは無体財産権に関する法律、条約により国際的に保護されております。本ソフトウェアは許諾されるものであり、販売されるものではありません。お客様が本契約書の条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用複製することはできません。本契約は、お客様に以下のことを許諾致します。

- お客様は、本ナビゲーションにおいてのみ本ソフトウェアを使用することができます。

約款・規約、その他(2/7)

- 本ソフトウェアは提供時の現状のままで、そこに含まれるあらゆる瑕疵とともに提供されるものであり、品質、性能、正確性その他不適切な取扱に伴う危険について何ら保証致しません。お客様が本ソフトウェアを使用する際支障をきたすことや、また、本ソフトウェアが第三者の無体財産権を侵害していないことについても何ら保証致しません。
- 法律の許す限りにおいて、本ソフトウェアの使用から生ずるいかなる損害(間接損害、特別損害、結果損害、偶発損害)についても、一切責任を負わないものとします。
- 本ソフトウエアに音声認識　および　音声制御機能が含まれている場合、お客様は音声認識　および　音声制御機能は本質的には統計的な手法であること、音声認識、制御の際の誤りはその過程上本質的に存在すること、その音声認識　および　音声制御機能の誤りに起因するあらゆる損害の法的責任はお客様にあること承諾されたものとします。
- お客様が、本ソフトウェアにつき、リバースエンジニアリング、逆コンパイルその他解析作業を行なうことは禁じられます。但し、法律が明示的に許諾する範囲においてはこの限りではありません。
- 別途契約書が提示されない限り、本ソフトウェアのバージョンアップ品または付属品についても本契約が適用されるものとします。
- お客様に、復元または再インストールのためのソフトウェアが別媒体によって提供された場合、お客様は、提供されたソフトウェアを、復元または再インストールのためにのみ使用できるものとします。
- バージョンアップソフトウエアが別媒体やWEBからのダウンロード、もしくは他の手段で本ナビゲーションと別に提供された場合、お客様は提供されたソフトウエアを一部複製し、既存のソフトウエアの代わりとして、本ナビゲーションにインストールできます。また、そのアップグレードソフトウエアは添付の仕様許諾契約書の追加条項も含めた使用許諾契約書に従って使用できるものとします。
- お客様が、この使用許諾契約書の条項と条件を厳守されない場合は、他のいかなる権利も失うことなく、この使用許諾契約書の契約を終わらせることができます。契約終結時、お客様はソフトウエアの全ての複製と部品を壊すこととなります。
- 本ソフトウェア、添付の印刷物、その複製物に含まれる全ての権利や無体財産権(画像、写真、アニメーション、ビデオ、オーディオ、音楽、テキスト、ソフトウェアに組み込まれている「アプレット」も含めて)、は、各コンテンツのオーナーの財産であり、著作権法あるいは無体財産権に関する法律と条約によって保護されています。この使用許諾契約書は、お客様にこのようなコンテンツを使用権を許諾してはいません。特にこの使用許諾契約書のもとで認可されていない全ての権利は、ALPINEとMSによって留保されます。ソフトウェアを通じてアクセスできるオンラインサービスの使用は、そのようなサービスに関連して使用のための各条項で管理されています。このソフトウェアが電子形式のみで提供されるドキュメンテーションが含まれている場合は、そのような電子ドキュメンテーションを一部のみ複製印刷できます。
- 本使用許諾契約書では、ALPINE、MSの登録商標やサービス商標の使用権利を許可しません。
- 製品や本使用許諾書に関してのお問い合わせは、本ナビゲーションの取扱説明書に記載されているアルパインインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- お客様は、本契約に基づいて、本ソフトウェアの使用の権利を譲渡できるものとします。ただし、譲受者は本使用許諾契約書の条項と条件に同意することを条件とします。また､本ソフトウェアがバージョンアップしている際は、以前のバージョン含めたものも含め譲渡し、本ナビゲーションと分けての譲渡することはできません。
- 本ソフトウェアはアメリカ合衆国で製品化されたものを含んでいます。お客様は、アメリカ合衆国の輸出管理規制およびアメリカ合衆国その他の政府が発する輸出地に関する規制等、本ソフトウェアに適用される輸出に関する国際的、国内的規制を遵守することに同意されたものとします。

交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください

この取扱説明書では、安全にかかわる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して記載しています。

⚠警告

その危険を回避できなかった場合に、死亡又は重傷を負う可能性のあるもの

- 運転者は走行中に操作をしないでください。
- 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 操作は安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
- 安全な場所以外では追突･衝突されるおそれがあります。
- 運転中は画面を注視しないでください。
- 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 常に実際の道路状況や交通規制標識･標示などを優先して運転してください。
- 本商品に収録されている地図データ･交通規制データ･経路探索･音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 一方通行表示については常に実際の交通規制標識･標示を優先して運転してください。
- 一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
- 本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

路線別データ使用規約

本使用規定(「本規定」)は、アルパイン株式会社が提供する「高速道配信」サービスにより配信される「地図データ」(「本データ」)の提供元である株式会社ゼンリン(「弊社」)とお客様間の、本データの使用許諾条件を定めたものです。本データのダウンロード前に必ずお読みください。なお、お客様が本データをダウンロードされた場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

<使用規定>

1. 弊社は、お客様に対し、お客様自身が管理使用するアルパイン株式会社製「EX11Z/XF11Z/EX10Z/EX9Z/X9Z/X9ZA/X8Z/7WZシリーズ」(「機器」)１台に限り、本データを以下のいずれかの方法によりインストールし、機器の取扱説明書(「取説」)および本規定の定めに従い使用することを許諾します。なお、お客様は、本データの機器へのインストールを一部でも開始した場合は、本データをインストールする機器を変更できないものとします。
   「パソコン経由でのインストール」
   (1) お客様自身が管理使用するパソコン１台に限り、本データをダウンロード(複製)する。
   (2) 上記(1)に従いパソコンにダウンロード(複製)した本データを、SDカードにコピー(複製)する。
   (3) 上記(2)に従いSDカードにコピー(複製)した本データを、当該SDカードを機器に挿入し、機器にコピー(複製)する。
   「携帯電話経由でのインストール」
   お客様自身が管理使用する携帯電話を通じて本データをダウンロードし、機器にコピー(複製)する。
2. お客様は、本データのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
   (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本データを使用すること。
   (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
3. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
   (1) 本データの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属し、お客様は、本データに関して、本規定で許諾される権利以外の一切の権利を有しないこと。
   (2) 本データおよび本データを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本データの交換･修補･代金返還その他の責任を負わないこと。
   (3) 本データに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、弊社の故意または重過失による場合を除き、お客様が直接被った現実かつ通常の損害の賠償に限られ、また、機器の対価としてお客様がアルパイン株式会社またはその販売代理店に対して現実に支払った金額を限度とすること。なお、この規定は、本データに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
   (4) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
   (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本データの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信することまたは同時に２台以上の機器で使用すること。
   (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡･レンタル･リースその他方法の如何を問わず、本データ(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
   (3) 本データをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
   (4) その他本データについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

約款・規約、その他(3/7)

地図データについて

収録データについて

収録されているデータ情報及び作成年月	
高速・有料道路	2017年12月
国道・都道府県道	2017年10月
高速・有料道路料金データ	2017年12月
交差点情報(ランドマーク・名称)	2017年11月
交通規制データ	2017年11月
VICSリンク開示	2017年11月
電話番号検索(タウンページ)	2017年11月
電話番号検索(ハローページ)	2017年8月
市街地図データ	2017年7月
住所検索データ	2017年11月
目的地情報(文字情報)	2017年10月
一般道レーン情報	2017年11月
都市高速入口案内データ	2017年3月
3Dジャイロ用昇降データ	2017年12月
静止画3Dリアル交差点データ(作成日)	2017年9月
動画3Dリアル交差点データ(作成日)	2017年10月
VICS交通統計データ(データ鮮度)	2016年10月1日～2017年9月30日
収録データ件数	
住所検索件数	約3,650万件
電話番号検索データ数(タウンページ)	約700万件
市街地図格納都市数	1,102都市
VICS交通統計データ(距離数)	約8万km
ハローページ収録件数	約1,455万件
交差点拡大対象交差点数	約81万件
郵便番号件数	約15万件
最寄り検索総数	約17万件

<収録データの補足説明>

- 「個人宅電話番号・名称データ」による「電話番号」検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で検索が可能です。なお、検索された物件の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。また電話番号非公開訪問先宅(データ収録外物件)については入力電話番号「局番」周辺の位置検出となります。
- 「住所検索データ」による「住所」検索は住所の整備状況により一部検索出来ない住所があります。また検索された住所の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。
- 「50音データ」および「タウンページ電話番号データ」によるピンポイント検索は、国土地理院発行地図の番号未掲載や電話番号登録時の状況により周辺地域による位置検出となる場合があります。
- 市街地カバー面積は収録地域によって全域をカバーしていない場合があります。

地図・情報について

このアルパインナビゲーションシステムの「地図」は「全国デジタル道路地図データベース」と「交通規制データベース」をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報(高速道路・有料道路は2017年12月までに、国道・都道府県道は2017年10月現在までに)を網羅し、作成したものです。
本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。
地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。
現在、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、以下の地区において地図データ更新を停止しております。
南相馬市／浪江町／双葉町／大熊町／富岡町／楢葉町／飯舘村／葛尾村

<地図版権について>

- このナビゲーションに搭載されている地図の内容の一部または全部の複製を禁じます。
- ©2018　一般財団法人日本デジタル道路地図協会
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しました。(承認番号　平29情使、第444－B82号)
- この地図作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認　12-0040、12-0060)
- 3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。(承認番号 平29情使、第26-001号)
- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
(予測データ提供元:NTTデータ、予測の元となる情報:JARTIC/VICSセンター)

© 2018 ZENRIN CO., LTD.
© 2017 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2017 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2018 ALPINE ELECTRONICS, INC.

個人宅電話番号・名称データについて

個人宅電話番号・名称データはおおむね2017年8月までに収集されたデータを使用しています。

※ 個人情報保護に関する基本方針およびナビゲーション地図に搭載されている個人データの取り扱いについては下記アドレスのホームページをご覧ください。
https://www.alpine.co.jp/

セキュリティ設定について

セキュリティコードを設定すると、盗難被害に遭ってナビを取り外されても、セキュリティコードを入力しないと本機を使用できません。セキュリティコードを設定することをお勧めします。

アドバイス

- 設定方法は「セキュリティ設定」(130ページ)を参照してください。

カーナビゲーションに記録されるデータについて

カーナビゲーションは、お客様ご自身の操作によりSDカードやメモリーに記録される「地点情報」や「走行軌跡」の他にも、製品の修理等に役立てることを目的に、自動的に記録されるデータがあります。

① カーナビゲーションが自動的に記録するデータ
電源がONの状態で下記データを自動的に記録します。
- 目的地設定履歴　等

② 記録されたデータの開示について
弊社および弊社関連会社(開発委託先・サービス会社等)は、カーナビゲーションに記録されたデータを製品の修理、カーナビゲーションの研究開発を目的に取得・流用することがあります。
また、弊社および弊社関連会社は、以下の場合を除き、取得したデータを第三者に開示・提供することはありません。
- カーナビゲーションを所有するお客様ご自身の同意がある場合。
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合。
- 統計的な処置を行う等、使用者が特定されないように加工したデータを研究機関等に提供する場合。

FM VICS情報が受信できる代表的な周波数

全国のNHK FM放送局と同一周波数で放送しています。

- 情報提供地域の違いによって情報内容が異なります。詳しくはVICSのホームページをご覧ください。

約款・規約、その他(4/7)

VICSに関するお問い合わせ

- VICSの概念・計画、表示された情報内容、文字・図形情報の表示内容については
  VICSセンター お客様相談窓口
  【電話番号】0570-00-8831(PHS、IP電話等からは利用できません)
  【受付時間】平日 9:30～17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
  【FAX番号】03-3562-1719(24時間受付)
  【URL】https://www.vics.or.jp/
- 地図表示のサービスエリア・受信可否・車載機の調子・機能・使い方についてはアルパイン　インフォメーションセンターへお問い合わせください。

Gracenoteについて

Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。
Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、
Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。
Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000-present Gracenote.Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote.
本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国におけるGracenote Inc. の登録商標または商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:www.gracenote.com/corporate

- 「Gracenote®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。

gracenote.

Gracenote®エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenoteソフトウェアや Gracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、GracenoteのサービスにGracenoteプライバシー ポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

電波に関する注意事項

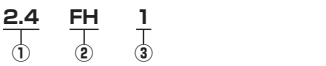
この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、アルパイン　インフォメーションセンターまでご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談してください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、アルパイン　インフォメーションセンターへお問い合わせください。





① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します
② 「FH」変調方式を表します
③ 「1」想定される与干渉距離(約10m)を表します

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、オープンソフトウェアを含んでいます。

Independent JPEG Group License

LEGAL ISSUES

==========

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.

All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no -warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA.

ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf.

It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable.

The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install -sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software.

(Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files.

To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

> "The Graphics Interchange Format (c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF (sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

LZF

Copyright (c) 2000 -2008 Marc Alexander Lehmann <schmorp@schmorp.de>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the GNU General Public License ("GPL") version 2 or any later version, in which case the provisions of the GPL are applicable instead of the above. If you wish to allow the use of your version of this file only under the term s of the GPL and not to allow others to use your version of this file under the BSD license, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the GPL. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the BSD or the GPL.

約款・規約、その他(6/7)

wpa_supplicant

Copyright (c) 2002-2012, Jouni Malinen <j@w1.fi> All Rights Reserved.

Copyright (c) 2002-2004, Instant802 Networks, Inc.

Copyright (c) 2005-2006, Devicescape Software, Inc.

Copyright (c) 2011-2012, Qualcomm Atheros

Copyright (c) 2011-2012, Qualcomm Atheros, Inc.

Copyright (c) 2009-2011, Atheros Communications, Inc.

Copyright (c) 2009-2011, Atheros Communications

Copyright (c) 2007-2012, Intel Corporation

Copyright (C) 2008-2010 The Android Open Source Project

Copyright (c) 2004-2005, Sam Leffler <sam@errno.com>

Copyright (c) 2004, Video54 Technologies

Copyright (c) 2004, 2Wire, Inc

Copyright (c) 2007, Johannes Berg <johanne s@sipsolutions.net>

Copyright (c) 2008-2009 Jouke Witteveen

Copyright (c) 2004, Gunter Burchardt <tira@isx.de>

Copyright (c) 2009-2010, Dan Harkins <dharkins@lounge.org>

Copyright (c) 2009-2012, Masashi Honma <masashi.honma@gmail.com>

Copyright (c) 2006, D an Williams <dcbw@redhat.com> and Red Hat, Inc.

Copyright (c) 2009-2010, Witold Sowa <witold.sowa@gmail.com>

Copyright (c) 2011, Kel Modderman <kel@otaku42.de>

Copyright (c) 2014 Toshiba Corporation

Copyright (c) 2014 Toshiba Corporation Semiconductor & Storage Products Company

Copyright 2007 Andy Green <andy@warmcat.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name(s) of the above -listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2003, 2004 David Young. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of David Young may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY DAVID YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL DAVID YOUNG BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation

Copyright (c) 2006-2007 Sony Corporation

Copyright (c) 2008-2009 Atheros Communications

Copyright (c) 2009-2010, Jouni Malinen <j@w1.fi>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Sony Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2000 -2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

EGL

* Copyright (c) 2008 -2009 The Khronos Group Inc.

* Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and/or associated documentation files (the "Materials"), to deal in the Materials without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Materials, and to permit persons to whom the Materials are furnished to do so, subject to the following conditions:

* The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Materials.

* THE MATERIALS ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
* IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE MATERIALS OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE MATERIALS.
*

vecmath

Copyright (C) 1997, 1998, 1999 Kenji Hiranabe, Eiwa System Management, Inc.

This program is free software.

Implemented by Kenji Hiranabe (hiranabe@esm.co.jp), conforming to the Java (TM) 3D API specification by Sun Microsystems.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. Kenji Hiranabe and Eiwa System Management, Inc. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "AS IS" with NO WARRANTY.

Loki Library

The Loki Library

Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu

This code accompanies the book:

Alexandrescu, Andrei. "Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied". Copyright (c) 2001. Addison-Wesley.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The author or Addison-Wesley Longman make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

STL

Copyright (c) 1992-2007 by P.J. Plauger. ALL RIGHTS RESERVED.

Consult your license regarding permissions and restrictions.

This file is derived from software bearing the following restrictions:

Copyright (c) 1994 Hewlett-Packard Company

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

Hewlett-Packard Company makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

V5.03:0009

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008) Copyright (C) [dates of first publication] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THEWARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

保証について/規格(1/3)

<保証書について>

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げの日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

- 調子が悪いときは、この取扱説明書や「完全操作ガイド」(裏表紙参照)でもう一度ご確認ください。
- それでも調子が悪いときは、保証書記載(裏面)に従い修理させていただきますので、お買い上げ店または「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品は、製造打切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げのお店または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 修理によって登録内容が消去される場合があります。修理を依頼する前には、必ず登録している内容の控えを取ってください。

<規格/付属品>

ナビゲーション部

受信周波数	GPS:1575.42MHz±1.023MHz GLONASS:1597.807MHz～1605.6305MHz
受信感度	−130dBm

モニター部

画面サイズ(アクティブエリア)(幅×高さ)	EX11Z	11型　232.70×130.90mm
	XF11Z	11型　237.12×133.38mm
	EX10Z	10型　223.68×125.82mm
	EX9Z	9型　198.72×111.78mm
	X9Z/X9ZA	9型　201.60×108.00mm
	X8Z	8型　176.64×99.36mm
	7WZ	7型　156.60×81.60mm
表示方式	EX11Z/EX10Z/EX9Z/X8Z	透過型AHVA液晶
	XF11Z/X9Z/X9ZA	透過型FFS液晶
	7WZ	透過型TN液晶
駆動方式		TFTアクティブマトリクス
画素数	EX11Z/XF11Z/EX10Z/EX9Z/X9Z/X9ZA/X8Z	2,764,800画素
	7WZ	1,152,000画素
有効画素数		99.99%以上
使用光源		LEDバックライト方式

地上デジタルテレビ・チューナー部

受信周波数	470～710MHz
回路方式	PLL周波数シンセサイザー
受信チャンネル	UHF13～52チャンネル
受信感度	−85dBm

ラジオ・チューナー部

受信周波数	AM:522～1629kHz
	FM:76.0～95.0MHz
実用感度	AM:30dBμV(20dB S/N)
	FM:5dBμV(3% THD)

FM VICSチューナー部

受信周波数	FM:76.0～90.0MHz

BLUETOOTH部

BLUETOOTHバージョン	Bluetooth3.0
対応プロファイル	HFP、OPP、PBAP、A2DP、AVRCP、SPP
出力	+4dBm(Power Class2)

HDMI入力部

対応I/F	480p(720×480p　@59.94Hz/60Hz) 480i(1440×480i　@59.94Hz/60Hz) 720p(1280×720p　@59.94Hz/60Hz) VGA(640×480p　@59.94Hz/60Hz)

HDMI出力部

対応I/F	720x480p @ 59.94/60Hz(4:3) 720x480p @ 59.94/60Hz(16:9) 1280x720p @ 59.94/60Hz(16:9)
接続可能台数	最大5台

DVD/CD部

方式	光学式(コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	DVD2チャンネルダウンミックス/CD2チャンネル(ステレオ)
ダイナミックレンジ	95dB(1kHz)以上
高調波歪率	0.008%(1kHz)以下
チャンネルセパレーション	90dB(1kHz)以上
ワウフラッター	測定限界以下
信号システム	NTSC
水平解像度	500本以上
画像出力レベル	1Vp-p(75Ω)
画像SN比	DVD:70dB
音声SN比	95dB
周波数特性	5～20kHz

SDカード部

ファイルシステム	FAT 16/32
再生信号圧縮方式	MP3、WMA、AAC

保証について/規格(2/3)

USBメモリー部

ファイルシステム	FAT 16/32
再生信号圧縮方式	MP3、WMA、AAC
供給電圧	5V

Wi-Fi通信部

対応規格(周波数帯域)	IEEE 802.11 b/g/a/n(2.4/5GHz)
対応チャネル	2.4GHz:1 ～ 13ch 5GHz:100 ～ 140ch(W56のみ)
セキュリティ方式	Open System/WEP/WPA Personal/ WPA2 Personal

総合

電源電圧		DC14.4V(動作範囲:11 ～ 16V)マイナスアース
最大出力		50W×4
プリアウト出力(音声最大出力レベル)		2V/10kΩ(最大)
動作温度範囲		−20° C ～ +60° C
外形寸法※1(幅×高さ×奥行)	X9Z/X9ZA	235.5mm×134mm×188mm ノーズ部: 227.3mm×127.3mm×37mm 筐体部: 178mm×100mm×151mm
	XF11Z	270.8mm×177.2mm×234.5mm(最大) ノーズ部: 270.8mm×177.2mm×20mm 筐体部: 178mm×100mm×169.5mm 接続部: 35mm、45mm
	X8Z	197mm×124.5mm×190mm ノーズ部: 190.5mm×120.5mm×39mm 筐体部: 178mm×100mm×151mm
	7WZ	205.5mm×104mm×178mm ノーズ部: 197mm×97mm×27mm 筐体部: 178mm×100mm×151mm
重量	X9Z/X9ZA	約3.1kg
	XF11Z	約4.0kg
	X8Z	約3.0kg
	7WZ	約2.8kg
付属品		取扱説明書・取付説明書※2・保証書類一式・取付部品一式(取付説明書参照※2)

※1 EX11Z/EX10Z/EX9Zシリーズは車種毎に寸法・重量が異なります。
※2 XF11Z/X9Z/X9ZA/X8Z/7WZシリーズ

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

- This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation, a TiVo company.
  Reverse engineering and disassembly are prohibited.
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アルパイン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Microsoft、Windows、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。
- 本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、http://mp3licensing.comにアクセスしてください。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または、登録商標です。
- Apple, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- SDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- ITS Japan は一般社団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- 本製品には、株式会社ACCESS のNetFront Browser DTV Profile BML Edition を搭載しています。
- ACCESS、NetFront は株式会社ACCESS の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™ロゴは、Wi-Fi Alliance®の認証マークです。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 本地図上に表示される各社のロゴは、ビジネス上の所在地を示すものです。本製品におけるロゴの使用は、本製品と各社の間のスポンサー関係、承認、推奨することを何ら示すものではありません。

<次の点にご留意ください>

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

保証について/規格(3/3)























ワイドFM









地図マーク一覧

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	病院		マリーナ、ヨットハーバー		山
	学校		交差点		史跡、名所
	郵便局		冬期規制区間		公園
	消防署		商業施設		動物園
	警察署		ホテル		植物園
	都道府県庁		銀行		水族館
	市役所、区役所		工場、工場敷地		遊園地、テーマパーク
	町村役場		教会		博物館
	官公署(特定記号無)		神社		図書館
IC	インターチェンジ、ランプ		寺		美術館
SA	サービスエリア		墓地		ガソリンスタンド
PA	パーキングエリア		温泉		カー用品店
JCT	ジャンクション		海水浴場		国防施設(自衛隊、米軍など)
出	ランプ出口		スキー場		JRA競馬場、ウインズ
¥	料金所(スマートIC含む)		ゴルフ場		レジャー一般
	駐車場		運動施設(スタジアムなど)		事故多発地点記号
	飛行場		城、城跡		路上パーキングメーター
	港、フェリー発着場		キャンプ場		その他施設

- **情報検索精度について**
  電話番号検索および50音検索などは、電話番号登録時の登録内容によっては、該当する施設付近を表示する場合があります。本機に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があります。使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。
  本機は天変地異による規制には対応しておりません。該当する地域周辺を走行される場合は警察・交通情報センター等にご確認ください。
- **地図データベースについて**
  地図データベース上、最終更新されたものを使用していますが、地域によっては最終更新日が古い場所も存在し、現在の状況と異なる場合があります。
- 交差点拡大図に表示される地図マークは形状が異なる場合があります。

クイックセットアップ(販売店設定)について

販売店設定は本機取り付け時に販売店で行いますので、通常は操作の必要はありません。クイックセットアップを初期化した場合、本設定を行ってください。本機初回起動時に設定画面が表示されます。

クイックセットアップ(販売店設定)をする

本機の初回起動時にクイックセットアップ(販売店設定)画面が表示されます。

1 「ようこそ」画面が表示されたら はじめる をタッチする

「車種専用チューニング」をする

車種専用チューニングは本機をご購入された販売店で設定完了いたしますので、通常は設定する必要はありません。万が一設定が間違っていたり、本機を他の車に取り付けたりなど、再設定が必要な場合は「車種専用チューニング画面について」(134ページ)を参照してください。データをダウンロードすることもできます。「データ更新について(Wi-Fi)」(144ページ)、「データ更新について(メディア)」(146ページ)を参照してください。

車に合わせた設定を行います。本機にプリセットされている車種から設定します。

① お車のメーカーを選択 → 決定 → 車種を選択 → 決定

② 接続機器の設定

- リアカメラ※1:カメラの製品名または カメラあり カメラなし → 決定
- インターフェースボックス※2: あり または なし → 決定
- サイドカメラ/コーナーカメラ※2:カメラの製品名または カメラなし → 決定
- サブウーファー: あり または なし → 決定
- ステアリングリモコン※3: 設定する または 設定しない → 決定
- リアビジョン※4: あり または なし → 決定

③ 設定内容を確認 → 決定 → メッセージを確認 → はい → 閉じる※5 → 再起動

※1 汎用カメラを接続する場合は カメラあり に設定してください。

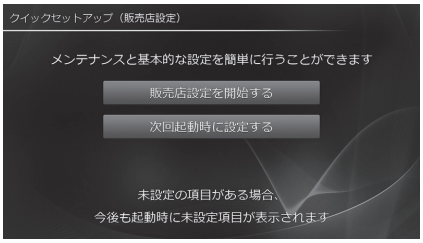
※2 選択した車種にサイドカメラ設定がない場合またリアカメラ接続を カメラあり に設定した場合は、インターフェースボックス接続/サイドカメラ接続設定を行うことはできません。選択した車種にコーナーカメラ設定がない場合は、コーナーカメラ接続設定を行うことはできません。

※3 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合、ステアリングリモコン設定画面は表示されません。

※4 リアビジョンをHDMI接続している場合のみ、リアビジョン選択画面が表示されます。

※5 選択した車種により 閉じる の操作を行わない場合があります。

2 販売店設定を開始する をタッチする



- 次回起動時に設定する にタッチすると、お客様向けクイックセットアップ画面が表示され、次回起動時に再びクイックセットアップ(販売店設定)が表示されます。
- リアビジョンを接続されている場合で、リアビジョン側の設定に[コーディネートカラーコントロール/プラズマクラスターコントロール]設定がある場合は、本設定を行う前に必ずリアビジョン製品側を[ナビ]に設定してください。

3 各項目の設定をする

「販売店設定」をする

本機を取り付けした販売店の設定を行います。登録すると販売店へのルート検索・誘導が簡単にできます。

設定する → 地図から / 電話番号から / 住所から → 登録 → 次へ→

「メンテナンス」をする

エンジンオイル・タイヤなど車両に関する各種点検時期を画面表示することができます。

設定する → 設定項目を入力 → 完了 → ⮌ → 次へ→

- 車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

「カメラダイレクトキー設定」をする

別売のカメラダイレクトキー(HCE-CS100G)を接続した場合には あり に設定します。

初期設定値: なし

4 全ての項目の設定が完了したら 終了 をタッチする

5 メッセージを確認して、設定を終了する場合には はい をタッチする

索引(1/3)

五十音順

あ

アートワークアニメーション表示 …… 129
アートワーク自動取得 …… 127
明るさ……136, 164
空き道表示 …… 115
アクティブルートサーチ …… 13, 120
アクティブルートサーチ案内音声割込み …… 120
(圧縮)フォーマットについて …… 193
アニメーション表示 …… 129
アロマ……166
案内開始……7, 39, 40, 47
案内図表示……118
案内地点マーク一覧……50
案内誘導設定……118

い

位置情報 …… 59
一括インストール……145, 147
一括ダウンロード …… 144
一般 …… 47, 50
緯度・経度 …… 44
イルミネーション連動設定 …… 129
色の濃さ ……136, 164
インストール……147
インターフェースボックス ……124, 172

う

ウォークマン® …… 106
ウォークマン®についてのご注意 …… 192
迂回エリア考慮……121
迂回距離 …… 121
迂回する地点……57
迂回地点 …… 58
裏番組情報取得設定……84

え

英語案内表示……53
英語設定 …… 129
エネルギーモニター……172
エネルギーモニター接続……124

お

オーディオ自動接続……139
オーディオモード画面への割込み …… 122
オープニング画像……134
オープニングサウンド……134, 137
お気に入り……42
お気に入り画面をカスタマイズする …… 43
お知らせ開始距離……153
お知らせ開始日……153
お知らせ設定……153
お知らせ日……153
お問い合わせ……154
オプションキー……35, 130
音質調整 …… 131
音声案内 …… 54
音声案内設定……118
音声言語 …… 92
音声情報読み上げ……64
音声読み上げ……137
音量調整 …… 137

か

ガイド音声音量設定……2, 137
外部接続機器選択……123
外部入力 …… 114
外部ハンズフリーマイク …… 138
各種設定 …… 115
角度調整 …… 34
各部の名称 …… 26
画質調整 ……136, 164
カメラダイレクトキー設定 …… 124, 206
カメラについて……15, 158
カメラ表示地点……57, 58
画面OFF …… 35, 130
画面カラー変更……130
画面サイズ……136

幹線 …… 47, 50
カントリーコード …… 92

き

規格 …… 202
機器探索 …… 142
機器探索結果リスト……143
機器登録 ……140, 143
機器名 入力登録……143
気象警報/災害エリア …… 64, 151
気象警報・災害エリア表示 …… 64, 116
規制 …… 64
規制エリア……151
規制エリア表示……64, 116
規制考慮 …… 47
規制マーク……63
規制マーク表示……116
軌跡情報を消去……115
軌跡表示 …… 115
基本情報 …… 59
行政界色分け …… 116
距離補正 …… 129
緊急警報放送(EWS)の割込み …… 85
緊急情報画面 …… 64

く

クイックセットアップ ……2
クイックセットアップ状態初期化 …… 130
クイックセットアップ(販売店設定) …… 206
クロスオーバー……133

け

携帯電話を接続する……66
経由地スキップ……50
経由地編集 …… 49
経路設定 …… 120
県域設定 …… 84
現在地 …… 57
現在地画面 ……5
県境案内 …… 118

こ

広域 ……5
交差点拡大図……51
更新履歴 …… 149
後席個別TV・DVD・HDMI …… 123, 167, 169
後席スピーカー音量……167
後席操作音 …… 137
後席表示設定 …… 167
高速渋滞モード……8
高速・有料モード地図 …… 117
交通情報 …… 151
交通情報を聴く……78, 86
行程ガイド……9
行程ガイド施設マーク …… 55
行程ガイドマーク……55
合流案内 …… 118
コーナーカメラ……163
コーナーカメラガイド調整 …… 126
コーナーカメラ接続……125
コーナーカメラソナー連動 ……125, 126
固定ガイド……125
固定ガイド線……15, 159
困ったときは(よくあるご質問) …… 178
コントラスト……136, 164

さ

災害エリア……64, 151
サイドカメラ……162
サイドカメラガイド調整 …… 126
サイドカメラ接続……124
サイドカメラ地点連動表示 ……124, 126
細街路オートスケール……117
サブウーファー設定……133
サブウーファーレベル……131
残距離音声案内……118

し

時間曜日規制考慮……121
自機情報……141
自機情報編集……139
事故多発警告案内……118
自車位置修正……130
自車マーク……5, 117
システム保存……153
施設の詳細情報画面について……46
自宅へ帰る……44
自宅を登録する……2, 56
自宅を登録する(特別地点) …… 57
自動更新情報確認……3, 142
自動サーチ設定……84
自動サーチモード……84
自動着信……138
自動着信時間……138
自動ハイウェイモード …… 117
シネマ …… 136
字幕言語 …… 92
シャープネス……136
車種選択 …… 134
車種専用サウンド……131
車種専用チューニング…… 134, 144, 146, 206
車両情報 ……119, 153
ジャンル……45
住所 …… 44
住所名称 …… 45
渋滞学習 …… 122
渋滞・混雑表示 …… 115
渋滞情報 …… 62
渋滞推測(空き道)表示……116
渋滞推測(渋滞・混雑)表示 …… 116
渋滞線明滅表示……116
充電施設 …… 152
充電施設マーク……63
周辺 …… 41, 45
周辺迂回 …… 50
周辺検索 …… 42, 45
縮尺 …… 4, 5
受話音量 …… 137
条件変更 …… 50
詳細 ……5
詳細案内図表示……118
詳細情報 …… 59
情報保持時間……122
情報割込み …… 122
初期値(DVD) …… 93
信号・交差点 …… 118

す

推奨 …… 47, 50
推奨⇔推奨(有料優先)切換……47
数字を入力する……177
スクリーン設定……93
スクロール方面表示……117
ステアリングリモコン …… 38, 123
ステアリングリモコンカスタムモード …… 38
ステアリングリモコンキー割り当て …… 123
ステアリング連動ガイド …… 125
ステアリング連動ガイド線 …… 15, 159
スマートIC利用……120
スマートフォンナビ連携機能 …… 75
スマートフォンを接続する …… 66

せ

セキュリティ設定 …… 130
接続機器変更(BLUETOOTH) …… 140
接続状態(Wi-Fi) …… 141
全情報初期化 …… 130
前席操作音 …… 137
全設定項目初期化……130
全ルート表示……48

そ

走行距離リセット……153
走行連動地図切換……117
送話音量 …… 137
ソース別音量調整……133
その他設定 …… 128

た

タイムコレクション …… 133
ダウンミックス……93
ダウンロード……144
タッチスイッチの操作について …… 33

索引(2/3)

ダブルゾーンコミュニケーション …… 14, 170
ダブルゾーンサウンドコントロール …… 14, 123, 171
ダブルゾーンを設定する …… 167
短縮時間 …… 120
短縮ダイヤル …… 70

ち

地域設定 …… 84
地上D⇔ワンセグ自動切換 …… 84
地図切換 …… 9
地図更新状況 …… 154
地図更新について …… 148
地図色切換 …… 116
地図色昼/夜切換 …… 116
地図スケール切りかえ …… 5
地図データ(更新) …… 65, 148
地図データについて …… 197
地図の文字サイズ変更 …… 117
地図表示設定 …… 115
地図マーク一覧 …… 205
地点登録 …… 56, 57
着信音量 …… 137
着信全画面割込み …… 138
着信・通話画面情報表示 …… 138
着信履歴 …… 69
駐車場情報 …… 152
駐車場マーク …… 62
チューニング …… 47, 50

て

ディスクについてのご注意 …… 190
ディスプレイ誤操作防止 …… 128
ディスプレイの角度調整のしかた …… 34
データ更新 …… 144, 146, 149
デモ走行 …… 48
デモ走行速度設定 …… 119
テレビ受信状態マーク …… 81
テレビ設定画面 …… 84
テレビを見る …… 79
電源ON/OFF …… 33
電話設定 …… 138
電話帳から電話をかける …… 69
電話帳読み込み …… 70, 71
電話番号 …… 44
電話番号を入力して電話をかける …… 69
電話を受ける …… 67
電話をかける …… 67

と

冬期規制アイコン表示 …… 117
冬期閉鎖区間考慮 …… 121
到着予想時刻音声案内 …… 118
到着予想時刻速度設定 …… 118
登録地点 …… 46, 58
登録地点・特別地点詳細情報画面 …… 59
登録地点編集画面 …… 58
特別警報 …… 5, 151
特別警報アイコン表示 …… 122
特別地点 …… 57, 58
時計表示 …… 128
時計表示設定(映像ソース) …… 16, 128
時計表示設定(ナビ画面) …… 128
トップビュー …… 161, 162
トラブルシューティング(故障かな?と思ったら) …… 181
トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法) …… 185

な

ナビ案内画面割込み …… 119
ナビ音声案内時のAV音量ミュート …… 119
ナビメニュー …… 6, 44
ナビメニューカスタマイズ …… 10

に

認証情報設定 …… 149

ね

燃費 …… 47, 50
燃費優先 …… 3, 129
燃費優先ルート条件設定 …… 3

の

ノースアップ …… 5
ノーマル …… 136

は

バージョン情報 …… 154
バックグラウンドサーチ設定 …… 84
バックドア開閉ガイド線 …… 15, 159
バックビュー …… 161
発信履歴 …… 69
パノラマビュー …… 161, 162
パノラミックビュー設定 …… 126
パラメトリックEQ …… 133
バランス(BAL.)調整 …… 132
パレンタル …… 93
番組表 …… 82, 83
番号入力 …… 69
ハンズフリー …… 66, 139
ハンズフリー電話 …… 66
販売店 …… 56
販売店設定 …… 206
汎用カメラ接続 …… 125

ひ

ビッグアロー …… 118
ビッグアロー表示 …… 8, 51
日付リセット …… 153
ビル立体表示 …… 117

ふ

フェダー(FAD.)調整 …… 132
フェリー使用 …… 121
踏み切り案内 …… 118
ブラウザ機能 …… 157
ブラウザでの音声読み上げ …… 122, 157
プラズマクラスター …… 12, 123, 166
プリセット …… 136
プローブ …… 122
フロントカメラ …… 161
フロントカメラガイド調整 …… 124
フロントカメラ接続 …… 124
フロントカメラ速度連動表示 …… 124
フロントカメラ地点連動表示 …… 124

へ

別ルート …… 47
ヘディングアップ …… 5

ほ

ボイスタッチ …… 36
ボイスタッチチューニング …… 128
ボイスタッチワード …… 36, 128
方向誘導線 …… 8
放送局自動選局 …… 84
放送局選択 …… 152
方面看板表示 …… 52, 118
ホームスキャン …… 85
他ルート …… 47

ま

マークON・OFF …… 32
マーク情報 …… 59
マップコード …… 45

み

ミュート …… 32, 119

め

名称 …… 44
メディアからの地点追加 …… 135
メディア更新 …… 146, 150
メディア情報 …… 135
メディアへの地点保存 …… 135
メディア編集 …… 135
メニューアニメーション表示 …… 129
メニュー言語 …… 92
メニューデザイン …… 134
メニューの文字サイズ変更 …… 128
メンテナンス …… 153

も

目的地周辺を探索する …… 41
目的地履歴 …… 6, 46
文字スーパー表示 …… 84
文字入力のしかた …… 176
モニター自動CLOSE …… 129

ゆ

優先順位変更 …… 142
優先探索ルート …… 2, 120
誘導方向表示 …… 116
郵便番号 …… 44
郵便番号設定 …… 84
有料 …… 50
有料道路優先 …… 120

よ

予告配信 …… 152
予告配信表示 …… 64, 116
夜用明るさ調整 …… 129
夜用照光明るさ調整 …… 129

ら

ライブコントラスト …… 136, 164
ラジオを聴く …… 86
ランドマーク表示 …… 115
ランドマーク表示サイズ変更 …… 115
ランドマーク表示ジャンル …… 115

り

リアカメラ …… 159
リアカメラガイド調整 …… 125
リアカメラ接続 …… 124
リアビジョン …… 45, 123, 166
リアビジョン/アロマ …… 12, 166
リアビジョン　イルミネーション色 …… 123
リアビジョン　イルミネーション設定 …… 123
リアビジョン　プラズマクラスター設定 …… 123
リセット …… 33
リダイヤル …… 70
リモコン(RUE-RST01)の使い方 …… 173
料金所ゲート案内 …… 119
リルート …… 39, 50

る

ルート案内画面 …… 8, 51
ルート案内を開始する …… 39
ルート学習 …… 121
ルート確認・編集画面 …… 48
ルート再探索 …… 50
ルート消去 …… 45, 50
ルート情報 …… 48
ルート探索結果画面 …… 47
ルートチューニング …… 120
ルートブラウザ …… 49
ルームカメラ …… 158, 164
ルームカメラ接続 …… 125

れ

レーンガイド表示 …… 52, 118

ろ

ログアップロード …… 65, 130, 145
録音ビットレート …… 127
録音用SD情報 …… 154
路上駐車場マーク表示 …… 116
路線切換 …… 32

わ

ワイド …… 136
ワイドFM …… 86
割込み時間 …… 120, 122
割込み情報 …… 151
ワンセグ …… 81, 83, 84

索引(3/3)

アルファベット順

A

AV OFF…… 78
AV設定 …… 127
AVソース情報マーク …… 78
AVソースメニュー画面 …… 77

B

BAL. …… 132
Bass Max EQ …… 132
B-CASカード …… 79, 85
B-CAS情報 …… 85
Bluetooth/Wi-Fi設定…… 66, 111, 139, 141
BLUETOOTHオーディオ機器を接続する … 111
BLUETOOTH機器設定 …… 140
Bluetooth設定……66, 111, 139
BLUETOOTH(プロファイル) …… 65
BT AUDIO …… 77, 111, 112, 139

C

CDを聴く …… 95

D

DEFEAT …… 132
Discで更新 …… 150
DVD初期設定 …… 91, 92
DVDを見る …… 88

E

ETC …… 12, 155
ETC2.0……12, 61, 155, 156

F

FAD. …… 132

G

GPS情報 …… 153
Gracenote …… 144, 146, 198

H

HDMI…… 17, 77, 105

I

IC変更 …… 47
iPod AUDIOサーチ画面…… 110
iPod/iPhoneについてのご注意…… 192
iPod自動ソース切換 …… 127
iPodやiPhoneの音楽を聴く …… 107
ITSスポット ……155, 157

M

Media Xpander …… 132
MHL …… 105
MITM(中間者攻撃)Protection設定…… 111

N

NaviCon …… 75, 76

P

Parametric EQ …… 133

S

SD AUDIO …… 98
SD AUDIOプレイリスト編集 …… 104
SD AUDIO録音曲編集 …… 103
SDカードに曲を録音する …… 99
SDカードについてのご注意 …… 191
SD初期化 …… 135
SDで更新 …… 150

T

T.CORR…… 133

U

USBで更新 …… 150
USBメモリー …… 77, 114
USBメモリーについてのご注意 …… 191

V

VICS …… 60
VICS WIDE …… 60
VICS情報 …… 151
VICS設定 …… 122
VICSタイムスタンプ ……5
VICS駐車場・充電施設表示…… 116
VICS提供道路 …… 116
VICSでの音声読み上げ …… 122
VICS道路交通情報マーク …… 55
VISUAL EQ …… 136

W

Wi-Fi更新 …… 149
Wi-Fi設定 …… 141
Wi-Fi通信機器探索インジケータ …… 143
Wi-Fi通信機器を接続する …… 72, 142
Wi-Fi通信機器を切断する …… 142
Wi-Fi電界強度インジケーター …… 12
WPS登録 …… 143

X

X-OVER …… 133

数字順

1画面……9
2画面……9
2画面表示Navi+AV …… 18
3Dマップ ……5
3Dランドマーク表示 …… 117
6ルート…… 47

MEMO

地図画面の見かた

地図画面の表示について(地図色:標準(昼の場合))





VICS情報の表示例

渋滞情報や駐車場、規制区間などの情報を地図上に表示します。



※ 渋滞情報

:空き道(交通の流れが良い状態)

:混雑(交通の流れがやや悪い状態)

:渋滞(交通の流れが非常に悪い状態)

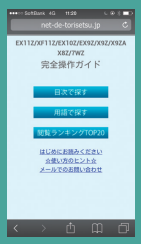
「完全操作ガイド」のご案内

本機のひとつひとつの機能に対しての操作説明・注意事項をより詳しく知ることができます。

＜完全操作ガイド(Web版)＞

パソコン・タブレット端末・スマートフォンを使って閲覧することができます。
バーコードリーダーで右記のQRコードを読み取るか、下記のURLを入力して
アクセスしてください。

http://www.net-de-torisetsu.jp/18001/guide/main





＜完全操作ガイド(PDF版)＞

完全操作ガイド(Web版)をPDFファイル形式で閲覧・ダウンロード・印刷することができます。

- 仕様および外観は改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは撮影・印刷条件により実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談/お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

＜製品ご相談窓口＞

（平成 30 年 4 月現在）

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

＜電話でのお問い合わせ＞

TEL：0570－006636

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。(携帯電話・PHS：20秒10円)

※ 一部IP電話など接続できない場合には、次の番号をご利用ください。03-6704-4926

携帯OK

＜メールでのお問い合わせ＞

ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。

＜FAXでのお問い合わせ＞

FAX：045－522－8700

- **電話受付時間（日、祝日、弊社休業日を除く）**
  月～金：9:30 ～ 17:30
  土曜日：9:30 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00
- アルパインホームページ　https://www.alpine.co.jp
  アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介しています。

＜修理ご相談窓口＞

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス（株） 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス（株） 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3-18-14	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

お願い　本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan
68-35792Z41-A (Y-752_B5)